

令和4年度 保育園サービス第三者評価事業

報告書

令和5年3月

杉並区



## はじめに

保育園サービス第三者評価は、第三者からみた保育園サービスの評価結果を幅広く利用者や保育園に情報提供することにより、サービス内容を利用者明らかにし、保育園におけるサービスの質の向上に向けた取り組みを促し、利用者本位のサービスシステムの構築を行う事を目的とするものである。

■評価対象：杉並区立の次の8保育園を対象としている。

(令和4年9月30日時点)

保育園名	配布数	備考
1. 久我山東保育園	77	8・延
2. 西荻北保育園	80	1・延
3. 井草保育園	79	1・延
4. 善福寺保育園	75	8・延
5. 和田保育園	71	1・延
6. 永福北保育園	65	9・延
7. 高円寺東保育園	96	9・延
8. 下井草保育園	85	9・延
合計	628	

※備考欄：9...9週目以上の園、8...8か月以上の園、1...1歳以上の園、  
延...延長保育実施園

■評価機関：特定非営利活動法人NPOサービス評価機構

(東京都福祉サービス第三者評価機関 認証番号：機構 02-030)

■評価者：担当した評価者の終了番号は以下の通りである。

H0201035、H1401004、H1501022

■評価の流れ

内容	時期・期間
1. 関係者説明会	令和4年6月
2. 利用者調査票配布(利用者調査)	令和4年7月
3. 経営層自己評価票作成(事業評価)	令和4年8月
4. 職員自己評価票作成(事業評価)	令和4年7月
5. 訪問調査利用者調査・事業評価結果報告	令和4年8月~9月
6. 評価結果のフィードバック	令和4年12月



# 目次

## 第1部 利用者調査

1. 利用者調査の概要.....	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 調査の対象者.....	1
(3) 調査方法.....	1
(4) 調査期間.....	1
(5) 利用者調査票の配布・回収状況.....	1
2. 全体の調査結果.....	2
(1) 回答者属性.....	2
(2) 総合的な満足度に関するクロス集計結果.....	4
(3) 自由記入分類・整理.....	7
(4) 利用者調査設問への回答集計.....	8
3. 満足度構造分析.....	10
(1) 分析方法.....	10
(2) 分析結果.....	10
(3) 考察.....	10
4. 各保育園の利用者調査結果.....	11

## 第2部 事業評価

1. 評価の概要.....	45
(1) 評価の目的.....	45
(2) 評点の付け方.....	45
(3) 訪問調査とフィードバック.....	46
2. 各保育園の評価結果報告書.....	47

## 巻末 付属資料



# 第1部 利用者調査





## 1. 利用者調査の概要

### (1) 調査の目的

杉並区立保育園を利用されている保護者の方々が、日常の保育サービスに対して感じていること、また、意見や要望について把握することを目的とした。

### (2) 調査の対象者

8 保育園の利用者（保護者）を対象とした。複数のお子さんを預けている場合は、一番年齢の低いお子さんのことについて回答していただいた。

### (3) 調査方法

無記名のアンケート方式で実施した。園より保護者全員にアンケート票を手渡しで配布し、回収については、園内に設置した回収ボックスに投函するか、もしくは、返信用封筒を使って直接評価機関へ郵送する方法のどちらかを保護者に選択していただいた。

### (4) 調査期間

令和 4 年 7 月 1 日～令和 4 年 7 月 15 日

### (5) 利用者調査票の配布・回収状況

全世帯に配布し、8 園の回収率は 63.1%から 83.1%、平均有効回収率は 74.7%である。

保育園名	利用者		
	配布数	回収数	回収率
1. 久我山東保育園	77	64	83.1%
2. 西荻北保育園	80	55	68.8%
3. 井草保育園	79	61	77.2%
4. 善福寺保育園	75	55	73.3%
5. 和田保育園	71	57	80.3%
6. 永福北保育園	65	41	63.1%
7. 高円寺東保育園	96	71	74.0%
8. 下井草保育園	85	65	76.5%
合 計	628	469	74.7%

## 2. 全体の調査結果

### (1) 回答者属性

調査票の回答者 469 人の 74.8%が母親である。回答者の年齢構成をみると、35～40 歳未満が 33.5%、30～35 歳未満が 26.3%で、30 歳代が合計 54.8%と過半数を占めている。また、40 歳代が 34.5%を占め、20 歳代（20～25 才未満 0.4%、25～30 未満 3.2%）は合計 3.6%と少ない。

勤務形態では、父親の 81.4%、母親の 76.1%がフルタイム（常勤）である。なお、父親の 6.2%は自営業、母親の 10.0%はパート・アルバイトである。

調査の回答者属性

全回答者			
1	父	43	9.2
2	母	351	74.8
3	父母	46	9.8
4	その他	0	0.0
5	無回答	29	6.2
合計		469 (人)	100 (%)

回答者の年齢

全回答者			
1	20 歳未満	0	0.0
2	20～25 歳未満	2	0.4
3	25～30 歳未満	15	3.2
4	30～35 歳未満	100	21.3
5	35～40 歳未満	157	33.5
6	40～50 歳未満	162	34.5
7	50 歳以上	2	0.4
8	無回答	31	6.7
合計		469 (人)	100 (%)

保護者の勤務形態

保護者の形態（父）			
1	常勤	382	81.4
2	パート・アルバイト	0	0.0
3	自営業	29	6.2
4	無職	0	0.0
5	その他	3	0.6
6	無回答	55	11.8
全体		469（人）	100（％）

保護者の形態（母）			
1	常勤	357	76.1
2	パート・アルバイト	47	10.0
3	自営業	16	3.4
4	無職	6	1.3
5	その他	8	1.7
6	無回答	35	7.5
全体		469（人）	100（％）

保護者の形態（その他）			
1	常勤	26	5.5
2	パート・アルバイト	5	1.1
3	自営業	1	0.2
4	無職	9	1.9
5	その他	4	0.9
6	無回答	424	90.4
全体		469（人）	100（％）

## (2) 総合的な満足度に関するクロス集計結果

総合的な満足度は、調査回答者別では、「大変満足」「満足」と回答した方々が父親の97.6%、母親の94.9%で、保育サービス全般に関して高い満足を得ている。一方、「不満」「大変不満」と回答した方は父親は0だが、母親に少数(2.3%)みられる。

調査回答者の年齢別では、概ね「大変満足」「満足」の高い評価を得ており、年齢別の満足度に明確な差異はみられない。

勤務形態別でも、父親、母親、その他のお迎えに行く方を通して、概ね「大変満足」「満足」の高い評価を得ており、勤務形態別の満足度の評価に明確な差異はみられない。

### ① 調査回答者と現在利用の保育園の総合満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答
父	回答者数(人)	43	25	17	1	0	0	0
	回答率	100%	58.1%	39.5%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%
母	回答者数(人)	351	200	133	8	7	1	2
	回答率	100%	57.0%	37.9%	2.3%	2.0%	0.3%	0.6%
父母	回答者数(人)	46	15	29	2	0	0	0
	回答率	100%	32.6%	63.0%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	回答者数(人)	0	0	0	0	0	0	0
	回答率	100%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	回答者数(人)	29	11	14	1	2	0	1
	回答率	100%	37.9%	48.3%	3.4%	6.9%	0.0%	3.4%
全体	回答者数(人)	469	251	193	12	9	1	5
	回答率	100%	53.5%	41.2%	2.6%	1.9%	0.2%	1.1%

### ② 調査回答者の年齢と現在利用の保育園の総合満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答
20歳未満	回答者数(人)	0	0	0	0	0	0	0
	回答率	-	-	-	-	-	-	-
20～25歳 未満	回答者数(人)	2	0	2	0	0	0	0
	回答率	100%	0.0%	100%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
25～30歳 未満	回答者数(人)	15	10	5	0	0	0	0
	回答率	100%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30～35歳 未満	回答者数(人)	100	49	46	2	2	1	0
	回答率	100%	49.0%	46.0%	2.0%	2.0%	1.0%	0.0%
35～40歳 未満	回答者数(人)	157	85	64	5	3	0	0
	回答率	100%	54.1%	40.8%	3.2%	1.9%	0.0%	0.0%
40～50歳 未満	回答者数(人)	162	93	61	4	2	0	2
	回答率	100%	57.4%	37.7%	2.5%	1.2%	0.0%	1.2%
50歳以上	回答者数(人)	2	1	1	0	0	0	0
	回答率	100%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	回答者数(人)	31	13	14	1	2	0	1
	回答率	100%	41.9%	45.2%	3.2%	6.5%	0.0%	3.2%
全体	回答者数(人)	469	251	193	12	9	1	3
	回答率	100%	53.5%	41.2%	2.6%	1.9%	0.2%	0.6%

③-1 父親の勤務形態と現在利用の保育園の総合満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答
常勤	回答者数(人)	382	208	156	11	5	0	2
	回答率	100%	54.5%	40.8%	2.9%	1.3%	0.0%	0.5%
パート・ アルバイト	回答者数(人)	0	0	0	0	0	0	0
	回答率							
自営業	回答者数(人)	29	16	11	0	2	0	0
	回答率	100%	55.2%	37.9%	0.0%	6.9%	0.0%	0.0%
無職	回答者数(人)	0	0	0	0	0	0	0
	回答率							
その他	回答者数(人)	3	1	2	0	0	0	0
	回答率	100%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	回答者数(人)	55	26	24	1	2	1	1
	回答率	100%	47.3%	43.6%	1.8%	3.6%	1.8%	1.8%
全体	回答者数(人)	469	251	193	12	9	1	3
	回答率	100%	53.5%	41.2%	2.6%	1.9%	0.2%	0.6%

③-2 母親の勤務形態と現在利用の保育園の総合満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答
常勤	回答者数(人)	357	191	149	10	5	0	2
	回答率	100%	53.5%	41.7%	2.8%	1.4%	0.0%	0.6%
パート・ アルバイト	回答者数(人)	47	28	18	1	0	0	0
	回答率	100%	59.6%	38.3%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%
自営業	回答者数(人)	16	8	7	0	0	1	0
	回答率	100%	50.0%	43.8%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%
無職	回答者数(人)	6	6	0	0	0	0	0
	回答率	100%	100%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	回答者数(人)	8	4	3	0	1	0	0
	回答率	100%	50.0%	37.5%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%
無回答	回答者数(人)	35	14	16	1	3	0	1
	回答率	100%	40.0%	45.7%	2.9%	8.6%	0.0%	2.9%
全体	回答者数(人)	469	251	193	12	9	1	3
	回答率	100%	53.5%	41.2%	2.8%	1.7%	0.2%	0.6%

③-3 その他のお迎えに行く方の勤務形態と現在利用の保育園の総合満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答
常勤	回答者数(人)	26	14	10	1	1	0	0
	回答率	100%	53.8%	38.5%	3.8%	3.8%	0.0%	0.0%
パート・ アルバイト	回答者数(人)	5	3	2	0	0	0	0
	回答率	100%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自営業	回答者数(人)	1	1	0	0	0	0	0
	回答率	100%	100%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無職	回答者数(人)	9	5	4	0	0	0	0
	回答率	100%	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	回答者数(人)	4	1	2	0	1	0	0
	回答率	100%	25.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
無回答	回答者数(人)	424	227	175	11	7	1	3
	回答率	100%	53.5%	41.3%	2.6%	1.7%	0.2%	0.7%
全体	回答者数(人)	469	251	193	12	9	1	3
	回答率	100%	53.5%	41.2%	2.6%	1.9%	0.2%	0.6%

### (3) 自由記入分類・整理

調査票の質問別記述欄に寄せられた意見を、内容によって分類すると、次の通りとなる。

最も多くの自由意見（123件）を頂いたのは「4.身近な自然や社会との関わり」である。コロナ禍中、関心の高さがうかがえる。「1.心身の発達に役立つ活動」は、設問に「はい」と回答された方から最も多くの自由意見（73件）を頂いている。「7.保護者に配慮した行事日程の設定」と「6.安全対策」は、設問に「どちらともいえない」、「いいえ」と回答された方から、それぞれ多くの自由意見を頂いている。

大分類	中分類		自由意見記入件数	自由意見記入者の設問回答内訳			
				はい	どちらともいえない	いいえ	非該当
サービスの提供	1	心身の発達に役立つ活動	78	73	5	0	0
	2	興味や関心を持って行える活動	66	57	7	2	0
	3	提供する食事・おやつへの配慮	83	68	9	6	0
	4	身近な自然や社会との関わり	123	64	49	9	1
	5	保育時間の変更への柔軟な対応	60	45	12	2	1
	6	安全対策	86	35	36	15	0
	7	保護者に配慮した行事日程の設定	97	19	56	21	1
	8	家庭と保育所の信頼関係	100	62	34	4	0
安心・快適性	9	施設内の清掃、整理整頓	66	42	20	4	0
	10	職員の接遇・態度	56	27	24	5	0
	11	保健・衛生（病気、ケガ、健康）	64	42	15	7	0
	12	子ども同士のトラブルへの対応	55	32	17	4	2
利用者個人の尊重	13	子どもの気持ちの尊重	59	44	14	1	0
	14	子どもと保護者のプライバシー保護	24	11	10	3	0
	15	保育内容に関する説明の分かり易さ	55	27	22	6	0
不満・要望への対応	16	利用者の要望・不満への対応	46	21	14	11	0
	17	外部の苦情窓口の周知	23	6	9	7	1

#### (4) 利用者調査設問への回答集計

今回の調査対象 8 園の回答数を合計し、全回答数 469 件について、Q1～Q17 までの設問に対する回答の構成比率と、総合的な満足度への回答件数、構成比率を算出した。

Q1～Q17 の回答では、「はい」の比率が最も高いのは「Q1. 園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか」の 98.1%、「どちらともいえない」の比率が最も高いのは「Q7. 行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか」の 28.6%、「いいえ」の比率が最も高いのは「Q17. あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか」の 14.1%である。

総合的な感想では「大変満足」が 53.5%、「満足」が 41.2%の構成比率となっている。

#### ＜サービスの提供＞ N=469

設問 No.	設問内容	はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無回答
Q1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	98.1%	1.7%	0.2%	0.0%	0.0%
Q2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	95.5%	3.4%	0.9%	0.2%	0.0%
Q3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	93.8%	4.5%	1.5%	0.2%	0.0%
Q4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	80.0%	16.0%	3.2%	0.9%	0.0%
Q5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	72.9%	9.2%	1.1%	16.4%	0.4%
Q6	安全対策が十分取られていると思いますか	78.0%	17.7%	3.6%	0.6%	0.0%
Q7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	59.7%	28.6%	6.8%	4.3%	0.6%
Q8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	84.2%	13.4%	2.1%	0.0%	0.2%

#### ＜安心・快適性＞ N=469

設問 No.	設問内容	はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無回答
Q9	園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	87.8%	10.0%	1.3%	0.2%	0.6%
Q10	あなたは、職員の言葉遣いや態度、服装などは適切だと思いますか	89.1%	9.0%	1.5%	0.0%	0.4%
Q11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	89.1%	7.0%	1.9%	1.5%	0.4%
Q12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	72.1%	12.2%	1.7%	13.9%	0.2%



＜利用者個人の尊重＞ N=469

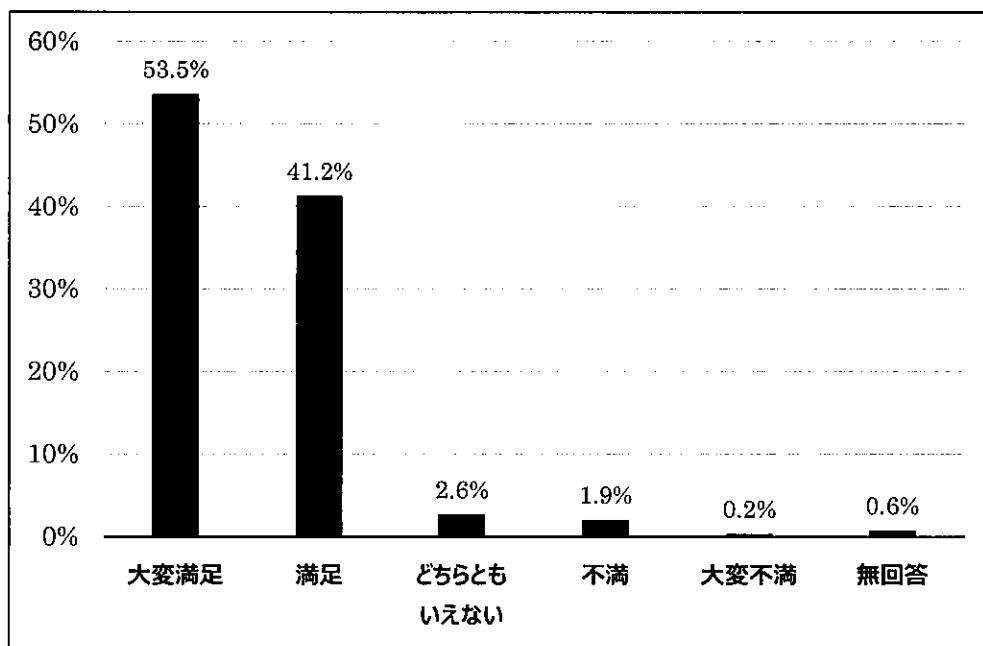
設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q13	あなたは、職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか	91.9%	6.6%	0.9%	0.4%	0.2%
Q14	あなたやお子さんのプライバシー（他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか	80.6%	7.9%	1.7%	9.4%	0.4%
Q15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか	87.2%	10.7%	1.7%	0.0%	0.4%

＜不満・要望への対応＞ N=469

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q16	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員はきちんと対応してくれていると思いますか	69.7%	13.6%	3.6%	12.8%	0.2%
Q17	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	36.7%	17.1%	14.1%	31.6%	0.6%

＜総合的な満足度＞ N=469

総合満足度	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答	合計
回答数	251	193	12	9	1	3	469
回答率	53.5%	41.2%	2.6%	1.9%	0.2%	0.6%	100.0%



### 3. 満足度構造分析

#### (1) 分析方法

利用者調査の項目は全部で17項目ある。その中でも、特に総合的な満足度に影響を与えている項目は何かを明らかにするために、回帰分析の手法を使って分析を行なった。分析にあたっては下記のような手続きを行なった。

##### 被説明変数

被説明変数は「総合的な感想」である。総合的な感想では下記のような変数処理を行なった。「大変満足」=5、「満足」=4、「どちらともいえない」=3、「不満」=2、「大変不満」=1  
無記入は欠損値とする。

##### 説明変数

説明変数は問1～問17の各設問である。問1～問17の各設問では、下記のような変数処理を行なった。「はい」=3、「どちらともいえない」=2、「いいえ」=1、それ以外の「非該当」および無記入は欠損値とする。

#### (2) 分析結果

設問	標準化 係数	有意確率
問1 園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	.118	.037
問4 戶外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	.131	.023
問13 あなたは、職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか	.243	.000
問16 あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれていると思いますか	.178	.010

#### (3) 考察

統計的に有意であった項目、つまり、総合的な満足度に影響を与えている項目は、問1「園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか」、問4「戶外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか」、問13「あなたは、職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか」、問16「あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれていると思いますか」であった。その中でも、総合的な満足度への影響力が最も高い設問は、問13であった。その後は、問16、問4、問1の順番で影響力を与えていた。

従って、日々の保育の中で、これらの設問内容に特に注力して取り組むと、総合的な満足度が向上していくと考察する。

#### 4. 各保育園の利用者調査結果

園ごとの利用者調査結果は、それぞれ次の通りである。

1. 久我山東保育園	13
2. 西荻北保育園	17
3. 井草保育園	21
4. 善福寺保育園	25
5. 和田保育園	29
6. 永福北保育園	33
7. 高円寺東保育園	37
8. 下井草保育園	41

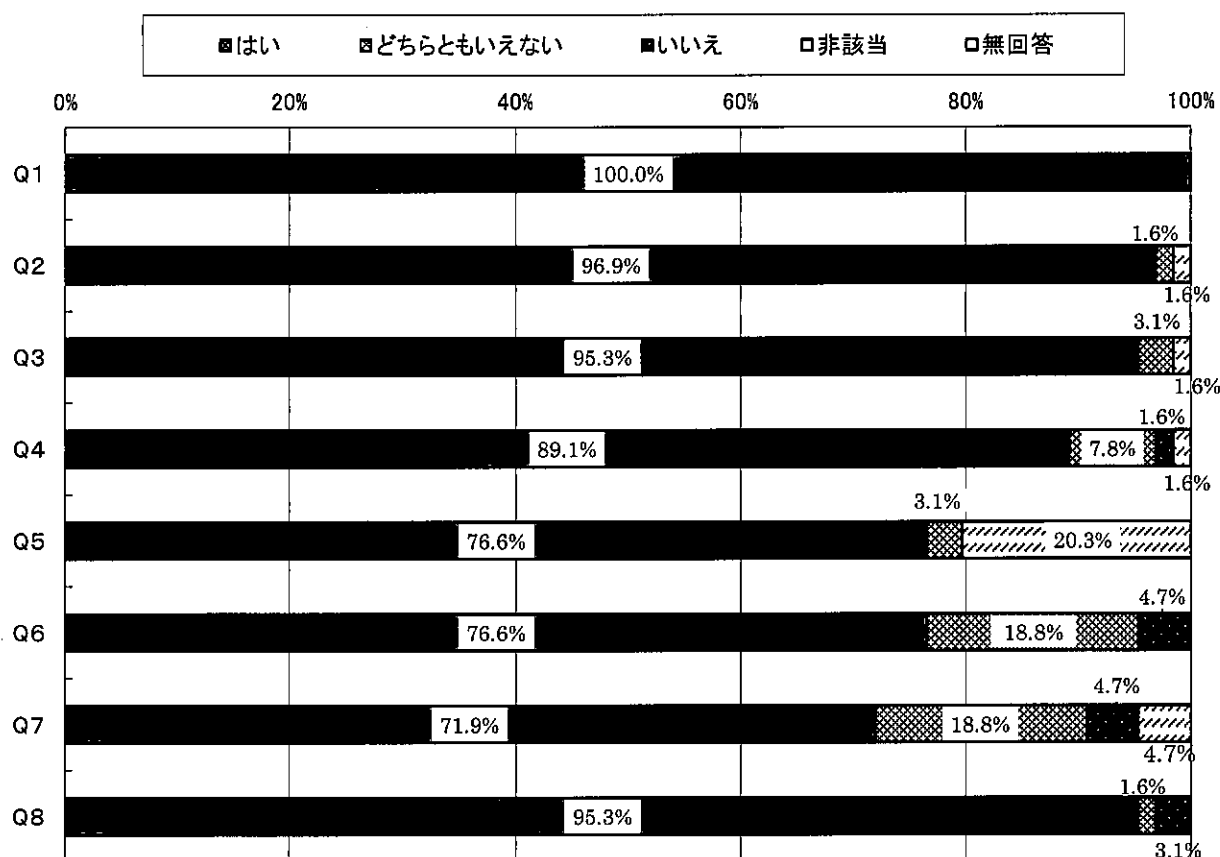




# 1. 久我山東保育園

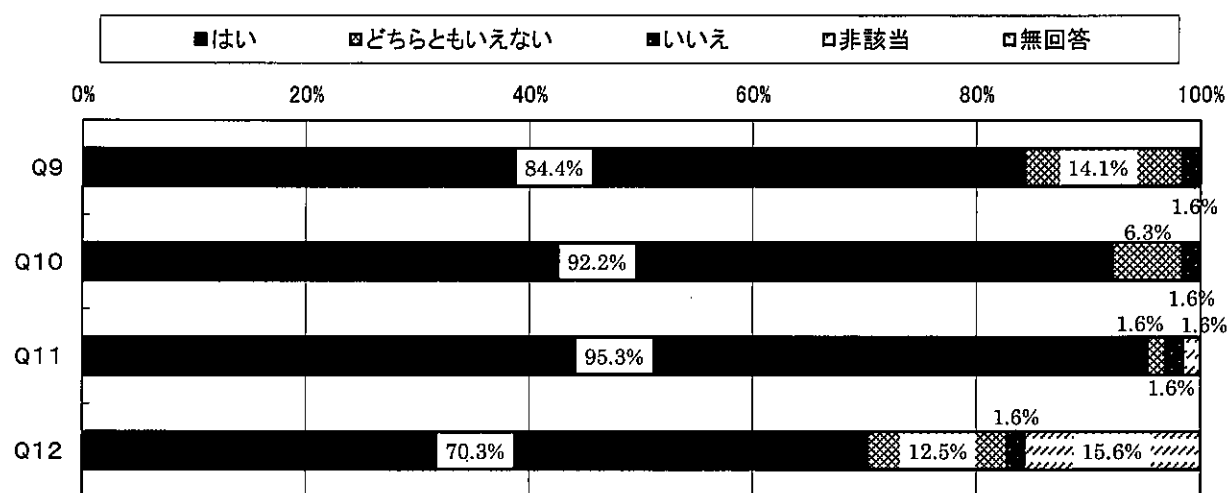
<サービスの提供>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Q2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	96.9%	1.6%	0.0%	1.6%	0.0%
Q3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	95.3%	3.1%	0.0%	1.6%	0.0%
Q4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	89.1%	7.8%	1.6%	1.6%	0.0%
Q5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	76.6%	3.1%	0.0%	20.3%	0.0%
Q6	安全対策が十分取られていると思いますか	76.6%	18.8%	4.7%	0.0%	0.0%
Q7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	71.9%	18.8%	4.7%	4.7%	0.0%
Q8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	95.3%	1.6%	3.1%	0.0%	0.0%



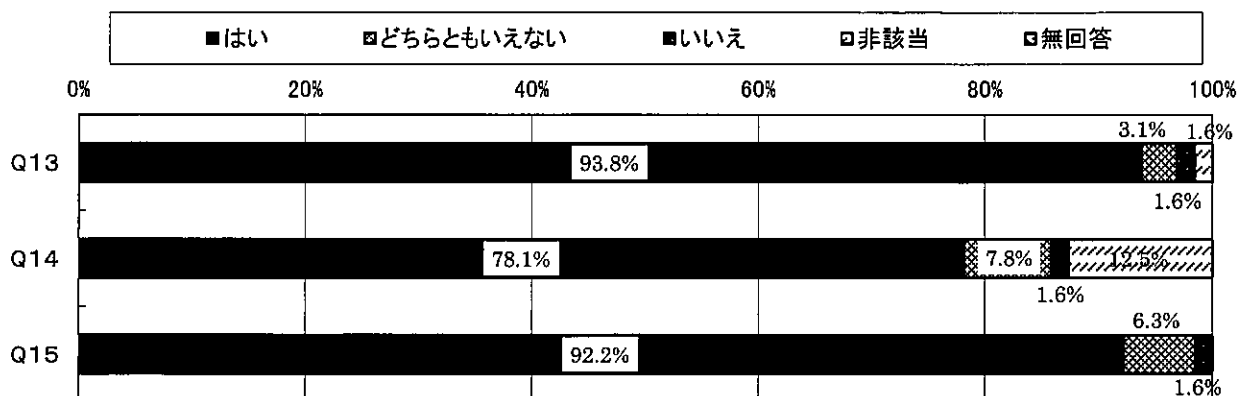
<安心・快適性>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q9	園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	84.4%	14.1%	1.6%	0.0%	0.0%
Q10	あなたは、職員の言葉遣いや態度、服装などは適切だと思いますか	92.2%	6.3%	1.6%	0.0%	0.0%
Q11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	95.3%	1.6%	1.6%	1.6%	0.0%
Q12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	70.3%	12.5%	1.6%	15.6%	0.0%



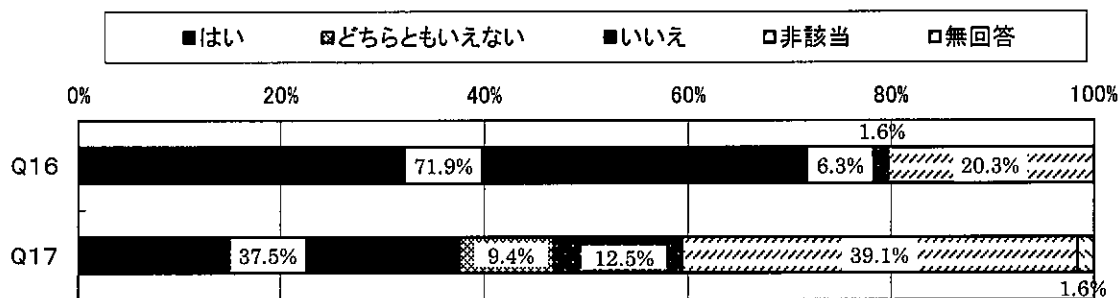
<利用者個人の尊重>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q13	あなたは、職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか	93.8%	3.1%	1.6%	1.6%	0.0%
Q14	あなたや子どものプライバシー（他の人に見られたくない、聴かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか	78.1%	7.8%	1.6%	12.5%	0.0%
Q15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか	92.2%	6.3%	1.6%	0.0%	0.0%



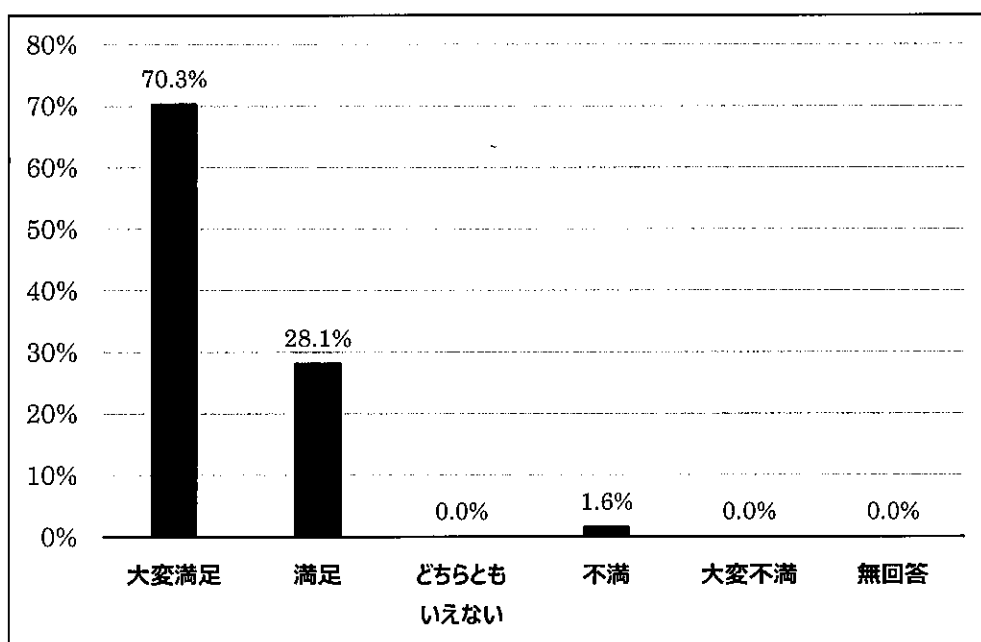
<不満・要望への対応>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q16	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたと、職員はきちんと対応してくれていると思いますか	71.9%	6.3%	1.6%	20.3%	0.0%
Q17	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	37.5%	9.4%	12.5%	39.1%	1.6%



<総合的な満足度についてお聞きします>

総合満足度	回答数	回答率
大変満足	45	70.3%
満足	18	28.1%
どちらとも いえない	0	0.0%
不満	1	1.6%
大変不満	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	64	100.0%





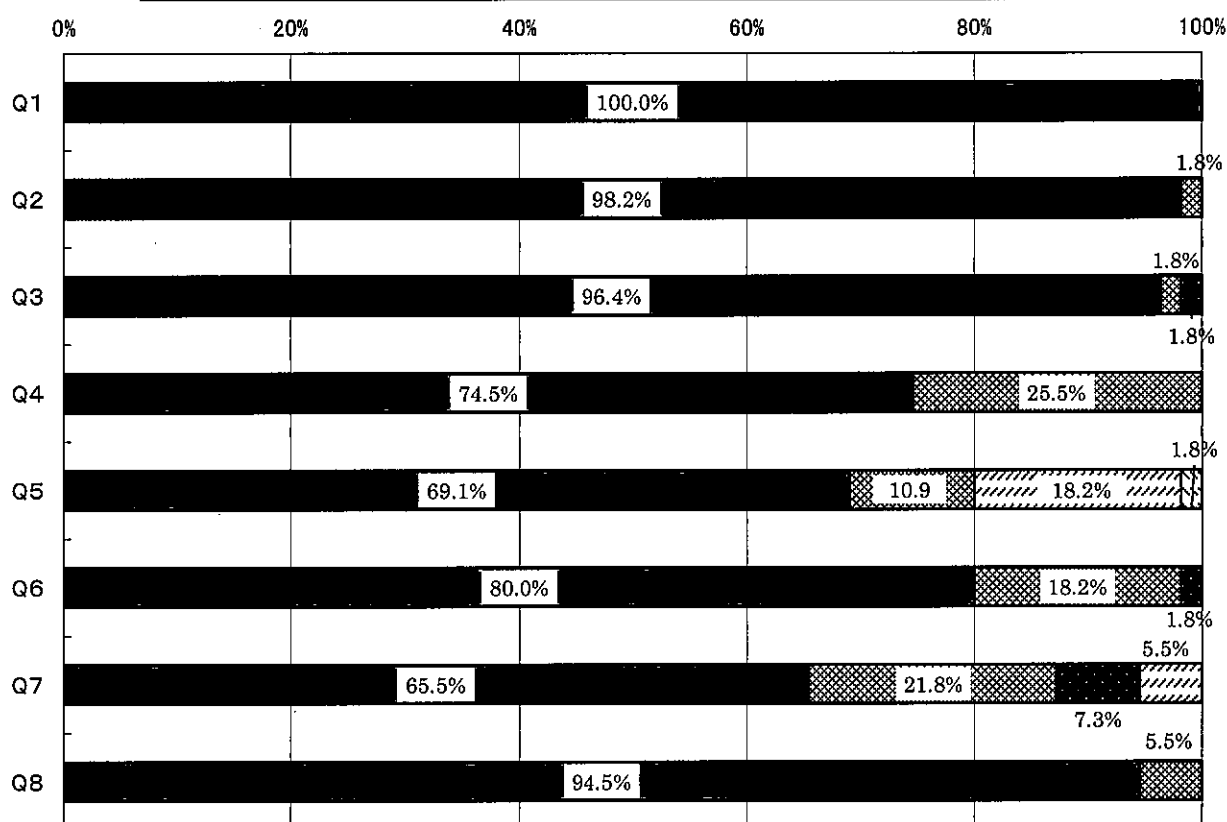


## 2. 西荻北保育園

## ＜サービスの提供＞

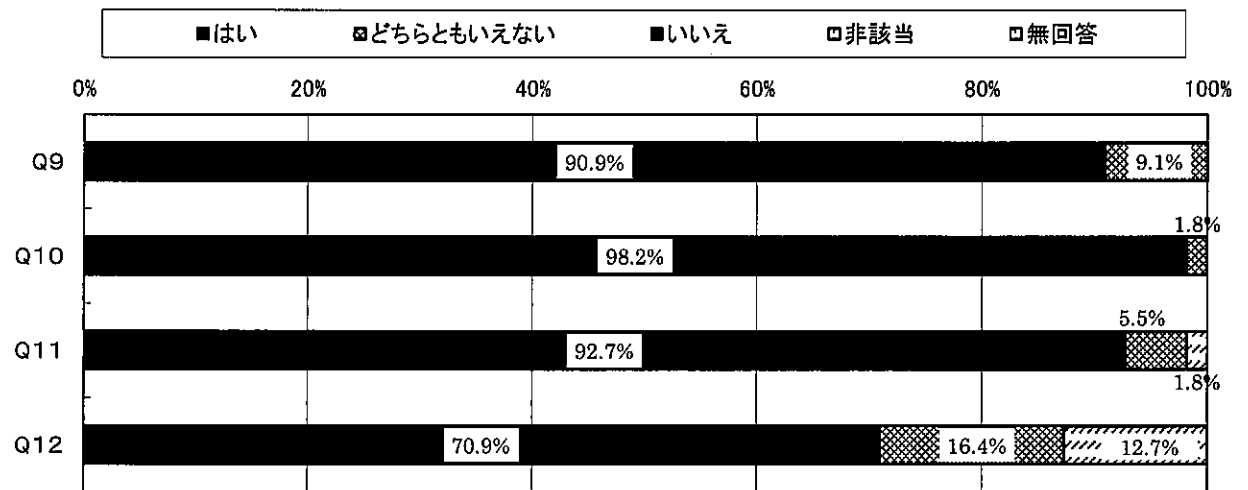
設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Q2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	98.2%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%
Q3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	96.4%	1.8%	1.8%	0.0%	0.0%
Q4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	74.5%	25.5%	0.0%	0.0%	0.0%
Q5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	69.1%	10.9%	0.0%	18.2%	1.8%
Q6	安全対策が十分取られていると思いますか	80.0%	18.2%	1.8%	0.0%	0.0%
Q7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	65.5%	21.8%	7.3%	5.5%	0.0%
Q8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	94.5%	5.5%	0.0%	0.0%	0.0%

■はい    ■どちらともいえない    ■いいえ    ■非該当    ■無回答



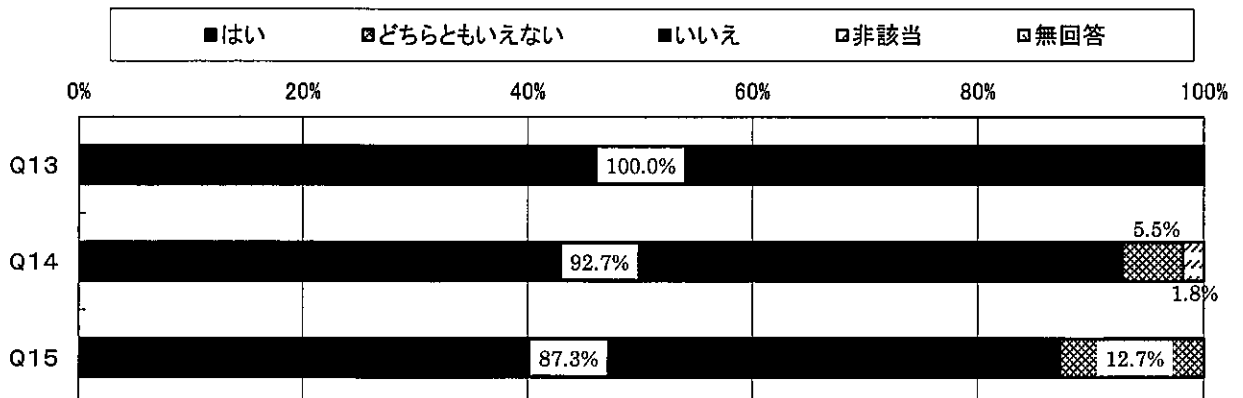
<安心・快適性>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q9	園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	90.9%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
Q10	あなたは、職員の言葉遣いや態度、服装などは適切だと思いますか	98.2%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%
Q11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	92.7%	5.5%	0.0%	1.8%	0.0%
Q12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	70.9%	16.4%	0.0%	12.7%	0.0%



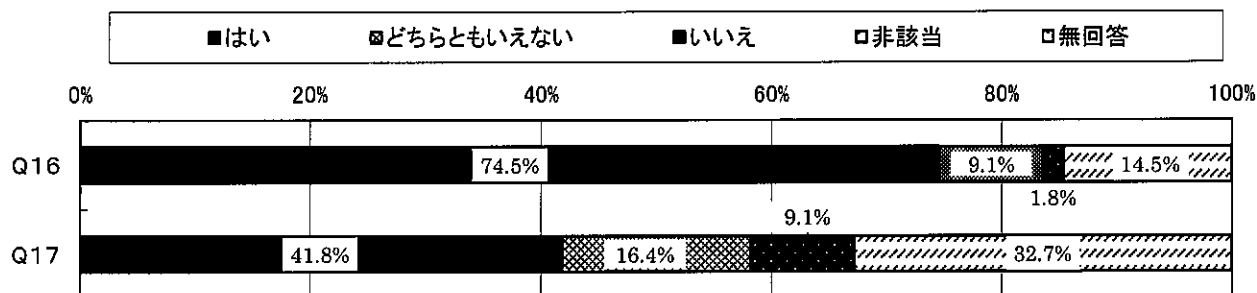
<利用者個人の尊重>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q13	あなたは、職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Q14	あなたや子どものプライバシー（他の人に見られたくない、聴かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか	92.7%	5.5%	0.0%	1.8%	0.0%
Q15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか	87.3%	12.7%	0.0%	0.0%	0.0%



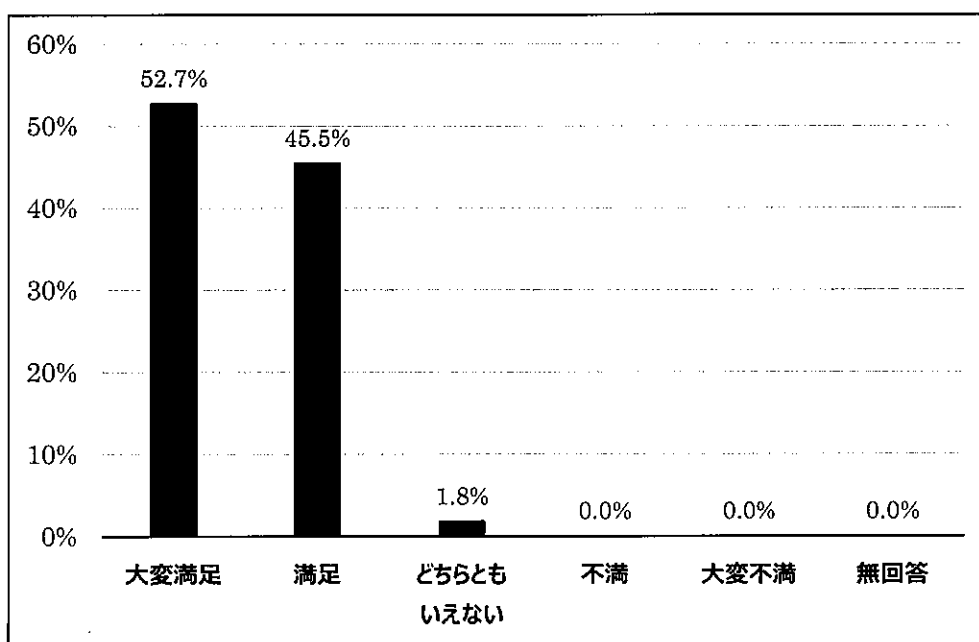
<不満・要望への対応>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q16	あなたが不満に思ったことや要望を伝えるとき、職員はきちんと対応してくれていると思いますか	74.5%	9.1%	1.8%	14.5%	0.0%
Q17	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	41.8%	16.4%	9.1%	32.7%	0.0%



<総合的な満足度についてお聞きします>

総合満足度	回答数	回答率
大変満足	29	52.7%
満足	25	45.5%
どちらともいえない	1	1.8%
不満	0	0.0%
大変不満	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	55	100.0%

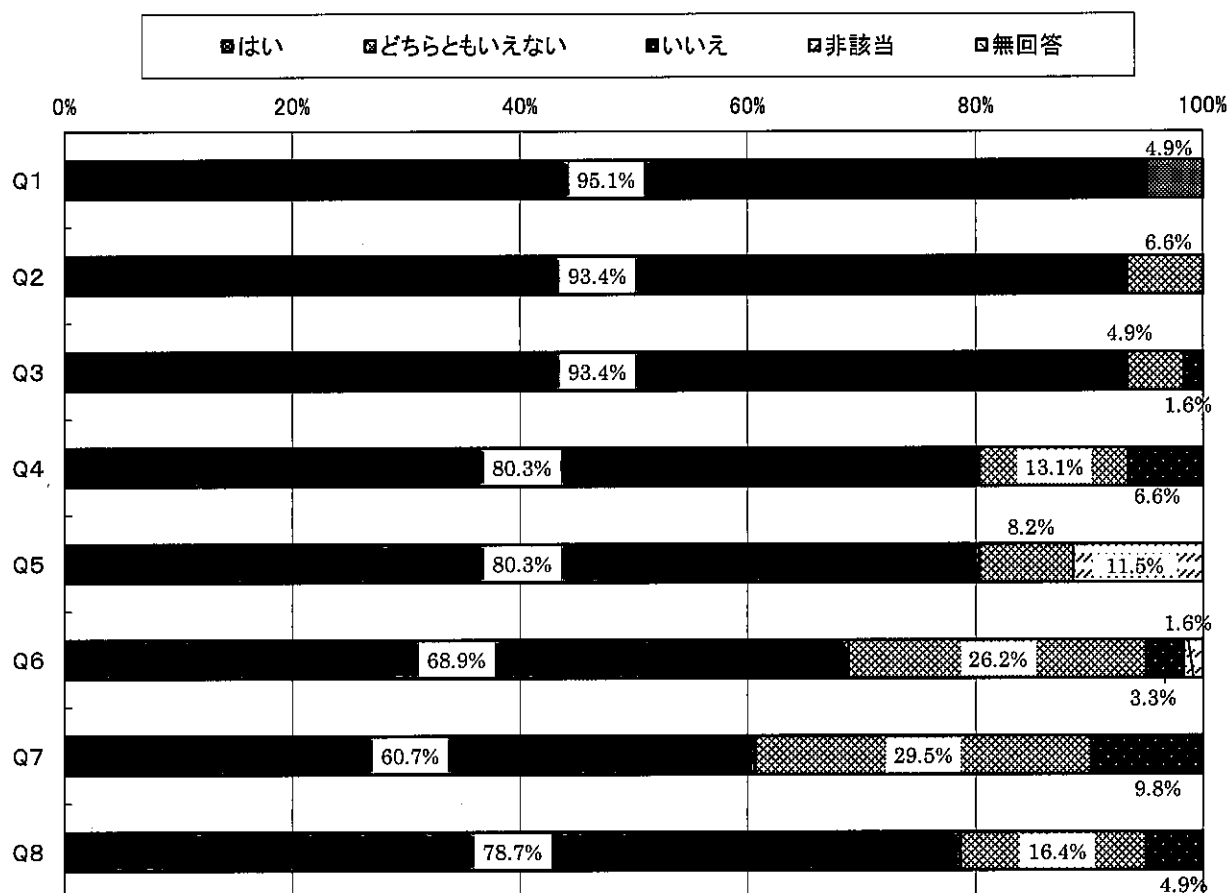


# 3. 井草保育園



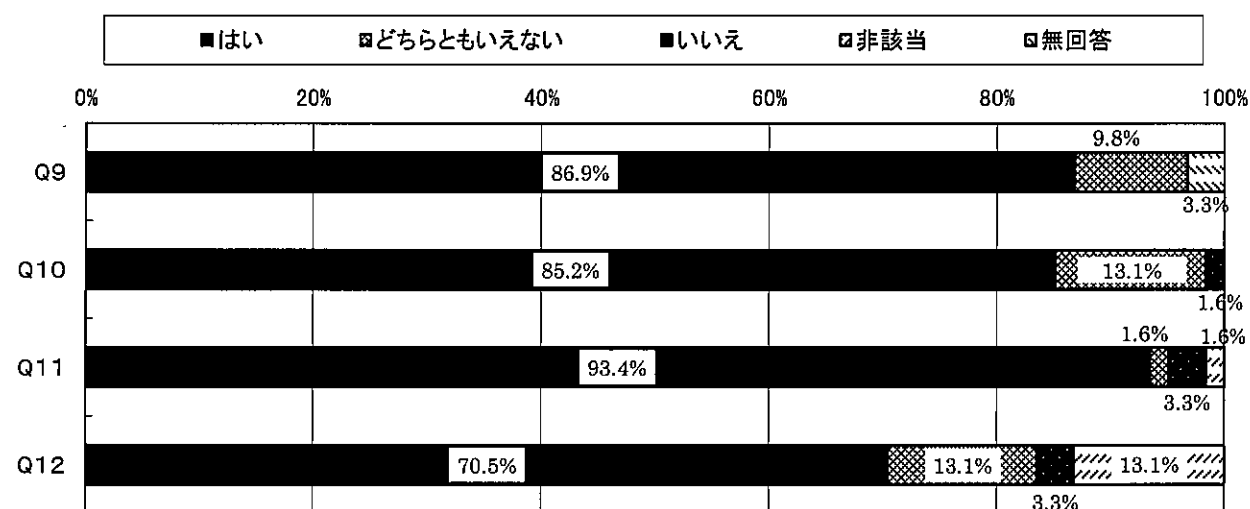
## ＜サービスの提供＞

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	95.1%	4.9%	0.0%	0.0%	0.0%
Q2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	93.4%	6.6%	0.0%	0.0%	0.0%
Q3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	93.4%	4.9%	1.6%	0.0%	0.0%
Q4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	80.3%	13.1%	6.6%	0.0%	0.0%
Q5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	80.3%	8.2%	0.0%	11.5%	0.0%
Q6	安全対策が十分取られていると思いますか	68.9%	26.2%	3.3%	1.6%	0.0%
Q7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	60.7%	29.5%	9.8%	0.0%	0.0%
Q8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	78.7%	16.4%	4.9%	0.0%	0.0%



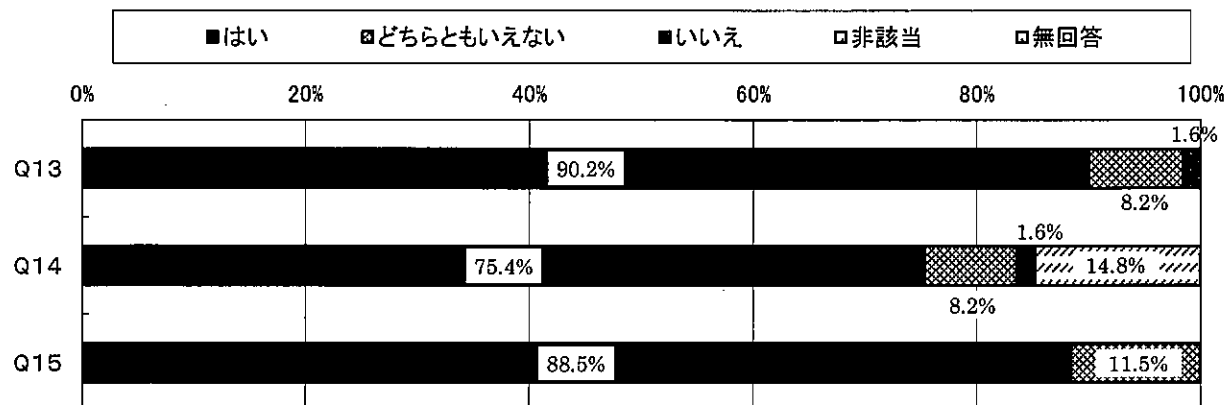
## ＜安心・快適性＞

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q9	園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	86.9%	9.8%	0.0%	0.0%	3.3%
Q10	あなたは、職員の言葉遣いや態度、服装などは適切だと思いますか	85.2%	13.1%	1.6%	0.0%	0.0%
Q11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	93.4%	1.6%	3.3%	1.6%	0.0%
Q12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	70.5%	13.1%	3.3%	13.1%	0.0%



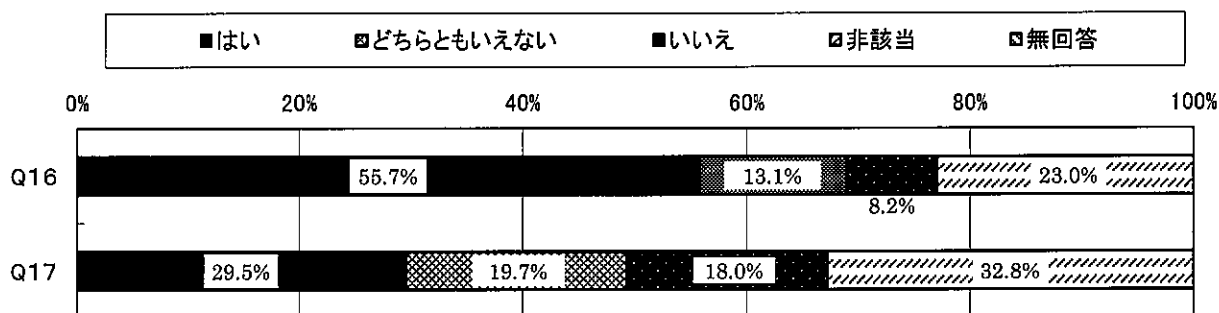
## ＜利用者個人の尊重＞

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q13	あなたは、職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか	90.2%	8.2%	1.6%	0.0%	0.0%
Q14	あなたや子どものプライバシー（他の人に見られたくない、聴かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか	75.4%	8.2%	1.6%	14.8%	0.0%
Q15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか	88.5%	11.5%	0.0%	0.0%	0.0%



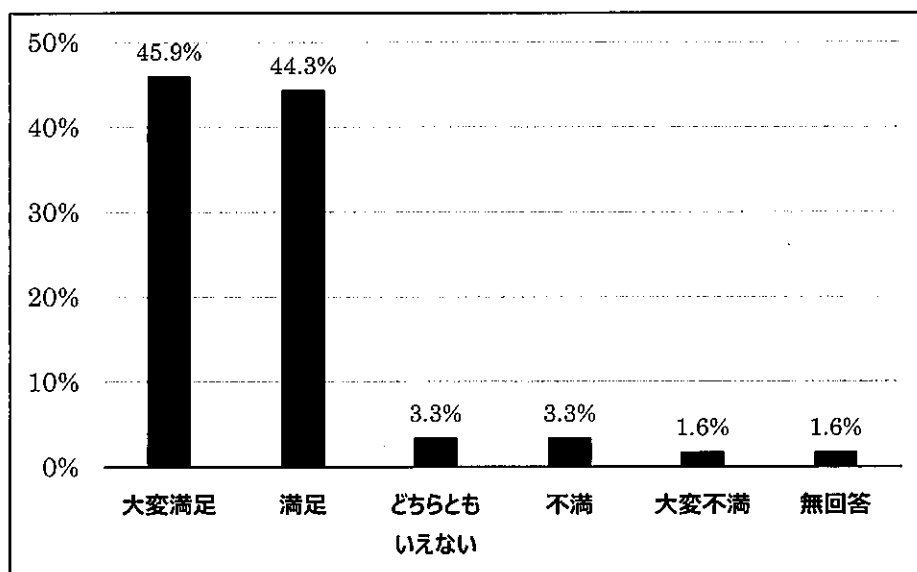
## ＜不満・要望への対応＞

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q16	あなたが不満に思ったことや要望を伝えるとき、職員はきちんと対応してくれていると思いますか	55.7%	13.1%	8.2%	23.0%	0.0%
Q17	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	29.5%	19.7%	18.0%	32.8%	0.0%



## ＜総合的な満足度についてお聞きします＞

総合満足度	回答数	回答率
大変満足	28	45.9%
満足	27	44.3%
どちらともいえない	2	3.3%
不満	2	3.3%
大変不満	1	1.6%
無回答	1	1.6%
合計	61	100.0%



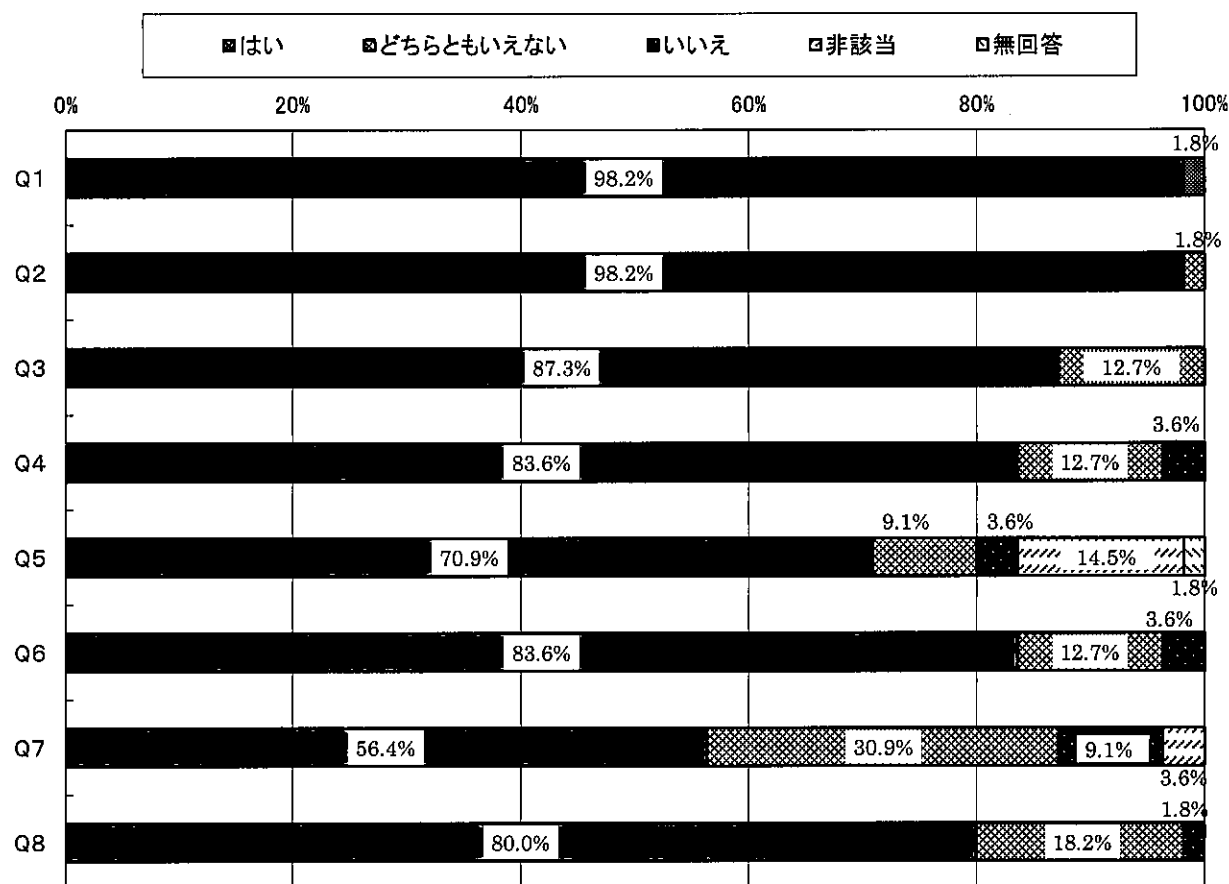


## 4. 善福寺保育園



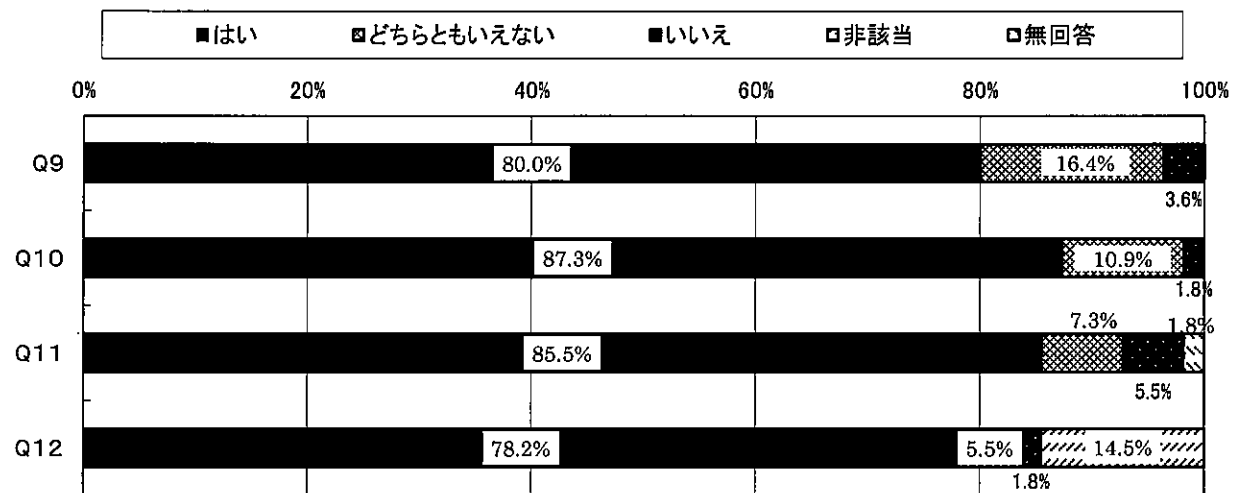
## ＜サービスの提供＞

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	98.2%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%
Q2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	98.2%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%
Q3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	87.3%	12.7%	0.0%	0.0%	0.0%
Q4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	83.6%	12.7%	3.6%	0.0%	0.0%
Q5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	70.9%	9.1%	3.6%	14.5%	1.8%
Q6	安全対策が十分取られていると思いますか	83.6%	12.7%	3.6%	0.0%	0.0%
Q7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	56.4%	30.9%	9.1%	3.6%	0.0%
Q8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	80.0%	18.2%	1.8%	0.0%	0.0%



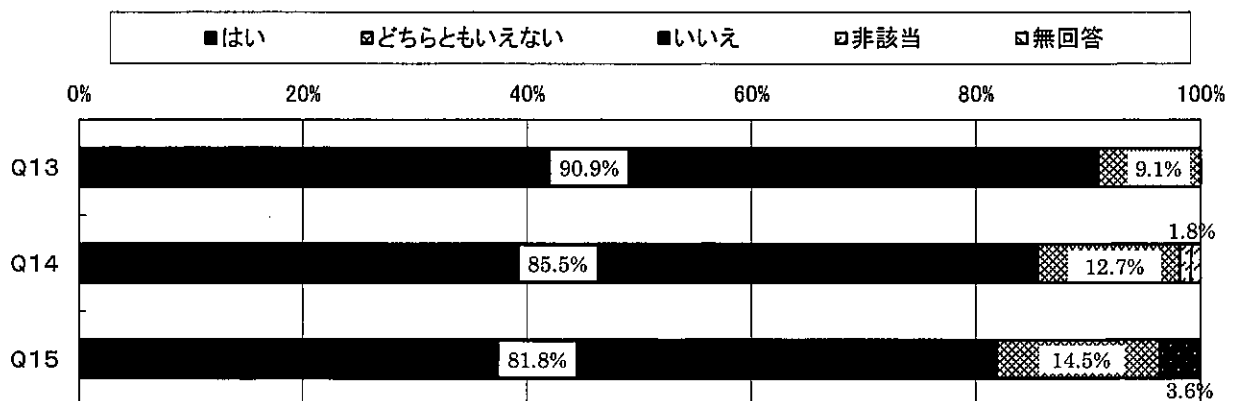
<安心・快適性>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q9	園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	80.0%	16.4%	3.6%	0.0%	0.0%
Q10	あなたは、職員の言葉遣いや態度、服装などは適切だと思えますか	87.3%	10.9%	1.8%	0.0%	0.0%
Q11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	85.5%	7.3%	5.5%	0.0%	1.8%
Q12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	78.2%	5.5%	1.8%	14.5%	0.0%



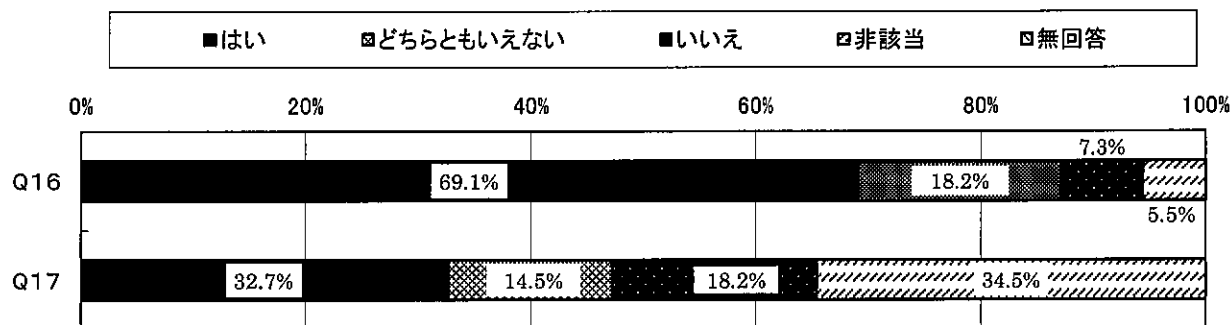
<利用者個人の尊重>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q13	あなたは、職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか	90.9%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
Q14	あなたや子どものプライバシー（他の人に見られたくない、聴かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか	85.5%	12.7%	0.0%	1.8%	0.0%
Q15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか	81.8%	14.5%	3.6%	0.0%	0.0%



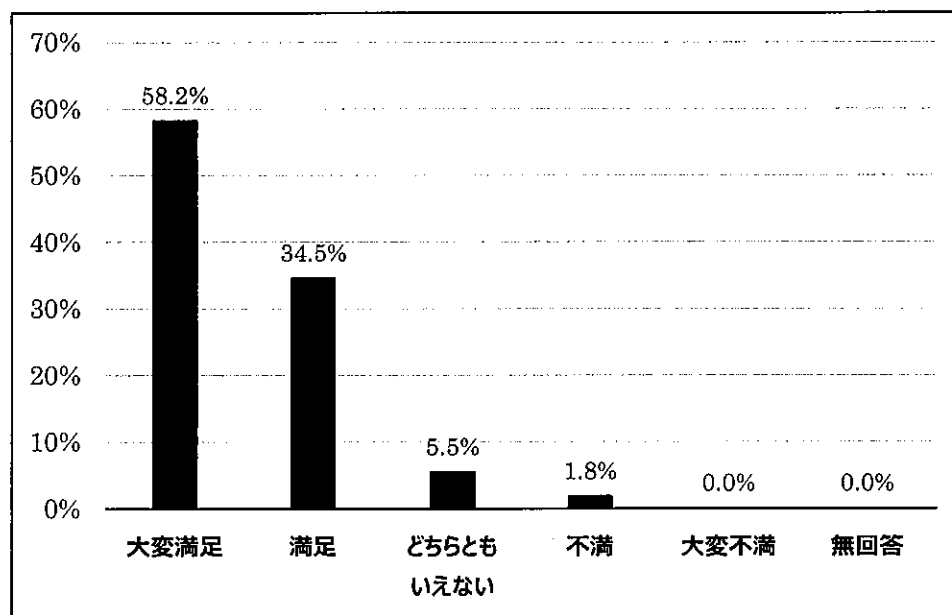
<不満・要望への対応>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q16	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員はきちんと対応してくれていると思いますか	69.1%	18.2%	7.3%	5.5%	0.0%
Q17	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	32.7%	14.5%	18.2%	34.5%	0.0%



<総合的な満足度についてお聞きします>

総合満足度	回答数	回答率
大変満足	32	58.2%
満足	19	34.5%
どちらともいえない	3	5.5%
不満	1	1.8%
大変不満	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	55	100.0%

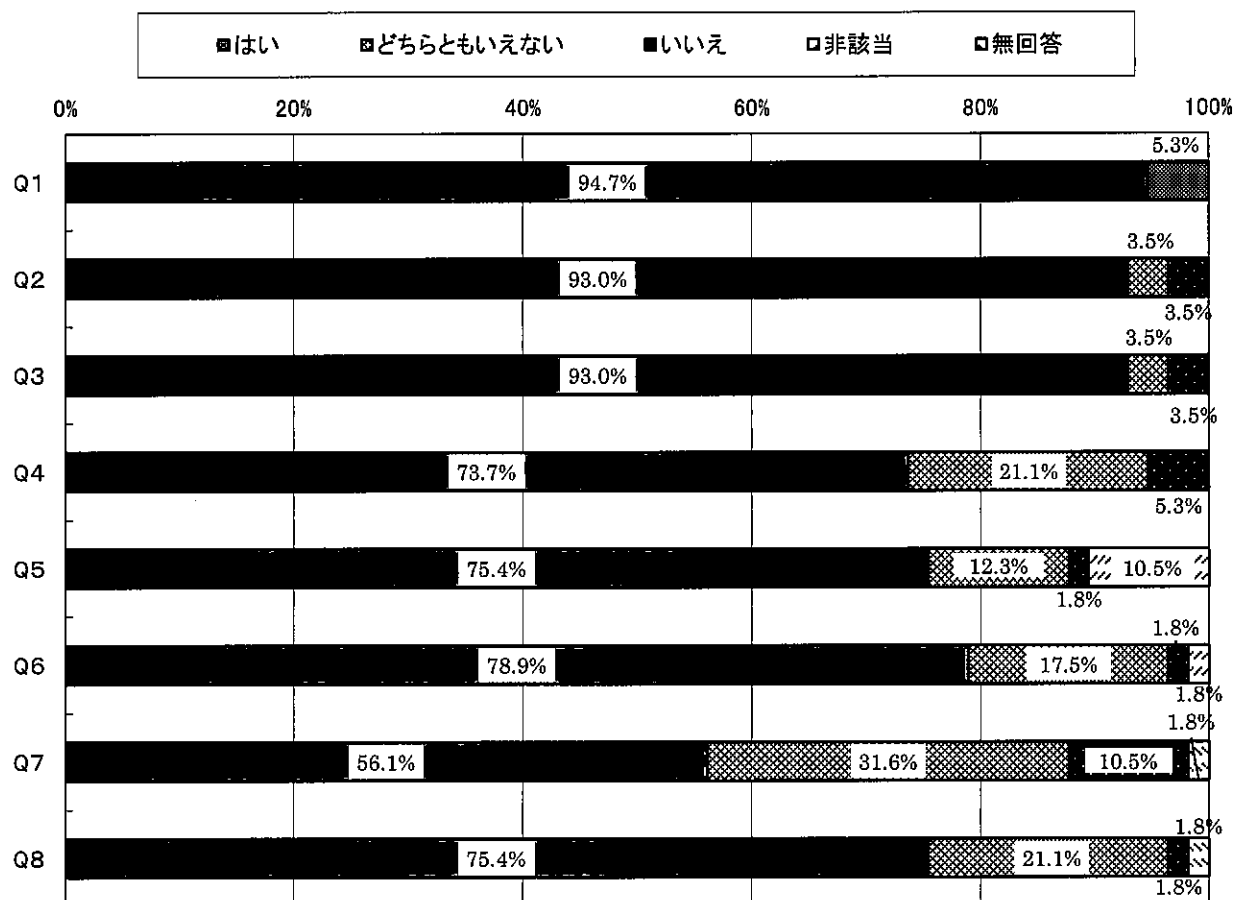


## 5. 和田保育園



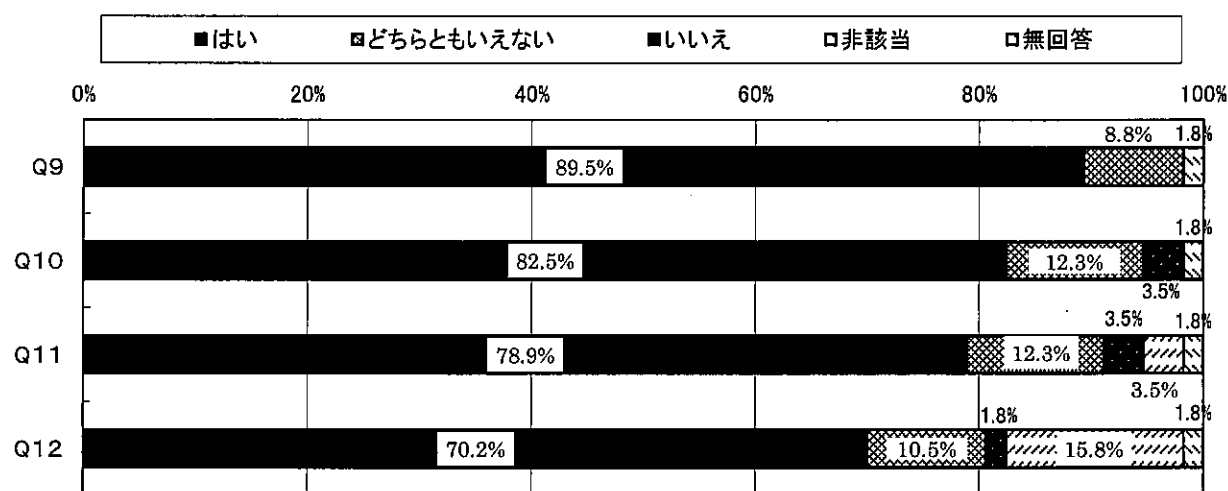
<サービスの提供>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	94.7%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%
Q2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	93.0%	3.5%	3.5%	0.0%	0.0%
Q3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	93.0%	3.5%	3.5%	0.0%	0.0%
Q4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	73.7%	21.1%	5.3%	0.0%	0.0%
Q5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	75.4%	12.3%	1.8%	10.5%	0.0%
Q6	安全対策が十分取られていると思いますか	78.9%	17.5%	1.8%	1.8%	0.0%
Q7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	56.1%	31.6%	10.5%	0.0%	1.8%
Q8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	75.4%	21.1%	1.8%	0.0%	1.8%



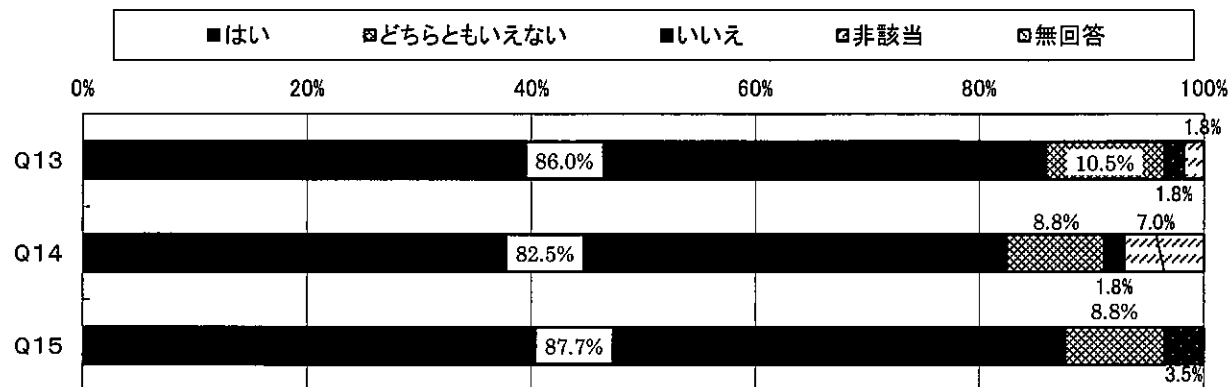
<安心・快適性>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q9	園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	89.5%	8.8%	0.0%	0.0%	1.8%
Q10	あなたは、職員の言葉遣いや態度、服装などは適切だと思いますか	82.5%	12.3%	3.5%	0.0%	1.8%
Q11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	78.9%	12.3%	3.5%	3.5%	1.8%
Q12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	70.2%	10.5%	1.8%	15.8%	1.8%



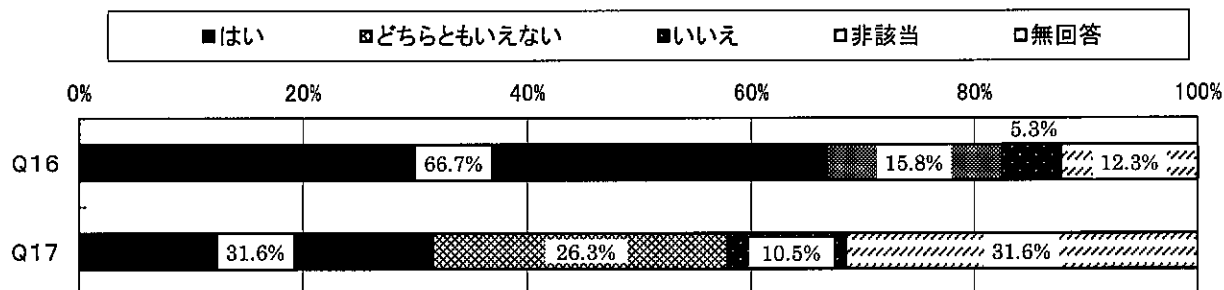
<利用者個人の尊重>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q13	あなたは、職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか	86.0%	10.5%	1.8%	1.8%	0.0%
Q14	あなたや子どものプライバシー（他の人に見られたくない、聴かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか	82.5%	8.8%	1.8%	7.0%	0.0%
Q15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか	87.7%	8.8%	3.5%	0.0%	0.0%



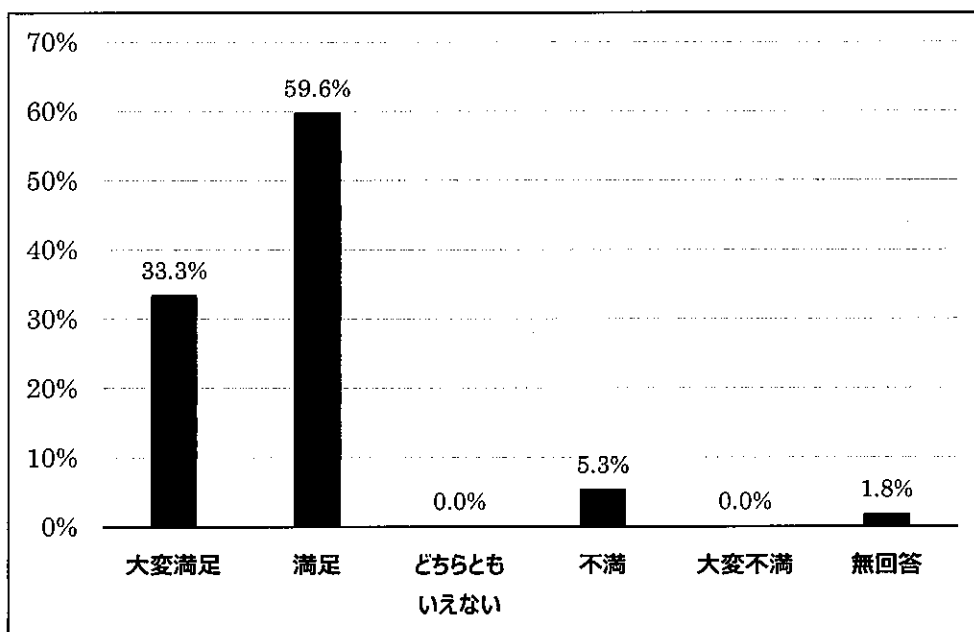
<不満・要望への対応>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q16	あなたが不満に思ったことや要望を伝えるとき、職員はきちんと対応してくれていると思いますか	66.7%	15.8%	5.3%	12.3%	0.0%
Q17	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	31.6%	26.3%	10.5%	31.6%	0.0%



<総合的な満足度についてお聞きします>

総合満足度	回答数	回答率
大変満足	19	33.3%
満足	34	59.6%
どちらともいえない	0	0.0%
不満	3	5.3%
大変不満	0	0.0%
無回答	1	1.8%
合計	57	100.0%



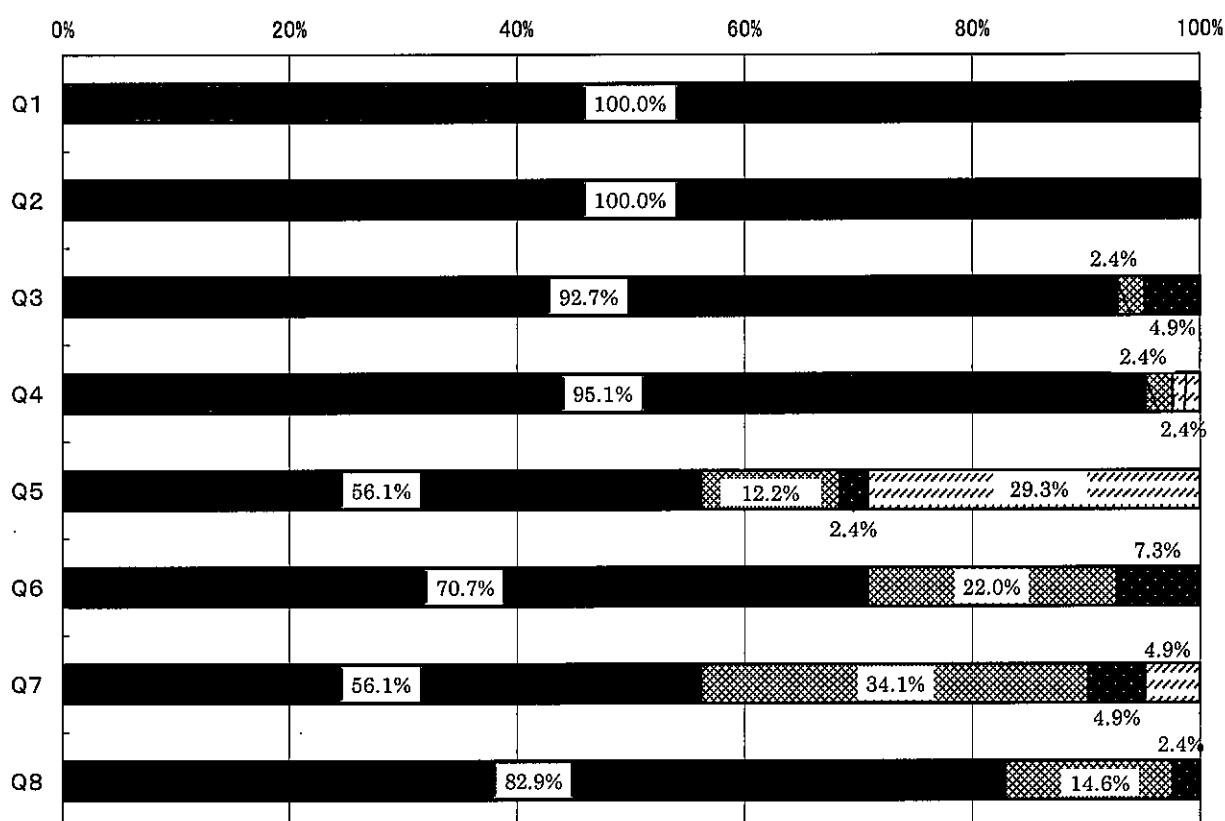


## 6. 永福北保育園



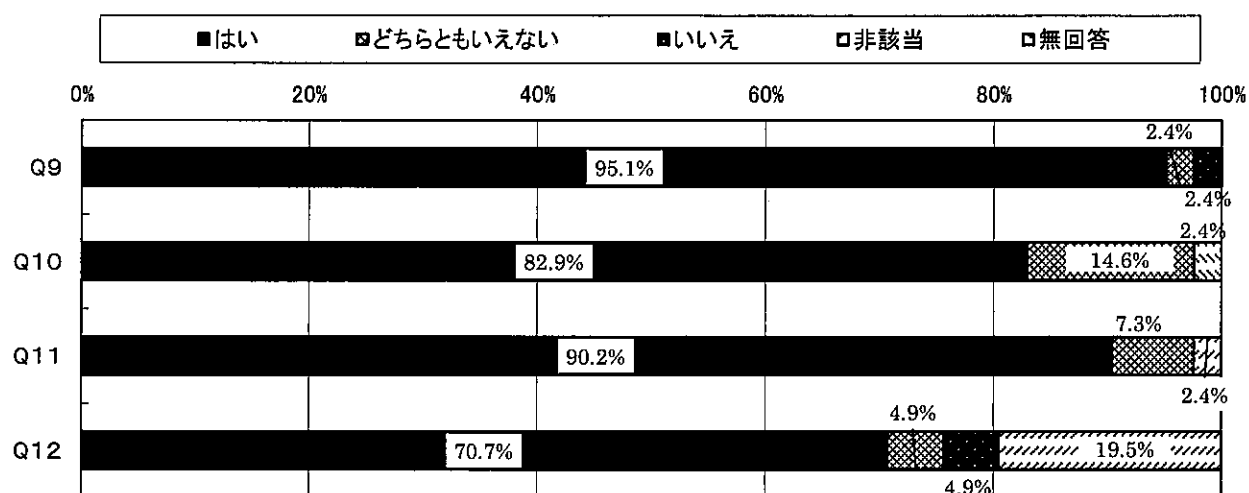
<サービスの提供>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Q2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Q3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	92.7%	2.4%	4.9%	0.0%	0.0%
Q4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	95.1%	2.4%	0.0%	2.4%	0.0%
Q5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	56.1%	12.2%	2.4%	29.3%	0.0%
Q6	安全対策が十分取られていると思いますか	70.7%	22.0%	7.3%	0.0%	0.0%
Q7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	56.1%	34.1%	4.9%	4.9%	0.0%
Q8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	82.9%	14.6%	2.4%	0.0%	0.0%



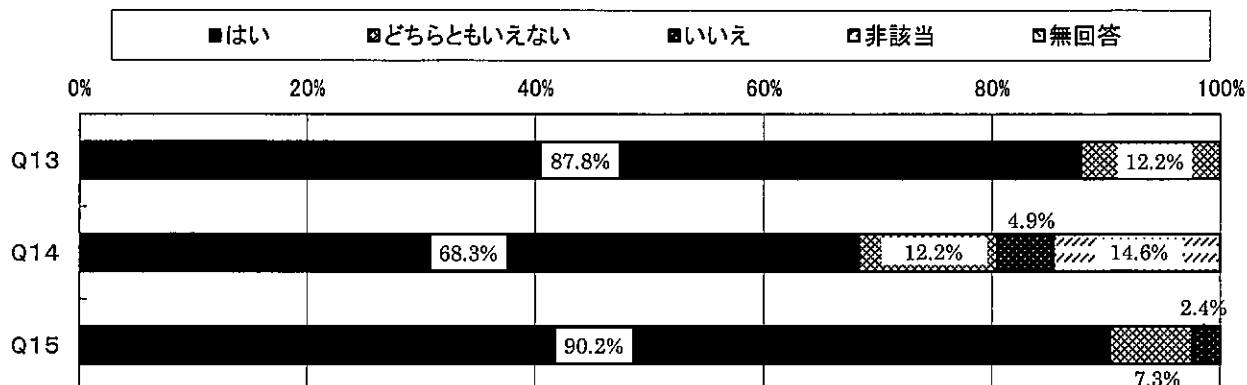
<安心・快適性>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q9	園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	95.1%	2.4%	2.4%	0.0%	0.0%
Q10	あなたは、職員の言葉遣いや態度、服装などは適切だと思えますか	82.9%	14.6%	0.0%	0.0%	2.4%
Q11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	90.2%	7.3%	0.0%	2.4%	0.0%
Q12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	70.7%	4.9%	4.9%	19.5%	0.0%



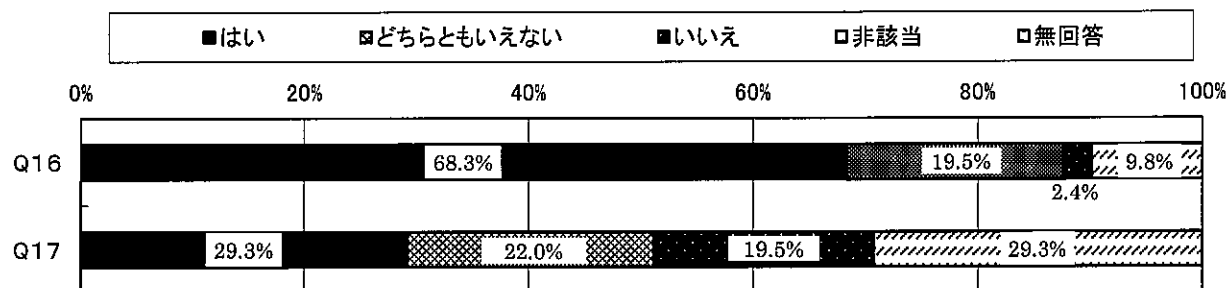
<利用者個人の尊重>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q13	あなたは、職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思えますか	87.8%	12.2%	0.0%	0.0%	0.0%
Q14	あなたや子どものプライバシー（他の人に見られたくない、聴かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思えますか	68.3%	12.2%	4.9%	14.6%	0.0%
Q15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思えますか	90.2%	7.3%	2.4%	0.0%	0.0%



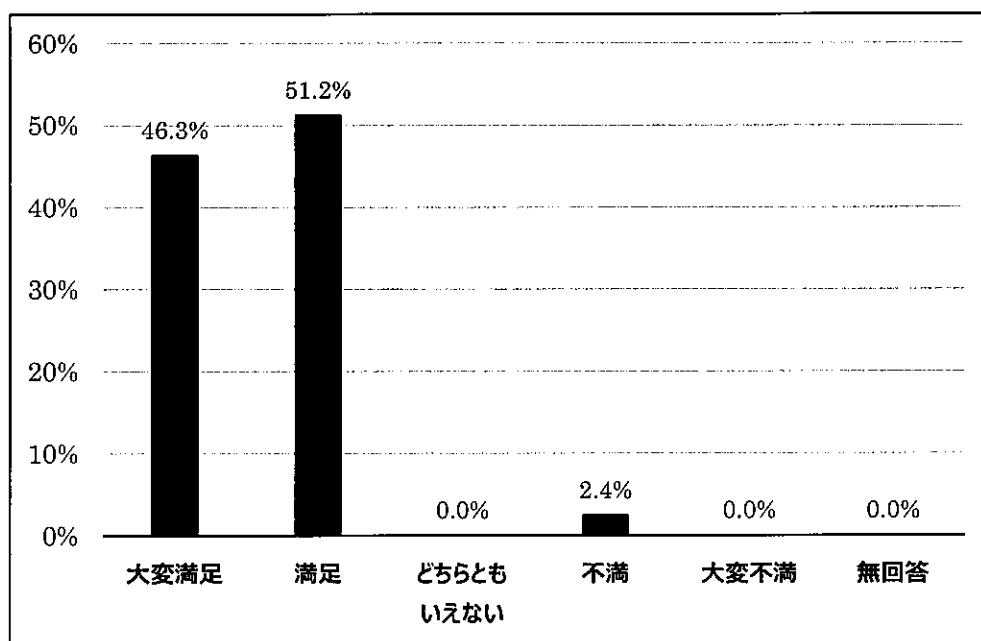
<不満・要望への対応>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q16	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたと、職員はきちんと対応してくれていると思いますか	68.3%	19.5%	2.4%	9.8%	0.0%
Q17	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	29.3%	22.0%	19.5%	29.3%	0.0%



<総合的な満足度についてお聞きします>

総合満足度	回答数	回答率
大変満足	19	46.3%
満足	21	51.2%
どちらともいえない	0	0.0%
不満	1	2.4%
大変不満	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	41	100.0%



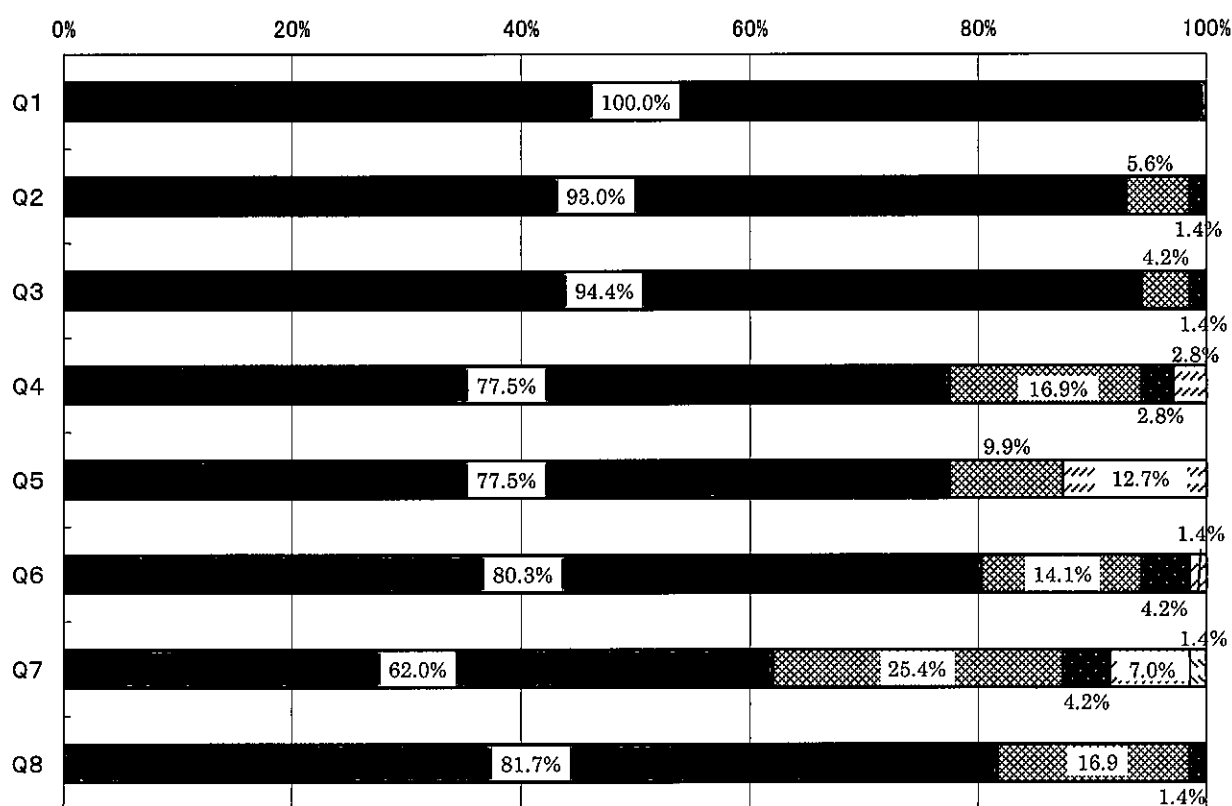
## 7. 高円寺東保育園

高円寺東  
保育園

## ＜サービスの提供＞

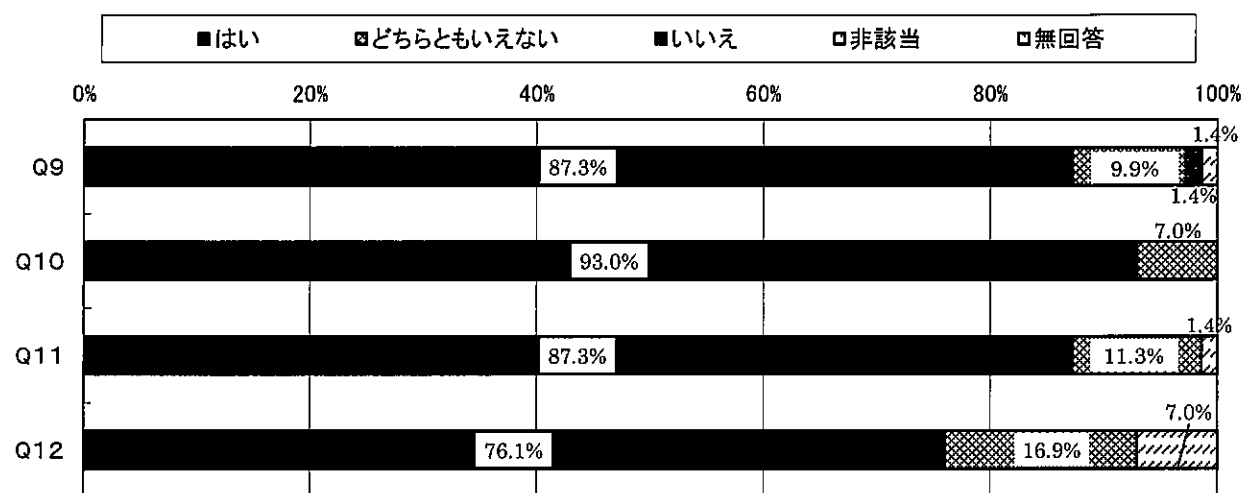
設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Q2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	93.0%	5.6%	1.4%	0.0%	0.0%
Q3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	94.4%	4.2%	1.4%	0.0%	0.0%
Q4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	77.5%	16.9%	2.8%	2.8%	0.0%
Q5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	77.5%	9.9%	0.0%	12.7%	0.0%
Q6	安全対策が十分取られていると思いますか	80.3%	14.1%	4.2%	1.4%	0.0%
Q7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	62.0%	25.4%	4.2%	7.0%	1.4%
Q8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	81.7%	16.9%	1.4%	0.0%	0.0%

■はい □どちらともいえない ■いいえ □非該当 □無回答



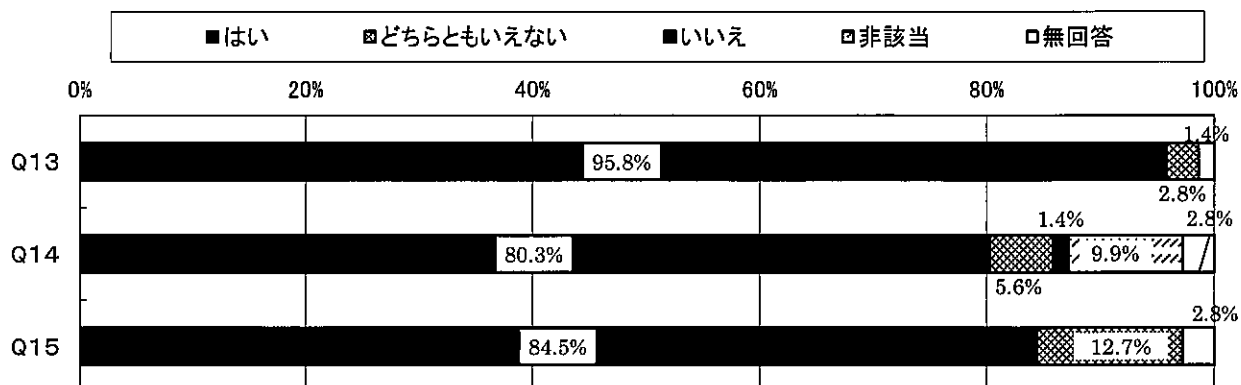
<安心・快適性>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q9	園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	87.3%	9.9%	1.4%	1.4%	0.0%
Q10	あなたは、職員の言葉遣いや態度、服装などは適切だと思いますか	93.0%	7.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Q11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	87.3%	11.3%	0.0%	1.4%	0.0%
Q12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	76.1%	16.9%	0.0%	7.0%	0.0%



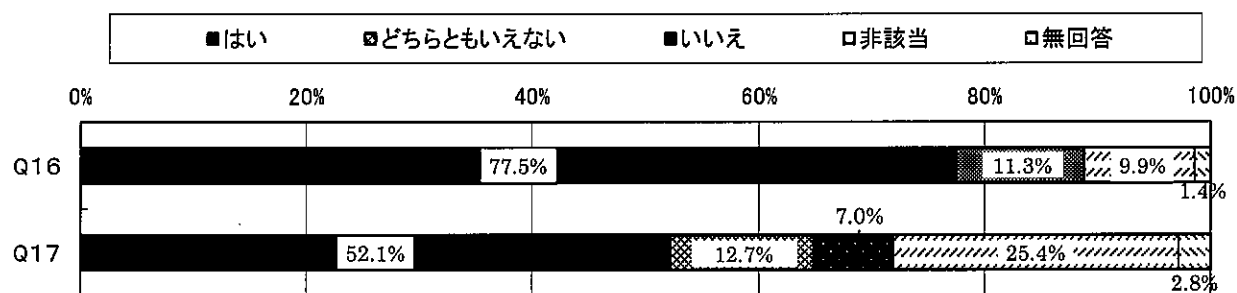
<利用者個人の尊重>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q13	あなたは、職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか	95.8%	2.8%	0.0%	0.0%	1.4%
Q14	あなたや子どものプライバシー（他の人に見られたくない、聴かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか	80.3%	5.6%	1.4%	9.9%	2.8%
Q15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか	84.5%	12.7%	0.0%	0.0%	2.8%



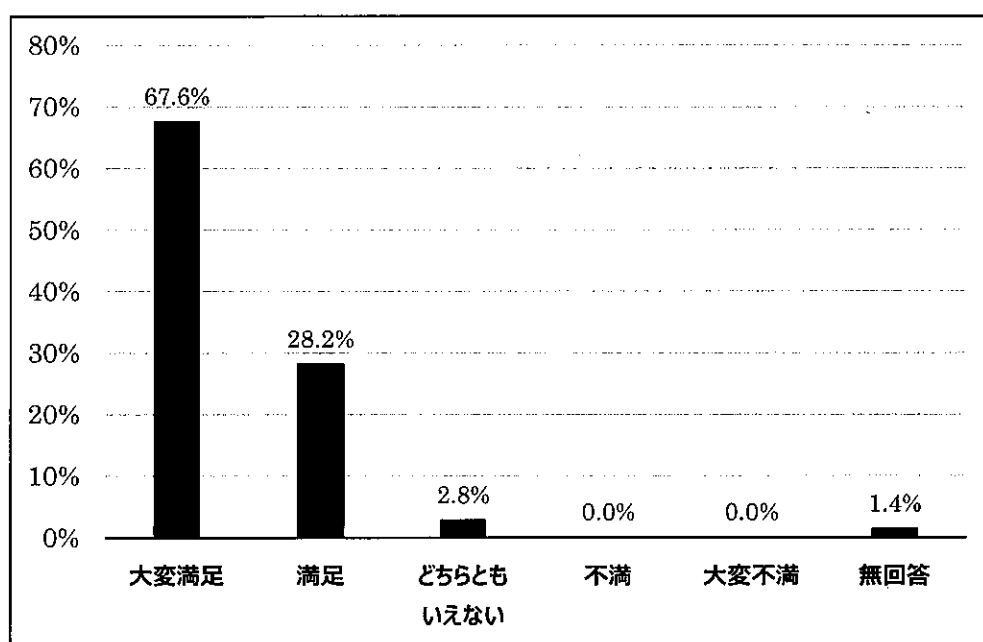
## ＜不満・要望への対応＞

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q16	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたと、職員はきちんと対応してくれていると思いますか	77.5%	11.3%	0.0%	9.9%	1.4%
Q17	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	52.1%	12.7%	7.0%	25.4%	2.8%



## ＜総合的な満足度についてお聞きします＞

総合満足度	回答数	回答率
大変満足	48	67.6%
満足	20	28.2%
どちらともいえない	2	2.8%
不満	0	0.0%
大変不満	0	0.0%
無回答	1	1.4%
合計	71	100.0%



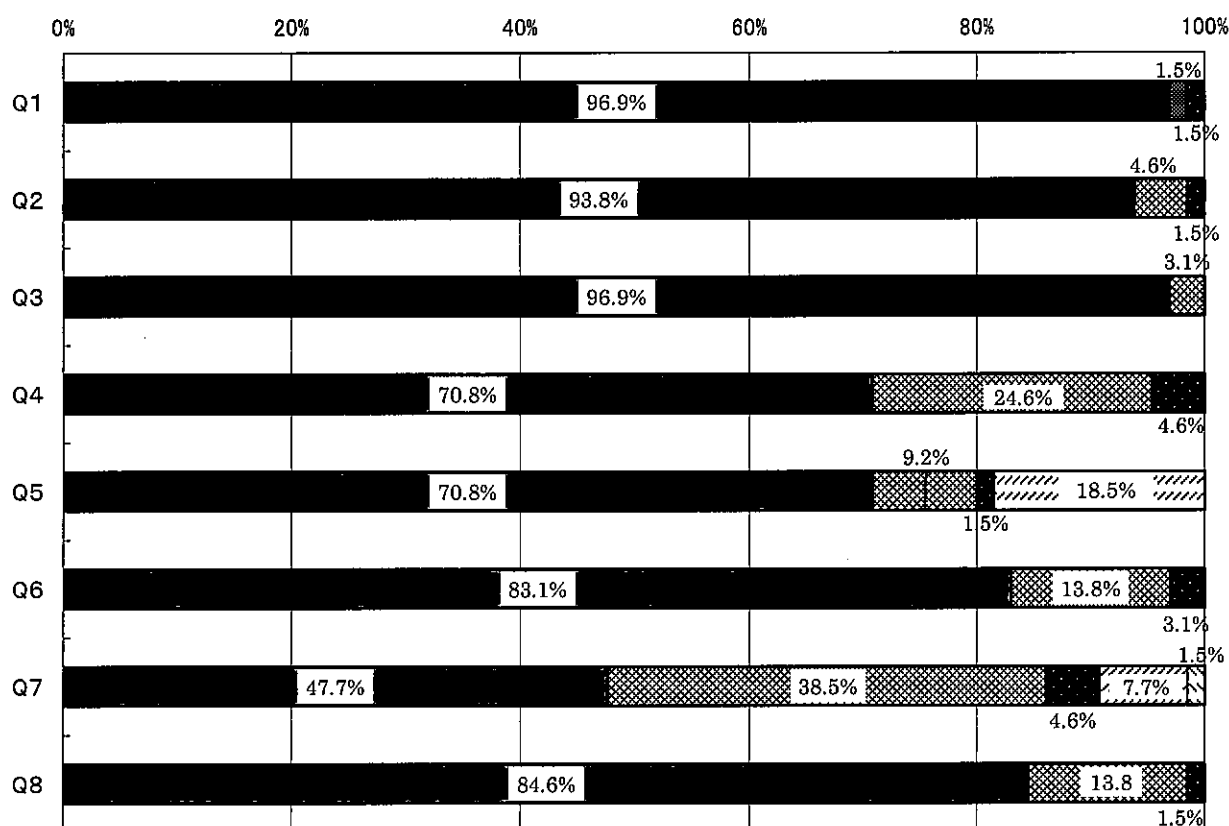


## 8. 下井草保育園



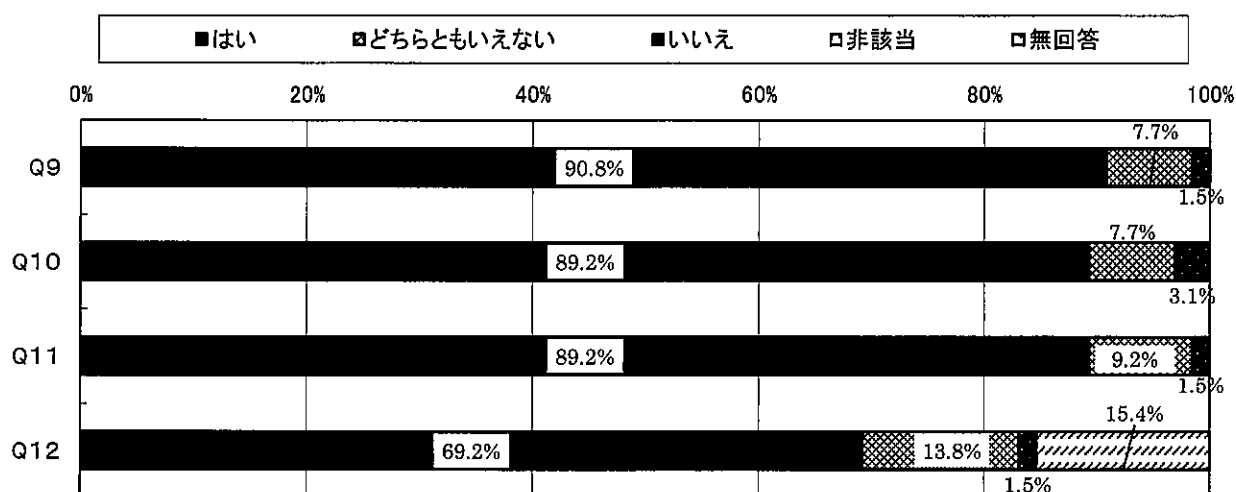
<サービスの提供>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	96.9%	1.5%	1.5%	0.0%	0.0%
Q2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	93.8%	4.6%	1.5%	0.0%	0.0%
Q3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	96.9%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%
Q4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	70.8%	24.6%	4.6%	0.0%	0.0%
Q5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	70.8%	9.2%	1.5%	18.5%	0.0%
Q6	安全対策が十分取られていると思いますか	83.1%	13.8%	3.1%	0.0%	0.0%
Q7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	47.7%	38.5%	4.6%	7.7%	1.5%
Q8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	84.6%	13.8%	1.5%	0.0%	0.0%



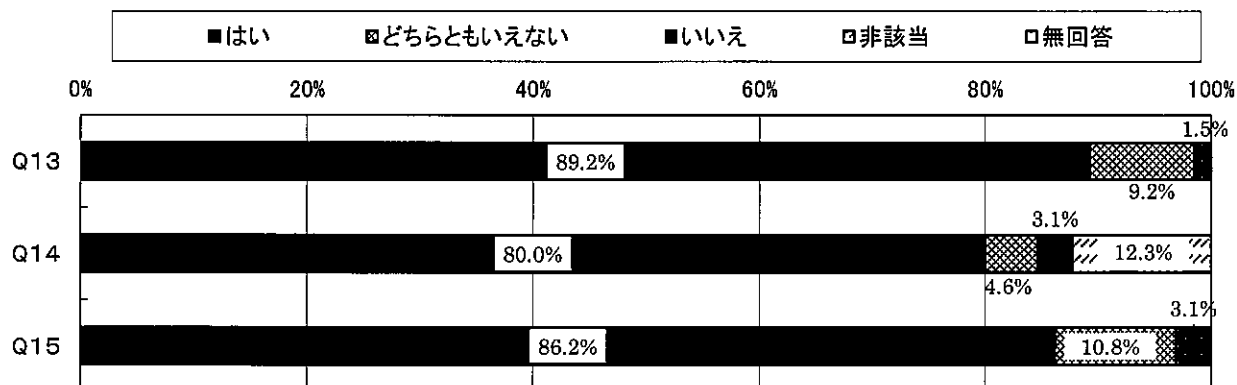
<安心・快適性>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q9	園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	90.8%	7.7%	1.5%	0.0%	0.0%
Q10	あなたは、職員の言葉遣いや態度、服装などは適切だと思いますか	89.2%	7.7%	3.1%	0.0%	0.0%
Q11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	89.2%	9.2%	1.5%	0.0%	0.0%
Q12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	69.2%	13.8%	1.5%	15.4%	0.0%



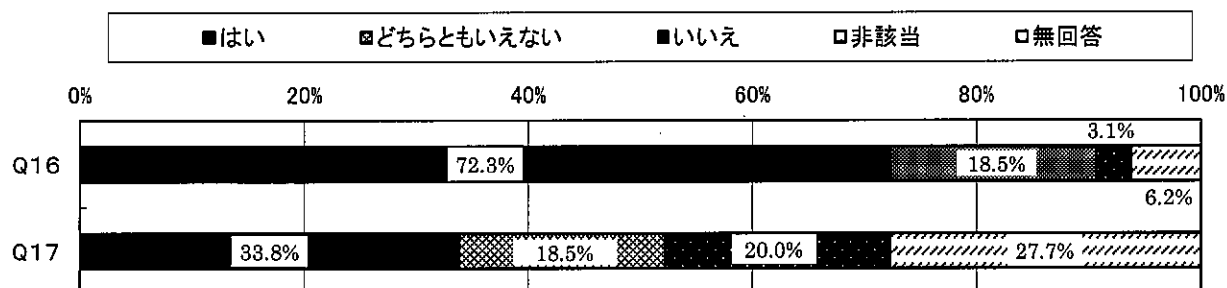
<利用者個人の尊重>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q13	あなたは、職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか	89.2%	9.2%	1.5%	0.0%	0.0%
Q14	あなたや子どものプライバシー（他の人に見られたくない、聴かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか	80.0%	4.6%	3.1%	12.3%	0.0%
Q15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか	86.2%	10.8%	3.1%	0.0%	0.0%



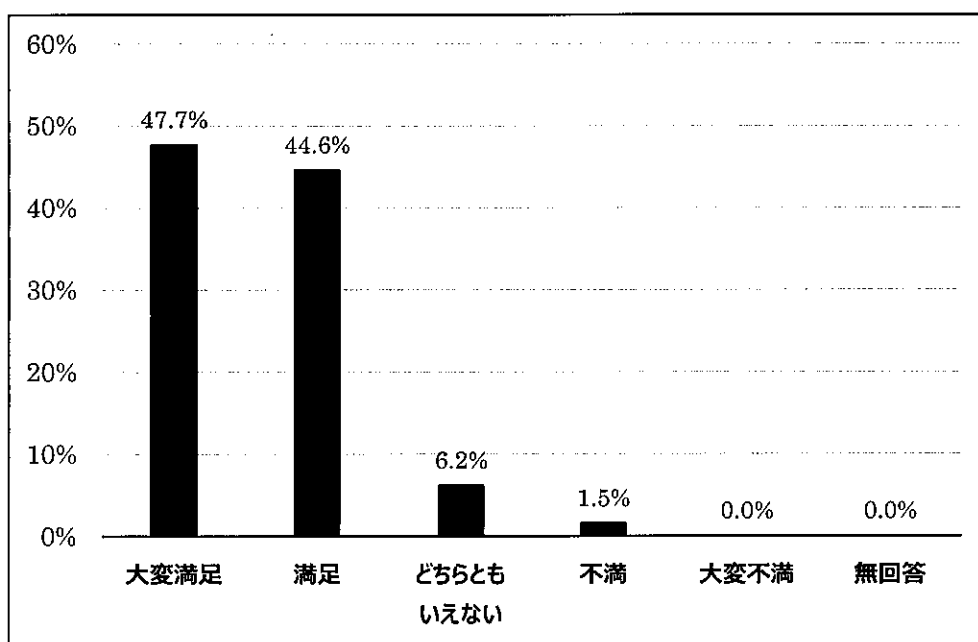
<不満・要望への対応>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q16	あなたが不満に思ったことや要望を伝えるとき、職員はきちんと対応してくれていると思いますか	72.3%	18.5%	3.1%	6.2%	0.0%
Q17	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	33.8%	18.5%	20.0%	27.7%	0.0%



<総合的な満足度についてお聞きします>

総合満足度	回答数	回答率
大変満足	31	47.7%
満足	29	44.6%
どちらともいえない	4	6.2%
不満	1	1.5%
大変不満	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	65	100.0%



## 第2部 事業評価



## 1. 評価の概要

### (1) 評価の目的

組織としてのマネジメント力がどのような状況にあるか、また、現在、提供されているサービスの質がどのような状況であるかについて、第三者評価機関が経営層及び職員の自己評価を事前に分析し、訪問調査を実施した上で合議により評価を行った。

カテゴリー1：リーダーシップと意思決定

カテゴリー2：事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

カテゴリー3：経営における社会的責任

カテゴリー4：リスクマネジメント

カテゴリー5：職員と組織の能力向上

カテゴリー6：サービス提供のプロセス

カテゴリー7：事業所の重要課題に対する組織的な活動

### (2) 評点の付け方

上記カテゴリー1～7（活動状況：今年度）の評点は評価項目ごとに、下記ルールに基づきつける。

評点基準 <カテゴリー1～6>	
評点は、標準項目の実施状況を以下のルールに基づき、記号化したもので、評価項目ごとにつける。	
1 標準項目の実施が確認できた場合は○、未実施・確認不可の場合は●で表す。	
2 ○及び●が混在する場合は、標準項目の順番にかかわらず、左端から○を配列し、●は右端に寄せて表す。	
3 「非該当」が選択された標準項目は、評点の構成要素から除く。	
標語<カテゴリー7>	
目標の設定と取り組み	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</li><li>○ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</li><li>○ 具体的な目標が設定されていなかった</li></ul>
取り組みと検証	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</li><li>○ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない場合を含む</li><li>○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li></ul>
検証結果の反映	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</li><li>○ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</li><li>○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li></ul>

「標準項目」を確認することができる（出来ていることが確認できる）のは、以下の①～③すべてを満たした場合である。

- ① 事業者が当該事項を実施していること  
（項目の示す内容が「できている」状態である）
- ② その実施が継続的（必要性を認識し、計画的）であること  
（偶然できているのではなく、再現性がある）
- ③ その根拠が示せること  
（資料等で具体的に示すことができる）

### （３） 訪問調査とフィードバック

評価者による訪問調査及び評価結果のフィードバックは、以下の日程で行った。

保育園名	訪問調査日	フィードバック訪問日
1. 久我山東保育園	令和４年９月	令和４年１２月
2. 西荻北保育園	令和４年９月	令和４年１２月
3. 井草保育園	令和４年９月	令和４年１２月
4. 善福寺保育園	令和４年９月	令和４年１２月
5. 和田保育園	令和４年９月	令和４年１２月
6. 永福北保育園	令和４年９月	令和４年１２月
7. 高円寺東保育園	令和４年９月	令和４年１２月
8. 下井草保育園	令和４年９月	令和４年１２月



## 2. 各保育園の評価結果報告書

園ごとの評価結果報告書は、次の通りである。

1. 久我山東保育園 .....	49
2. 西荻北保育園 .....	74
3. 井草保育園 .....	99
4. 善福寺保育園 .....	124
5. 和田保育園 .....	149
6. 永福北保育園 .....	174
7. 高円寺東保育園 .....	199
8. 下井草保育園 .....	224



# 1. 久我山東保育園

調査対象

令和4年7月の配布時点で利用している在園児92名の保護者77世帯を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答の回答をいただいた。

調査方法

クラスごとに担任などから保護者に調査票を渡していただき、園内の設置した回収ボックスに投函していただくか、返信用封筒にて直接弊評価機関へ投函していただいた。

利用者総数	92
利用者家族総数(世帯)	77
共通評価項目による調査対象者数	77
共通評価項目による調査の有効回答者数	64
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	83.1

利用者調査全体のコメント

・回答者の属性は次の通りである。調査票記入者：「父」5名(8%)、「母」53名(82%)、「父母一緒に」3名(5%)、無記入3名(5%)。  
 ・総合的な感想は「大変満足」45名(70%)、「満足」18名(28%)、「不満」1名(2%)で、「大変満足」、「満足」と返答した方々は回答者の98%で、当園の保育に関して非常に高い満足を得ている。  
 ・回答者全員が満足と返答していたのは、設問1「心身の発達に役立つ活動」であった。回答者の90%以上が「満足」と返答し、非常に高い満足を得ていた設問は、問2「興味や関心の持てる活動」、問3「食事」、問8「家庭と園の信頼関係」、問10「職員の言葉遣いや態度」、問11「緊急時の対応」、問13「利用者の気持ちの尊重」、問15「保育内容の説明」であった。  
 ・総合的な感想では、「先生は子ども一人ひとりに寄り添ってくれています」、「親が不安に思っていることを相談すると、親身になって子どもの様子を教えてくださいました」などのコメントが記入されていた。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	64	0	0	0
回答者全員が「はい」と返答し、心身の発達に役立つ活動に関して非常に高い満足を得ている。「家庭では経験できないような体験を沢山してくれています」、「家ではカバーしきれないことや遊び、身辺自立などを積極的に行ってくださっています」などのコメントが寄せられていた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	62	1	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の96%で、興味や関心を持てる活動に関して非常に高い満足を得ている。「季節や年齢に合った活動をしていただいていると思います」、「家庭では少し遠慮がちになる砂遊びや水遊びなどを積極的に取り組んでくださっています。子ども自身も楽しんでいると思います」、「虫探しや植物観察、お絵描き、粘土など幅広い遊びを通して、子どもが自分の好きなものを見つけられていると感じます」などのコメントが寄せられていた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	61	2	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の95%で、食事に関して非常に高い満足を得ている。「子どもにも食べやすい大きさと、栄養も考えてくださっているメニューだと思います。参考に家で作っています」、「手づくりのおやつや出汁を取ったお味噌汁などがあり、感謝の気持ちで一杯です」、「保育園の食事のおかげで、苦手な野菜も沢山食べられるようになりました」などのコメントが寄せられていた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	57	5	1	1
「はい」と返答した方々は回答者の88%で、戸外遊びに関して高い満足を得ている。「いつも散歩に連れていってくれるので、子どもも喜んでいきます」、「昆虫や草花に触れて匂いを嗅ぎ、全身で自然を感じているようです」などのコメントが寄せられていた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	49	2	0	13
「はい」と返答した方々は回答者の77%で、保育時間の変更への対応に関して概ね満足を得ている。「いつも電話しても快く受けてくれるので、本当に感謝しています」、「いつも丁寧かつ迅速に対応してくれています」、「急な連絡でも柔軟に対応してくれるので大変助かっています」などのコメントが寄せられていた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	49	12	3	0
「はい」と返答した方々は回答者の76%で、安全対策に関して概ね満足を得ている。「こちらが気がつかなかったことまでその都度細かく点検し、安全対策をしてくれていると思います」などのコメントが寄せられていた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	46	12	3	3
「はい」と返答した方々は回答者の71%で、行事日程の設定に関して概ね満足を得ている。「小学校の行事のことまでも考えてくれました」、「前もって早めに告知があるので日程調整がしやすいです。また、強制参加のものがないので助かっています」、「夕方を実施してくれたり、1か月以上前から周知してくれたりするので調整しやすいです」などのコメントが寄せられていた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	61	1	2	0
「はい」と返答した方々は回答者の95%で、家庭と保育所との信頼関係に関して非常に高い満足を得ている。「連絡帳に一日の様子を細かく書いてくれます」、「いつも相談しても本当に親身になってくれて、親の心のケアまでもしてくれました」などのコメントが寄せられていた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	54	9	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の84%で、施設内の清掃、整理整頓に関して高い満足を得ている。「古い建物ですが、掃除はされています」、「園舎は古いですが、掃除が行き届いていると思います」などのコメントが寄せられていた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	59	4	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の92%で、職員の接遇・態度に関して非常に高い満足を得ている。「気軽に挨拶をしたり、ちょっと立ち話をしたりと楽しくコミュニケーションを図ることができています」などのコメントが寄せられていた。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	61	1	1	1
「はい」と返答した方々は回答者の94%で、緊急時の対応に関して非常に高い満足を得ている。「怪我の対応や報告がとても丁寧なので信頼しています」などのコメントが寄せられていた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	45	8	1	10
「はい」と返答した方々は回答者の69%、「どちらともいえない」13%、「いいえ」2%、非該当16%であった。「けんかをしたとき、きちんと状況を説明してくれました。また、子どもにもそのときに話をしてくれました」、「子どもの気持ちを聞き、お互いどうすればよかったのかと確認して解決させています。そしてその経緯を保護者に説明してくれます」などのコメントが寄せられていた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	60	2	1	1
「はい」と返答した方々は回答者の93%で、子どもの気持ちの尊重に関して非常に高い満足を得ている。「子どもからよく話を聞いたし、何かあれば話すことによって納得させたりしてくれていると感じます」などのコメントが寄せられていた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	50	5	1	8
「はい」と返答した方々は回答者の77%で、プライバシー保護に関して概ね満足を得ている。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	59	4	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の92%で、保育内容の説明に関して非常に高い満足を得ている。「保護者会での保育の説明や子の成長の解説から、保育士のレベルの高さを感じます」、「保護者会などで計画と合わせて伝えてくれるので参考になります」、「写真を掲示してくれたり、保護者会で見せてくれたりしているのわかりやすいです」などのコメントが寄せられていた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	46	4	1	13
「はい」と返答した方々は回答者の72%で、不満や要望への対応に関して概ね満足を得ている。「特に不満などを伝えたことはないですが、こちらからの質問に対していつでも迅速に対応してくれています」、「こちらに疑問などがあったときは、連絡帳や対面どちらともきちんと説明してくれています」などのコメントが寄せられていた。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	24	6	8	26
「はい」と返答した方々は回答者の38%、「どちらともいえない」9%、「いいえ」13%、非該当38%・無記入2%であった。「伝えられたかもしれませんが、覚えていません」などのコメントが寄せられていた。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目	
1	カテゴリー1	
	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
		7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している	
	評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	
	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている		
評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	
	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	
	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		
評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	
	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	
	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	
	<input type="radio"/> 非該当	
カテゴリー1の講評		
<p>保育で何を大切にしていけるのか職員間で話し合い、園目標を改訂している</p> <p>前年度3月の職員会議で、職員個々が保育に対する思いを出し合い、全体的な計画を見直した。あわせて、保育をおこなうにあたって何を大切にしているかなどについて、3つのグループに分かれて話し合い、園目標を全面的に改訂した。このプロセスを通して、自分達が目指す視点が明確になった。園目標などは園だよりや事務所だより、4月の春の保護者会などを通して、保護者に周知している。これらを通して、園の保育に対する思いや方向性を伝えている。</p> <p>当園の5本柱が保育の質向上に向け、リーダーシップを発揮している</p> <p>園長、主査2名、保育向上リーダー2名が当園の5本柱となり、当園の保育の質向上に向け、リーダーシップを発揮している。そのため、日頃から何気ない会話や打ち合わせ、プロジェクト活動、職員会議等で、思いや方向性を発信し、共通認識を持って取り組んでいけるよう努めている。また、園長・主査の今年度の目標を年間指導計画としてまとめ、それを職員へ周知している。保育の方向性について不安や迷いが生じて、園長等に相談に来た時には方向性を示し、課題解決に向けて一緒に考えている。</p> <p>園の重要課題について検討・決定する場を明らかにし、組織ルールに則り運営している</p> <p>園の重要課題について検討・決定する場を明らかにし、組織ルールに則り運営している。毎日の昼のミーティングではアレルギーの献立の確認、当日の子どもの特変事項、保護者からの連絡事項・保育体制などについて共有している。週1回の定例会議では、保育課からの連絡事項の共有や、園の課題などを協議している。月2回の職員会議では、カリキュラムの報告・検討をおこなっている。保育課からの通知文書なども含め知り得た情報は、職員にタイムリーに伝え、職員自らが主体的に受け止め、行動していけるようにしている。</p>		

カテゴリ2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリ1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(○○○○○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	
サブカテゴリ2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(○○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	
カテゴリ2の講評		
<p>幼児クラスは、「連絡メモ」を置き、利用者ニーズの把握に活用している 連絡帳、保護者会、個別面談などを通して、保護者の意向を把握している。また、行事実施後に保護者の感想を記載してもらい、次年度の改善につなげている。また、保護者がいつでも要望・意向を出せるよう、玄関にアンケートBOXを設置している。特に幼児クラスは、連絡帳がないため、「連絡メモ」を置き、利用者ニーズの把握に活用している。他方、各クラスの打ち合わせや、プロジェクト・係担当の打ち合わせなどでは、職員の意向・提案が挙げられ、運営に活かしている。</p> <p>地域懇談会や地域子育てネットワークなどに参加し、地域ニーズを把握している 杉並区では7つの地域に分け、それぞれの地域の各保育所が集まり、地域懇談会を実施している。同懇談会に参加し、職員間の交流を促し、情報交換しながら、より良い園運営に活かしている。また、地域の児童館・保健所・小中学校・図書館などが集まった地域子育てネットワークや、地域行政連絡会、地域教育連絡協議会などに参加し、地域ニーズについて情報交換している。そのほか、杉並区保健福祉事業概要、杉並区保健福祉計画、杉並区実行計画、園長会報告などから、園運営に関わる情報を収集し、必要に応じて職員へ周知している。</p> <p>年度初めに担当を決め、園全体で組織目標の達成に取り組んでいる 区では杉並区総合計画(令和4(2022)年度～令和12(2030)年度)を策定している。また、区子ども家庭部保育課の組織目標を踏まえ、当園では現状の課題を分析し、年度初めに「係の目標シート」を策定し、園の目標を明確化している。また、年度初めに各係、各プロジェクトメンバーを決め、見直しを持って仕事に取り組む仕組みをつくっている。職員育成を踏まえて、若手リーダーを選出することで、それぞれが自覚をもって計画を策定し、職員全体に周知し、園全体で一丸となって目標達成に取り組んでいる。</p>		



3 経営における社会的責任			カテゴリ-3
サブカテゴリ-1(3-1)			
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる			評点(〇〇)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(3-2)			
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている			評点(〇〇)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている			評点(〇〇)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-3(3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる			評点(〇〇)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている			評点(〇〇〇)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当

### カテゴリ3の講評

「保育実践の手引き」と照らし合わせながら、より良い保育に取り組んでいる

児童憲章、子どもの権利条約、保育所保育指針、杉並区作成の「保育実践の手引き」、児童虐待対応マニュアル、保育目標などを通して、保育士として求められる役割と責任を周知している。また、職員会議や園長との面談などを通して、インクルーシブな視点や福祉を担っているという意識を持ち、日々の保育に取り組んでいる。保育向上リーダーは、常に「保育実践の手引き」と照らし合わせながら、区が求めている保育に沿っているかどうか確認している。また、何を大切にしていけるかを職員相互で確認し合い、より良い保育への意識の向上を図っている。

入園説明会やポスター掲示などを通して、苦情・要望等の相談窓口について周知している

入園説明会や、杉並区保健福祉サービス苦情調整委員制度の掲示などを通して、保護者に対して、苦情・要望等の相談窓口について周知している。意見箱を設け、いつでも誰でも苦情や意見を表明できる機会を設けている。また、保護者が気づきや疑問をすぐに相談できる関係作りを目指している。さらに、日々のミーティングで各クラスの状況や気づきを伝えあい、保護者の意見を真摯に受け止め、職員全体で情報を共有している。連絡帳などに記載された意見などについては、早急に対応するよう努めている。

中学生の職場体験を受け入れており、地域貢献の一助としている

保育参観、保育参加、園庭開放、園見学などの機会を通して、園の透明性を担保している。しかし、コロナ禍により、保育参加は、散歩に行くときに公園で待ち合わせをして、保育をみてもらっており、園庭開放は中止としている。このようにコロナ禍に対応した方法でおこなっている。また、中学生の職場体験を受け入れており、貴重な体験ができたとの感想が寄せられた。さらに、地域懇談会への参画を通して、地域の保育所と互いに学び、必要な情報を伝えたり、協力し合える関係作りに努め、地域の保育の質向上に寄与している。

カテゴリー4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリー1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー4の講評		
<p>日頃からさまざまな感染予防に努め、マニュアルに沿った対策を実践している</p> <p>コロナウイルス感染対策として、自宅での検温に加え、登園時にも検温し、手指消毒をしている。保護者にも門で手指消毒をしてもらっている。園庭はクラスごとの入れ替え制で使用した。訪問調査時点で食事場面では飛沫防止のパーテーションを使っていた。看護師の横の連絡会である医療会からのコロナウイルス感染症対策についての情報や園医との連携、情報の共有などにより、感染対策の手順を確認している。日頃からさまざまな感染予防に努め、タイムリーに保護者・職員に周知し、杉並区のマニュアルに沿った対策を実践している。</p> <p>月1回の避難訓練、年3～4回の防犯訓練を実施し、安全確保に取り組んでいる</p> <p>ヒヤリハットがあった時には、自分たちの保育を見直し、予測できる事を洗い出し、全体の共有につなげている。毎月1回、さまざまな場面を想定した防災訓練を実施している。訓練実施後は、反省・記録し、次回の改善につなげている。保護者には「すぐメール」を使って緊急時に連絡できるようにしており、保護者全員が登録している。年3～4回、防犯訓練を実施している。そのうち1回は子どもが参加して実施している。障害児保育指定園でもあるため、すべての子どもが安全に避難できるよう避難方法について職員間で共有している</p> <p>杉並区情報セキュリティ基本方針などに基づき、園の情報管理をおこなっている</p> <p>杉並区情報セキュリティ基本方針、および、杉並区情報セキュリティマネジメントシステム規定、区保育課作成の「情報セキュリティ実施手順」に則り情報を管理・運用している。データ管理はアクセス権限のある媒体を介して保管、紙媒体の個人情報は鍵付きロッカーにて保管している。カメラ・SDカードと、児童票は別々にして「持ち出しチェック表」を使ってダブルチェックし、情報の紛失がないようにしている。また、個人情報の管理や画像データの取り扱いについては入園説明会などで説明し、承諾書にて確認している。</p>		

カテゴリ-5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー5の講評

職員個々の次年度の思い・希望などについて把握し、クラス担任を決めている

正規職員は区人事課が募集・採用し、会計年度任用職員(非常勤職員)は保育課で募集・採用している。園長は、職員個々と「目標申告シート」を使って、仕事に対する目標を定め、目標への達成度を振り返り、能力向上につなげている。区全体で人事異動基準を定め、異動希望調査で個々の希望を確認し、定期的な人事異動を実施し、能力開発の機会としている。クラス担任を決めるときは、持ち上がりに関するルールを踏まえ、職員個々の次年度の思い・希望などを参考にし、園長が最終決定している。

計画的に研修受講できる仕組みがあり、必要な知識・能力の取得・習熟を支援している

杉並区人材育成方針に、区が目指す職員像・職場像、人材育成の基本方針、人材育成の取り組み内容を明記している。人材育成担当部署主催の対象別・層別研修や保育課の実務研修については年間計画が園に周知され、該当者が受講できるよう調整し、研修派遣している。研修受講後は、報告が義務づけられている。また、新人職員や、入職後2年目・3年目の職員には、育成担当者を配置し、計画的に育成している。会計年度任用職員も、保育課主催の研修や園内研修などに参加し、確認テストにより必要な知識が取得できるようにしている。

職員個々がそれぞれの思いや得意なことを発揮し、やる気向上につなげている

職員個々がそれぞれの思いや得意なことを発揮し、職員個々の得意なことを保育の現場で発揮してもらうことで、やる気向上につなげている。上手くいったことを認め、失敗も出し合えるようなチームづくりや、ワークライフバランスにも配慮した職場環境づくりに取り組んでいる。課題があった時、他人事にするのではなく、声をかけ合い、協力していくという人間関係の構築に努めている。コロナウイルス感染症や、今年度2月の新園舎移転と重大業務を担っているが、チームワークで意欲的に取り組んでいる。

カテゴリー7	
7 事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
評価項目1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)	
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)	
前年度実施してきた衛生面や感染症予防対策を再確認・継続しながら、保育環境に取り入れていくことを重要課題とし、次の取り組みをおこなった。これまで園内で感染が拡大しやすかった感染症胃腸炎の対応の仕方について、看護師が講師となり、実技を伴う研修を実施した。また、エプロン、マスク、手袋、使い捨て雑巾、ビニール袋、嘔吐対応セットなどの必要物品をクラスごとに整備した。これらに加え、看護師が中心となり、コロナウイルス感染症の研修を実施した。子ども達が安心して過ごせる環境整備として、これまで積み重ねてきた感染症対策を活かしながら、今後も対策を継続していくこととしている。	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
手指の消毒や、おもちゃや子どもが触るところへの消毒の徹底、土曜日には平日できない場所や物の消毒をおこなうなど、感染予防に取り組んだ。また、感染予防に取り組みながら、行事内容を検討し、子どもの経験を大切に活動がおこなえることを心がけてきた。職員アンケートでも「コロナ禍で行事などに制限はあるものの、前年度にできたことを踏まえ、今年度はより何が出来るか、子どもたちにとって最適な方法を検討し、アイデアを持ち寄り実行に移している」などのコメントが寄せられていた。コロナ禍の状況下、感染対策を十全に実施し、子ども達が安心安全に過ごせるよう工夫をし、日々の保育に取り組んだ。	

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

前年度、保護者との信頼関係をつくり、子育てを意識した保育をおこなっていくことを重点課題とし、次の取り組みをおこなった。クラスだより、貼り出し日誌、写真掲示などにより保護者に園やクラスの状況を知らせるよう心がけた。また、保護者への情報提供や対応は、園全体で共有し、早急な対応を心がけた。園内研修などで、講師を呼び、より良い保護者対応ができるよう研鑽を深めた。また、保護者に寄り添うことも学んだ。保護者の思いや個性に合わせた対応をすることで、保護者に伝えたいことをわかりやすく簡潔に伝える意識を持つようになった。コロナ禍でも、行事のあり方などについてさまざまな方法を考えることで、保育の楽しさを保護者に伝えようとする意識や意欲につながった。さらに、新園舎移転については、保護者にも適宜情報提供していくことや、保護者の思いに寄り添いながら、子どもの成長と一緒に喜び合える関係づくりに努め、保護者自身も子育てについて考えていけることに引き続き取り組むこととしている。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</li> </ul>
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</li> <li><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</li> <li><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

保護者との信頼関係をつくり、子育てを意識した保育をおこなうことを目標とし、保護者が求めている情報を見通し、早めに発信していくことに取り組んだ。子どもの発達や今の様子など、個々の保護者に合った伝え方で、丁寧に対応しながら、クラスや保育の思いを知ってもらえるよう努めた。また、保育の見える化を図り、保育の大切さを伝えることで、子育ての楽しさへとつなげていくことにも取り組んだ。さらに個々の保護者の状況に応じて、園ができる支援をおこないながら、安心して子育てできるよう取り組んだ。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ-1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-1の講評		
<p>区の公式ホームページやアプリで情報提供している</p> <p>杉並区公式ホームページの「保幼(ぼよ)ナビ」や、区の公式アプリ「すぎぼよ(保幼)」で情報提供している。区のホームページの施設案内には園の住所、電話番号、年齢別定員、保育時間、延長保育時間などの園概要、外観写真、地図、保育目標、主な行事、園の見取り図、保育室の写真に掲載している。また、園の特色として、「園庭が広く、たくさんの緑や花などに囲まれ、築山の存在や乳児期よりのリズム遊びへの取り組み、身体運動の充実など」と紹介している。</p> <p>区立直営保育園であり、行政や関係機関と情報交換し連携している。</p> <p>区立直営保育園であり、区役所の保育課には延長保育利用児数報告や施設管理に関することなど、さまざまな報告をしている。園長は月2回区立保育園長会に参加して、行政からの情報提供を受け、課題検討などを行っている。主査は主査会、看護師主査は医療会、医療職主査会にそれぞれ月1回参加して、区内関係機関との情報共有や課題検討を行っている。また、地域の小学校や子供園、児童館には園だよりを届けている。さらに、地域の小学校、中学校、公私立保育園、子供園、児童館などが参加しているネットワーク事業に参加して地域の課題を共有している。</p> <p>見学希望は日程調整して受け、子どもの遊んでいる様子を見てもらい説明している</p> <p>電話による問い合わせがあった際に見学日を伝え、予定が合わない場合には、日程調整して受けている。主に主査が担当して、時間は子どもたちの遊んでいる様子を見てもらえるように、10時から11時頃、夕方は16時頃を薦めている。コロナ禍のため、室内の見学は控えてもらい、園庭で遊んでいる様子を見てもらいながら園概要を基に説明して、見学者からの質問に応じている。本年度2月には道路向かい側の新園舎に引っ越すことが決まっており、電話による園の取り組みへの問い合わせにも応じている。</p>		



サブカテゴリー2			
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリー2の講評			
<p>入園説明会を実施して基本的ルールや重要事項について説明している</p> <p>4月入園の内定者向けには、2月頃に園医による健康診断や園長、保育士、看護師などによる面接を実施している。その中で健康や発育状態、入園までの生活状況などを把握し、保護者の就労や家庭の状況、意向を聴き、保育時間を決め、クラスの様子や持ち物の説明などもしている。また、3月の土曜日には入園説明会を開催し、「久我山東保育園のしおり」や「保育園ご利用にあたって[重要なお知らせ]」を基に、園の概要や保育目標、送迎などのお願事項、個人情報保護、緊急時の対応、健康管理などを説明している。</p> <p>入園当初には子どもの不安やストレス軽減のために慣れ保育を実施している</p> <p>入園開始直後の子どもや保護者の不安を軽減するために、新入園の0・1歳児は、保護者にも園の様子を知ってもらえるように初日は親子で過ごしてもらっている。コロナ禍のために、数組ずつ時間をずらして登園をお願いしている。また、食事の時間には、食事の様子を見てもらっている。2日目からは親子分離で短時間から預かり、次第に預かる時間を延ばしているが、子どもの様子や慣れ具合、保護者の就労状況や職場復帰時期などにより、個別に対応している。慣れ保育はおおよそ1週間程度を目安にしている。</p> <p>卒園や退園などの際には子どもや保護者の不安軽減に努めている</p> <p>区内の公立園への転園には、保護者の了解を得て園同士で子どもに関する情報をやり取りしている。その他の転園・退園には、保護者に新しい育児環境への不安はないかと声掛けし、相談に応じたりして、不安軽減に努めている。退園・転園児にはクラスでお別れ会をして手作りのメッセージカードなどを渡している。卒園児の就学先には「保育所児童保育要録」の写しを送付して、スムーズな引き継ぎができるようにしている。卒園した1年生にはコロナ禍で園行事に招待できないため、「学校に慣れましたか」、などの内容で葉書を郵送している。</p>			

サブカテゴリー3

3 個別状況の記録と計画策定

サブカテゴリー毎の  
標準項目実施状況

12/12

評価項目1

定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

評価項目2

全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直ししている	○非該当

評価項目3

子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

サブカテゴリー3の講評

子どもの心身や生活の状況を見守りや保育日誌などに記録し把握している

入園前には健康診断や面接により、出生歴や成育歴、発育経過、既往歴、健康上の注意点を把握し、授乳や食事、睡眠、排せつ、言語、運動・遊び、入園までの保育状況など、保育をする上で必要な情報を児童票に記録し把握している。日々の受け入れ時には、連絡帳や口頭により子どもの健康状態を把握して保育し、園での生活や活動の様子、健康状態などを保育日誌や保健日誌に記入している。保育の経過記録は児童票に、0・1歳児は1か月ごと、2歳児は2か月ごと、3～5歳児は3か月ごとに記載している。

子どもの姿やクラスの実態を担任同士で振り返り、指導計画を作成している

全体的な計画を踏まえて、子どもの年齢の特徴やクラスの実態に即して年間指導計画を作成している。それらの計画を基に、担任同士で子どもの姿やクラスの状況を振り返り、保護者の意見や意向なども取り入れながら、月目標や子どもたちが経験する具体的な内容と予想される子どもの姿、環境構成・配慮点からなる次月の指導計画を作成している。毎月、全クラスの個別配慮や特別な配慮を要する園児の個別計画も作成している。年間指導計画は前期の保護者会で配付説明し、月間指導計画は全クラス分を掲示して見てもらっている。

カリキュラム会議や毎日のミーティング等で子どもの状況等に関する情報を共有している

月間指導計画は月2日間カリキュラム検討会議を開催して、クラスや園児の個別状況などを報告し、課題をグループ討議して職員間で共有している。その他にも子どもに関する情報共有のためにさまざまな会議を開催している。平日の昼間のミーティングでは午前中の保育や保護者・子どもの個別の状況について共有し、翌日の職員体制や行事などの確認をしている。週1回の定例職員会議や月1回の夕方からの職員会議、その他、幼児・乳児打ち合わせなどでも保育について話し合い、子どもに関する情報の共有をしている。

サブカテゴリ-5			
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当	
サブカテゴリ-5の講評			
<p>子どものプライバシー保護の徹底に努めている</p> <p>個人情報の取り扱いについては重要事項説明書で書類の厳重な管理、個人情報の取り扱いを徹底する旨を説明し、保育中のビデオ撮影や写真撮影、映像データの取り扱いには区立園としての共通ルールを文書で伝え、それに沿った対応をしている。また、子どもの羞恥心への配慮として、水遊びやプール遊び時には外部から見えないように目隠しや仕切りを設置し、着替える際には子どもそれぞれがラップタオルを使用し、全裸にならずに着替える方法を伝えている。おむつ交換やおもらしの時の着替えなども他人から見えない場所や仕切りを設置した場所で行っている。</p> <p>「一人ひとり違っていい」との保育目標の基、子どもの状況に合わせた保育をしている</p> <p>保育目標に「一人ひとり違っていい」という考えを明記して、一人ひとりの子どもや保護者の状況に合わせて保育をしている。リズム活動などの集団活動に入りたくない、一緒にやりたくないような時には、参加を強制せずに子どもの心に寄り添い、「今はやりたくないんだね、友だちがしているのをみてみよう」などに対応し、子どもがやりたくなるのを待ちながら、やる気になった時にはいつでも受け入れている。</p> <p>虐待防止や保護者支援について学び、意識して保育している</p> <p>毎年、子どもの虐待や保護者支援に関する研修に参加して学んでいる。前年度の研修テーマは「保育現場での子どもの人権～保護者を支え、職員を支える主査の役割」であった。研修報告をおこない、資料を掲示して職員に周知している。職員は日頃から子ども虐待の早期発見や防止について意識をして保育し、日常の着替えや身体測定時に体の傷や傷跡の有無を確認し、子どもの日頃の言動にも注意を払い、必要に応じて記録を取り園長に報告し、マニュアルに沿った対応をしている。また、保護者支援が必要と判断した場合には対応策を検討している。</p>			

サブカテゴリ6

6 事業所業務の標準化

サブカテゴリ毎の  
標準項目実施状況

5/5

評価項目1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ6の講評

区立園共通の手引書類や園独自の手引書を整備して活用している

区立園共通の「保育実践方針」、「保育実践の手引き」は職員が各自で持っており、「保育園危機管理マニュアル」、「園周辺の公園ガイド」などは事務室の棚に置き、常に見ることができるようにしている。園独自の手引書「久我山東保育園諸計画」を作成し、園目標や全体的な計画、年間行事予定、避難・防災・防犯訓練計画、不審者対応フローチャート、会計年度任用職員の朝夕・土曜日の仕事内容、与薬・座薬・嘔吐時の対応マニュアルなどを綴っている。この手引書は各クラスと調理室に1部ずつ用意して、必要な時に確認できるようにしている。

業務全般について半期反省や年度末反省、随時見直しなどを行っている

半期反省、年間反省を実施して、保育を含めた業務全般について振り返り、必要に応じて見直している。園独自の手引書「久我山東保育園諸計画」は年度末に見直し改訂している。朝夕・土曜日の仕事内容やパート職員の仕事内容などは、子どもの成長や利用児数の変化などで見直しが必要と判断した場合には、随時検討して見直している。

保護者や職員から寄せられる意見や提案は検討し、必要に応じて見直している

園庭側テラスの外靴での立ち入り場所が分かりづらいという保護者からの意見を受けて、お日様マークを付けてわかりやすくしている。朝夕の登降園時の自転車の置き場を明確にした方が良いとの職員からの意見があり、道路に面した園舎壁面にお日様マークを付けて駐輪スペースをわかりやすく表示している。玄関や階段踊り場には手指消毒液のポンプを用意していたが、それだけでなくホッとする装飾をしたいという職員の提案で、季節を感じさせる草花や心和ませる手作り人形などの飾り付けをし、保護者にも好評のようである。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリ-4	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	35 / 35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)		
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている			○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している			○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している			○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している			○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている			○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している			○非該当
評価項目1の講評				
<p>子どもが自分で遊びたいものを選んで落ち着いて遊べるような環境設定にしている</p> <p>0～2歳児の保育室は、子どもの背丈に合わせた低い玩具棚や手作りの仕切りなどで、着替えなどの身支度、食事や机上遊び、ままごとや絵本などの遊びのスペースに分けて、子どもが安心して落ち着いて過ごせるように設定している。玩具棚には子どもの年齢発達に合わせた玩具を用意し、子どもが自分で自由に選んで遊べる環境にしている。玩具類は子どもの興味関心に合わせて入れ替えをしている。コロナ禍のため、ままごとの具材は洗濯や消毒がしやすいプラスチック製のビーズをつないだ物などを使用している。</p> <p>コロナ禍でも、夏祭りの日程や場所などを工夫して異年齢交流の機会にしている</p> <p>新型コロナウイルス感染防止のために、異年齢交流の機会は少なくし、各クラス保育が多くなっているため、園庭遊びでの自然な異年齢の交流の機会を大事にしている。そのような中でも、年上の子どもに憧れ、年下の子どもへの思いやりの気持ちをもち、相手の気持ちに寄り添い、認める気持ちを育てたいと、工夫して異年齢交流の機会を持った。6月のレインボーフェスティバル(夏祭り)では、密を避けるために開催期間を1週間に延ばし、室内ではなく園庭で実施して、5歳児と他クラスの子どもたちが交流するお店屋さんごっこなどの機会を作っている。</p> <p>子ども同士のトラブルは子どもの気持ちをくみ取り尊重して、対応している</p> <p>自分の気持ちを言葉で十分伝えることができず、トラブルになる子どもの思いを受け止め、「～したかっただね」と言葉にしてやり、「叩いたら痛いよ、やめようね」などと知らせ、どうすればよかったかを知らせたり、子どもと一緒に考えたりしている。保護者会では子どもの年齢発達の姿を説明し、よく生じるトラブルと園での対応を、職員が寸劇などで具体的に伝えている。トラブルの際には状況や対応を双方の保護者に伝えることを基本にしている。4・5歳位になると子ども同士で解決できるように見守り、解決が難しい場合には仲介して収めている。</p>				

2 評価項目2

子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当

評価項目2の講評

登園時には健康を観察し、家庭での子どもの健康状態などを聴き取り、受け入れている

登園時には挨拶を交わして、子どもの顔色や表情、機嫌などの健康観察をし、0~2歳児は連絡帳を手渡しで受け取りながら、3~5歳児は口頭で、保護者に家庭での子どもの様子を聴いて受け入れている。前日に体調を崩して欠席していたり、園で怪我をした時には特に詳しく聴いている。家庭から聴き取ったことや連絡事項は登園時間や体温などともに「朝タノート」に記入している。朝保育の当番保育士が受け入れた時は、朝タノートを活用して担任に引き継ぎをしている。

子ども一人ひとりの発達状況に応じて、食事や排せつなどが身に付くように援助している

0歳児クラスでは離乳食から幼児食になるまで、食事の形態や取り込み、嚥下などの食事の状況を保護者に詳細に伝えて共有し、確認しながら進めている。子どもの食事状況に合わせたスプーンなどの食具を使っている。箸は4~5歳児になり、箸でものをつまむなどの遊びを取り入れながら、それぞれの子どもの状況に応じて食事時に使うようにしている。排せつの自立に向けたトイレトレーニングは、昼寝から目覚めた時におむつが濡れていない時にはトイレに座ってみるなど、子どもの個々の状況に応じて進めることを保護者に伝えている。

迎えに来た保護者一人ひとりに子どもの様子を伝えるよう努めている

迎えの保護者には担任や当番保育士から、園での子どもの様子を伝えている。0~2歳児は連絡帳でも個別の姿を伝えている。3~5歳児はクラス活動の様子を貼り出し日誌で読んでもらっている。迎えの保護者へ連絡事項がある場合には「朝タノート」に記入して担任や当番保育士から漏れなく伝えている。また、保護者以外が迎えの場合にはメモや電話で保護者に伝えることもある。園で発熱や受診が必要と判断した怪我の場合は、保護者に電話連絡をして状況説明し、了解を得て受診する。また、迎えの保護者には受診時の様子や事故防止対策などを伝えている。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

子どもが遊び込んでいる時には職員間で連携し、可能な限り保障している

子どもが自分で興味や関心をもち、発想して遊びはじめて遊び込んでいる時には、無理に止めさせたりせず、その場所を次に使うクラスに伝えて遊びを続けさせてもらうなど、職員間で連携して子どもの遊びを保障している。遊び込んでいる時には、遊びの続きは一旦置いておき、後で続きをするのか、この遊び時間をもう少し延ばすのかを子どもと相談して進めている。コロナ禍で園庭遊びの密を避けるために、園庭や遊戯室の利用日や時間を決めていますが、職員同士でクラスの活動を伝え合いながら協力し合い、子どもの遊びの広がりや深まりを保障している。

子どもが作ったり、描いたりした作品が展示してあり、制作活動が盛んである

制作活動が盛んにおこなわれており、各保育室や廊下などに季節感のある子どもの作品が展示してあった。4・5歳児クラスでは糊やはさみは個人持ちにし、その他の教材は子どもが自分で自由に選んで使えるように用意している。子どもたちが自分で描いたり作ったりした作品は廊下に展示スペースを用意して、飾れるようにしているので、子どもは事務室に見せに来て展示してもらっている。また、ほぼ毎日、どのクラスもリズム遊びを取り入れ、リズムに合わせて多様に身体を動かして遊んでいる。

園庭遊びや散歩などで自然に触れたり体を動かしたりして遊んでいる

園庭には桜やヤマモモ、百日紅などの樹木があり、鉄棒などの固定遊具の他に、タイヤやマルチパーツ、バスマットなどの可動遊具を用意して、子どもが自分で遊具を出して遊べる環境にしている。泥んこ遊びをしたりプランターや花壇の周辺で虫探しをしたりして自然に触れて遊んでいる。オタマジャクシやザリガニ、カブトムシなどの小動物の飼育をして子どもたちも観察し触れている。戸外遊びに適した季節には周辺の広い区立公園などへ散歩に出掛け、木の実や松ぼっくり拾い、虫探し、草花摘み、鬼ごっこ、坂道ダッシュ、駆け回って遊ぶなどしている。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>お芋を通して異年齢児が関わられるような、手作り焼き芋会を工夫している</p> <p>コロナ禍のため、例年のように園庭の畑で5歳児が育てたさつま芋で焼き芋会をして、焼きたてを食べることができないため、工夫した焼き芋会を開催している。お芋をみんなに配るなら本物の焼き芋屋さんみたいになりたいと、5歳児が煙突付きの芋焼き窯と登り旗を作り散歩カーに積み、焼き芋の呼び声を練習して録音し、グループ毎に焼き芋屋になって配ることにした。0・1歳児には紙コップで作った本物のような焼き芋を、2・3歳児には透明カップに入れた調理室で蒸かした芋を、4・5歳児には本物の焼きたての芋をみんなで楽しく食べている。</p> <p>夏まつりには皆で力を合わせてお神輿づくりに取り組み、自信と達成感を味わっている</p> <p>レインボーフェスティバル(夏祭り)では5歳児がやってみたい活動を考え、話し合い、お店屋さんとお神輿作りに取り組んでいる。お神輿を作る前に写真を見て、形や色をグループで話し合い、段ボール箱を組み合わせて光沢紙を貼り、飾りの鳳凰もスズランテープでふんわりと作り上げて本物のようにしたグループ、好きな色を塗ってカラフルお神輿にして好きな制作物を貼りつけたグループがあり、みんなで力を合わせて作り上げている。お神輿担ぎはお揃いの法被を着て、園庭を練り歩き、異年齢児の憧れと応援を受け、達成感を味わっている。</p> <p>行事に向けて取り組んでいる子どもの様子を伝えて、協力してもらっている</p> <p>年間行事予定表を年度初めに配付して、保護者に周知している。保護者参加の保育行事は3・4・5歳児対象の運動会(ビバ! フルーツバスケット)と5歳児の卒園を祝う会である。その他、4・5歳児の園外保育ではお弁当作りなどの協力をお願いしており、幼児クラスでは子どもたちの活動や行事に向けて取り組んでいる様子を貼り出し日誌やクラスだよりで詳細に伝えている。10月の運動会にはおたよりを3号発行し、保護者に時間や場所、見どころなどをわかりやすく伝え、楽しんで参加・協力してもらえるようにしている。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>朝夕保育時間も各クラス保育にしている</p> <p>朝保育、夕保育共に各クラス保育を実施して、主に担任が当番になり、パート職員もいつも同じ人になっているので、子どもたちは安心して自分を発揮して遊んでいる。同じ部屋で長時間過ごすことになるため、午後のおやつ後には園庭や2階のベランダ、遊戯室、特別室などで遊んだり、リズム遊びをしたりして、体を動かし気分転換をした後、落ち着いて室内遊びをしている。</p> <p>子どもが疲れた時などに使える遊び布団やホットとできる狭いスペースなどを用意している</p> <p>0・1・2歳児の保育室には、子どもが疲れた時には横になったり座ったりして身体を休めることができるように、遊び用の布団を敷いている。遊戯室にテーブルを用意したり、保育室内に仕切りを使用して狭いスペースのホットとできる場所を用意したりして、必要な子どもが他の人に干渉されることなく、自分で気持ちを落ち着かせながら遊べるような環境作りをしている。</p> <p>延長保育は異年齢で遊んだり、大人と一緒に遊んだりしてゆったりと過ごしている</p> <p>18時30分からの延長保育は異年齢で一緒に過ごしている。利用児は月ぎめ延長保育とスポット延長保育を含めて一桁の少人数であるが、異年齢で関わりながら遊べるような玩具を用意し、大人も一緒に絵本を読んだり遊んだりしてゆったりと過ごしている。自分のクラスにはない玩具を使うことも楽しみにしている姿も見られている。</p>		

6 評価項目6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当

評価項目6の講評

子どもの体格に合わせたテーブルと椅子に安定して座り、落ち着いて食事をしている

子どもの体格に合わせたテーブルと椅子を使用して落ち着いて座り、食事をしている。必要に応じて足台や背あてなどを使用している。コロナ禍のために、テーブルには飛沫拡散防止の透明のパーテーションを1歳児クラスから使用している。席を決めて、いつも同じ友だちと一緒に、保育士の介助や見守り、声掛けなどを受けながら楽しく食べている。幼児クラスでは七夕やひな祭りなどの季節行事において、ランチプレートで給食を提供し、手作りのランチョンマットも使用し、テーブルに花を飾るなどして、特別な雰囲気の中で食べている。

区立保育園共通の統一献立を使用して園で調理し、出来立てを提供している

給食は栄養のバランス、季節感、子どもたちの喫食状況を考慮して区の栄養士が作成した統一献立を使用して園の調理室で調理し、出来立てのものを提供している。食品添加物の入ったものは極力使わず、春には筍、秋にはさんまなど旬の食材を使って季節感を出し、昆布や煮干、かつお節などで出汁を取り薄味にしている。食物アレルギーがあり対応が必要な場合には原因食材の除去食・代替食を提供している。5歳児の誕生日には、献立は同じであるが盛り付け方や飾り付けを工夫した誕生日プレートを提供しているのので、子どもたちはとても楽しみにしている。

子どもたちが園庭の畑やプランターで野菜栽培をし、収穫して調理してもらい食べている

幼児クラスでは園庭のプランターでナス、トマト、枝豆、オクラ、かぼちゃなどを、畑には5歳児がさつま芋を栽培している。子どもたちと一緒に土作り、苗植え、水やりをして生育を観察し、収穫して調理室に届け、調理してもらい採れたてを食べている。コロナ禍のために、給食食材の下処理手伝いや調理体験は控えている。調理室の前には今日の食材をマグネットで展示して、子どもたちにさまざまな食材や栄養について知らせている。食事の時には、挨拶や食器に手を添えて食べることなど、食事のマナーを知らせている。

7 評価項目7

子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当

評価項目7の講評

子どもが自分の健康や安全について関心をもち身を守れるよう健康教育をしている

年間保健計画を作成し、看護師を中心に各クラスの子どもの発達に合わせた健康教育を実施している。2歳児には手洗いの場面で手洗い歌とともに、洗い方を指導している。水遊び・プール遊びの前には、水遊びの危険について知らせ、プライベートゾーンの話をしている。その他、うがいやうんちの話など子どもが自分の身体や安全に関心を持ち、病気から身を守ることができるように、わかりやすい絵などを用いて説明している。保育士も保育活動の中で健康のための生活習慣が身に付くよう、危険な遊びなどがわかり、安全な行動ができるよう指導している。

子どもの健康管理のためにさまざまな健診等を実施し、園医とも連携している

医療的ケア児は在籍していないが、入園してきた時には「杉並区立保育園における医療的ケア実施ガイドライン」に沿って対応することになっている。園児の健康管理のために毎月身体測定、0歳児健診、障害児健診を実施し、年2回園医による定期健康診断、年1回専門医による歯科健診、幼児クラス対象の眼科・耳鼻科健診をおこなっている。嘱託の園医には感染症や病気の情報の共有など、相談し助言をもらっている。また、保護者の同意を得て療育機関との連携もしている。

保健だよりや掲示等で子どもの健康に関する情報を提供している

毎月保健だよりを発行して、子どもの成長や健康に関する情報を提供している。保健だよりでは、園医の紹介や健康診断・健診などの保健行事、朝の健康チェック、規則正しい生活リズム、虫よけ対策、食中毒、熱中症など、季節や時期に相応した情報を提供している。感染症や子どもの保健に関する情報は乳児クラスが出入りする玄関付近の保健掲示コーナーや、園庭側テラスの貼り出し日誌掲示付近にて、知らせている。園における昼寝時には午睡チェックを実施して、子どもの顔の向きや顔色などを観察し、乳幼児突然死症候群の予防をしている。



8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>保護者の就労状況や家庭の事情は申し出てもらい、可能な限り受け入れている  入園時の面接で児童票や家庭連絡票などを提出してもらい、就労や家庭の状況について聴き取り、保育時間を決めている。家庭連絡票は毎年提出してもらっている。勤務場所や時間などに変更があった時や家庭の事情などはその都度申し出てもらい、園で対応できることは可能な限り受けている。</p> <p>年2回の保護者会では、園の保育や子どもの姿を伝え、保護者同士の交流の場になっている  0歳児クラスでは保護者同士が顔見知りになれるよう、親子の写真を受け入れスペースに掲示している。保護者会は年2回実施し、前期保護者会では園での子どもの様子を映像や資料でみてもらい、年齢発達の姿や保育で大切にしていることなどの説明や、年間指導計画の配付などをおこない、保護者同士の自己紹介や懇談の時間も設けている。一方、後期保護者会は、子どもの姿を伝え、一緒にふれあい遊びしたり、幼児クラスでは歌や劇などを披露している。本年度前期はコロナ感染予防のため、1・2歳児クラスは2グループに分かれて少人数で実施している。</p> <p>個人面談や行事への参加を通して、子どもの育ちを共に喜び合えるようにしている  コロナ禍のために保育参観・参加は実施していないが、3・4・5歳児の運動会を見てもらったり、5歳児クラスは前期保護者会終了後に夏祭りの子どもたちのお店で買い物をしてもらうなどの工夫をしている。個人面談は年1回以上実施して子どもの育ちを園と家庭とで確認し合う機会にしている。一方、後期保護者会には、日頃から楽しんでいる子どもたちの劇や歌などを見てもらったり、乳児クラスでは親子でふれあい遊びをしてもらうなど、共に成長を喜び合える機会になるようしたいと考えている。</p>		
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>お話ボランティアに来てもらったり、中学生の職場体験を受け入れている  地域の区立公園に散歩に出掛けて遊んでいる。地域の小学校には毎月園だよりを送付し、地域ネットワークの一員として情報共有・連携し、5歳児へ小学校紹介のビデオレターをもらい、子どもたちはお礼の手紙を出して就学への期待を高めている。これまで中止していたお話ボランティアの受け入れを6月から再開して、月1回、4・5歳児を対象に読み聞かせや素話などをしてもらっている。また、地域の中学校から中学生の職場体験を受け入れている。さらに、地域の児童館の学童保育を5歳児が訪問し、見学をしたり、プラネタリウムを見せてもらっている。</p> <p>地域への子育て支援事業は中止しているが、保育施設の職員同士の交流をしている  コロナ禍のため、地域への子育て支援の園庭開放は中止している。杉並区の中核園事業として地域の保育施設同士の子どもとの交流を予定しているが、現在は職員同士の交流のみ実施している。また、近隣の認可保育園の園児に対する耳鼻科・眼科健診は当園が会場園となり、実施している。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	草花や昆虫などの自然に触れたり、身体を動かしたりしてのびのびと遊んでいる	
内容①	園庭は広く、桜やヤマモモ、百日紅などの樹木があり、砂場や鉄棒などの他に、タイヤやマルチパーツなどの可動遊具を用意している。子どもは自分で好きな遊具類で遊んだり、虫探しや泥遊び、草花や野菜の観察など自然に触れて遊んでいる。夏には、水遊びや泥んこ遊びも盛んである。沢蟹やグッピー、ザリガニ、カブトムシなどの生き物の飼育をして子どもたちも観察し触れている。園周辺には区立公園も多く、散歩に出掛けてどんぐりなどの木の实拾い、バッタや蟬などの虫探し、草花摘み、鬼ごっこ、駆け回って遊ぶなど、良く身体を動かして遊んでいる。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-3-2	全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している
タイトル②	園の保育について話し合い、共通理解し協働性を高め、新しい保育目標を作成している	
内容②	現在の子どもや保護者の状況と園が目指している保育について話し合う中で、保育を振り返り、保育士同士の保育観を擦り合わせ、新しい保育目標「一人で立つ 寄り添って立つ みんな違ってみんないい」を作成して、子どもや保護者のそれぞれの個性を認めて受け入れる園を目指している。障害児指定園でもあり、保育目標の検討を通して、子どもを見る目や気持ちへの寄り添い方、保護者との信頼関係の大切さなどを再認識することができ、職員間の意思疎通や連携が図られ、園児や保護者が不安なく新園舎への移行ができるよう取り組んでいる。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	2-2-2	着実な計画の実行に取り組んでいる
タイトル③	新園舎移転に向け、職員一丸となって円滑に移転できるよう進めている	
内容③	新園舎移転に向け、何より安全に安心して新しい環境で過ごせるよう計画的に準備を進めている。新園舎の環境をイメージしながら、安全な環境や保育の組み立て、危機管理(避難経路、感染症対策、危険個所の検討など)に対し、さまざまな視点で検討を重ね、保護者に情報発信をおこない、子どもと保護者の安心につなげている。「どのように自分たちの目指す保育を実現していくのか」という視点を持ち、全職員のチームワークで、円滑に新園舎への移転ができるよう取り組んでいる。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	広く、自然に恵まれた園庭がある環境で、子ども一人ひとりの気持ちを尊重する保育を心掛けている
	内容	本年度中の2月に新築園舎への引っ越しが決定している。現在の園舎は古いが園庭は広く、季節の移り変わりを感じることができる樹木も多く、小さな畑もある。子どもたちは駆け回り、タイヤやマルチパーツなどの可動遊具などで遊び、バツタ探しや泥遊びなどの自然に触れて遊ぶなど、恵まれた環境にある。そして、一人ひとりの子どもの発達に即して寄り添い子どもの気持ちを尊重する保育を心掛けている。利用者調査の結果、総合的な満足度は大変満足が70%、満足が28%であり、大変高い満足を得ている。
2	タイトル	子どもが描いたり作ったりする活動が盛んで、さまざまな子どもの作品が展示されている
	内容	子どもの年齢発達に応じている様々な素材で作ったり描いたりして表現することを大事にしているので、夏には花火や夏祭りの提灯など、季節らしい作品が保育室内や廊下などに飾っている。作って遊ぶことが好きな4・5歳児ははさみ・糊は個別に用意し、その他の制作教材や用具、おりがみや用紙、セロテープ、クレヨンや色鉛筆などを子どもが自由に使えるように棚などに用意している。また、1階廊下の壁に設置した展示コーナーは、子どもが小さな紙に自由に描いた絵や折り紙作品などを飾る場所になっているので、いくつもの作品を飾っている。
3	タイトル	毎日、短時間でも繰り返してリズム遊びに取り組み、「おもしろかった、またやりたい」という意欲を育てている
	内容	1～5歳児では系統立ててリズム遊びを取り入れている。低年齢の子どもたちは保育士の声で旋律やリズムを表現したり、歌ったりしているのに合わせて、年齢が上がってくると、遊戯室のピアノのリズムに合わせて、体を動かして遊んでいる。音をよく聴き、音に合わせて身体を動かす楽しさや友だちと一緒に活動する喜びを味わい、運動機能の発達に役立っている。当園では、毎日、一日のうちどこかで、10分～15分程でも繰り返して取り組んで、「面白かったね、またやろう」という満足感と次への期待感を育てている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	今後さらに、久我山東保育園ならではの全体的な計画への見直しが期待される
	内容	新園舎への移転を控え、現在の子どもや保護者の状況、園の目指す「すべての子どもの特性に合わせた保育」を実現するための園目標を職員間で話し合い、新しい園目標を作成している。全体的な計画も前年度から見直し作成しているところである。今後さらに、地域環境や園の保育の特色を盛り込むなどして、久我山東保育園ならではの全体的な計画への見直しが期待される。
2	タイトル	今後はこれまで以上に、園での子どもの様子をわかりやすく伝える取り組みの工夫が望まれる
	内容	園での子どもの様子は、乳児クラスでは連絡帳で、幼児クラスは活動の様子を貼り出し日誌で掲示し、連絡事項やエピソードなどを口頭で伝えている。しかし、コロナ禍のため、送迎時の会話や保護者会の懇談時間の短縮、保育参加や夏祭りの保護者参加の中止などで、保護者とのコミュニケーションが取りづらいうち、工夫しているが、以前より保育園での子どもの様子が見えにくくなっている。保護者との共育の実現に向け、これまで以上に、保育の見える化や一人ひとりの保護者に子どもの様子を伝える手立ての更なる工夫が望まれる。
3	タイトル	業務効率をさらに進め、有給休暇取得の推進を含むワークライフバランスへのさらなる充実を期待する
	内容	職員アンケートでは、「休暇が取りづらい」とのコメントが複数寄せられていた。園では、ワークライフバランスを重点目標とし、時間内に仕事が終わるよう、また、園全体で気を配り、協力し合い、休みが取れるよう工夫している。しかし、コロナ感染症の流行もあり、「体制的に厳しい日が多い」との職員の声も寄せられていた。業務効率をさらに進め、有給休暇取得の推進を含むワークライフバランスへのさらなる充実を期待する。

西  
荻  
北  
保  
育  
園

## 2. 西荻北保育園

調査対象

令和4年7月の配布時点で利用している在園児88名の保護者80世帯を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答の回答をいただいた。

調査方法

クラスごとに担任などから保護者に調査票を渡していただき、園内の設置した回収ボックスに投函していただくか、返信用封筒にて直接弊評価機関へ投函していただいた。

利用者総数  
利用者家族総数(世帯)  
共通評価項目による調査対象者数  
共通評価項目による調査の有効回答者数  
利用者家族総数に対する回答者割合(%)

88
80
80
55
68.8

利用者調査全体のコメント

・回答者の属性は次の通りである。調査票記入者:「父」3名(5%)、「母」39名(71%)、「父母一緒に」7名(13%)、無記入6名(11%)。  
 ・総合的な感想は「大変満足」29名(53%)、「満足」25名(45%)、「どちらともいえない」1名(2%)で、「大変満足」、「満足」と返答した方々は回答者の98%で、当園の保育に非常に高い満足を得ている。  
 ・回答者全員が「はい」と返答した設問は、問1「心身の発達に役立つ活動」、問13「子どもの気持ちの尊重」で、回答者の90%以上が「満足」と返答していた設問は、問2「興味や関心のある活動」、問3「食事」、問8「家庭と保育所との信頼関係」、問9「清潔で整理整頓された空間」、問10「職員の言葉遣いや態度」、問11「緊急時の対応」、問14「プライバシー保護」であった。  
 ・総合的な感想では、「子育てで悩むことや不安なことについて話を聴いてくれたり、アドバイスをもらえたりするので心強く一緒に子育てをしていると感じます」、「愛情深く、そして保育のプロとしての確かなスキルと経験で子どもの日々の成長を助けてくれています」などのコメントが記入されていた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
コメント				
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	55	0	0	0
回答者全員が「はい」と返答し、心身の発達に役立つ活動に関して非常に高い満足を得ている。「日常生活でできることが増えていきます。また、感情も豊かになってきています」、「お友だちの中で育つことや、先生たちが、家ではできない色々な遊びを考えていることが発達に役立っていると思います」などのコメントが寄せられていた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	54	1	0	0
「はい」と返答された方々は回答者の98%で、興味や関心を持つ活動に関して非常に高い満足を得ている。「年齢や成長段階、興味に合わせて、活動や遊びをしてきています」、「おもちゃや絵本も沢山あり、子どもは楽しそうに遊んでいます」、「イベントや散歩も良い影響を与えています」などのコメントが寄せられていた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	53	1	1	0
「はい」と返答された方々は回答者の96%で、食事に関して非常に高い満足を得ている。「体づくりを意識した献立になっています」、「家では食べない野菜なども園では食べられるようで、味付けが素晴らしいのだと思います」、「アレルギーに対応し、管理してくれています」などのコメントが寄せられていた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	41	14	0	0
「はい」と返答された方々は回答者の75%で、戸外遊びに関して概ね満足を得ている。「季節の行事や植物を育てることなどを、子どもは楽しそうにしています」、「他学年の子どもとの関わりがあり、貴重だと思います」、「プランターで野菜を育てたりするなど、子どもが興味を持つ取り組みをしてくれています」などのコメントが寄せられていた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	38	6	0	11
「はい」と返答された方々は回答者の69%、「どちらともいえない」11%、非該当18%・無記入2%であった。「電話の対応は丁寧で優しく、柔軟に対応してくれているので感謝しています」、「電話連絡をすると、『気をつけて来てください』と保護者に対しても気遣いをしてくれます」などのコメントが寄せられていた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	44	10	1	0
「はい」と返答された方々は回答者の80%で、安全対策に関して高い満足を得ている。「名札の着用、正門の施錠についての注意喚起などを定期的にしてきています」、「目につきやすい場所に正門があるため、不審者侵入などの防犯対策に安心感があります」などのコメントが寄せられていた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	36	12	4	3
「はい」と返答された方々は回答者の66%、「どちらともいえない」22%、「いいえ」7%、非該当5%であった。「事前におたよりで連絡してくれています。また、こちらが忘れていた場合には声かけをしてくれるので助かります」、「コロナ禍では行事自体が少ないので何とも言えませんが、個人面談の日程については、候補日をいくつか挙げて希望に添うようにしてくれているので、助かっています」などのコメントが寄せられていた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	52	3	0	0
「はい」と返答された方々は回答者の95%で、家庭と保育所との信頼関係の構築に関して非常に高い満足を得ている。「送迎の際、園での様子を沢山話してくれます。また、連絡帳のやり取りで相談にも乗ってくれます」、「個人面談でじっくりと話をしてくれたり、送り迎えのときに心配事を相談すると、親身に聞いてもらえたりします」などのコメントが寄せられていた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	50	5	0	0
「はい」と返答された方々は回答者の91%で、施設内の清掃や整理整頓に関して非常に高い満足を得ている。「建物は古いですが、掃除や消毒にいつも気を配っていると思います」、「古い建物ですが、いつもきれいにしてくれています」などのコメントが寄せられていた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	54	1	0	0
「はい」と返答された方々は回答者の98%で、職員の接遇・態度に関して非常に高い満足を得ている。「非常に丁寧な人が多く、安心感があります」などのコメントが寄せられていた。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	51	3	0	1
「はい」と返答された方々は回答者の93%で、緊急時の対応に関して非常に高い満足を得ている。「こまめに連絡してくれるので助かっています」、「看護師が常駐しているので、安心感があります。必要なときには病院にも連れていってくれるので信頼しています」などのコメントが寄せられていた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	39	9	0	7
「はい」と返答された方々は回答者の71%で、子ども同士のトラブル対応に関して概ね満足を得ている。「お友だちとのやり取りを話し合っ解決するよう、子どもをフォローしてくれました。また、何でも教えてくれるので安心感があります」などのコメントが寄せられていた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	55	0	0	0
回答者全員が「はい」と返答し、子どもの気持ちの尊重に関して非常に高い満足を得ている。「親身になって対応してくれています」、「子どもの気持ちや思いを大切にしっかりと対応してくれています」などのコメントが寄せられていた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	51	3	0	1
「はい」と返答された方々は回答者の93%で、プライバシー保護に関して非常に高い満足を得ている。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	48	7	0	0
「はい」と返答された方々は回答者の87%で、保育内容の説明に関して高い満足を得ている。「毎月の園のおたよりもそうですが、毎日の様子も掲示してあるのでわかりやすいです」などのコメントが寄せられていた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	41	5	1	8
「はい」と返答された方々は回答者の74%で、不満や要望への対応に関して概ね満足を得ている。「以前お迎えのときに門が開けっぱなしになっていたことがありましたが、先生に伝えたところ、その日のうちに門に注意書きを掲示したり、おたよりでほかの保護者に伝えたりしてくれました。その後開けっぱなしになることはなくなりました」、「迅速に対応してくれたことで、安心感につながりました」などのコメントが寄せられていた。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	23	9	5	18
「はい」と返答された方々は回答者の42%、「どちらともいえない」16%、「いいえ」9%、非該当33%であった。「入園説明会の際に説明してくれました」などのコメントが寄せられていた。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている
	カテゴリ1の講評	
	保育方針や保育目標を事務所内に掲示し、職員の意識づけを図っている 保育方針や保育目標を事務所内に掲示し、職員の意識づけを図っている。また、「係(園)の目標シート」、「全体的な計画」などで目指していることを明確にし、年度初めに年間指導計画について検討するなどして、職員全体で園の目指すべき方向性や大切にすることなどについて共通認識を図っている。保護者には、保育理念・保育方針・保育目標を記載した「西荻北保育園のしおり」を配布し、入園説明会で説明している。年度初めの各クラスの保護者会に園長も参加し、クラスの目標や1年間大切にしていきたいことなどを伝えている。	
	園長・主査の年間計画を職員に伝え、幹部層の役割と責任を職員に周知している 園長・主査の年間計画を職員に伝え、幹部層の役割と責任を職員に周知している。杉並区立園では、保育の質の向上を目的に「保育の向上を考えるリーダー会議」を組織化しており、保育向上リーダー2名および園長・主査2名を園の保育の向上促進の5本柱と位置づけている。区立直営園が横断的に情報交換し、互いに刺激し合い、自園での実践の参考にしている。そのほか、園長・主査・看護師・栄養士などの区立直営園全体の層別・職種別の連絡会を設け、共通課題について検討している。	
	園運営に関わる重要案件は、園全体で検討・共有してから決定している 重要案件については、定例会議(週1回)、職員会議(月1回)で提案をおこなっている。その後、クラス単位で検討し、結果を持ち寄り、職員会議で再検討・決定している。情報共有・情報交換の場として、職員会議に加え、屋連絡会(毎日)や定例会議(週1回)、指導計画検討会議(月2回)などを設けている。指導計画検討会議では、各クラスから課題を出し合い、より良い保育について協議している。課題を共有することで、クラス単位で完結するのではなく、園全体でアイデアを出し合いながら取り組んでいる。	



2		カテゴリー2	
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行			
サブカテゴリー1(2-1)			
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(○○○○○○)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(2-2)			
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(○○○)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(○○)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評			
<p>保護者や職員の意向や意見などをくみ取り、園運営に活かしている</p> <p>保護者会やあそぼう会の実施後に保護者からアンケートや感想をもらい、意向(ニーズ)などを収集し、園の各活動に活かしている。また、個人面談前に事前にアンケートを書いてもらい、意見があった時にはすぐに答えるようにしている。職員からの意向や提案などに対しては、各会議などで吸い上げ検討している。年度末には、職員の意見をくみ取り、業務マニュアルの見直しをしている。また、園長とのヒアリングでも職員個々の意見を聴取し、運営に活かしている。</p> <p>地域懇談会で地域の保育施設から情報を得て、より良い保育に活かしている</p> <p>地域の保育施設が集まる地域懇談会に参加し、情報交換し、より良い保育に活かしている。児童館、小学校などが参加する地域子育てネットワークに参加し、保育施設以外の地域の子どもの育成に関わる情報を収集している。園長会・主査会などで収集した情報は職員会議や議事録・資料の回覧などにより、職員へ周知し、自園でできることについて協議している。そのほか、区広報紙や保育に関する専門雑誌などからも情報収集し、日々の保育に役立てている。</p> <p>係の目標シートや年間指導計画を半期で振り返り、必要な部分は見直しをしている</p> <p>区では杉並区総合計画(令和4(2022)年度～令和12(2030)年度)を策定している。また、区子ども家庭部保育課の組織目標を踏まえ、当園では現状の課題を分析し、年度初めに「係の目標シート」を策定し、園の目標を明確化している。園の目標に沿って職員個々の目標を立て、園で丸となって組織目標の達成に取り組んでいる。また、保育の実践に関しては、全体的な計画に基づき年間指導計画などの保育計画を作成し、これらの計画について週ごと・月ごと・年間で保育の取り組み状況を確認し、必要に応じて見直ししている。</p>			

3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

### カテゴリー3の講評

#### 事例討議を通して、適切な関わりができるようにしている

正規職員の入職時研修では、公務員倫理・人権などについて指導教育している。会計年度任用職員(非常勤)には、年1回、公務員倫理研修を園長がおこない、区立園で働くうえで遵守すべきことなどについて伝えている。また、園長会報告や研修報告などを通して、区立園に勤務する職員として求められる事項を周知している。日々の保育で悩む時には指導計画検討や打ち合わせなどで共有し、その対応について検討している。また、事例討議を通して、より良い保育について考える機会としている。

#### 入園説明会で、保護者に区の苦情解決制度を利用できることを伝えている

入園説明会で、保護者に区の苦情解決制度を利用できることを伝え、園内に「保健福祉サービス苦情調整委員制度」についてのポスターを掲示している。また、意見箱を設置し、いつでも苦情や意見を投函できるようにしている。保護者からの意見は、速やかに園長・主査に報告し、昼連絡会などで共有し、迅速な対応に努めている。さらに、連絡帳に記載してきた保護者の意見などは、クラス内で話し合い、個別に対応している。

#### 西荻窪地域の中核園として、地域の保育の質向上への牽引力となっている

西荻窪地域の中核園として、約40か所の保育施設のつながりと、地域の保育の質向上を目指し、さまざまな事業を計画・実施している。また、地域子育てネットワークに積極的に参加しており、乳幼児期の子どもに関する専門的な知識を地域に還元できるよう取り組んでいる。具体的には、児童館の子育て広場に保育士を派遣し、子育て中の親子に役立つ遊びなどについて話をしている。また、保育の資格取得のための実習生を受け入れ、将来の福祉人材の育成に寄与している。

カテゴリ-4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ-1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-4の講評		
<p>月1回、火災・地震を想定しての避難訓練を実施している</p> <p>月1回、火災・地震を想定しての避難訓練計画を作成し、計画に沿って実施している。同計画には、訓練の目標を明確にし、当日の子ども職員それぞれの動きも記載している。夕保育・水遊び中・午睡時・朝保育などのさまざまな時間帯を想定して実施している。また、年3回、不審者侵入訓練をおこない、非常通報装置やさすまたの使用法、日常用品での護身方法などを学んでいる。近隣に不審者情報があった場合は、その情報を掲示し、保護者に周知することとしている。さらに救急法を学ぶ機会も設けている。</p> <p>遊具の安全管理は、環境プロジェクトが中心となって点検している</p> <p>看護師の連絡会である医療会からのコロナウイルス感染症対策情報に基づき、園内の感染対策をおこない、感染拡大防止に努めている。危機管理マニュアルをもとにリスクへの対策を講じている。また、怪我などを含む事故が起こらないことが一番優先されるべきことと園全体で共有し、軽微なリスクが起きた時もすぐに情報共有し、事故の未然防止に取り組んでいる。毎月、避難訓練実施時に安全点検をおこなっている。遊具の安全管理は、日々各クラスでおこなうだけでなく、環境プロジェクトが中心となって点検している。</p> <p>各記録類の管理は、管理簿を活用しながら適切に取り扱っている</p> <p>杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理をおこなっている。情報セキュリティ対策基準(部外秘)によりアクセス権等の設定をしている。実習生や新規採用者などには、面接時に個人情報保護の意識が高まるよう説明している。個人情報となる各記録等については事務所の鍵のかかるキャビネットで保管している。各記録類の事務所からの持ち出しは、管理簿を活用しながら適切に取り扱っている。各種記録類は区が定めた保存期限に則り、適切に破棄・保管している。</p>		

5 職員と組織の能力向上			12/12
カテゴリー5 サブカテゴリー1(5-1) 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる			サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている			評点(〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している		○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる		○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している			評点(〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている		○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している		○非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる			評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している		○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している		○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している		○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている		○非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる			評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている		○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きかいの向上に取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている		○非該当
サブカテゴリー2(5-2) 組織力の向上に取り組んでいる			サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる			評点(〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している		○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている		○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる		○非該当

カテゴリー5の講評

クラス担当を決める際は、園の状況や職員の育成を考慮し、決定している

年1回以上、園長が正規職員と個別面談し、個々の仕事目標や目標への達成度を振り返り、未達成の課題の状況把握や原因究明に努め、職員の能力向上を図っている。会計年度任用職員とも年1回以上園長面談をおこなっている。区では人事異動基準を定め、異動希望調査で個々の希望も確認し、定期的な人事異動をおこなっている。クラス担当を決める際は、園の状況や職員の育成を考慮し、園長が最終決定としている。

できる限り職員の希望を優先して研修派遣している

区主催研修・園内研修・外部研修・OJT・自己啓発などで職員の資質向上を図っている。区保育課主催の実務研修は職員から希望を募ったり、担当クラスに応じて必要な研修への参加を促している。研修案内が届いた際は、職員に周知し、できる限り職員の希望を優先するようにしている。研修受講後は、定例打ち合わせの中で報告し、情報共有している。研修資料は会議記録ファイルに1か月程度添付し、職員がいつでも閲覧できるようにしている。研修履歴もパソコン上で管理しており、必要な研修に漏れなく参加できるようにしている。

日々のミーティングで職員の気づきを出し合い、業務改善に活かすようにしている

日々のミーティングで職員の気づきを出し合い、業務改善に活かすようにしている。また、幹部層は業務が偏りすぎているか、業務量が見合っているかどうかなどを把握している。幹部層は日々クラスを巡回し、職員の状況把握と関係性の構築を把握し、職員にとって働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる。職員アンケートでは、「職員間の風通しが良い」、「チームワークが良い。各クラスの悩みや困難な事案について一緒に考え手助けしようという連携の力がある」などのコメントが寄せられていた。

カテゴリー7	
7 事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
<b>評価項目1</b> 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)	
<b>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</b> 「障害児指定園として、全職員が障害の理解や対応を学び、保育の質の向上を図る」ことを重点目標とし、次の取り組みを実施した。カリキュラムでの検討や巡回指導・巡回相談などを通して、認定児や配慮が必要な児の現状や対応について理解を深めた。認定児へもクラスの中で主体性を活かした保育がおこなわれるよう、園全体で考えていった。1年間の取り組みの結果、巡回相談やカリキュラムで認定児の様子や取り組みを職員間で共有し、保育の質の向上につなげた。次年度も巡回相談で受けたアドバイスを実践した様子について、カリキュラム検討の場で伝え合い、全職員で障害の理解や対応などの学びにつなげていくこととしている。	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<b>評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</b> 巡回相談(年4回)、巡回指導(年3回)前に職員全員で対象児の様子を共有した。事前に定例会議で検討することで、クラスの課題を共有でき、巡回相談・指導日にはより具体的なカンファレンスをおこなうことができた。対象児への関わりを職員全体で考えることが保育の向上につながった。職員から「事前にケース検討することで対象児とクラスの状況を理解できるようになった」との意見も寄せられた。担当するクラスだけでなく、どの子も全職員で見ている姿勢を持つ園の方向性とあわせても有意義な方法であるため、継続していくことにした。また、具体的なエピソードから子ども理解やかかわり方の視野を広げられるようなカンファレンスを職員会議でおこなうこととした。	

**評価項目2**

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

**前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)**

「〈体づくり〉をテーマに保育を考える」を重点目標とし、職員会議で継続したテーマとして話し合いを重ねてきた。体づくりに対して職員はどう考えているかを互いに知り合うために、イメージの統一から始めた。そこから体の軸と遊びについて全身像を貼りだしながら討議したり、年齢順に身体の発達と発達に合わせた活動など、さまざまな方向から子どもの体を考えられるよう討議を重ねた。戸外環境プロジェクトでは、園庭での遊び方を写真や絵も用いて図式化し、遊びの設定によって体作りとのつながりを検討してきた。さまざまな視点から「体づくり」を検討したことで、職員間の共通イメージを持つことができた。共通イメージをもとに、職員個々が保育活動や生活動作の中での体の使い方をより考え、計画するようになった。巧技台等の構成に変化がみられたり、重さのある遊具を室内に取り入れるなど、体づくりを意識した環境設定にもつながった。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</li> </ul>
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</li> <li><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む)</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</li> <li><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>

**評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評**

年間を通して、職員会議で体づくりについて話し合いを持った。さまざまな活動の中で「体づくりのために」ということを、意識できるようになった。体づくりを重要テーマとして、各クラスが意識的に遊びの中に取り入れてきた。室内・戸外プロジェクトで各年齢ごとに取り組みをまとめ、共有することができた。職員アンケートでは、「年間を通して同じテーマ(体づくり)を掲げ、園内研修を実施した。これにより職員全体の意識が変わったと思う」、「体づくりについて話し合い、保育にどう取り入れていくかを考え合った。体づくりへの意識をよりもてるようになった」などのコメントが寄せられた。



Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目		
	サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評			
<p><b>区の公式ホームページやアプリなどで情報提供している</b>                  杉並区公式ホームページの「保幼(ぼよ)ナビ」や、区の公式アプリ「すぎぼよ(保幼)」で情報提供している。区のホームページの施設案内には園の住所、電話番号、年齢別定員、保育時間、延長保育時間などの園概要、外観写真、地図、保育目標、主な行事、園の見取り図、保育室内や子どもたちが遊んでいる様子の写真を掲載し、園の特色として、「地域の小学校との連携事業、職員同士の交流や意見交換、近隣の区立の広場や都立公園への散歩における自然へのふれあい、運動機能や情緒的発達の促進」などと紹介している。</p> <p><b>区立直営保育園で、地域の中核園であり、行政や関係機関と情報交換し連携している</b>                  区立直営保育園であり、区役所の保育課には延長保育利用児数や感染症状況などのさまざまな報告をして連携している。園長は月2回区立保育園長会に参加して、行政からの情報提供を受け課題検討をしている。主査は主査会、看護師は医療会に参加して、区内関係機関との情報共有や課題検討をしている。当園は区の中核園事業の西荻地域の中核園であり、地域内40保育施設長との地域懇談会を年4回実施し、学び合いや情報交換をしている。地域の小学校や中学校との行政連絡会、児童館主催の地域ネットワークに参加して、児童館や町会などとも連携している。</p> <p><b>園見学は都合の良い日に受け、コロナ禍のため園舎内の様子はアルバムで説明している</b>                  見学希望は電話で申し込んでもらい、個別に都合の良い日で受けている。コロナ禍ため、10時や10時30分を希望の場合、園児が園庭で遊んでいる時には道路から見てもらい、13時や13時30分を希望される場合には園庭に入ってもらうことを説明し、見学者の希望で決めている。保育室内の様子はアルバムで見てもらい、園概要を配付して説明している。案内や説明は主査が担当し、9月現在51組の見学者を受けている。散歩に出掛けて遊んでいることや、手作りの遊具類が多いなどの園の特長を伝えている。持ち物や迎えの時間などの質問に応じている。</p>			

サブカテゴリー2

2 サービスの開始・終了時の対応 サブカテゴリー毎の  
標準項目実施状況 6/6

評価項目1  
サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている 評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2  
サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている 評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2の講評

**入園説明会を開催して基本的なルールや重要事項について説明している**

4月の入園予定者向けには2月頃に園医による健康診断や園長、保育士、栄養士などによる面接を実施して、健康や発育状態、入園までの生活状況などを把握している。また、保護者の就労や家庭の状況、意向を聴き、保育時間を決めて、持ち物の説明などもしている。3月中旬の土曜日には入園説明会を開催し、「西荻北保育園のしおり」や「保育園のご利用にあたって【重要なお知らせ】」を基に、園の概要や保育理念、保育方針、保育目標、健康・衛生管理、家庭連絡・登降園のお願い事項、個人情報保護、防災・防犯などを説明して、同意を得ている。

**入園開始直後には1週間程度の慣れ保育を実施している**

入園開始直後は子どもの不安やストレス軽減のために、1週間程度の慣れ保育を実施している。1歳児園で家庭保育児の入園が多く、保護者の就労状況や意向に応じて個別に対応している。初日は午前中の短時間から預かり、次第に預かる時間を延ばしている。集団保育経験児の場合は、初日は午前中保育で昼食まで、2日目は昼寝、3日目には保育時間通り預かっている。1歳児クラスでは担当保育士を決めて同じ人が関わり、子どもや保護者と早めに信頼関係を築き、迎える保護者には子どもの様子を詳細に伝えて、安心してもらえるようにしている。

**転園、退園、卒園の際には子どもや保護者の不安軽減に配慮している**

区内の区立園への転園の場合は、保護者の了解を得て、園同士で子どもに関する情報を共有している。他の転園や退園の場合には保護者に新しい環境への不安を取り除けるような声掛けをし、保護者からの申し出があった場合は承諾を得て、転園先に引き継いでいる。年度途中の退園には各クラスでお別れ会をしている。卒園児の就学先には「保育所児童保育要録」の写しを送付し、入学式には学校宛てにお祝いメッセージを送っている。コロナ禍前は1年生を園行事に招待していたが、現在は元担任がお元氣ですかの便りを出している。

サブカテゴリ-3		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	12/12
3	個別状況の記録と計画策定		
<b>評価項目1</b> 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		○非該当
<b>評価項目2</b> 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している		○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している		○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直しをしている		○非該当
<b>評価項目3</b> 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある		○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している		○非該当
<b>評価項目4</b> 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している		○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している		○非該当
サブカテゴリ-3の講評			
<b>子どもの心身や生活の状況</b> を児童票や保育日誌などに記録して把握している 入園前には健康診断や面接により、出生歴や成育歴、発育経過、既往歴、健康上の注意点を把握している。また、食事、睡眠、排せつ、言語、運動・遊び、入園までの保育状況などの保育をする上で必要な情報も、児童票に記録し、把握している。さらに、登園時に連絡帳や口頭により子どもの健康状態を把握して保育をおこない、園での活動の様子や健康状態などを保育日誌や保健日誌、乳児クラスについては連絡帳にも記入している。保育の経過記録は児童票に、1歳児は1か月ごと、2歳児は2か月ごと、3～5歳児は3か月ごとに記載している。			
<b>子どもの姿やクラスの状況</b> などを担任同士で振り返り、次の指導計画を作成している 全体的な計画に基づいて各クラスの年間指導計画を作成し、それらを踏まえて月間指導計画(カリキュラム)や週案を作成している。子どもの姿やクラスの実態を担任同士で振り返り、次の指導計画を作成している。カリキュラムはねらいや子どもが経験する内容、予想される子どもの姿、環境構成及び配慮などを記載し、全園児の個別の姿と配慮を作成している。前期の保護者会でクラス目標をクラスで大切にしたいこととして保護者にわかりやすく説明している。カリキュラムや週案は、保護者が見やすい場所に掲示している。			
<b>各クラスの月間指導計画</b> は指導計画検討日を設けて検討し、職員間で共有している 毎月2日間、指導計画検討日を設け、カリキュラムの発表、クラスや子どもの状況などの質疑応答、課題検討をし、職員間で共有している。その他にも、子どもに関する情報共有のために、各種会議を開催している。昼連絡会を月～金曜日の昼間15分間程、各クラス代表者参加で実施し、午前中の保育を含め、子どもや保護者関係の連絡、翌日の体制や行事の確認、アレルギー確認などを行っている。定例職員会議は週1回昼間に、会議の報告や行事の内容検討・反省などをおこなっている。また、夜会議や幼児・乳児打ち合わせ、アレルギー会議なども開催している。			

サブカテゴリ5		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和り取りする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ5の講評			
<p>子どものプライバシー保護を徹底している</p> <p>個人情報保護については、「西荻北保育園のしおり」に掲載して保護者に説明し、写真撮影については入園時と毎年、保護者の同意を得ている。子どもに関する情報を療育機関などとやり取りする際は、保護者の了解を得ておこなっている。また、子どもの羞恥心への配慮として、着替える時にはカーテンを閉め、おむつ交換は仕切りの中とするなど、外からは見えないようにしている。シャワーや水遊びなどはラップタオルを使用して着替える方法を知らせ、シャワー時にはテントを活用している。プライベートゾーンについての健康教育をしている。</p> <p>一人ひとりの子どもの思いに寄り添う保育に努めている</p> <p>「自己肯定感が育まれる保育(子ども一人ひとりの人格尊重)を大切にしていきます」を保育理念とし、子ども一人ひとりの思いに寄り添い認める保育をしている。集団活動などに入りたくない意思表示する子どもがいた場合には、やろうと誘いの声掛けはするが無理じいはず、「友だちの様子を見てようか」などと、できる範囲で職員間で連携し、子どもの気持ちに沿って対応している。子どもの誕生日のお祝いは当日(可能な限り)にクラスでしている。写真をクラスに飾り、誕生児バッジをつけ、みんなにおめでとうの声掛けをしてもらっている。</p> <p>「虐待対応マニュアル」などに再度目を通し、虐待の早期発見、防止に努めている</p> <p>前年度は子ども家庭支援センター主催の虐待研修に参加の予定であったが、中止になり参加していない。「子ども虐待対応マニュアル」を回覧し、「杉並区保育実践の手引き」の子どもの人権・権利の項目を再度目を通すように職員に伝えている。職員は日頃から、子ども虐待の早期発見や防止に努めており、子どもの様子や会話などの変化に気を配り、着替える時には不審な傷やあざ、着衣の汚れなどを注意している。気になることがある場合は記録をとり、園長に報告することになっている。</p>			

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
6 事業所業務の標準化			
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリ-6の講評			
<p>区立園共通のマニュアル類を整備し、園独自の手引書も作成している</p> <p>区立園共通の「杉並区立保育園保育実践方針」、「杉並区保育実践の手引き」は職員各自が持っており、「保育園危機管理」、「感染症対応」、「アレルギー対応」などのマニュアルは事務室の棚に置き、いつでも見ることができるようにしている。園独自の手引書「西荻北保育園業務マニュアル」を作成し、職員関係、保育関連、自衛消防組織、当番の仕事内容、土曜日当番の仕事内容、危機管理、個人情報保護などのマニュアルを作成して綴じている。この手引書は各クラスと調理室に1部ずつ置き、必要な時に確認できるようにしている。</p> <p>年度末や必要な場合には随時に、検討し見直している</p> <p>「西荻北保育園業務マニュアル」は年度末に実際の業務内容と違っている箇所はないかなど、職員会議で確認し、見直している。また、朝夕の会計年度任用職員の仕事内容などは、子どもの成長や人数などにより年度途中での見直しが必要な場合は随時見直している。保育関連の業務内容全般について半期反省や年間反省をおこない、必要に応じて見直している。</p> <p>保護者や職員からの意見や提案は検討して見直し、サービスの質向上に努めている</p> <p>女兒がスカート付きズボンや裾の長いスカートなどで登園してくることが多くなったので、動きやすい服装と靴でという言葉を園のしおりに記載することにした。保護者会の開始時間はこれまで、15時15分になっていたが、遊戯室で昼寝をしている子どもたちが起きる時間を考慮し、15時30分に変更した。保護者会はコロナ禍であり、できるだけ広い部屋での開催を考え、遊戯室を使用している。なお、土曜日の布団カバー掛け時間を15時～17時にしているが、難しい場合は、申し出てくださいと公表し、受けることにした。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリー4	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	35/35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(○○○○○○)		
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している			<input type="radio"/> 非該当
評価項目1の講評				
<p>子どもが落ち着いて、自分の使いたい玩具などを選んで遊べる環境にしている</p> <p>1歳児室は着替えやおむつ交換、食事、遊びの場所を低い玩具棚や衝立などで分けて、畳敷きのスペースとともに子どもが落ち着いて遊べるようにしている。隣の元0歳児室には遊び用の布団を敷き、絵本コーナーを作り、少人数でゆったり遊べる場所として利用している。1階にある2歳児室も同様に生活と遊びのスペースに分けている。各保育室には子どもの年齢発達に合わせた玩具類を子どもの手の届く玩具棚に用意し、子どもが自分で使いたい物を選んで使えるようにしている。また、興味関心に合わせて玩具や絵本などの入れ替えもしている。</p> <p>子ども同士のトラブルは双方の子ども気持ちを尊重して対応している</p> <p>子ども同士のトラブルの対応については、双方の保護者に報告することを園のしおりに記載して伝えている。保護者会でも、子どもはトラブルやケンカの経験からも、友達との関わり方を学んでいることを伝えている。トラブルになった時には双方の子ども気持ちをくみ取り、寄り添って共有し「～したかっただね」と言葉に代えて「そんな時にはかまわないで貸してっいうんだよ」などと、どうすればよかったかを知らせている。子どもの爪は思いがけず傷になりやすいので、保護者に爪切りの協力をお願いし、毎週初めは爪チェックデーにしている。</p> <p>学校紹介のビデオレターを視聴し、学校への期待を膨らませている</p> <p>コロナ禍前には5歳児が学校訪問をしていたが、現在は小学校の5年生が、ランドセルのことや学校の様子、学校に関するクイズなどを盛り込んだ学校紹介のビデオレターを作成して届けてくれるので、視聴して学校への期待を膨らませている。子どもたちはビデオレターのお礼の手紙を出している。5歳児の前期保護者会には小学校の先生に来てもらって保護者向けに話をしてもらっている。地域の小学校は運動会の会場として体育館を使わせてもらっているため、運動会当日や練習日など数回利用させてもらっている。</p>				

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>登園時には子どもの健康を観察し、家庭での子どもの体調などを聴いて受け入れている</p> <p>登園時には挨拶をして、保育士は子どもの顔色や表情、機嫌などの健康を観察し、家庭での子どもの体調などを聴き取り、受け入れている。1・2歳児は連絡帳を、3～5歳児は体温表などが入ったお便り袋を手渡しで受け取り、体温などを確認している。前日体調を崩して休んでいたり、園で怪我をしたなどの子どもの様子を視診表に記入しておき、朝保育の当番保育士が受け入れる際に、詳しく聴くことができるようにしている。聴き取ったことは視診表に記録して担任に引き継いでいる。</p> <p>子ども一人ひとりの発達状態に合わせて基本的な生活習慣が身に付くようにしている</p> <p>1歳児では、離乳食段階の子どももいるため、一人ひとりの子どもの食事形態に合わせた対応をしている。食具も子どもの発達状態に合わせて使用し、箸は5歳児の前期保護者会で栄養士が箸の導入について説明している。遊びの中で、スポンジや豆などを箸でつまめるような経験を重ね、栄養士がおこなうお箸検定を取り入れながら、順次箸に移行している。排せつの自立に向けたトイレトレーニングは子どもの排尿間隔が1～2時間空いた子どもからトイレで座る経験をさせ、排尿する経験をしてから保護者と相談してパンツに切り替えている。</p> <p>迎への保護者一人ひとりに子どもの様子を伝えるように努めている</p> <p>迎への保護者には、1・2歳児では連絡帳と口頭で、子どもの様子を伝えている。3～5歳児はクラス活動の様子を貼り出し日誌で伝え、子どもの様子を口頭で伝え、必要に応じて連絡メモも使用している。保護者への連絡事項は担任が視診表に記入して当番保育士に引き継ぎ伝えている。子ども同士のトラブルの報告や怪我などは状況を説明できる職員が保護者の迎えを待って伝えている。怪我などで受診が必要と判断した場合は事前に保護者に連絡し了解を得て受診し、保護者には担任や園長・主査が子どもの様子などを伝え謝罪している。</p>		
3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>子どもが見通しをもって生活できるようにし、遊び込むことを大事にしている</p> <p>子どもが見通しをもって生活できるように、前日の夕方には明日の当番や予定している活動などを知らせている。5歳児クラスでは朝の会を開いて、今日のことを伝え、子どもが自分で考えて自主的に行動できるようにしている。子どもの遊びが盛り上がりつつある場合には、遊び込むことを大事にしている。可能な限り遊びの区切りがついてから、次の活動へ誘うようにしている。木製積み木や小型ブロックなど、組み立てて遊ぶ物は、遊びの続きをしたい時には自分の名前マークの札を置いて、継続して遊べるようにしている。</p> <p>制作遊びやリズム遊びが盛んで、さまざまな子どもたちの作品を飾っている</p> <p>作ったり、描いたりする制作活動は盛んで、5歳児では子どもが自分で使いたい時に使えるよう、はさみや糊、クレヨンを自分持ちにして、画用紙や色紙、色鉛筆、サインペン、空き箱などが自由に使える棚を用意している。評価者が訪問した時には2歳児クラスには栽培したオクラを使ったスタンプ遊びの火花、3歳児クラスには子どもの足型を集めて作った虹などの作品が飾ってあった。また、リズム遊びも盛んで、1歳児は保育者の声で、2歳児からはピアノの伴奏で、リズムに合わせて身体を動かして遊んでおり、運動会でも保護者に披露している。</p> <p>園庭や近隣の公園等の散歩で自然に触れて遊んでいる</p> <p>園庭にはブランコや鉄棒、砂場、築山があり、マルチパーツ、ゴザ、タイヤなどの可動遊具も自由に使って遊んでいる。戸外遊びに適した季節には近隣の公園などへ週1～2回散歩に出掛けている。散歩バックに木の葉や木の実、草花などを集めてきたり、自然物を使ってままごとなどで遊んだり、制作に使ったりしている。庭ではダンゴムシや蟻などを見つけて遊び、メダカやカブトムシ、園庭のグレープフルーツの木に生まれたアゲハ蝶の幼虫などを飼育し、幼虫が蛹から羽化、成虫へと変化する様子を観察している。</p>		

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4の講評

子どもたちが興味関心をもって自らやりたいと取り組み、お祭りごっこを楽しんでいる

祭りの絵本をきっかけに「自分たちでおまつりやろう」、「いいね」と、みんなで賛成してお祭りに取り組んだ。みんなでアイデアを出し合い、焼きそば、魚釣り、かき氷、アクセサリー、ジュースの店と受付を決めて、担任が用意した素材を使って、自分たちで考え、本なども参考にして品物作りに取り組んだ。作るのが得意な子どもだけでなく、苦手な子どももアイデアを出したり、魚の色塗りをしてくれたり、自然に役割分担しながら作り上げた。当日は職員の客を相手に接客も張り切り、子どもも客と店屋の両方を経験して楽しみ、自信と喜びを感じている。

大きな紙で宇宙を表現しようと、みんなで協力して作り上げている

みんなで一緒に何かを作ろうとの担任の提案に、「宇宙がいい」との声が上がり、みんなも賛成し、力を合わせて作っている。子どもたちから、「ロケットを作ってみよう」、「きらきら星も」、「地球もあるよ」、「惑星も」輪っかのある土星もなどの声があがり、金銀の折り紙できらきら星作り、大きな紙に宇宙をイメージした色、赤や水色、青、黒などを塗り重ね、白絵の具をブラッシングして、銀河を表現し、作った星や惑星、ロケットなどを貼りつけて宇宙を作り上げた。「本当の宇宙みたいだ」と大喜びし、協力して作り上げた達成感を味わっている。

保護者参加の運動会には運動会だよりを計4号発行している

年間行事予定は年度初めに配付している。保護者参加の保育行事は幼児クラスの遊ぼう会(運動会)と5歳児の卒園を祝う会である。運動会は、コロナ禍であり、密を避けて各クラス単位で実施している。運動会に向けた保護者向けの運動会ニュースは日程などのお知らせ、各クラスの取り組み内容、当日の注意事項、感想など、計4号を発行している。他のクラスの取り組みを見てもらえないので、写真やコメント付きの壁新聞を作成し、全保護者に見てもらえるように園庭門のところや雨天時にはホール、1歳児室へ通じる階段などへ掲示している。

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目5の講評

朝夕保育も各クラス保育にしている

朝保育から夕保育までクラス保育にしている。雨天などで戸外に行けず室内での遊びが続くような時には気分転換を兼ねて、昼食前や午後のおやつ後などにクローバー室(特別室)や遊戯室で遊ぶようにしている。また、乳児保育室では腰を下ろして遊べるソフトマットや遊び布団を設定しており、幼児保育室でも、例えば4歳児室では午後のおやつ後からは遊び布団を出して体を横たえたりできるようにしており、5歳児室では手作り段ボールの仕切りなどを使って一人静かに遊べる場所を用意している。

延長保育利用児が少数のため、子どもが選んだ好きな遊びでゆったり過ごしている

18時30分からの延長保育の実施園であるが、現在のところ月ぎめ延長保育の利用はなく、延長スポット保育(1日単位の延長保育)のみの利用である。子どもの年齢に合った玩具を用意しているが、少人数のため当番保育士と一緒に絵本を読んだり、おしゃべりをしたり子どもが選んだ好きな遊びをして、ゆったりと過ごしている。



6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>身体に合ったテーブルと椅子を使用して安定して座り、楽しく食事をしている</p> <p>コロナウイルス感染防止のために、食事のテーブルには透明のパーテーションを置き、食事をしている。テーブルと椅子は子どもの体格に合わせた物を使用し、1歳児では子どもの体幹の状況に合わせて股止め付きやテーブル付きの椅子も使用している。いつも同じ友だちと一緒に落ち着いて食事をしている。行事の時には献立を変更してランチプレートで、盛り付けを工夫した行事食を提供している。現在は会食会にはせず、クラス内でいつもと違う友だちと食べたり、手作りランチョンマットやテーブルの飾りを使用するなど、特別感を出して楽しく食べている。</p> <p>薄味で自然のおいしさを味わえる給食を園で調理して提供している</p> <p>給食は区の栄養士が各園からの意見を取り入れながら作成した栄養バランスの良い区立園統一献立を使用して、園の調理室で調理している。昆布やかつお節、煮干などで出汁を取り薄味で自然のおいしさを味わえるようにしている。食品添加物の入ったものは極力使わず、旬の食材を使って季節感を出している。食物アレルギーのある子どもには保護者に確認してもらった献立表を基にアレルギー会議を開いて安全な除去食や代替食を提供している。5歳児の誕生日には、献立は同じであるが、盛り付けなどを工夫した誕生日プレートを提供している。</p> <p>野菜を栽培して生育を観察し、収穫して採れたてを調理してもらい食べている</p> <p>園庭のプランターなどで野菜を栽培して、子どもたちも土作りや植え付け、水やりをして生育を観察している。2歳児がオクラ、4歳児はきゅうり、5歳児は西瓜を収穫し、獲れたてを調理室で調理してもらい食べている。野菜が害虫に食べられて収穫できなかった経験もしている。調理体験では、5歳児はラップおにぎり作りをしたり、揚げパンにまぶす砂糖や黄粉などを袋に入れてもらって、自分で振ってまぶして食べている。その他、栄養士による透明な鍋を使ったご飯炊きを見たり、生のさんまに触れる、七草がゆの食材を見るなどをしている。</p>		
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>子どもが自分の身体や健康などに興味関心を持てるように健康教育に取り組んでいる</p> <p>年間保健計画を作成して看護師を中心に、幼児対象の手洗い指導や生活リズム・うんちの話、4・5歳児にはプール・水遊びの前にプライベートゾーンの話、5歳児には歯磨き指導などに取り組んでいる。例えば、熱中症は、子どもたちに一日に必要な水分量を教えるために、おしっここの量はどれくらいかをペットボトルに入れた色水でわかりやすく教えている。手洗いは手の洗い残しが分かる装置を使って洗い残しを確認して正しい手洗いの方法を知らせている。うんちの話や体の話などは子どもにわかりやすい教材を工夫して伝えている。</p> <p>嘱託の園医に健康診断や園児の健康に関する相談をして連携している</p> <p>薬の与薬については区立園共通の対応をして、原則として薬は預かっていないが、慢性疾患等のために薬の使用なしでは健康的な日常生活ができない場合には保護者の代理として与薬することになっている。現在、与薬申込書を提出してもらい、抗けいれん剤を預かっている。園児の健康管理として毎月の身体測定、年2回の嘱託園医による健康診断、年1回の歯科健診、幼児対象の眼科・耳鼻科健診を実施している。園医には感染症や園児の健康に関することを相談しアドバイスをもらっている。</p> <p>保健だよりや保健関係の掲示などで、子どもの健康に関する情報を提供している</p> <p>毎月保健だよりを発行して子どもの健康管理情報を伝えている。健康診断などの保健行事のお知らせや新しい生活に慣れるために、爪切り、ホクナリテープ、虫刺され、虫歯を防ぐ食べ方など、季節や時期に応じた子どもの健康に関する情報を掲載している。保健に関する掲示版も用意して、感染症発生状況や注意を必要とする保健関係の情報、ポスターなどを掲示している。園における昼寝の際には、午睡チェックを実施して、乳幼児突然死症候群の予防をしている。</p>		

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育方向のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当

評価項目8の講評

子育てや家庭の事情は申し出てもらい、可能な限り受けている

家庭の事情や就労状況の変化などの情報は園に申し出てもらい、園で対応できることについては可能な限り受け入れている。土曜日保育の対象ではない場合でも、急に仕事が入った場合は事前に申し出てもらって受け、兄弟の授業参観などで小さい子どもを連れて行けない場合は申し出てもらって受けている。その他、保護者や家族が医療機関を受診するので、迎えの時間が遅くなる、慣れていない祖父母の迎えの際に持ち帰る荷物などをわかりやすく説明するなど、園でできる支援をしている。

年2回の保護者会の懇談の他、質問に答えてもらう紙面懇談などもしている

送迎時には連絡事項だけでなく、子どもの様子も伝えるようにしている。クラスだよりは月2回程度発行し、全クラスの物を掲示している。前期保護者会では子どもの年齢発達の姿と保育者の関わりなどを伝え、子どもの様子を動画などの映像を見てもらっている。保護者同士の自己紹介や懇談の時間を設けており、事前に話したいことなどのアンケートを取り、懇談しているが、話し合えなかった質問への意見を募集してクラスだよりで紹介する紙上懇談や、質問を掲示して意見を糊付付箋で寄せてもらう、壁新聞懇談などもしている。

個人面談は事前に保護者の質問を把握して応えるなどの工夫をしている

コロナ禍のために保育参観・参加は中止している。個人面談は年間1回以上実施している。期間を決めて保護者の都合の良い日時を3つまで記入してもらい、調整している。一人当たり概ね45分程にしている。保護者との面談は複数の担任で聴いている。個人面談をするにあたって園での子どもの遊びや生活場面の姿を伝え、園の働きかけを話すことにしている。有意義な時間にするために、担任同士で保護者に伝えることについて話し合い、準備をして、保護者にも、年齢に応じた質問項目を作成して記入してもらった上で面談している。

9 評価項目9

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当

評価項目9の講評

コロナ禍のため、交流は中止しているが、地域や近隣の方々と挨拶を交わしている

コロナ禍前は、子どもたちも併設の高齢者活動施設と交流し、地域の図書館へ団体貸し出しの絵本を選本に行き、公共施設の利用の仕方を学んでいたが中止になり、現在図書館の選本には職員が行っている。散歩で利用する公園の近くにお住いの方から、蝶や花をいただくことがあり、お会いするとみんなで挨拶をしている。園の近隣の方々は日常から挨拶をし、園の前の道路は雪かきや台風後の木の葉の掃除など、園も積極的にしている。子どもたちが好きなキャラクターを家の門付近に飾ってくれて園児が楽しみにしているお家もある。

地域センターの祭りに子どもの作品を出展している

地域センターのちびっこ祭りには園児の絵を展示しているので、親子で参加して見てもらっている。消防署には総合避難訓練時に子どもたちに避難の仕方などを、警察署には不審者訓練の指導時に、知らない人にはついて行かないなどを話してもらっている。清掃事務所には環境教育に来てもらい、子どもたちにゴミの分別などを教えてもらっている。

西荻地域の中核園であり、地域内の保育施設同士の交流・情報交換をしている

現在、地域子育て支援の育児相談や身体測定は中止している。杉並区の中核園事業を担当している園であり、担当主査が在籍している。西荻地域の保育施設は40施設あり、現在は、職員同士の交流や学び合い、情報交換などを行っている。新型コロナウイルス感染者数の減少状況により、園庭の無い保育施設の園児が園庭に遊びに来るような取り組みが始まる予定である。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	子どもが発見・発想した遊びにじっくり取り組めるような環境作りに努めている	
内容①	保育室や園庭は、子どもの年齢発達に合った玩具や遊具を用意して、自分で自由に選んで使えるように環境設定し、子どもがやりたい遊びにじっくり取り組めるようにしている。保育士は子どもの発見や発想などに寄り添い、大人も一緒に共有・共感する保育を目指している。子どもたちは園庭のグレープフルーツの木にアゲハ蝶の幼虫がいるのを発見しては捕まえて飼育し、何度も羽化する様子を観察している。自分たちのお祭りをしたいという5歳児の思いに応じてさまざまな素材を用意し、子どもたちがイメージしたお祭りに取り組めるように援助している。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	園の保育を伝えようと、クラスだよりや壁新聞などで保育の見える化に取り組んでいる	
内容②	保護者に園の保育の様子を伝え、保護者と共有できるように保育の見える化に取り組んでいる。連絡帳や貼り出し日誌、送迎時の会話以外に、各クラスだよりを月2回程発行して子どもの活動の様子を写真入りで伝え、全クラスの内容を掲示している。コロナ禍のために各クラス毎の開催となった幼児の運動会については、他のクラスの様子を知ってもらおうと、入場や競技などの写真にコメント付きで壁新聞を作り、送迎時に見てもらいやすいように登降園門付近に掲示し、雨天時には遊戯室に移し、1歳児が利用する階段付近にも掲示するなど工夫をしている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-1-4	職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる
タイトル③	障害児指定園として障害理解の学びを深め、保育の質を高めている	
内容③	障害児指定園になり3年目である。前年度も、園内研修などを通して、障害への理解を深めている。巡回指導で受けたアドバイスを実践に移した後、子どもの様子などについてカリキュラムの場で伝え合い、障害への理解や対応について研鑽を積んでいる。このことにより、子どもたちの行動の見立てなどの理解も深まり、それがクラス保育に活かされ、保育全体の質の向上につながっている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	一人ひとりの子どもの発達や思いなどに合わせて寄り添い、子どもが自分の気持ちを出して心地よく生活できるようにしている
	内容	保育理念に「自己肯定感が育まれる保育を大切にしていきたい」を挙げている。1・2歳児では一人ひとりの思いに寄り添い、安心して自分を表現でき、心地よく過ごせることを大事にしている。玩具棚には年齢発達に合った玩具を用意し、子どもが好きな玩具などで安心してじっくり遊べるようにコーナーを作っている。少人数で遊んだり、生活の切り替え場面なども小グループにして、子どもの思いを受け止めて丁寧に関わっている。利用者調査の結果、職員が子どもの気持ちを大切にしながら対応しているかの問いに、100%の大変高い評価を得ている。
2	タイトル	保護者に事前アンケートをお願いして、個人面談当日にできるだけ返答できるようにし、お互いに有意義な時間になるようにしている
	内容	子どもの姿や成長の様子を園と家庭とで共有し、子どもの育ちに見通しをもち、子育ての楽しさや喜びが感じられるように、年1回個人面談を実施している。期間中で保護者の都合のつく日時を第3希望まで記入してもらい日程調整し、概ね45分程で実施している。クラスでは担任同士で子どもの遊びや生活の様子、大人の働きかけなどを確認し合い、保護者向けに事前アンケートをとり、子育てについての考え方や子どもへの対応で困っている・気になること、知りたい・聴きたいことなどを把握して臨み、お互いに有意義な時間になるようにしている。
3	タイトル	指導計画検討を実施して、クラスの課題や悩みなどを職員間で話し合うことで、共通認識をもって保育を進めることができている
	内容	毎月2日間、指導計画検討日を設けて、各クラスの状況や子どもの様子などとともに困っていることや課題などを話し合い、職員間で共有している。毎月末に、次月のカリキュラムをクラス毎に配付し、目を通したうえで参加している。1日目はクラスからねらいや課題、悩みなども含めて発表し、2回目には、課題の中から、テーマを決めて(例えば、紙の取り扱いについてなど)話し合い、実践し、その後の経過報告をしている。クラスの課題に焦点を当てて話し合うことで、職員同士が共有の思いをもって保育を進めることができている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	今後、安全に配慮しながら出来る異年齢交流の取り組みの再開を期待する
	内容	新型コロナウイルス感染防止のために、密を避けてクラス保育をし、積極的な異年齢の交流は見合わせ、安全に配慮しながら園庭などで自然な交流をしている。今後、コロナ禍の収束状況により、子ども同士がいたりやおもいやり、あこがれなどの気持ちをもち、お互いに育ち合う異年齢交流の取り組み再開を期待する。
2	タイトル	これまで以上に、保護者が参加しやすい行事の実施についての検討を期待する
	内容	保護者参加の行事は幼児クラスの運動会と5歳児の卒園を祝う会、年2回の保護者会と個人面談である。年間行事予定表は年度初めに配付して予定日を知らせている。利用者調査の行事の日程への配慮についての設問には、参加する行事がない、保護者会や面談の時間をもう少し遅い時間にして欲しい、平日の行事が多いなどの意見が寄せられている。今後は、保護者のニーズを把握するなどして、これまで以上に保護者が参加しやすい行事の実施について、検討を期待する。
3	タイトル	ヒヤリハットの活用を充実させ、リスクマネジメントのより一層の取り組みを期待する。
	内容	子どもに怪我などを含む事故が起こらないことが一番優先されるべきことと園全体で共有し、軽微なリスクが起きた時すぐに情報共有し、事故の未然防止に取り組んでいる。今後は、軽微なリスクとやリスクにつながりそうな職員の気づきなどを用紙に記入し、ヒヤリハットの活用を充実させ、職員のリスク感性を高めていくなど、リスクマネジメントのより一層の取り組みを期待する。

### 3. 井草保育園



調査対象

令和4年7月の配布時点で利用している在園児92名の保護者79世帯を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答の回答をいただいた。

調査方法

①調査票、②調査のご協力依頼文書、③返信用封筒を同封した封筒を保育園の職員から直接、保護者の方々に配布してもらい、保護者の方々から返信用封筒に調査票を入れて、直接、評価機関へ返送していただいた。調査にあたっては保育所内に「ご協力のお願い」文書を掲示した。

利用者総数	92
利用者家族総数(世帯)	79
共通評価項目による調査対象者数	79
共通評価項目による調査の有効回答者数	61
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	77.2

利用者調査全体のコメント

・回答者の属性は次の通りである。調査票記入者:「父」7名(11%)、「母」46名(76%)、「父母一緒に」6名(10%)、無記入2名(3%)。  
 ・総合的な感想は「大変満足」28名(46%)、「満足」27名(44%)、「どちらともいえない」2名(3%)、「不満」2名(3%)、「大変不満」1名(2%)、無記入1名(2%)であった。「大変満足」、「満足」と返答した方々は回答者の90%で、当園の保育に関して非常に高い満足を得ている。  
 ・回答者の90%以上が「はい」と答え、満足度が高い設問は、問1「心身の発達に役立つ活動」、問2「興味や関心の持てる活動」、問3「食事」、問11「緊急時の対応」、問13「子どもの気持ちの尊重」であった。  
 ・総合的な感想では、「外遊びや亀の世話、畑の世話など沢山の経験をさせてくれており、感謝しています」などのコメントが記入されていた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	58	3	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の95%で、心身の発達に役立つ活動に関して非常に高い満足を得ている。「水遊びやお絵描き、外遊びなどいろいろな経験をさせてくれていると感じます」、「家ではできない沢山の体験や経験をさせてくれています」などのコメントが寄せられた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	57	4	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の93%で、興味や関心を持てる活動に関して非常に高い満足を得ている。「季節のイベントに向けて、子どもにしっかりと楽しく教えてくれていると思います」、「昆虫や魚の飼育、絵の具や粘土体験などがあり、子どもの興味・関心を広げてくれています」などのコメントが寄せられた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	57	3	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の93%で、食事に関して非常に高い満足を得ている。「苦手の食べ物も、「保育園でなら食べられる」と子どもがよく言っています」、「普段、家では食べられないようなものも提供してくれるので助かっています」などのコメント寄せられた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	49	8	4	0
「はい」と返答した方々は回答者の80%で、戸外遊びに関して高い満足を得ている。「十分な広さの園庭があり、自由に虫を探せるなどとても良い環境です」、「特に農園での関わりは子どもにとってとても大きく影響し、休みの日にも『農園に行きたい』と言っています」などのコメントが寄せられた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	49	5	0	7
「はい」と返答した方々は回答者の81%で、保育時間の変更への対応に関して高い満足を得ている。「電話をすれば対応してくれます。また、『急がないでいいですよ。気をつけて迎えに来てください』とねぎらいの言葉もかけてくれます」などのコメントが寄せられた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	42	16	2	1
「はい」と返答した方々は回答者の78%で、安全対策に関して概ね満足を得ている。「暗証番号での施錠だけでなく、屋間にもチェーンロックがされていました」などのコメントが寄せられた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	37	18	6	0
「はい」と返答した方々は回答者の69%、「どちらともいえない」26%、「いいえ」3%、非該当2%であった。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	48	10	3	0
「はい」と返答した方々は回答者の79%で、家庭と保育所との信頼関係に関して概ね満足を得ている。「とても親身になって話を聞いてくれる先生が多く、信頼できる園だと思っています」などのコメントが寄せられた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	53	6	0	2
「はい」と返答した方々は回答者の87%で、施設内の清掃、整理整頓に関して高い満足を得ている。「建物は古いですが、園舎内は清潔だと思います」、「園内は消毒や清掃などが行き届いていると思います」などのコメントが寄せられた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	52	8	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の85%で、職員の接遇・態度に関して高い満足を得ている。「言葉遣いや対応もしっかりとしています」などのコメントが寄せられた。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	57	1	2	1
「はい」と返答した方々は回答者の93%で、緊急時の対応に関して非常に高い満足を得ている。「病院へ連れていく、または病院へ行くまでもない症状のときには冷やすなどの判断をしてくれるので、安心して任せられます」などのコメントが寄せられた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	43	8	2	8
「はい」と返答した方々は回答者の71%で、子ども同士のトラブル対応に関して概ね満足を得ている。「子ども同士のけんかの状況がわかるように説明してくれたので、こちらも状況が想像しやすかったです」、「まだ小さい年齢だと互いにぶつかったり、かんんだりすることがありますが、先生は止めてくれたり、『それはいけないこと』だと教えてくれます」などのコメントが寄せられた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	55	5	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の90%で、子どもの気持ちの尊重に関して非常に高い満足を得ている。「子どもへの愛情を日々の会話から感じます」、「しっかりと子どもの気持ちをくみ取って対応してくれていると思います」、「子どもの気持ちに寄り添って見ているので、子どもも信頼しています」、「うまく言葉で伝えられなかったときにも、『〇〇だったんだよね』と代弁してくれます」などのコメントが寄せられた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	46	5	1	9
「はい」と返答した方々は回答者の75%で、プライバシー保護に関して概ね満足を得ている。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	54	7	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の89%で、保育内容の説明に関して高い満足を得ている。「連絡帳から子どもの様子がとてもわかり、微笑ましく読んでいます」、「毎日、ボードにその日にやったことを書いてくれます。写真付きなのでわかりやすい。家に帰ってから、その情報をもとに子どもと話すことができます。また、先生たちの研修についても紹介されているので、良いと思います」などのコメントが寄せられた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	34	8	5	14
「はい」と返答した方々は回答者の56%、「どちらともいえない」13%、「いいえ」8%、非該当23%であった。「担任だけではなく、園長や看護師なども連携し対応しています。組織で対応できていると思います」などのコメントが寄せられた。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	18	12	11	20
「はい」と返答した方々は回答者の30%、「どちらともいえない」20%、「いいえ」18%、非該当32%であった。				



I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している <span style="float:right">評点(〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <span style="float:right">評点(〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している <span style="float:right">評点(〇〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	カテゴリ1の講評	
	次年度の園運営での目標について共通認識をひとつにしている 「係(園)の目標シート」をクラスごとに配布し、職員に次年度の目標などについて記入してもらい、幹部層が総括し、職員会議で意見を出し合い、次年度の園の目標を決定している。このプロセスを通して、次年度の園運営での目標について共通認識をひとつにしている。また、園目標・保育目標を事務室に掲示し、職員への意識づけを図っている。園目標・保育目標は重要事項に記載され玄関に掲示し、「園のしおり」にも園目標・保育目標を明記し、園の保育で大切にしていることを保護者に周知している。	
	保育向上リーダー・園長・主査の4本柱で保育の質の向上に積極的に取り組んでいる 園長・主査・保育の向上リーダー2名が当園の保育の質向上に向けて計画的に取り組んでいる。園の4本柱は、職員会議のテーマについて話し合い、現場の保育をどうすすめていくのかなどについて意見交換している。また、園長は、杉並区立園全体の園長会に参加し、区の園運営に関わる重要な情報を収集し、職員会議などで報告し、区立園としての役割・責任を果たすべく努力している。環境・運動会・卒園式などのプロジェクトチームがあり、各プロジェクトでは園長・主査と相談しながら、職員の意見を取り入れ、話し合いを進めている。	
	園の重要案件は、職員会議で検討、決定している 毎日、昼のミーティングを実施し、翌日の職員体制やアレルギーチェック、ヒヤリハット・怪我などについて報告し、共有している。職員会議(月1回)や定例打ち合わせ(週1回)を通して、園運営に関わるさまざまな案件について検討し、園の重要案件は職員会議で検討、決定している。また、情報が全員に伝わるよう各クラスの職員のコミュニケーションを密にしている。保護者に園の決定事項を伝えるときは「すぐメール」や園だより、お知らせ、掲示などを活用している。	

カテゴリ-2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリ-1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(○○○○○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(○○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-2の講評		
<p>保護者や職員の意見・提案などを園運営に活かしている</p> <p>保護者会やクラスだよりなどでアンケートを取り、保護者のニーズに合った園運営に取り組んでいる。運動会の参加者に関して、前年度は同居家族2名までの参加としていたが、保護者の意見を受け、今年度は同居以外の家族でも参加可能で1世帯大人2名までの参加とした。保護者の意向に対して、可能なことはできる限り応じるよう努めている。また、職員の意見・提案・疑問などに対しても受け止め、検討し、職員の園運営への参画意識を高めている。</p> <p>地域の関係機関との話し合いの場を持ち、地域ニーズを収集している</p> <p>地域の児童館主催の地域子育てネットワークに参加したり、地域の障害者施設との話し合いの場を持ち、地域の福祉ニーズの収集をおこなっている。また、地域の保育関係施設が集まる地域懇談会に参加し、近隣園の様子について情報収集している。園長は、園長会で収集した区の保育行政に関わる情報を職員に周知している。その中では、区内他園で起きた危機管理についての情報を得て、類似事故がないよう対策を協議している。職員が「知らなかった」、「聴いていなかった」ということがないように必要な情報を職員に提供し共有している。</p> <p>年度初めに「係の目標シート」を策定し、園の目標を明確化している</p> <p>区では杉並区総合計画(令和4(2022)年度～令和12(2030)年度)を策定している。また、区子ども家庭部保育課の組織目標を踏まえ、当園では現状の課題を分析し、年度初めに「係の目標シート」を策定し、園の目標を明確化し、中間・年度末に振り返りを行っている。保育の実践に関しては、全体的な計画に基づき年間指導計画・月案などを作成し、その後、毎月の指導計画の見直し時に自己評価や保育士同士の反省をおこない、次の計画に反映している。</p>		

3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

### カテゴリー3の講評

#### 新人職員は公務員倫理・人権などについて区主催の研修に参加し、学んでいる

入職1年目・2年目・3年目には、育成担当者を配置し、社会人・組織人として必要な事項や守るべきことなどの理解を深めている。また、新人職員は公務員倫理・人権などについて区主催の研修に参加し、学んでいる。また、「区政の現状と課題」をテーマとした研修に参加した職員が職員会議などで報告し、職員皆で共有している。指導計画の検討時には、子どもの姿について話し合う中で保育士として必要な事項についての学びを深めている。

#### 入園説明会やポスター掲示などで、苦情申し出先について保護者に説明している

苦情調整委員制度のポスターを玄関に掲示し、新入園児説明会などを通して説明し、第三者へ相談できる制度の周知に努めている。保護者からの苦情・意見などは、連絡帳を活用して受け付けている。保護者からの苦情や要望は、窓口になった職員から園長・主査へ報告し、職員会議などで全職員で共有している。また、連絡帳に記載された保護者の意見・相談は、担任から園長・主査に伝え、担任や園長・主査が連絡帳にコメントしたり、個別に対応している。

#### 保育士の資格取得のための実習生を受け入れ、将来の福祉人材の育成に寄与している

保育士の資格取得のための実習生を受け入れ、将来の福祉人材の育成に寄与している。前年度、中学の職場体験を受け入れた。そのときはコロナ禍により現場に入らず、保育園についてのインタビューに応じた。また、保育相談や見学会を実施している。コロナ禍により見学会は、週2回、1世帯1人で、1日2～3世帯を受け入れている。また、訪問調査時点でコロナ禍により園庭開放を中止していたが、11月からは地域の私立園の子どもたちが遊びにきている。現在、子ども同士の交流はしていないが、後期に5歳児の交流を計画している。

カテゴリ4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ4の講評		
<p>避難訓練や防犯訓練、安全チェックなどにより、利用者の安全を担保している</p> <p>危機管理マニュアルを作成しており、防犯対策や避難訓練、事故発生時対応手順などの項目を設定し、的確かつ迅速に対応できるようにしている。毎月1回、午睡・延長保育・散歩などのさまざまな場面での地震・火災を想定した避難訓練を実施している。年5回、防犯訓練も実施している。その中では散歩中の不審者対応もおこなっている。また、避難訓練の係担当者が月1回の頻度で、安全チェックをおこなっている。毎週土曜日に園庭整備、遊具の点検をし、毎月、環境プロジェクトが園庭の点検整備をしている。</p> <p>軽微なヒヤリハットについても日々のミーティングで共有し、互いに注意喚起している</p> <p>コロナウイルス感染対策として、職員は自宅での検温と出勤時にも検温し、マスク着用、手指消毒の徹底を図っている。玄関・出入り口の消毒、おもちゃの消毒を1日1回以上(乳児クラスは1日2回)実施している。看護師の横の連絡会である医療会からのコロナウイルス感染症対策についての情報に基づき園内の感染対策をおこない、感染拡大防止に努めている。ヒヤリハットを共有して、危機管理の意識を高め、安全で安心できる環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>個人情報の取り扱い、職員と共有をして決めた約束事に沿っておこなっている</p> <p>杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理をおこなっている。情報セキュリティ対策基準(部外秘)によりアクセス権等の設定をしている。個人情報の取り扱いについては、職員とも共有をして決めた約束事に沿っておこなっている。SDカードなどの画像データの提供については「データ持ち出し管理簿」を作成し、持ち出す際は、園長・主査に声をかけたうえで、記録をつけている。返却の際も同様に声かけと管理簿での記録をおこない、情報の紛失を防いでいる。</p>		

カテゴリ5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賞金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリ2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

カテゴリー5の講評

人事評価制度や目標申告を人材育成に活かす仕組みを設けている

杉並区人材育方針において、人事評価制度や目標申告を人材育成に活かすことを明確に位置づけた上で、「職員自ら成長する意欲向上の支援」、「職員を育てる職場づくりの支援」、「職員を育てる制度環境の整備」の3つの視点から職員の能力と組織のチーム力の向上に取り組んでいる。区の人事異動基準において在園の年限を定め、適材適所の人材配置をおこなっている。クラス担当を決める際は、アンケートを取り、職員個々の希望を把握し、園長・主査で作成したクラス配置案を提案し、職員会議で検討・決定している。

保育向上リーダーを中心に園内研修を企画実施し、スキル向上を図っている

区主催研修・園内研修・外部研修・OJT・自己啓発などで職員の資質向上を図っている。区保育課主催の実務研修は職員から希望を募ったり、該当者を派遣している。研修受講後は、職員会議で報告し、情報共有している。保育向上リーダーを中心に園内研修を企画実施しており、意見交換をおこなう中で新たな気づきを得ている。障害児指定園であるため、園内研修では「インクルーシブ保育について」をテーマとし、区内他園の職員も参加している。

職員が自由に意見を言えるような雰囲気づくりに工夫している

新任職員には区の制度に基づいて育成担当者を配置し、仕事の不安や悩みなども相談できる環境をつくっている。保育向上リーダーと園長・主査とともに職員が自由に意見を言えるような雰囲気づくりに努めており、ベテランだけでなく若手職員も、会議の場で発言がしやすいよう「おしゃべりタイム」の時間を設けるなど工夫している。園長・主査を中心に就業状況を把握し、ローテーション勤務の中で必要な有給休暇等の取得に努めている。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

「保護者に保育園の活動の様子を具体的に知らせ、家庭での様子を聞きながらコミュニケーションをとり、共育てを実践していく」を前年度の重要目標とし、次の取り組みを実施した。年間を通して、保護者に向けて年間計画・月案を掲示し、保育活動の目的を保護者と共有した。保護者との共有については、保護者会が開催されない時は、保護者会の内容を資料や手紙などに変えて、わかりやすく伝えるような工夫をした。個人面談等では保護者と職員が具体的な言葉で子どもの姿を共有できるようにした。保護者からの意見なども反映するために、アンケートを取ったり、回答を保護者から募ったりして紙面での保護者のやり取りを図った。さらに、相互理解を深め、保護者の悩みに応えることで信頼関係を深めた。

<p>目標の設定と 取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</li> </ul>
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</li> <li><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</li> <li><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

利用者調査では、「保育内容の説明」に関して、回答者の89%が満足と返答し、保育内容の説明に関して高い満足を得ていた。前述した取り組みの成果である。コロナ禍で年間を通して保護者会が開催できなかったため、子どもの様子について壁新聞やクラスだよりなどで知らせ、保護者と共有できるようにした。次年度は保護者との相互理解・共有できる方法を工夫することや、コロナ禍の状況を考慮して開催できる日程を設定するなどを計画に入れている。



評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

「職員同士で保育を語り合い、学び合い、認め合いチームワークを深めることで全体の保育の質の向上を目指す」ことを重要目標とし、次の取り組みを実施した。保育向上リーダーを中心に、園内研修を企画し、職員間の意見交換をしたり、保育の課題を抽出し、解決に向けて取り組んだりした。あらゆる年代、職種もある中で互いに高めあえる関係づくりを目指し、気づきを共有し、問題や課題を解決するために話し合い、互いの意識を高め、実践に活かしていくことに取り組んだ。これらの取り組みの結果、保育向上リーダーの工夫で、会議の中での発言が少しずつ増えていき、職員間で保育の話をざっばらんにできるような組織づくりが構築できた。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</li> </ul>
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</li> <li><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</li> <li><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

年間を通して、振り返り事例討議をおこなったため、子どもの姿や保育の様子などを共有でき、クラスの子どもだけでなく、全園児を職員全員でみる意識ができてきた。世代別で同じテーマで話し合いをし、活発な意見交換ができた。次年度はカリキュラムの検討をより工夫し、意見交換を活発におこない、保育実践に活かしていきたいと考えている。保育の方向性を共有でき、チームワークの向上につながった。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ-1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-1の講評		
<p>区の公式ホームページやアプリなどで情報提供している</p> <p>杉並区公式ホームページの「保幼(ぼよ)ナビ」や、区の公式アプリ「すぎぼよ(保幼)」で情報提供している。区のホームページの施設案内には園の住所、電話番号、年齢別定員、保育時間、延長保育時間などの園概要、外観写真、地図、保育目標、主な行事、園の見取り図、保育室や子どもたちが遊んでいる様子の写真を掲載している。園の特色として、「広い園庭には築山があり、ブランコ、鉄棒、のぼり棒などで全身を使って遊び、庭の花壇で野菜を栽培し、収穫をして食べることで食物に対する興味関心を育てている」、などと紹介している。</p> <p>区立直営保育園であり、行政や関係機関と情報提供し連携している</p> <p>区立直営保育園であり、区役所の保育課には延長保育利用児数や施設管理に関することなどさまざまな報告をして連携している。園長は月2回区立保育園長会に参加して、行政から情報提供を受け、課題検討や情報交換をしている。地域内の保育施設長同士の地域懇談会や児童館主催の地域子育てネットワークに参加し、地域の小学校や障害者通所施設、保健センターなどと情報交換している。主査は主査会、看護師は医療会に参加している。消防署には総合避難訓練の指導や講評、救急法の指導をお願いしている。</p> <p>見学日は水曜日と土曜日にして、園概要を配付して案内や説明をしている</p> <p>毎週水・土曜日を見学日と決めて、見学希望の問い合わせ時に伝え、案内や説明は園長または主査がおこなっている。コロナ禍のため、平日の見学は、事務室のパソコンで保育室などの映像を見てもらい、土曜日には使用していない保育室を見てもらっている。また、園概要も配付し、9月現在までに41件の見学を受けている。園の特長として、園庭が広く、異年齢の子どもの交流ができ、大きな子どもへの憧れや、小さな子どもへの優しさなどを育む障害児指定保育園であり、みんなで一緒に子育てをしようという保育をしていることを伝えている。</p>		

サブカテゴリー2			
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2の講評			
<p>入園時には入園説明会で園の重要事項や基本的ルールを説明している</p> <p>入園内定者向けに、園医による健康診断や園長、保育士、看護師などによる入園前の面接を実施して、健康や発育状態、入園までの生活状況などを把握し、保護者の就労や家庭の状況、意向を聴き、保育時間を決めている。クラスの様子や持ち物の説明などもしている。4月入園に向けては、入園説明会を3月の土曜日に開催し、「井草保育園のしおり」や「保育園のご利用にあたって【重要なお知らせ】」を基に、園の概要や保育理念、保育目標、お願い事項、健康管理、緊急時の対応、個人情報の取り扱い、延長保育などを説明して、同意を得ている。</p> <p>入園当初は、1週間程度の慣れ保育を実施している</p> <p>入園当初は子どもの不安やストレス軽減のために、1週間程度の慣れ保育を実施している。初日は、子どもを1時間程度預かり、保護者に登園時の支度の仕方、荷物の置き場所の説明などを行っている。入園前の面接時に聴き取っている就労状況や家庭の事情、保護者の意向に合わせて、登園する日を決め、午前中保育の食事までの預かりから、子どもの慣れ具合により、次第に時間を延ばしている。できるだけ同じ職員が関わり、子どもや保護者との信頼関係を早めに築くようにし、保護者には子どもの様子を詳細に伝えて安心してもらえるようにしている。</p> <p>転園や退園、卒園には子どもや保護者の不安が軽減されるよう努めている</p> <p>区内の区立保育園への転園の場合は、保護者の了解を得て、園同士で子どもに関する情報のやり取りをしている。その他の場合は、保護者に新しい育児環境への不安はないかなどの声掛けをして、相談に応じるなどして不安軽減に努めている。転園や退園は、各クラスでお別れ会を開いて手作りメッセージカードを渡したりしている。卒園児の就学先には「保育所児童保育要録」の写しを送付して引き継ぎをしている。併設の児童館に卒園児が来ているので、顔を見たり声を掛けたりし、児童館の職員にも子どもたちの様子を尋ねたりしている。</p>			

サブカテゴリー3

3 個別状況の記録と計画策定

サブカテゴリー毎の  
標準項目実施状況 12/12

評価項目1

定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

評価項目2

全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直ししている	○非該当

評価項目3

子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

サブカテゴリー3の講評

子どもの心身や生活状況を把握して、児童票や保育日誌などに記録し把握している

入園前には健康診断により健康・発育状態を把握し、面接では児童票や児童健康調査票、入園までの生活状況等により、出生歴や成育歴、発育経過、既往歴、健康上の注意点、授乳や食事、睡眠、排せつ、言語、運動・遊び、入園までの保育状況など、保育をする上で必要な情報を把握して記録している。登園時には、連絡帳や口頭により子どもの健康状態を把握して保育し、園での生活や活動の様子、健康状態などを保育日誌や保健日誌に記入している。保育の経過記録は児童票に、0・1歳児は1か月毎、2歳児は2か月毎、3～5歳児は3か月毎に記載している。

担任同士で保育を振り返り、次月の指導計画を作成している

指導計画は全体的な計画を基に年間指導計画を作成し、それらを踏まえてクラスの状況や子どもの実態を担任同士で話し合い、月間指導計画を作成している。次月の計画作成時には保育を振り返り、前月の子どもの姿、月のねらいや子どもの活動、配慮点などから構成して作成している。1・2歳児は個別の子どもの姿と活動と配慮及び援助を、3～5歳児は子どもの姿及び配慮を作成し、個別の配慮が必要な子どもの個別計画を作成している。前期保護者会で、クラスの保育で大切にしていることを伝え、月間指導計画は掲示して保護者と共有している。

指導計画会議など、さまざまな会議を開催して子どもに関する情報を共有している

月間指導計画は月2日、指導計画会議を開催して、職員間で情報を共有している。ミーティングは平日の昼間にクラス代表者が参加して、午前中の保育や子ども・保護者に関する報告、翌日の職員体制、行事、会議の連絡について検討している。定例職員会議は毎週1回昼間に、会議報告、行事検討・反省、事務連絡、研修報告などとし、一方夜会議は年間5回程度、年度末に職員にアンケートをとり、内容をまとめて話し合い、年間指導計画や半期反省、年度末反省などを行っている。また、幼児・乳児・各プロジェクト打ち合わせ、アレルギー会議なども開いている。

サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重			
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当	
サブカテゴリ-5の講評			
<p>子どもの心身や生活状況を把握して、児童票や保育日誌などに記録している</p> <p>個人情報の保護について「井草保育園のしおり」や「保育園のご利用にあたって【重要なお知らせ】」に掲載して、取り扱いを徹底する旨やビデオ・写真の撮影について説明し、撮影の可否についての調査をしている。子どもの情報を外部とやり取りする必要がある場合には、保護者の同意を得た上でおこなっている。また、子どもの羞恥心への配慮として、プールの柵やシャワーには外部から見えないように目隠しや囲いを設置している。プライベートゾーンの健康教育を実施し、着替える際は全裸にならず脱いだ物から着ることを伝えている。</p> <p>子ども一人ひとりの個性を尊重して保育している</p> <p>「一人ひとりの子どもを尊重する保育園」を園の理念として掲げ、子ども一人ひとりには個人差があり、発達過程、生活環境が違うので、その子の個性を尊重して保育している。子どもが「どうしても～がやりたい」というような気持ちをもっている場合には、子どもの気持ちに寄り添い、かなえられるようにして、職員みんなで園児の姿を共有して保育をしている。子どもの誕生日のお祝いはその子の誕生日当日にクラスでお祝いをし、誕生日おめでとうのフレームに写真を掲示して、誕生日バッチをつけ、皆におめでとうの声掛けをしてもらっている。</p> <p>研修に参加して学び、子どもの虐待の早期発見や防止に努めている</p> <p>子ども家庭支援センター主催の児童虐待対応基礎研修に参加して、職員会議で報告し、資料を掲示して見てもらっている。職員は、日頃から児童虐待の早期発見と防止に努め、着替えや身体測定時などには不審な傷やあざはないか、汚れた着衣を着ていないかなどを見たり、子どもの言動にも注意を払っている。気になることがある場合には記録を取り、園長に報告し、園長はマニュアルに沿った対応をとることになっている。</p>			

サブカテゴリ6		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリ6の講評			
<p>区立保育園共通のマニュアルや園独自の職員マニュアルを整備している</p> <p>区立園共通の「杉並区立保育園保育実践方針」、「杉並区保育実践の手引き」は職員各自が持っており、「保育園危機管理」、「保健衛生」、「アレルギー」などのマニュアルは事務室の棚に置き、いつでも見ることができるようにしている。園独自の職員マニュアルとして、朝夕保育当番の仕事内容、電話対応マニュアル、防火管理組織表、火事・地震・土曜日の災害発生・不審者の対応、朝・夕保育の会計年度任用職員業務内容などを作成している。散歩、園庭の決まり等独自のマニュアルは各クラスに1部ずつ配付して、必要な時に確認できるようにしている。</p> <p>年度末に見直したり、必要と判断したものについては随時、見直している</p> <p>園独自のマニュアルや「井草保育園のしおり」などは年度末に確認し、必要な見直しをしている。当番の仕事や朝夕の会計年度任用職員業務内容などは、子どもの成長や人数の増減、会計年度任用職員の入れ替わりなどにより、見直しが必要と判断した時には、職員会議で提案して随時見直している。保育及び園の運営に関することは半期反省、年度末反省をして園のサービス向上に努めている。</p> <p>意見や提案、気づいたことは、検討し見直して、サービス向上につなげている</p> <p>保護者や職員からの意見や提案は検討し、必要と判断した場合には、見直しをしている。例えば、幼児のヘルメット置き場がなく、困っている様子だったので、玄関横のバギー置き場の上に設置した。また、全園児が登降園に玄関を利用しているので、雨天時に使用する傘立てにクラス表示なく使っていたので、クラス毎の表示をして、入れやすいよう、わかりやすいように変更した。さらに、職員用の自転車置き場が狭く、自転車通勤者が増えて入れないため、併設の児童館に相談して置かせてもらうことにした、などが挙げられる。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリ4	
		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	35/35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつぎ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
●あり ○なし	6. (5歳児の定員を設けている保育所のみ) 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもが自分で遊びたいものを選び、落ち着いて遊べる環境作りをしている</p> <p>保育室の環境設定は子どもの年齢発達や興味関心に合わせた玩具や教材などを、子どもが自由に使って遊べるようにし、積み木やままごとなどのコーナーを作り、落ち着いて遊べるようにしている。積み木も1歳児には立方体の積みやすい物、コルク積み木などの崩れても怪我をしない素材の物を用意し、2歳児は長方体のレンガ積み木など、3歳児の色鉛筆は発達に合わせた色鉛筆を用意している。5歳児になると、板状の小型積み木を使って、友だちと協力しながら作り上げる積み木という具合に、子どもの発達に合わせたものを用意している。</p> <p>コロナ禍のため、広い園庭などで、自然な異年齢交流をしている</p> <p>保育士は一人ひとり違っていいという、インクルーシブ保育をしている。コロナ禍にあり、異年齢交流は広い園庭に出た時などに、自然とおこなわれている。当園はリズム遊びが盛んであるが、異年齢での取り組みは中止してきた。9月現在、感染者が減少してきた状況になり、少しずつ他のクラスと一緒にリズム遊びを再開している。園庭では全クラスが出て遊んでいるので、小さい子どもが遊んでいる時には追いかけてこやボール蹴りは、小さい子が部屋に入ってからしようとな上の子どもが気遣い、気が付かない時には大人が声掛けしている。</p> <p>子ども同士のトラブルには、双方の子どもの気持ちを尊重して対応している</p> <p>年齢発達の子どもの姿を前期保護者会で説明している。子ども同士のトラブルが生じた時には子どもの気持ちを尊重し、「～したかったんだね」と受け止めて言葉にしてやり、どうすればよかったかを知らせている。ひっかきや噛みつきが生じた場合は保護者に状況説明や子どもの気持ちを伝えて園で起きたトラブルは園の責任で、止めることができなかったことを謝罪している。幼児同士の場合は、気持ちを伝え合うことを大切にして子ども同士の解決を見守り、必要に応じて仲介して収め、保護者に状況説明をし、仲直りして気持ちよく帰れるようにしている。</p>			

2 評価項目2

子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当

評価項目2の講評

登園時には健康を観察し、家庭での子どもの様子を聴いて受け入れている

登園時には挨拶を交わし、子どもの顔色や表情、機嫌などの健康観察をして、1・2歳児は連絡帳を、3歳児からは連絡メモや体温表を入れている連絡袋を手渡しで受け取り、記入内容を確認し、家庭での子どもの様子を保護者に聴いている。朝保育の当番保育士が受け入れをした時は、朝夕ノートに記入して担任に引き継いでいる。前日体調を崩して休んだり、園で怪我をした場合には、家庭での様子を詳しく聴いている。月曜日は園児全員の爪チェックをしているので、金曜日には休み中の爪切りをお願いし、月曜日には爪チェックの日の貼り出しをしている。

昼寝の時間帯や長さは子どもの状況に配慮している

年齢や体力に応じて昼食を摂る時間に時差を設けており、昼食後は3歳児クラスまではおむつ替えやトイレを済ませたりして布団に入るリズムにしている。年齢が上がれば5歳児では体力もついてくるので、昼食後は少し絵本を読むなど静かな遊びをして、13時頃に布団に入るようになっているが、子どもの状態に応じて、眠い場合には早めに布団に入るなどの配慮をしている。5歳児は2月頃より昼寝時間を短くし、次第に休息のみになっているが、一人ひとりの体調や様子により、個々の子どもの必要に応じて布団に入り昼寝をしている。

園での子どもの様子を保護者一人ひとりに伝えるように努めている

迎える保護者一人ひとりに園での子どもの様子を伝えるよう努めている。昼間のミーティングで各クラスの保育や子どもの様子を共有し、連絡事項がある場合は担任が朝夕ノートに記入して当番保育士と引き継ぎし、漏れなく伝えられるようにしている。しかし、迎える時間が重なったり、子どもの保育を優先する必要がある場合には、連絡事項のみで、子どもの様子まで十分伝えられないこともある。園で怪我をして受診する場合は、事前に保護者に状況を報告し了解を得て受診し、迎える保護者に担任、園長または主査が子どもの様子を伝え謝罪している。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

子どもが見通しをもって生活できるように、じっくり遊び込めるようにしている

子どもが楽しんで遊んでいたり、工夫して作って遊んだりしている時には、じっくり遊び込める時間や場所を保障するようにしている。積み木遊びは保育室に積み木コーナーを用意して、途中でやめても、自分のマークのカードを置いておき、続きができるようにしている。子どもが満足するまで続けられるよう、職員間で連携して保障している。幼児クラスでは子どもが自分で生活の見通しが立てられるように、保護者向けと子ども向けの週の活動予定を掲示しており、子どもたちには前日のおやつ時などに明日の活動などを伝えている。

園庭や公園等で自然に触れたり虫探しをしたりして遊び、亀の飼育もしている

園庭には季節の花やビワ、柿、夏ミカンといった実のなる木が植樹しており、子どもたちが虫探しをして遊ぶように雑草を生やすなどしている。バッタやミミズ、ダンゴムシ、ツマグロヒョウモンなどを見つけて遊んでいる。戸外遊びに適した季節には週に1~2回散歩に出掛けている。近隣にある広い区立公園では季節の花々を眺めて花びらを拾い、秋には木の実や紅葉した葉などを拾って制作活動に使っている。何年も前から5歳児は亀の飼育し、冬眠から目覚めさせて水替えや餌やりなどのお世話をし、寒くなり始めると準備をして冬眠させている。

子どもたちが話し合い、折り紙の使い方のクラスルールを作っている

生活や遊びの中に約束事や決まりがあることを知らせ、守らないと困る、守らないと楽しく遊べないなどの経験しながら、約束や決まりを守ることの大切さに気づかせている。5歳児クラスでは、折り紙の使い方をみんなで話し合い、クラスの約束を作っている。折り紙の使い方を振り返り、使った折り紙を置きっぱなしにする、使いかけの折り紙を折り紙入れに戻すなどはいけないことだったと気づき、これからは、使う前に名前を書いて使う、作り終わった物はリュックにしまう、一つ作ってから次の折り紙を使うなどのクラスとしてのルールを決めている。



4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>みんなで意見を出し合い、虹色の鯉のぼり作りに取り組んでいる</p> <p>子どもの日や七夕などの季節の行事には、鯉のぼりや笹飾りなどを作り、日本の伝統文化に触れている。5歳児クラスでは、どんな鯉のぼりを作ろうかと相談すると、子どもたちからハートの模様、お花などと意見が出て、話し合いの結果、虹色の鯉のぼりに決まった。鯉のぼり2つを4グループで片面ずつ作ることにし、各自がイメージした虹色をグループの中で出し、折り合いをつけて出来上がった鯉のぼりは好きな色になっていた。「虹色じゃなかったの」と担任に指摘され、「あっそうだった」と再度、4種類の虹色の鯉のぼりを作り上げ、飾っている。</p> <p>運動会では縄跳びに挑戦し、友だちの影響を受け、みんなが跳べるようになっている</p> <p>5歳児クラスでは夏頃から、運動会には何をしたいかを話し合い、縄跳びを見てもらうことになった。以前にも増して縄跳びを練習する姿が見られるようになり、縄跳びが苦手な子どもも影響されて挑戦し始めた。一人跳びができるようになり友だちや保育士に褒められるとさらに頑張り、みんなができるようになると、できる技を取り入れたり隊形移動をしたり、子どもが楽しみながら取り組んでいる。運動会オープニングでマ스ゲームをするため、手袋を桃色と黄色に染めて身に着け、左右の動きも間違えずにできるようになり、自信をもって運動会に臨んでいる。</p> <p>日程や行事に向けて取り組んでいる子どもの様子を伝えて、保護者の協力を得ている</p> <p>年間行事予定表を年度初めに配付して、保護者参加行事の運動会と5歳児の卒園式をお知らせしている。コロナ禍のため、幼児クラス対象の運動会は年齢ごとの入れ替え方式にし、園庭で実施している。子どもたちが行事に向けて取り組んでいる姿は貼り出し日誌やクラスだよりで伝えている。運動会のお知らせや見どころ、プログラムなどを発行して保護者も楽しみにして参加してもらえるようにしている。家庭からのお弁当持ち遠足も4歳児と5歳児で実施しているので、遠足のお知らせ文書を発行して日時、行先、お願い事項などを伝え、協力してもらっている。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>朝夕保育は人数により、保育の形態を変え、子どもが安心して過ごせるようにしている</p> <p>朝保育の8時頃まで1・2歳児と3・4・5歳児の2グループに分かれて過ごし、人数が増えてくると、4・5歳児以外は各クラス保育にしている。夕方保育は、1・2歳児はクラス保育、3歳児も18時までクラス保育、4・5歳児は保育室間のドアを開けて出入り自由にしていく。1・2歳児の保育室は広く、1歳児室には畳のスペース、2歳児室にはソフトマットを敷いたままごとや絵本のスペースなどがあり、ゆったり腰を下ろして遊ぶ環境にしている。</p> <p>動と静の遊びを取り入れて気分転換をし、落ち着いて好きな遊びをしている</p> <p>午後のおやつ後には園庭で遊んだり遊戯室で身体を動かして遊んだりして、動と静の遊びを取り入れ、気分転換をしてから落ち着いて夕方の室内遊びができるようにしている。保育室にある好きな遊具で思い思いに遊ぶことはできるが、昼間の物とは違う少人数でも遊べるような玩具も用意しているので、使ったりして遊んでいる。長時間で疲れた子どもが一人で遊びたいような場合には、各保育室に小さな衝立を用意しているので、狭い小さなスペースを用意して、子どもが一人で好きなことをして過ごせるようにしている。</p> <p>延長保育は自然な異年齢交流の場になっている</p> <p>18時30分からの延長保育は9月現在、月ぎめ延長保育と延長スポット保育の利用児を合わせて2～5名である。4歳児室で延長保育をしており、それまでに遊んでいた玩具を持ち込んで続きをしたり、4歳児室にあり自分のクラスにはない玩具を使って遊んでいる。異年齢の少人数であり顔見知りになっているので、一緒に遊んでおり、異年齢交流の場になっている。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>体格に合ったテーブルと椅子を使って安定して座り、落ち着いて食事をしている</p> <p>コロナウイルス感染防止のために、食事のテーブルにはパーテーションを使い食事をしてしたが、7月末には外している。子どもの体格に合ったテーブルと椅子に安定して座り、必要に応じて、足台や脇あてなども使用して、いつも同じ顔触れの友だちと一緒に、落ち着いて楽しく食事をしている。保育士もいつも同じように子どもの傍に座り、おいしいねなどと声掛けをしている。乳児クラスは担当制にしているため、担当の保育士が子どもに介助して食べさせたり、見守ったりしている。</p> <p>栄養バランスの良い区立園統一献立の給食を園で調理して提供している</p> <p>給食は各園の意見を参考にして区の栄養士が作成した栄養バランスの良い区立園統一献立を使用して、園で調理し出来立てを提供している。昆布やかつお節、煮干を使って出汁をとり、自然のおいしさを味わえるように薄味にし、食品添加物の入った物はできるだけ使わず、旬の食材を使って季節感を出している。七夕や12月のお楽しみ会、ひな祭りなどの季節の行事には行事食をランチプレートで提供している。給食の実物展示も実施している。</p> <p>野菜を栽培し、生育を観察したり収穫して調理してもらい食べている</p> <p>園庭の花壇やプランターで、トマト、とうもろこし、パプリカ、きゅうりなどを栽培し、子どもたちが水やりをしながら生育を観察し収穫して、調理室で処理してトマトの丸かじりを体験したり、調理してもらったりして食べている。園庭の夏ミカンも収穫体験をして、マーマレードを作ってもらいおやつに試食している。幼児クラスでは献立がおにぎりの時には、子どもたちがラップおにぎりにして自分で食べている。食事の前に献立や食材を読み上げ、食材への興味を持たせている。地域の農福連携農園で、5歳児が枝豆や大根など植え付けや収穫体験をしている。</p>		
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>手洗いやうがい、鼻・咳エチケットなどの健康教育に取り組んでいる</p> <p>年間保健計画を作成して、子どもが体の仕組みを知り、健康に関心を持ち理解を深め、身を守る方法を知ること目標に健康教育を実施している。看護師は手洗いやうがいの指導や水遊びの前にプライベートゾーンの話、4歳児にはうんちの話や鼻・咳のエチケット、9月には我慢の脳みそのテーマで自分の気持ちをコントロールする頭の話をしている。子どもに分かりやすい言葉で、視覚的な教材を使って説明している。保育士は、保育活動の中で危険な場所や遊びを知らせ、散歩の際には、道路の歩き方などの交通ルールを知らせている。</p> <p>嘱託の園医や療育機関などと連携している</p> <p>子どもの健康管理のために、嘱託の園医による年2回の定期健康診断と年1回の歯科健診、幼児対象の眼科・耳鼻科健診をしている。その他、障害児指定園のため、月1回園医が来園して健診をおこなっているため、園児の感染症や健康相談などにも応じてもらっている。保護者の要望により、療育機関の職員に園での子どもの様子を見てもらい、援助の仕方について助言をもらっている。区の保育課からは心理職と医師がそれぞれ年4回程来園しているため、子どもの様子、保育者の援助、他の園児との関係などをみてもらい、助言をもらっている。</p> <p>保健だよりや保健掲示などにより、感染症や子どもの健康に関する情報を提供している</p> <p>毎月保健だよりを発行して、園の感染症情報や健診などの保健行事、季節や時期に応じた子どもの健康管理情報を提供している。4月には登園前の健康チェックや生活リズムの大切さ、5月には虫よけ対策、爪について、熱中症対策、6月は食中毒予防、口や歯の健康、7月は熱中症、夏の肌トラブルなどを掲載している。園の玄関ホールや2階へ上がる階段の踊り場に、保健掲示コーナーを設置して感染症情報や健康教育の壁新聞などを掲示している。園の昼寝の際には、午睡チェックを実施して、乳幼児突然死症候群の予防をしている。</p>		

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育方向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>保護者の就労や家庭の事情などは申し出てもらい、園で可能な支援をしている</p> <p>毎年4月には家庭調査票を提出してもらい、保育時間を確認している。就労状況や家庭の事情などに変化があった場合には申し出てもらい、保育時間を変更するなどの園で可能な受け入れをしている。土曜日保育の対象になっていない場合でも、仕事が入り保育できない場合には預かり、保護者や家族が受診するため園児の保育ができない場合は受け入れている。その他、送迎に慣れていない祖父母の送迎に手助けしたり、園で感染症が流行っている時には、妊婦など体調に気遣いが必要な保護者の迎えには玄関で対応するなどしている。</p> <p>感染対策をして保護者会を実施し、保護者同士の顔合わせをしている</p> <p>コロナ禍のために、前年は保護者会を開催できなかったが、今年は密を避け感染対策を取り、時間を短縮するなどの工夫をして開催している。前期保護者会では園から、保育の目標や大事にしたいこと、年齢発達の子どもの姿を伝え、写真や動画などで、子どもの園生活の様子を見てもらい、保護者同士の顔合わせや自己紹介をしている。懇談時間を確保できなかったため、保護者同士で聴きたいこと、子育てで困っていることなどのアンケートを取り、寄せられた困り事について、それぞれの家庭での取り組みを提出してもらい、クラスだよりに掲載している。</p> <p>個人面談が有意義な時間になるように、事前のアンケートをお願いしている</p> <p>コロナ禍前は個人面談時には保育参観や参加をしてもらっていたが、現在は個人面談のみで実施している。コロナウイルス感染状況が落ち着いた時には保育参観・参加の再開を考えている。また、個人面談は年1回以上実施しており、面談の前には事前アンケートを取っている。そこでは、家庭での子どもの過ごし方や遊び、育児の悩み、保育者に知ってもらいたいことなどを記入してもらい、面談時に可能な限り回答するよう、有意義な時間になるようにしている。</p>		
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>地域の農園で農福連携の取り組みに参加している</p> <p>地域の区立公園に散歩に出掛けて遊んでいる。地域にある農園で農福連携の取り組みに参加して、枝豆やジャガイモなどの植え付けや収穫体験をさせてもらっている。七夕の笹竹はご近所の竹林がある方から頂いている。秋の焼き芋や運動会を園庭で実施する際にはご近所に挨拶に行き、焼き芋は出来立てをお届けしている。コロナ禍前は、併設の児童館や高齢者活動施設と交流し、児童館で遊ばせてもらったり、敬老の日には高齢者の方々に歌や踊りを披露し、一緒に遊んだりしていた。小学校との連携も、校内見学や給食体験をさせてもらっていた。</p> <p>併設の児童館や高齢者活動施設と一緒に避難訓練をしている</p> <p>コロナ禍前は、お話しボランティアが来園していたが、現在は中止している。消防署に総合避難訓練の指導や講評をお願いしているので、子どもたちにも消防士から避難時の「おさない・かけない・しゃべらない」の約束の話をしてもらっている。総合避難訓練は併設の児童館や高齢者活動施設も一緒に参加してもらっている。</p> <p>公立保育園として地域の保育施設に健診場所を提供し、交流などもしている</p> <p>地域の小規模な保育施設の幼児を対象にした耳鼻科・眼科健診を当園で実施しているので、来園している。また、杉並区の中核園事業で地域の保育施設の保育士同士の交流・学び合いをし、園児対象の園庭開放も実施し始めている。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	作ったり描いたりする制作活動が盛んで、子どもが表現する喜びを味わっている	
内容①	子どもの年齢発達に合わせて、季節感のある制作活動などに取り組み、保育室や廊下などには、作品を展示している。子どもたちが描きたい時に描ける、作りたい時に作れるようにして、3歳児室には子どもの手に合った軸の太さや芯の硬さの色鉛筆を用意し、5歳児室には、はさみなどの用具や紙、折り紙、空き箱などの素材を自由に使えるように制作コーナーを設置している。お楽しみ会で子ども参加型を企画して魚釣りをした子どもが、魚に興味を持ちいろいろな魚を描いたり、折り紙で作ったりした物を飾り、子どもが表現する喜びを味わえるようにしている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	保護者に園の取り組みや子どもの様子を伝えるために、壁新聞を作成し掲示している	
内容②	「保護者と共育をしていく保育園」を園の理念として、保護者とのコミュニケーションを大事にし、子どもの様子を伝えて子育ての喜びや大変さを共感して、子どもの成長を共有できるようにしている。日々の子どもの様子を送迎時に口頭で、乳児クラスは連絡帳でも、幼児クラスは貼り出し日誌に写真を添えるなどして伝えている。その他、歯磨き指導などの健康教育や七夕の取り組み、夏のお楽しみ会の様子などを、写真にコメント入りの壁新聞を作成して玄関ホールなどに掲示し、保護者に見てもらい、親子の会話の一助にしてもらっている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-6-2	サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている
タイトル③	子どもが遊びやすい環境づくりに積極的に取り組んでいる	
内容③	「子どもが主体的に遊び込める環境づくりの充実を図る」ことを重要目標に掲げ、積極的に取り組んでいる。子どもが主体的に遊ぶとは、どのような姿なのか、そのためにはどのような援助で育んでいけるのか職員で話し合い、保育の質を高めている。また、子ども一人ひとりの気持ちに寄り添い、愛着関係やアタッチメントを大切に保育の実践に取り組んでいる。さらに環境・玩具などのプロジェクトチームを中心に職員全体で遊びの話をし、安全な遊び方などを確認、共有するとともに遊びの充実に取り組んでいる。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	広く日当たりの良い園庭は、鉄棒やマルチパーツ、砂場、可動遊具、ままごと、虫探しなど、子どもがじっくりと遊べる環境作りをしている
	内容	広く日当たりの良い園庭には鉄棒や登り棒、ブランコ、砂場の他に木のお家、埋め込んだタイヤ、ベンチやテーブルも用意している。マルチパーツやゴザ、バスマットなどの可動遊具も自由に出して使えるようにして、子どもの身体作りや創造力を発揮した遊び、自然に対する興味や関心などが育める園庭環境作りをしている。子どもたちは、砂場で砂山作りをし、鬼ごっこなどで走り回り、固定遊具などで体を動かし、可動遊具を組み立てて遊び、花壇や草花のそばで虫探しをするなど、自分の好きな遊びをしたり、友だちと一緒にじっくりと遊んだりしている。
2	タイトル	区の農福連携事業のの取り組みに参加して、食育活動・自然体験をしている
	内容	杉並区の農福連携事業をおこなっている「すぎのこ農園」が園のほど近くにあり、当園の5歳児が月2回程度参加して、食育活動・自然体験をさせてもらっている。枝豆の種豆やジャガイモの種イモ植え、大根の種まきなどをさせてもらい、野菜の生育観察や畑の草取りをし、収穫体験をしている。農園には農業指導者がおられるので、「じゃがいもの種イモはここに置いてね」など植え付ける場所や植え方を教えてもらおうと、種イモを置いて優しく土をかけながら、「大きいじゃがいもになりますように」などと言いながら植え付け体験をしている。
3	タイトル	保育の振り返り事例を書き、事例検討をすることで、職員間の共通認識や保育実践につなげて、保育の質向上に取り組んでいる
	内容	毎月、指導計画(カリキュラム)検討会議を実施して、各クラスの保育を共有しているが、より一層、保育の質向上を目指し、職員一人ひとりが、保育の振り返り事例記録を提出してその中からピックアップした事例について全体で話し合っている。トラブルの場面や子どもが自分を主張している姿などと、保育士の対応について事例を書き、この対応で良かったのだろうかと思う気持ちも書いている。振り返り事例を書くことで、自分の保育を客観的にみることができ、他の職員と意見交換をすることで、職員間の共通認識が高まり、保育の実践にも繋がっている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	今後、安全に留意して出来る異年齢交流の再開に向けた取り組みの工夫を期待する
	内容	新型コロナウイルス感染防止の観点から、朝夕保育や土曜日保育など、少人数の保育以外はクラス保育をしている。異年齢児の交流は、園庭での自然な交流のみになっていたが、コロナ患者数の減少傾向により、少しずつリズム遊びを他のクラスと一緒にするようになってきている。今後、コロナ禍の収束状況により、異年齢で関わることで育まれる小さい子どもへの思いやりや優しさ、大きい子どもへの憧れなどの気持ちが抱ける機会の再開に向け、安全に留意した取り組みの工夫を期待する。
2	タイトル	保護者も参加しやすい保護者会についての検討を期待する
	内容	コロナ禍のために前年度開催できなかった保護者会を、本年は感染対策を取り、時間を短縮して実施している。利用者調査の、行事の日程は参加しやすいように配慮がされているかの問いについて、60%が「はい」と回答している。しかし、寄せられた意見の中には、コロナ禍で行事がない、保護者会の日程(時間)の決まるのが遅い、屋間の時間ではなく夕方にして欲しいなどが寄せられている。今後は、保護者の意向を把握するなどして、保護者も参加しやすい保護者会についての検討を期待する。
3	タイトル	これまで以上に外部の苦情相談窓口の周知に取り組むことを期待する
	内容	利用者調査では、外部の苦情相談窓口の周知に関して、肯定的返答をした方は回答者の30%、消極的・否定的な返答は38%、「わからない」32%であった。園では、苦情調整委員制度のポスターを玄関に掲示し、新入園児説明会などで説明し、外部の苦情相談窓口について周知している。今後は、園だよりや保護者会などでも外部の苦情窓口を周知するなど、これまで以上に外部の苦情相談窓口の周知に取り組むことを期待する。

## 4. 善福寺保育園

善福寺  
保育園

調査対象	令和4年7月の配布時点で利用している在園児94名の保護者75世帯を対象とし、複数のお子さんを通っている場合は最年少児について、1世帯1回答の回答をいただいた。
調査方法	①調査票、②調査のご協力依頼文書、③返信用封筒を同封した封筒を保育園の職員から直接、保護者の方々へ配布してもらい、保護者の方々から返信用封筒に調査票を入れて、直接、評価機関へ返送していただいた。調査にあたっては保育所内に「ご協力をお願い」文書を掲示した。
利用者総数	94
利用者家族総数(世帯)	75
共通評価項目による調査対象者数	75
共通評価項目による調査の有効回答者数	55
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	73.3

利用者調査全体のコメント

<ul style="list-style-type: none"> <li>・回答者の属性は次の通りである。調査票記入者：「父」4名(7%)、「母」38名(70%)、「父母一緒に」9名(16%)、無記入4名(7%)。</li> <li>・総合的な感想は「大変満足」32名(58%)、「満足」19名(35%)、「どちらともいえない」3名(5%)、「不満」1名(2%)で、「大変満足」、「満足」と返答した方々は回答者の93%で、当園の保育に関して非常に高い満足を得ている。</li> <li>・回答者の90%以上が「はい」と答え、満足度が高い設問は、問1「心身の発達に役立つ活動」、問2「興味や関心を持てる活動」、問13「子どもの気持ちの尊重」であった。</li> <li>・総合的な感想では、「先生の皆さんは優しく丁寧で、個別にも対応してくれるのでいつも助かっています。子育てに関する親の悩みにも、親身になってアドバイスをくれます」、「子どもの成長に応じた遊びを日々見直しながら、個々に対応してくれていると感じます」などのコメントが記入されていた。</li> </ul>
---

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	54	1	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の98%で、心身の発達に役立つ活動に関して非常に高い満足を得ている。「社会性が身につけてきていると思います。色々なことが自分のできるようになり、成長を感じます」などのコメントが寄せられていた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	54	1	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の98%で、興味や関心を持てる活動に関して非常に高い満足を得ている。「制作やダンスを自由にやっていて楽しそうです」、「土遊びやブランコ、手づくりのすべり台など、とても楽しいものばかりです」などのコメントが寄せられていた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	48	7	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の87%で、食事に関して高い満足を得ている。「とても栄養価が高いので良いと思います」などのコメントが寄せられていた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	46	7	2	0
「はい」と返答した方々は回答者の83%で、戸外遊びに関して高い満足を得ている。「虫探し、季節の木々や草花との触れ合いを楽しんでいます」、「広い園庭や緑の多い周囲環境を生かし、天候の許す日には戸外遊びをしてくれているので感謝しています」などのコメントが寄せられていた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	39	5	2	9
「はい」と返答した方々は回答者の70%で、保育時間の変更への対応に関して概ね満足を得ている。「急な早朝保育にも、柔軟に対応してくれたので助かりました」、「いつも快く対応してくれるので、大変ありがたく思っています」などのコメントが寄せられていた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	46	7	2	0
「はい」と返答した方々は回答者の83%で、安全対策に関して高い満足を得ている。「基本的な安全対策はとられていると思います」などのコメントが寄せられていた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	31	17	5	2
「はい」と返答した方々は回答者の56%、「どちらともいえない」31%、「いいえ」9%、非該当4%であった。「コロナ禍ではあまり行事がありません」などのコメントが寄せられていた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	44	10	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の80%で、家庭と保育所との信頼関係に関して高い満足を得ている。「担任の先生との面談では、いつも親の悩みなどを聞いてもらえてとても助かっています」、「いつも変わった様子があるときには心配をしてくれて、送り迎えのときに話してくれるので助かっています」などのコメントが寄せられていた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	44	9	2	0
「はい」と返答した方々は回答者の80%で、施設内の清掃、整理整頓に関して高い満足を得ている。「室内に入ったことがほぼないので細かいことはわかりませんが、ホールや園庭に関しては良いと思います」、「古い建物ですが清潔にされていると思います」などのコメントが寄せられていた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	48	6	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の87%で、職員の接遇・態度に関して高い満足を得ている。「ほとんどの先生は適切だと思います」などのコメントが寄せられていた。				



11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	47	4	3	1
「はい」と返答した方々は回答者の86%で、緊急時の対応に関して高い満足を得ている。「小さなけがなどの場合でも、細かく報告してくれるので安心してます」などのコメントが寄せられていた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	43	3	1	8
「はい」と返答した方々は回答者の78%で、子ども同士のトラブル対応に関して概ね満足を得ている。「温かな目で対応してくれており、信頼できます」などのコメントが寄せられていた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	50	5	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の91%で、子どもの気持ちの尊重に関して非常に高い満足を得ている。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	47	7	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の85%で、プライバシー保護に関して高い満足を得ている。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	45	8	2	0
「はい」と返答した方々は回答者の81%で、保育内容の説明に関して高い満足を得ている。「保護者会で説明してくれます」などのコメントが寄せられていた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	38	10	4	3
「はい」と返答した方々は回答者の70%で、不満や要望への対応に関して概ね満足を得ている。「丁寧に話を聞いてくれます。また、良いアドバイスもしてくれます」などのコメントが寄せられていた。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	18	8	10	19
「はい」と返答した方々は回答者の33%、「どちらともいえない」15%、「いいえ」18%、非該当34%であった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝える
	カテゴリ1の講評	
	次年度の組織目標について職員皆で意見を出し合い、決定している 「係(園)の目標シート」の作成にあたっては、自分たちの課題や取り組みについて職員皆で意見を出し合い、職員会議で検討・決定している。このプロセスを通して、園の現状や次年度の課題・目標について共通認識を持つことができています。保護者には、入園説明会や「保育園のしおり」などを通して、園目標・保育理念・保育方針などを周知している。保護者会ではパワーポイントを使って視覚的にもわかりやすく伝えるよう工夫している。また、園だよりや貼り出し日誌などを通して、子どもたちの姿を通して保育で大切にしていることを伝えている。	
	園の4本柱が園内研修の計画立案などリーダーシップを発揮している 園長・主査・保育の向上リーダー2名が園の4本柱として、園内研修の計画を立案するなど、当園の保育の質向上に向けてリーダーシップを発揮している。保育向上リーダーや主査は、乳児・幼児クラスの打ち合わせに入り、園の方向性を伝えたり、課題について助言・アドバイスをしたりしている。年度初めの職員会議では、各クラスの年間指導計画や栄養士作成の食育計画、看護師作成の保健計画などについて共有し、今年度取り組むべきことについて共通認識の形成を図っている。さらに園長は保育に対する考え方を職員に伝えている。	
	重要案件の検討・決定は職員会議でおこない、不参加の人は議事録の閲覧を徹底している 重要な案件については職員会議で検討し、決定している。急ぎの案件については、当日の昼ミーティングで検討している。そのほか、園の課題についてはその都度定例会議や職員会議などで検討している。これらの会議に参加した方は、各クラスに戻り、検討内容を伝え、欠席者には必ず会議議事録に目を通すことを徹底し、情報の漏れがないようにしている。保護者には園の決定事項について、急ぎの案件はすぐメールで送信し、そのほか、掲示や口頭、急ぎでない場合は園だより、事務所だより、保護者会などで伝えている。	

2 カテゴリー2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(○○○○○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(○○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評		
<p>保護者や職員の意向や意見を受け、園の運営に活かしている</p> <p>行事や保護者会の実施にあたっては保護者にアンケートを取り、保護者の意向を把握し、それを反映できるよう努めている。また、年1回、父母会からの要望を受け、それに応えている。保護者から、「門のテンキーがきちんと閉まっていない」との意見を受け、園だよりで保護者に注意喚起している。職員の意見や提案は、職員個々の「目標申告シート」に基づいた個別面談時に、意向や思いを聴き取り、一緒に考えたり、組織的な課題については職員会議などで検討している。</p> <p>園長会などで情報を収集し、自園としてのニーズや課題を把握している</p> <p>杉並区では7つの地域に分け、それぞれの地域の各保育所が集まり、地域懇談会を実施している。同懇談会に参加し、職員間の交流を促し、情報交換している。また、地域子育てネットワークや、地域行政連絡会、地域教育連絡協議会などに参加し、地域ニーズについて情報交換をしている。園長会や区からの通知文書等で必要な情報を収集し、より良い園運営に活用している。特に障害児保育や医療的ケア児の保育について情報収集し、随時職員に必要な情報を伝え、日々の保育に役立てている。</p> <p>全体的な計画に基づき年間指導計画などを作成し、職員間で共有し、保育に反映させている</p> <p>区では杉並区総合計画(令和4(2022)年度～令和12(2030)年度)を策定している。また、区子ども家庭部保育課の組織目標を踏まえ、当園では現状の課題を分析し、年度初めに「係の目標シート」を策定し、園の目標を明確化している。保育の実践に関しては、全体的な計画に基づき年間指導計画・月案などを作成し、これらの計画を職員間で共有し保育に反映させている。さらに、立てた計画についての自己評価や保育士同士の反省をおこない、保育の質を向上につなげている。</p>		

カテゴリ-3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー3の講評

カリキュラム検討などの際に子どもへの声かけなどについて振り返りをしている

日頃から保育に向き合う姿勢・服装・言葉使い・個人情報取り扱い・守秘義務などについて職員へ注意喚起を促している。幹部層は、保育中の職員の言動について気になるときは職員自身が意識できるよう声かけをしている。カリキュラム検討や、事例検討などの際に子どもへの働きかけや声かけなどについて振り返り、確認している。また、杉並区の取り組みで、身だしなみ・子どもへの安全配慮などについて職員個々が5段階で評価し、園全体で平均値を出し、園長がコメントを記載しており、日頃の振る舞いを見直す機会もある。

保護者からの意向・意見・苦情は職員会議などで共有・検討し、対応している

入園説明会や杉並区保健福祉サービス苦情調整委員制度の掲示などを通して、保護者に対して、苦情・要望等の相談窓口について周知している。連絡帳などに記載された意見などについては直ぐの対応に努めている。保護者からの意向・意見・苦情は速やかに園長に伝え、職員会議などで共有・検討し、対応している。

運動会実施時は、近隣の方々にお知らせを配布し、理解と協力をお願いしている

見学者に園の概要を配布し、園の活動内容などについて伝えている。コロナ禍により、訪問調査時点では見学者に対して園庭から園内をみてもらっていた。運動会実施時は、近隣の方々にお知らせを配布し、理解と協力をお願いしている。地域の中で育っていく子どもたちのために、小学校や学童クラブと連携し、円滑な接続ができるよう配慮している。併設のゆうゆう館とも連携を取り、合同の避難訓練を実施し、避難経路を互いに確認し合うなど協働体制を敷いている。

カテゴリ-4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ-1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-4の講評		
<p>災害に備え、さまざまな場面を想定しての訓練を年間計画に沿って実施している</p> <p>さまざまな場面を想定しての防災訓練を年間計画に沿って実施している。毎月の避難訓練の際に安全チェックをおこなうとともに、園内の危険箇所については日頃より目視での点検をおこなっている。また、看護士の連絡会である医療会からの新型コロナウイルス感染症対策についての情報に基づき園内の感染対策をおこない、感染拡大防止に努めている。新型コロナウイルス感染対策として、職員は自宅での検温を毎日記録し、マスク着用と手指消毒の徹底に努めている。</p> <p>危機管理マニュアルに基づき、必要な対策を講じている</p> <p>園運営にあたっては、子どもの生命を守ることを第一に考え、危機管理マニュアルに基づき、必要な対策を講じている。また、保育課から緊急で対応すべき案件があれば速やかに対応している。園児の怪我については事故報告書を作成し、職員会議などで共有するとともに、対策について確認し、再発防止に取り組んでいる。事故に至らない軽微なヒヤリハットについても記録し、重大事故にならないよう再発防止に取り組んでいる。また、軽微なリスクは、日々のミーティングで共有し、互いに注意喚起している。</p> <p>杉並区情報セキュリティ基本方針などに基づき、園の情報管理をおこなっている</p> <p>杉並区情報セキュリティ基本方針、および、杉並区情報セキュリティマネジメントシステム規定、区保育課作成の「情報セキュリティ実施手順」に則り情報を管理・運用している。児童票やカメラ、SDカードを事務所から持ち出す時は、記録簿に記入し、適切な管理に努めている。巡回相談などで個人情報の入った書類を作成・使用する際は、印刷部数を最小限にし、使用後は直ちにその場で回収・破棄している。各記録等については事務所の鍵のかかるキャビネットにて保管している。保存文書は決められた保存期限に則り、適切に破棄・保管している。</p>		

カテゴリ-5			
5 職員と組織の能力向上			
サブカテゴリ-1(5-1)			
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(5-2)			
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当

#### カテゴリ5の講評

##### 職員個々の経験や希望などを踏まえ、園運営を考えながら担任配置を決めている

正規職員は区人事課が募集・採用し、会計年度任用職員は保育課で募集・採用している。園長は、職員個々と「目標申告シート」を使って、仕事目標を定め、目標への達成度を振り返り、能力向上につなげている。区全体で人事異動基準を定め、異動希望調査で個々の希望も確認し、定期的な人事異動を実施し、能力開発の機会としている。各クラスの担任配置については、職員個々の経験や本人の希望、育成を踏まえ、園運営を考えながら園長が最終決裁している。

##### 職員の育成については積極的に研修参加を促し、スキルアップにつなげている

職員の育成については、積極的に研修参加を促し、スキルアップにつなげている。保育課主催の実務研修について職員に案内し、該当者や希望者が確実に参加できるようにしている。また、園内研修や事例検討会などを実施し、職員の気づきを促し、学びを深めている。パソコン上で研修履歴を記入し、次の研修の計画に活かしている。また、過去の研修履歴を確認することで受講テーマに偏りが出ないようにしている。研修受講後は、レポートを作成し、その成果を確認している。

##### 互いの思いが十分に出し合えるような職場環境をつくり、チーム力の向上につなげている

目標申告シートの作成により、職員一人ひとりが仕事に向き合う姿勢や目標を確認し、意欲をもって日々の保育に取り組めるよう、園長の面談時に励ましている。また、互いの思いが十分に出し合えるような職場環境をつくり、職員間のコミュニケーションを活性化することで、チーム力の向上につなげている。他方、職員のリフレッシュを図るため、7月～11月までの間に夏休み休暇を5日確実に取得し、有給休暇の取得も年間5日以上取得できるよう調整し、ワークライフバランスに配慮している。



カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

「一人ひとりの子どもの成長発達に必要な確かな援助をおこなう」ことを重点目標に掲げ、目標達成に向け次の取り組みをおこなった。カリキュラムの形式を変え保育の振り返りをしていく中で、個々の子どもの成長発達に応じた援助について職員全体で共通理解を図り、さまざまな方向で子どもを捉えた保育をおこなった。障害児を含め子どもにあったきめ細やかな援助や働きかけをおこなった。さまざまな経験ができるよう日々の子どもたちの遊びへの要求を捉え、環境を整えた。園庭・室内環境プロジェクトを中心に安全面に考慮しつつ、子どもが自発的に遊ぶことができる環境を整えた。行事等の取り組みも子どもの姿から経験してほしい活動などを、全体で共有し進めていった。

目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

カリキュラムでは、各クラスの検討事項や困っていることをあげていくことで、全体で考える良い機会となった。さらに、自分のクラス以外のことをより知り、活発な意見交換ができる場となっていくよう、形式等の工夫は今後もおこなっていくことにした。園庭、室内プロジェクトは少人数での活動にしたことにより、進捗に差が生じたが、「子どもたちの遊びやすい環境づくり」という視点で進められたことは成果であった。次年度も継続として取り組むこととしている。行事については、年度末反省の意見も踏まえ、子どもに経験させたいことを考えながら取り組んでいくこととしている。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

「チームワークの向上を土台とし、職員のスキルアップを目指す」ことを重点目標とし、目標達成に向け次の取り組みをおこなった。互いの思いを十分に出し合えるような雰囲気を作り、コミュニケーションを取っていく中で、活発な意見交換をおこなった。園内研修は、職員が学びたいことを共有していく中で進め、園全体の保育の向上につなげた。プロジェクトを中心にカテゴリーごとの話を深めていくことで互いにスキルアップを進めていった。研修、講習会、講演会などへの参加を呼びかけ、保育へと還元していくことに取り組んだ。避難訓練を月1回実施し、さらに救命救急・誤食想定・嘔吐処理など緊急対応の方法を確認し、共通理解し、日々対応できるようにした。

<p>目標の設定と 取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない</li> </ul>
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</li> <li><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む)</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</li> <li><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

前述の取り組みの結果、各クラスでは限られた時間の中でもコミュニケーションをとり、意見交換や気づきを共有することができた。障害児指定園園内研修では、インクルーシブ保育について学ぶことができ、日々の保育につなげていくことができた。コロナ禍の中、保育の話をする場が少なくなっていたが、少人数で事例討議をおこない、実践の話を進めていく中で保育の話を深めることができた。事例検討をおこなうことで、他クラスの様子も共通することができ、職員同士保育を語り、さまざまな視点で考察しあうことができた。全体的な計画の話し合いで、園のあり方について職員一人ひとりが考えるきっかけとなり、互いの思いを知ることができた。研修報告は職員が積極的に会議の中で報告し、保育への還元につながった。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものとしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評		
<p>区のホームページやアプリなどで情報提供している</p> <p>杉並区公式ホームページの「保幼(ぼよ)ナビ」や、区の公式アプリ「すぎぼよ(保幼)」で情報提供している。区のホームページの施設案内には園の住所、電話番号、年齢別定員、保育時間、延長保育時間などの園概要、外観写真、保育目標、地図、主な行事、園の見取り図、保育室や子どもたちが遊んでいる様子の写真を掲載し、園の特色として、「自然に恵まれた中に保育園があり、園庭が広く、全クラスが一緒に遊べ、四季を通じて戸外遊びや散歩を多く取り入れ、自然に触れる機会を持っている」などと紹介している。</p> <p>区立直営保育園であり、行政や関係機関と情報交換をおこない連携している</p> <p>区立直営保育園であり、区役所の保育課には、延長保育利用児数などのさまざまな報告をして連携している。園長は月2回の区立園長会に参加して行政から情報提供を受け、課題検討などを行っている。主査は主査会、看護師は医療会に参加して課題検討や情報交換をしている。園長は地域の児童館主催の地域ネットワークに小学校や中学校、公私立保育園などと共に参加して情報共有している。区の中核園事業の集まりでは地域の保育施設長同士の地域懇談会や保育士の交流などがおこなわれ、保育の質の向上に向けて取り組んでいる。</p> <p>見学希望者は随時受け入れ、見学時には園概要を配付して説明している</p> <p>見学希望の問い合わせに応じて、随時受け入れをおこなっている。園内にコロナウイルス感染者が出ていない時には、園舎内を見てもらっており、感染者が出ている場合には園庭から窓越しに保育室の様子を見てもらっている。見学者には園概要を配付して説明し、時間は13時頃から30分間ほどにして、1回1組ずつ受けている。なお、9月現在の実績は24組である。説明では、園の特長として、近隣の散歩先や園庭で自然物で遊んでいる、遊びの継続を保障している、1歳児からリズム遊びを取り入れて身体を動かして遊んでいるなどと伝えている。</p>		

サブカテゴリー2

2 サービスの開始・終了時の対応 サブカテゴリー毎の  
標準項目実施状況 6/6

評価項目1  
サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている 評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2  
サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている 評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2の講評

入園説明会を実施して重要事項や基本的なルールなどを説明している  
4月の入園内定者向けには2月頃に園医による健康診断や園長・保育士・看護師などによる入園前の面接を実施して、健康や発育状態、入園までの生活状況などを把握し、保護者の就労や家庭の状況、意向を聴き、保育時間を決めている。クラスの様子や持ち物の説明などもしている。入園説明会は3月の土曜日に開催し、「善福寺保育園のしおり」や「保育園ご利用にあたって【重要なお知らせ】」を基に、園の概要や園目標、保育理念、保育方針、園の特長、ご家庭へお願い事項、健康管理、緊急時の対応、個人情報の保護などを説明している。

子どもの不安やストレス軽減のために、1週間程度の慣れ保育を実施している  
入園当初の子どもの不安やストレス軽減のために1週間程度の慣れ保育を実施している。入園前の面接時に保護者の就労状況や育児時差、慣れ保育の終了希望日、保護者の意向などを聴き取り、慣れ保育の予定を決めている。0歳児では、初日は母子一緒に過ごして昼食を食べさせてもらい、2日目からは母子分離で保育をしている。1歳児の場合は初日から母子分離で受け入れている。子どもたちの慣れていく様子により、保育時間を徐々に延ばし、迎えの際には日中の子どもの様子を詳細に伝えて保護者にも安心してもらえるようにしている。

卒園や退園、転園などには子どもや保護者の不安の軽減に配慮している  
区内の公立保育園への転園については保護者の同意を得て、園間で子どもに関する情報の共有をしている。その他の転園や退園の場合には、保護者に育児についての心配事はないかと声掛けし、近くに来た時には顔を見せてくださいなどと伝えている。年度途中の退園児には各クラスでお別れ会をして手作りのメッセージカードを渡している。卒園児の就学先に「保育所児童保育要録」の写しを送付して、継続した支援ができるようにしている。コロナ禍前は卒園した1年生に夏祭りや運動会の招待状を出していたが、現在は中止している。

サブカテゴリ-3

3 個別状況の記録と計画策定

サブカテゴリ毎の  
標準項目実施状況 12/12

評価項目1  
定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

評価項目2  
全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直しをしている	○非該当

評価項目3  
子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している 評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目4  
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している 評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

サブカテゴリ-3の講評

子どもの心身や生活の状況を保育日誌や児童票などに記録し把握している  
入園前には健康診断や面接により、出生歴や成育歴、発育経過、既往歴、健康上の注意点を把握し、授乳や食事、睡眠、排せつ、言語、運動・遊び、入園までの保育状況など、保育をする上で必要な情報を提出してもらい、聴き取りや追記をし、児童票に記録している。入園後は、日々の受け入れ時に、連絡帳や口頭により子どもの健康状態を把握して保育し、園での生活や活動の様子、健康状態などを保育日誌や保健日誌に記入している。保育の経過記録は児童票に0・1歳児は1か月ごとに、2歳児は2か月ごと、3～5歳児は3か月ごとに記載している。

担任同士で子どもの姿やクラスの状況などを振り返り、次の指導計画を作成している  
全体的な計画を踏まえ、子どもの実態に即して年間指導計画を作成している。それらの計画を基に、担任同士で子どもの姿と大人との関わりや次につなげるための振り返りをおこない、保護者の意見も参考にして、次月の目標を決め、養護と教育の領域、食育、健康・安全の項目毎に子どもの活動と配慮事項からなる指導計画を作成している。毎月、乳児クラスや特別な配慮を必要とする園児は個別計画を作成し、他は必要な園児のみ個別配慮を作成している。年間指導計画は前期保護者会で配付説明し、月間指導計画は1週間掲示して保護者に伝えている。

カリキュラム検討やミーティングなどの各種会議で、子どもに関わる情報を共有している  
月間指導計画は職員に配付して目を通した後、カリキュラム検討会議を開催し、クラスからの発表や質疑応答、課題の議論をして共有している。その他にも子どもに関する情報を共有するために各種会議を開催し、定例職員会議は毎週1回、職員会議は月1回夕方から実施し、幼児会議、乳児会議なども開いている。また、月～金曜日の昼間には10～15分程のミーティングを実施して、午前中の保育の報告、子どもや保護者に関する個別情報の共有、翌日の職員体制、会議や行事、事務連絡などをおこない、職員間で共有している。

サブカテゴリ5		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外都とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ5の講評			
<p><b>個人のプライバシー保護を徹底している</b>  個人情報保護について、「保育園のしおり」や「保育園ご利用にあたって【重要なお知らせ】」で厳重に管理する旨や名前などをお便りへ掲載することについても伝えて了解を得ている。療育機関や発達相談等との情報共有は保護者の同意を得てからしている。また、子どもが着替える時には部屋のカーテンを閉め、シャワーなどで着替える時はラップタオルを使用し、脱ぐ順番や脱いだ物から着ることも知らせている。おもらしなどの着替えは衝立を使用している。プールやシャワー時にははずだれや遮光ネットを設置し、衝立の中で裸になるようにしている。</p> <p><b>一人ひとりの子どもの気持ちを尊重する保育をしている</b>  「一人ひとりを大切に、その子らしさを育む保育を目指す」を保育理念として掲げ、子どもの気持ちを受け止め尊重する保育をしている。子どもの名前は「～ちゃん」や「～くん」と呼び、文章にする際には男女とも「～さん」にしている。保育者として、否定的な言動や乱暴な関わりをしないなど、子どもの人権擁護について「杉並区保育実践の手引き」を参考にしている。子どもの誕生日のお祝いはクラスで、可能な限り誕生日当日にし、手作りのケーキ(模型)を使っている。誕生日当日にはクラス前に写真付きのお誕生日おめでとうを貼り出している。</p> <p><b>子どもの虐待防止と早期発見に努めている</b>  前年度は虐待研修に参加を予定していたが、コロナ禍のために中止になっている。そのために、「児童虐待対応マニュアル」や「杉並区保育実践の手引き」に再度目を通すように職員に伝えている。職員は子どもの人権養護に関する意識を高くもち、朝の受け入れ時に子どもの様子を観察し、着替える時には身体に不審な傷やあざなどがないか、着衣の汚れはないかなどに注意を払い、気になることがあれば記録して園長に報告することになっている。</p>			

サブカテゴリー6		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5/5
6 事業所業務の標準化			
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリー6の講評			
<p>区立保育園共通のマニュアル類を整備し、園独自の手引書も作成している</p> <p>区立保育園共通の「保育園保育実践方針」、「保育実践の手引き」は職員各自で持っており、他にも区立保育園共通のマニュアルとして「保育園危機管理」、「保健衛生」、「アレルギー」などを整備している。園独自の手引書「善福寺保育園事業マニュアル」を作成し、保育理念や保育方針、職員関連マニュアル、個人情報の種類と管理方法、散歩マニュアル、事故や病気等対応マニュアル、当番職員の動き、会計年度任用職員の仕事内容などを綴っている。手引書は各クラスと医務室、事務室、調理室に1部ずつ用意して日常的に確認できるようにしている。</p> <p>園独自のマニュアル類は、実際の提供と違いがないかを確認し、見直している</p> <p>園独自の「善福寺保育園事業マニュアル」のうち、職員関連マニュアルではクラスの体制や会議の役割分担、行事担当など年度末から年度初めにかけて作成・見直している。事故や病気等の対応、園庭遊び、不審者対応、散歩などのマニュアル類は、実際の取り組みとマニュアルに齟齬がないか、課題はないかなどを確認し合い、必要に応じて随時、職員会議で話し合い見直し、差し替えをしている。また、提供しているサービス全般について、半期反省や年度末反省をし、必要に応じて見直している。</p> <p>職員や保護者から寄せられる意見や提案は検討し、必要な見直しをしている</p> <p>熱中症予防のための水分補給は、幼児は飲みたい時に自分で水道水を飲んでいるが、実際に飲んだ量を把握できるように、午前の活動中の水分補給は紙コップを使用することにした。昼食のデザートは別皿で提供して食事の最後に食べるようにしていたが、食べた時に食べることができるように、おかず皿にアルミカップで盛り合せて提供することにした。保護者から登降園時の園庭門の鍵が閉りにくいという意見が寄せられたので、新しいテンキーを取り付けてもらった。保護者会や運動会の後には保護者アンケートを実施して感想や意見をもらっている。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリ-4	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	35/35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている				
評点(〇〇〇〇〇〇)				
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつぎ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している			<input type="radio"/> 非該当
評価項目1の講評				
<p>子どもが自分で遊びたい物を選んで遊ぶよう、遊び毎のコーナーを作っている</p> <p>子どもが自分で遊びたい物を選んで遊ぶように、各保育室には背丈に合った玩具棚に年齢発達や興味・関心に合わせた玩具類を用意している。0・1・2歳児室の玩具棚や仕切りは子どもがぶつかっても痛くないように、キルティングのカバーを被せている。乳児クラスでは、玩具棚や仕切りを使って、着替えや食事・机上遊び、動いて遊べる場所などを分け、子どもが好きな場所で安心して遊ぶようにしている。幼児クラスはままごとや絵本、積み木など遊び毎のコーナーを作り、5歳児室には制作用具・素材の用の棚があり、図鑑類も用意されている。</p> <p>広い園庭で自然な異年齢交流をしている</p> <p>夏祭りは保護者にも参加してもらおう行事であったが、コロナ禍になり、子どもたちだけで楽しむ行事にしている。午前中はヨーヨーつり、クレープ屋、焼きそば屋などの店を職員が出して、子どもたちが楽しむ行事にしているが、午後は5歳児がみんなで協力して作り上げたお神輿を担いで練り歩いたり、みんなで踊ったりして楽しんでいる。園庭は広く、隣接している旧定期利用施設の庭も使い、園庭使用に制限を設けていないので、異年齢交流の場になり、年上の子どもの遊びを年下の子どもが興味をもって真似る姿が見られている。</p> <p>子ども同士のトラブルには、子どもの気持ちを尊重して対応している</p> <p>前期の保護者会で子どもの年齢発達の姿を伝え、友だちとの玩具の取り合いも人との関わり方を知るために大事な経験であることを説明している。トラブルになった時には双方の子どもの気持ちを「～したかっただね」と受け止め、仲立ちしながら関わり方を知らせている。叩いたり引っかいたりした時にはトラブルの状況を保護者に伝え、防げなかったことを謝罪している。4・5歳児の場合は子ども同士で解決するよう見守るが、必要に応じて仲介し収め、迎えの保護者にトラブルの状況や子ども同士が仲直りしたことなどを伝えている。</p>				



2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当

評価項目2の講評

登園時には子どもの健康を観察し、保護者に家庭での様子を聴いて受け入れている

登園時は挨拶を交わして、子どもの顔色や表情、機嫌などの健康を観察し、乳児クラスは連絡帳を、幼児クラスは体温表や連絡メモの入った袋を手渡してもらい、記入内容を確認し、家庭での子どもの様子を聴き受け入れている。前日に体調を崩して欠席していたり、園で打撲や擦り傷などを作った場合には、詳細に様子を聴いている。保護者から聴き取ったことや連絡事項、子どもの様子は受託簿に記入し、朝保育の当番保育士が受けた場合には担任に引き継いでいる。

個々の子どもの発達に応じて無理なく基本的な生活習慣が身に付くようにしている

子どもの年齢発達の姿は保護者会や個人面談などで伝えて、個々の子どもの発達の状態に応じて無理なく、食事や排せつなどの基本的な生活習慣が身に付くように援助している。0～2歳児の食事では自分で食べようとする気持ちを大事にし、大人の介助で食べることから次第に、自分で手づかみやスプーンなどで食べるようになっていく。箸は、5歳児になり箸の練習グッズで遊ぶなどして、正しい箸の使い方に慣れていく様子を担当と栄養士で確認し、個別に食事を使い始めている。使い始めにはスプーンやフォークも併用しながら進めている。

迎える保護者一人ひとりに子どもの様子を伝えるよう努めている

迎える保護者一人ひとりに子どもの様子を伝えることにしている。乳児クラスでは連絡帳と口頭で様子を伝え、幼児クラスでは主な活動の様子などを貼り出し日誌に写真を貼付するなどして、わかりやすく伝え、できる限り口頭でも伝えている。連絡事項などは受託簿に記入し、忘れなく伝えている。園で怪我をして受診が必要と判断した場合は、保護者に電話連絡して状況を説明し了解を得て受診し、迎える保護者には受診時の様子や怪我をさせてしまったことへの謝罪、今後の事故防止対策などを伝えている。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付く、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

集団活動には、子どもが自分から参加できるような環境を整えている

子どもが自分でこれがしたいという意思表示をした場合は職員間で連携して可能な限りできるようにしている。「散歩に行かない」、「これを作りたい」などには、他クラスの保育士などに託すが、「～組さんと一緒にここで遊んでいる」などと子ども自身に決めてもらうようにしている。制作活動はクラス一斉ではなく、少人数で取り組み、友だちの様子を見て、やってみたいと思った子どもから次第に一緒に参加するやり方になっている。リズム遊びも、やりたくない時には無理に誘わず、見ていようと受け止めてやりたくなったらいつでも受け入れている。

人数調べ当番を通して、生活の場に応じた話し方を学んでいる

5歳児クラスでは、人数調べの当番活動をしている。人数調べ当番は2人で一緒に、各クラスを回り、保育士に登園児数を聞き、調理室と事務室に報告している。「人数調べ当番に来ました。今日は何人ですか」、「今日は～組は何人です。よろしくお願ひします」など、友だち同士の間話とは違う、生活の場に応じた言葉を学ぶ機会になっている。また、5歳児クラスでは子ども同士の話し合いの機会を多く持ち、自分の思いを相手にわかるように伝えたり、相手の気持ちもわかり、協力して取り組むにはどうすればよいかを考えたり気づいたりしている。

緑豊かな環境にあり、季節の移り変わりを感じ、自然と関わり遊んでいる

当園も地域も緑が豊かで、季節の移り変わりを感じながら自然と関わり遊んでいる。園庭には桜の木があり春には花を眺め花びらで遊んだり、初夏には桜や杏の実を拾ってまごころに使っている。夏には朝顔などで色水遊びをしている。秋には木の葉拾いや虫探しなどで遊んでいる。戸外遊びに適した季節には近所にある都立公園などに散歩に出掛けている。秋には木枝や色づいた葉、どんぐりやまつぼっくりなどを使って制作をしている。隣接の農園でさつまいもの植え付けや芋掘り体験をさせてもらい、収穫時の芋の蔓はリース作りに使われている。

4 評価項目4

日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目4の講評

**夏のお楽しみ会では自分たちで手作りした山車を引き、練り歩きをしている**  
 夏のお楽しみ会には山車を引いて練り歩きをしたいという希望が出て、5歳児がみんなで山車作りに取り組んでいる。山車の形や飾りたい物、色などをみんなで話し合い、1段目は手形の花火と恐竜、2段目は海の生き物、3段目はカナヘビとカタツムリ、一番上にはつるす飾りをつけることにした。段ボールを重ねて土台を作り、作る物をイメージした色の紙を貼り、手形花火や恐竜、カナヘビ・カタツムリはグループで、魚や星、花、鳥は各自が作り、出来上がった山車を「いいね」と眺め合っている。当日はみんなで誇らしげに山車を引き練り歩きをしている。

**お化けになったり客を驚かせる工夫をしたりして楽しいお化け屋敷ごっこをしている**  
 5歳児で、お化け屋敷ごっこをしたいという意見が出て、みんなでお化け屋敷をして楽しんでいる。どんなお化けになるかを考えて、お化けの絵を描いて貼りつけた黒い衣装を身に着け、ルートを考えてどこに誰が待機して客を驚かせるかなどをみんなで話し合っている。お化け役は恐ろしい声を出したり、急に飛び出したりして驚かせ、客役はキヤアなどと声をあげて驚いたりして楽しんでいる。招待した3・4歳児が怖がって進めない時には、お化けが「大丈夫だよ」と優しく声を掛けるなどしている。みんなで協力して取り組み、達成感を味わっている。

**行事に向けて取り組んでいる子どもの様子を伝えて、協力してもらっている**  
 年間行事予定表は年度初めに配付している。保護者が参加する保育行事は3～5歳児が対象の運動会と5歳児の卒園お祝い会である。運動会に向けて取り組んでいる子どもの様子は毎日の貼り出し日誌やクラスだよりで伝えて、保護者にも理解してもらい、楽しみにしてもらえるようにしている。保護者には運動会の日程やお願い事項、見どころやプログラムなどの文書を配布して協力してもらっている。その他、4・5歳児の遠足も家庭からの弁当をお願いするので、お知らせ文書を配付している。

5 評価項目5

保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当

評価項目5の講評

**朝夕保育は各クラス保育をおこない、ゆったりできるようにゴザやソファを用意している**  
 コロナ禍のため、朝夕保育ともに各クラス保育にしている。保育室にはゴザを敷いたり、手作りのベンチやソファを用意して、腰を下ろして座ったり、時にはゴロリと横になったりもできるようにしている。ままごとコーナーを設定している部屋にはソフトマットを敷いている。幼児クラスでは、午後のおやつ後は雨天でない限り、園庭で遊んだ後部屋遊びにしている。昼間の時間が長い夏の頃は17時45分頃まで園庭で遊んでいる。

**午後のおやつ後には遊ぶ場所を変えるなど、気分転換してから夕方保育に入っている**  
 戸外遊びができない雨天の時などは、同じ部屋で長時間過ごすことになるため、午後のおやつ後には、2歳児は遊戯室で体を動かして遊び、1歳児は2階の廊下のスペースを利用して、引き車などの遊具類で遊んだり、手作り滑り台などで体を動かして遊び、その後はクラスに戻り、遊んでいる。天気の良い日も、午後のおやつ後には、遊戯室やベランダ、廊下など場所を変えて遊び、気分転換をしてから室内遊びに移っている。

**延長保育は少人数のため、子どもの好きな遊びをして過ごしている**  
 延長保育の9月現在の利用児は月ぎめ延長保育と延長スポット保育の利用を合わせても3名以内である。3歳児保育室を使用しているので、保育室にある玩具で遊んでいるが、自分で興味関心のある玩具を持ち込んで遊んだりもしている。少人数であることから、本が好きな子どもは延長当番保育士と一緒に絵本を読んだり図鑑を見たり、子どもの好きな遊びを一緒にしたりしてゆったりと過ごしている。

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>体格に合わせたテーブルや椅子に座り、落ち着いて楽しく食事をしている</p> <p>コロナ禍のため、テーブルにパーテーションを使用して食事をしていたが、9月現在は使用せず、黙食をしようと伝えている。テーブルと椅子は子どもたちの体格に合わせた物を使用して安定して座り、必要に応じて足台や背あてなども使っている。席を決めていつも同じ友だちと一緒に、落ち着いて楽しく食べている。5歳児を対象に、その子の誕生日には誕生日プレートを提供し、献立は同じで、型押しご飯や彩りよく盛り付けたおかずなどで特別感のある物にしている。七夕やひな祭りなどの季節の行事にはランチプレートで季節感のある行事食を提供している。</p> <p>区立保育園の統一献立を園で調理し、栄養バランスのとれた給食を提供している</p> <p>給食は区の栄養士が各園からの意見を取り入れながら作成した栄養バランスのとれた区立園統一献立を使用して、園の調理室で調理し、出来立てものを提供している。昆布やかつおぶし、煮干で出汁を取り、薄味で自然のおいしさを味わえるようにしている。旬の野菜を使って季節感を出し、七夕や12月のお楽しみ会、ひな祭りなど季節の行事には行事食として、ランチプレートで提供している。コロナ前は行事会食をしていたが、現在はクラスでの食事でくじ引きをして席を決めるなど、いつもと雰囲気を変えて、手作りランチョンマットを使用している。</p> <p>野菜を栽培して生育を観察し、収穫して調理してもらい食べている</p> <p>子どもたちも一緒に土作りや苗植えをし、プランターなどでオクラやパプリカ、稲、とうもろこしなどの野菜栽培をしている。当番で水やりをして生育を観察し、収穫して調理室で調理してもらい食べている。5歳児は父母会からさつまいもの苗をプレゼントしてもらい、隣接の農園で農園主に苗植えを教わりながら植え付けをし、4歳児と一緒に収穫して、焼き芋会では芋洗いやアルミホイル包みをしている。5歳児はおにぎりの時には自分のラップおにぎり作りをしている。5歳児の当番が給食室前の栄養ボードに今日の食材を3色食品群の欄に表示している。</p>		
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>年間保健計画を作成し、月1回程度の健康教育に取り組んでいる</p> <p>年間保健計画を作成して、子どもが自分の身体を知ることで自分の身体も他人の身体も大事にする気持ちを育てることを目標に、看護師による月1回程度の健康教育を実施している。手洗い指導は2歳児以上を対象に、ブラックライトと色が変わる石鹸を使用して洗い残しを確認し、正しい洗い方を知らせている。目や耳鼻の健診の前には目耳鼻について話をし、水遊びの前にはプライベートゾーンを大事にすることを伝えている。保育士は保育活動の中で、危険な遊び方や場所などを知らせ、散歩に出掛けて道路の歩き方などの交通ルールを知らせている。</p> <p>医療機関などと連携して子どもの健康管理をしている</p> <p>園児の健康管理のために、毎月身体測定をし、囁託の園医による定期健康診断を年2回、0歳児と認定障害児の健診を月1回実施している。園医には感染症や園児の健康に関する相談をして助言をもらっている。歯科健診は年1回、幼児クラスを対象にした眼科・耳鼻科健診を年1回実施している。療育機関との連携では、保護者の了解を得て、療育機関での指導の様子を見学したり情報提供してもらったりしている。</p> <p>保健だよりや感染症情報掲示などで、子どもの健康に関する情報を提供している</p> <p>毎月保健だよりを発行して、保健行事や季節・時期に応じた子どもの健康に関する情報を提供している。4月には登園前の健康チェックのお願い、爪切り、予防接種、薬についてのお願い、SIDSの予防についてなど、5月には虫よけ・蚊よけ対策について、6月には熱中症予防の対策などを掲載している。園における感染症発生情報や子どもの保健に関するポスターなどは掲示して知らせている。評価者の訪問時にはRSウイルス感染症、手足口病、とびひについて掲示してあった。園における昼寝時には午睡チェックを実施している。</p>		

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目8の講評

保護者の子育てや就労の事情は申し出てもらい、園で可能な限り受け入れている

保育時間は保護者の就労状況に合わせて設定している。保護者から申し出があった就労や家庭の個々の事情などについて、園で可能な限り受け入れている。急用などで送迎時間の変更がある場合は連絡をもらっている。送迎者の変更も事前に連絡をもらっている。土曜日が保育対象になっていない場合でも急に仕事が入り、家庭で保育できない場合には受けている。保護者には困ったことがあれば、相談してくださいと声を掛けている。その他、園児の兄弟が発熱した時など、感染症によって、門での受け渡しをしている。

年2回の保護者会や運動会などの行事で交流してもらっている

年2回開催の保護者会と、幼児クラスでは運動会に参加して交流してもらっている。前期の各クラスの保護者会では子どもの姿やクラスで大切にしたいことなどを資料やスライドなどの映像で伝えた後、懇談の時間を設けている。保護者同士の自己紹介をしたり、事前にアンケートをとり、寄せてもらった話したいことなどをテーマに、小グループに分かれて話してもらっている。懇談で話された子育てについての意見をクラスだよりに掲載して参考にしてもらったり、壁新聞で意見交換してもらうなどの取り組みもしている。

保護者の保育参観を各クラス1日当たり1人として再開し始めている

コロナ禍のため、感染防止の観点から保育参加や参観を中止にしていたが、8月頃から感染者数が減り始めていたことから、9月より、保育参観を各クラス1日当たり1人、時間を決めて実施している。乳児クラスでは誕生日の月に個人面談を実施しているのもので、その日の午前中の保育参観を声掛けしている。保育参加は未だ実施していない。保護者からの申し出があれば昼食の様子も見てもらえるようにしたいと考えている。個人面談は一人約30分、きょうだい関係は同日に実施して、面談記録は児童票に記載している。

9 評価項目9

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の方の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目9の講評

隣接の農園の方にさつま芋の植え方を指導してもらい、収穫体験をしている

コロナ禍前は、併設のゆうゆう館(高齢者活動施設)や児童館と交流し、区立図書館には団体貸し出しの選本に5歳児も同行し、絵本を読んだり、公共施設の利用の仕方を学ぶ機会にしていたが、現在はおこなっていない。年1回の総合避難訓練の時には、併設の高齢者活動施設の職員、利用者にも参加してもらっている。地域の農園の方には父母会が依頼して子どもたちにさつま芋の苗の植え付けを指導してもらい、秋には収穫体験をさせてもらっている。そして、収穫したさつま芋を焼き芋会で使用している。七夕の笹竹は近隣の方の竹林から頂いている。

日本フィルハーモニー楽団の音楽家に来てもらい演奏会を実施している

5月に日本フィルハーモニー楽団の音楽家、バイオリン、ピオラ、チェロの方4人が来園して、演奏をしてもらっている。地域の消防署には総合避難訓練の指導と講評をお願いしている。コロナ禍前はお話ボランティアを受け入れていたが、現在は中止している。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	園庭や地域の公園で自然の生き物などに触れて遊び、自然の不思議さを感じている	
内容①	園庭は広く、周辺には緑が多い隣接の公園や都立公園があり、自然環境に恵まれている。子どもたちは園庭や散歩先で見つかったり頂いたりしたアゲハ蝶の幼虫やクワガタ、カナヘビ、カマキリ、ヤモリ、メダカなどさまざまな生き物を飼育している。飼育物は図鑑で飼育の仕方や餌などを調べ、カナヘビは生きた蜘蛛や蝶を食べることを知り、園庭や散歩先で餌探しをして、捕まえた蜘蛛などを食べさせ、卵を産んだ時には卵をどうすればよいかを調べて別の容器に移している。生き物との関わりを通して、自然の不思議さ、面白さ、生き物の命などを感じている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	子どもの様子を保護者にわかりやすく伝えるために、写真を使用するなど工夫をしている	
内容②	子どもの成長や姿を送迎時の会話、連絡帳、貼り出し日誌、クラスだよりなど伝えて、保護者と共有している。毎月発行しているクラスだよりには、写真を多く使って室内遊びや散歩、テラス、園庭遊びなどの様子、お気に入りの玩具紹介、行事に向けて取り組んでいる姿などを掲載している。貼り出し日誌には子どもの活動を具体的に書き、知ってもらいたい場面にはラインを引いたり、写真を貼付するなどしている。保護者会では子どもたちの様子を写真や動画で伝えている。前年度コロナ禍で披露できなかったクラスの劇ごっこを本年度園庭で見てもらっている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる
タイトル③	園内研修の充実を図り、保育の向上につなげている	
内容③	園内研修では、職員が学びたいことを共有し、園全体の保育の向上につなげている。6月は、事例検討とし、3～4名の小グループで保育の中で感じたことについて話をした。7月は外部講師を招き、職員に何を学びたいかを聴取し、要配慮の子どもへのアプローチや自分たちの事例を2つ出し、講師から助言やアドバイスをもらった。他障害児指定園職員も参加した。9月は職員皆でリズムや積み木の遊びをしながら「遊び」について学びを深めることができた。11月は事例検討を実施し、職員皆が同じ方向性を持つとともに実践力の向上につなげた。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	一人ひとりのその子らしさを大事にして、子ども主体の保育に取り組んでいる
	内容	「一人ひとりを大切に、その子らしさを育む保育を目指す」を保育理念に掲げ、ごっこ遊びや制作活動などは子どもの発想を大事にして自由に表現できるようにしている。季節を感じる鯉のぼり、アジサイ、カタツムリなどの制作は個々の子どもの好きな色などで表現し、5歳児の山車作りはグループで自由な意見を出し合い、山車の側面模様には好きな生き物のカナヘビやカタツムリなどを表現している。利用者調査の結果、園での活動は子どもが興味関心をもって行えるものになっているかの問いに、98%が「はい」と回答し、大変高い評価を得ている。
2	タイトル	園庭が広く、子どもたちは戸外で体を動かしたり、発想豊かに可動遊具を組み立てるなどして遊んでいる
	内容	園庭は全園児と一緒に遊べる広さがあり、自然な異年齢交流の場になっている。子どもたちは園庭や周辺の緑豊かな公園に散歩に出掛けるなどして、戸外で体を動かして遊んでいる。園庭には鉄棒やジャングルジム、登り棒などの固定遊具や砂場、ロープブランコ、スーパーネット、マルチパーツやタイヤ、お風呂マットなどの可動遊具も用意している。子どもは走り回ったり、遊具類で体を動かして遊んだり自分の使いたい可動遊具を組み合わせることで基地を作ったりして、発想豊かに遊んでいる。
3	タイトル	カリキュラム検討会議では、エピソードや困っていることなどを発表して職員間で情報共有し、さまざまな課題解決に取り組んでいる
	内容	毎月各クラスの月間指導計画(カリキュラム)を発表して、職員間で情報共有し課題検討をしている。一人ひとりの子どもの成長発達に応じた的確な援助を職員全体で共通理解し、さまざまな方向から子どもを捉えて保育をしていくために、カリキュラムの形式を見直し、子どもの姿と大人との関わり、次につなげる振り返りの項目を設けている。発表の際には、エピソードや課題、困っていることなどを中心に話し、抱えている課題を職員間で共有し、子どもの見方や環境整備などの意見交換をして共通認識を図り、環境整備などの課題解決に取り組んでいる。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	これまで以上に、清潔感があり、安全で心地よい環境整備が期待される
	内容	築45年の園舎であり、1階の壁面塗装のはがれなど施設の劣化が見受けられる。園庭側のペランダの子ども下駄箱の上などには、空の飼育箱など、さまざまな物が置いてあり、子どもたちが入室した後の園庭にはボールが数個残っている様子も見られた。物の置き場や収納方法などは、子どもたちの主体的な活動を大切にしながらも、取り出しや片付けがしやすいよう工夫するなど、これまで以上に清潔感があり、安全で心地よい保育環境の整備が期待される。
2	タイトル	行事への保護者の意向を把握するなどして、保護者が参加しやすい行事の持ち方についての検討が望まれる
	内容	保護者に参加をお願いしている行事は、現在、3～5歳児対象の運動会と5歳児の卒園お祝い会であり、その他に、保護者会が年2回と個人面談である。コロナ禍のため、夏祭りは子どものみの行事にしている。利用者調査の、行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされているかの問いには、コロナ禍で参加できる行事がない、保護者会の開催が平日、子どもの屋敷の時間であるなどの意見が寄せられている。今後は保護者の意向を把握するなどして保護者にとって参加しやすい行事の持ち方についての検討が望まれる。
3	タイトル	より一層保護者との信頼関係を築き、子どもの育ちを共有するために、全体的な計画の見直し・検討を期待する
	内容	全体的な計画は子どもや家庭の事情、地域の実態などを考慮し、子どもの発達過程を踏まえて、養護と教育等の領域のねらいや内容、幼児期の終わりまでに育てたい姿などを盛り込み作成しているが、再度検討することである。今後、より一層保護者との信頼関係を築き、子どもの育ちを共有し保育を進める観点から、保護者との連携の考え方を盛り込むなど、善福寺保育園にとって必要な見直し・検討を期待する。

## 5. 和田保育園



調査対象

令和4年7月の配布時点で利用している在園児76名の保護者71世帯を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答の回答をいただいた。

調査方法

①調査票、②調査のご協力依頼文書、③返信用封筒を同封した封筒を保育園の職員から直接、保護者の方々へ配布してもらい、保護者の方々から返信用封筒に調査票を入れて、直接、評価機関へ返送していただいた。調査にあたっては保育所内に「ご協力のお願い」文書を掲示した。

利用者総数	76
利用者家族総数(世帯)	71
共通評価項目による調査対象者数	71
共通評価項目による調査の有効回答者数	57
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	80.3

利用者調査全体のコメント

・回答者の属性は次の通りである。調査票記入者：「父」5名(9%)、「母」39名(68%)、「父母一緒に」9名(16%)、無記入4名(7%)。  
 ・総合的な感想は「大変満足」19名(33%)、「満足」34名(60%)、「不満」3名(5%)、無記入1名(2%)で、「大変満足」、「満足」と返答した方々は回答者の93%で、当園の保育に関して非常に高い満足を得ている。  
 ・回答者の90%以上が「はい」と答え、満足度が高い設問は、問1「心身の発達に役立つ活動」、問2「興味や関心の持てる活動」、問3「食事」であった。  
 ・総合的な感想では、「一人ひとりの成長に合わせてしっかりと見てくれていると思います。小さなことでも相談しやすい雰囲気があります」、「園庭で屋外活動を沢山してくれます。また、散歩で遠くの公園まで行くので、子どもに体力がつかしました」などのコメントが記入されていた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	54	3	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の95%で、心身の発達に役立つ活動に関して非常に高い満足を得ている。「お友だちとの関わりや、家ではなかなかできない泥んこ遊びなどを思いきりしているようです」、「家ではできない活動をしてくれているので、とても役立っていると思います」などのコメントが寄せられていた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	53	2	2	0
「はい」と返答した方々は回答者の92%で、興味や関心を持てる活動に関して非常に高い満足を得ている。「子どもが得意道に『ダンスや水遊びが楽しかった』などと色々話してくれます」、「リズム遊びや読んでもらった絵本の話の家でもしてくれます」、「季節や行事、天気に合わせて絵本を読んでくれて、それが現実とつながるという経験をさせてくれます」などのコメントが寄せられていた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	53	2	2	0
「はい」と返答した方々は回答者の92%で、食事に関して非常に高い満足を得ている。「家では食べない野菜類も、園ではほぼ毎食完食しているようでありがたいです」、「季節や行事に合わせてメニューがあるので、とてもうれしいです」などのコメントが寄せられていた。				



4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	42	12	3	0
「はい」と返答した方々は回答者の74%で、戸外遊びに関して概ね満足を得ている。「園庭遊びを沢山取り入れてくれています。保育園でいろいろな体験ができています」と、「園で植物を育てたり、季節に合わせた行事がおこなわれています。子どももとても楽しそうです」などのコメントが寄せられていた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	43	7	1	6
「はい」と返答した方々は回答者の75%で、保育時間の変更への対応に関して概ね満足を得ている。「快く承諾してくれます」、「『焦らず、気をつけて来てくださいね。お疲れさま』と言ってくれることもあり、大変ありがたいです」などのコメントが寄せられていた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	45	10	1	1
「はい」と返答した方々は回答者の78%で、安全対策に関して概ね満足を得ている。「避難訓練を毎月おこなってくれているようで、対策が身についているようです」などのコメントが寄せられていた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	32	18	6	1
「はい」と返答した方々は回答者の55%、「どちらともいえない」32%、「いいえ」11%、無記入2%であった。「コロナ禍で行事は保護者会と面談だけでした。どちらの日程も早くから知らせてくれたので、都合をつけやすかったです」などのコメントが寄せられていた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	43	12	1	1
「はい」と返答した方々は回答者の75%で、家庭と保育所との信頼関係に関して概ね満足を得ている。「お迎えのときなどに、保育園での様子や友だちとの関わり、保育者との関わりをひと言エピソードとして伝えてくれるのでうれしいです」、「連絡帳に加えて、お迎えのときに園での様子をいつも報告してくれます」などのコメントが寄せられていた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	51	5	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の89%で、施設内の清掃、整理整頓に関して高い満足を得ている。「古い建物ですが、きれいにしていると思います」「古い園舎ですが、いつも清潔なので不快な思いをしたことはありません」などのコメントが寄せられていた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	47	7	2	1
「はい」と返答した方々は回答者の82%で、職員の接遇・態度に関して高い満足を得ている。「とても親切にしてくれます。また、服装は動きやすそうで適切だと思います」などのコメントが寄せられていた。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	45	7	2	3
「はい」と返答した方々は回答者の78%で、緊急時の対応に関して概ね満足を得ている。「子どもの様子を見て連絡してくれます。また、小さな怪我のときにも報告してくれます」、「看護師も普段から子どものことをよく見ているようで、薬を塗ったり冷やしたりしてくれています。また、玄関で声をかけてくれるので心強いです」などのコメントが寄せられていた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	40	6	1	10
「はい」と返答した方々は回答者の69%、「どちらともいえない」11%、「いいえ」2%、非該当16%・無記入2%であった。「どのような状況でどうなってしまったのかを詳しく説明してくれるので信頼しています」、「その場合の対応などについて説明を受けているので、信頼できます」などのコメントが寄せられていた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	49	6	1	1
「はい」と返答した方々は回答者の85%で、子どもの気持ちの尊重に関して高い満足を得ている。「本人の主張を尊重してくれていると思います」、「やりたいこと、やりたくないこと、食べたくないなど子どもの気持ちをよく受け止めたうえで対応してくれているようです」などのコメントが寄せられていた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	47	5	1	4
「はい」と返答した方々は回答者の82%で、プライバシー保護に関して高い満足を得ている。「プライベートの話や必要以上の話はしません」などのコメントが寄せられていた。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	50	5	2	0
「はい」と返答した方々は回答者の87%で、保育内容の説明に関して高い満足を得ている。「おたよりや保護者会などを含め、丁寧に説明してくれているのでわかりやすいです」、「遊びの最中のエピソードを連絡帳に書いてくれます」、「クラスだよりでも伝えてくれるのでわかりやすく、いつも楽しみにしています」などのコメントが寄せられていた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	38	9	3	7
「はい」と返答した方々は回答者の67%、「どちらともいえない」16%、「いいえ」5%、非該当12%であった。「面談をする時間を設けてくれました」、「疑問に思ったことを手紙などに書いて朝の送りのときに渡すと、お迎えのときに丁寧に説明してくれるのでうれしいです」などのコメントが寄せられていた。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	18	15	6	18
「はい」と返答した方々は回答者の32%、「どちらともいえない」25%、「いいえ」11%、非該当32%であった。「まだそういった相談をしたことはありませんが、貼り紙などがしてあるので目に入ります」などのコメントが寄せられていた。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリー1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している <span style="float: right;">評点(〇〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えていく <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	カテゴリー1の講評	
	児童憲章・園目標・保育理念などを事務所内に掲示し、職員への意識づけを図っている 園目標・保育理念・保育方針などを事務所内に掲示し、職員への意識づけを図っている。これらの保育で大切にすることは「園のしおり」にも明記し、保護者・職員などに配布している。「園のしおり」には、さらに「こんな保育をめざします」として「一人ひとりのお子さんを大切に保育する保育園、保護者、地域とともに子育てしていく保育園」、「保護者と共につくる保育園」、「安心して任せられる保育園」、「地域の方々に開かれた保育園」と記載している。入園時には、園長から園目標・保育方針に基づいた保育の取り組みについて説明している。  園長・主査・保育向上リーダー2名を中心に保育の質向上に取り組んでいる 杉並区立保育園では、保育の質の向上を目的に「保育の向上を考えるリーダー会議」が組織化されており、各園から保育向上リーダー2名を選出し、横断的に情報交換し、互いに刺激し合い、自園での実践の参考にしている。当園内でも、園長・主査に加え、保育向上リーダー2名が保育の向上促進の5本柱と位置づけられ、リーダーシップを発揮し、保育の質向上に取り組んでいる。また、園長は、園長会(月2回)に参加し、区の取り組みなどについて情報伝達されており、職員会議などでその収集した情報を職員へ周知している。  重要な案件については、結果を急がず十分に話し合い、決定するようにしている 重要な案件は主に「定例打ち合わせ」(週1回)や職員会議(月1回)で検討、決定している。緊急の事案は毎日の昼ミーティングで情報共有し迅速に対応している。重要な案件については、結果を急がず十分に話し合うようにしている。決定が持ち越されるときは、各クラスに持ち帰り、再度検討をおこなっている。職員個々の意見の違いを認め合いながら、目標・目的を意識して決定するようにしている。会計年度任用職員を含めた全職員への情報の共有と徹底を課題としており、随時、個別での情報伝達もおこなっている。	

カテゴリ-2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリ-1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(○○○○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(○○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-2の講評		
<p>保護者ニーズや職員からの意見や提案を受け、園運営に反映するようにしている</p> <p>保護者ニーズや意向の把握は、日頃の保護者との会話や連絡帳などで確認している。また、クラスだけで保育や記事に対する意見や感想を保護者から募り、保護者ニーズを把握している。個人面談でも保護者の要望を把握している。日常でも連絡帳に記載された保護者の要望や意向については、主査・園長に伝えとともに、職員間でその対応について話し合っている。職員からの意見や提案は、職員会議や「目標申告シート」を使った定期的な個別面談の際に把握し、保育内容や研修派遣などに反映している。</p> <p>地域懇談会などから地域ニーズを収集し、園運営に活かしている</p> <p>杉並区では7つの地域に分け、それぞれの地域の各保育所が集まり、地域懇談会を実施している。同懇談会に参加し、職員間の交流を促し、情報交換しながら、より良い園運営に活かしている。また、地域の児童館・保健所・小中学校・図書館などが集まった地域子育てネットワークや、地域行政連絡会、地域教育連絡協議会などに参加し、地域ニーズについて情報交換している。園運営で必要な情報を杉並区基本構想、杉並区保健福祉計画などから収集・確認し、区の進むべき方向性にあった園運営に取り組んでいる。</p> <p>年間指導計画を立て、その後、保育の実践状況を話し合い、見直す機会を設けている</p> <p>区では杉並区総合計画(令和4(2022)年度～令和12(2030)年度)を策定している。また、区子ども家庭部・保育課の組織目標を踏まえ、当園では現状の課題を分析し、年度初めに「係の目標シート」を策定し、園の目標を明確化している。係(園)の目標から個人の目標を計画し、職員個々の仕事目標を定め、中間反省・後期目標の設定・年度末反省を実施している。保育の実践に関しては、年度末反省会議の際に全体的な計画について確認し、これに基づいて年間指導計画を立て、その後、保育の実践状況を話し合い、見直す機会を設けている。</p>		

カテゴリ-3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1 (3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2 (3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常的言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-3 (3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリ-3の講評

杉並区例規集などにより、区立園で働くうえでの必要事項について適宜確認している

杉並区例規集や「危機管理マニュアル」「杉並区立保育園保育実践方針」「保育実践の手引き」などにより、区立園で働くうえで必要な事項について適宜確認している。正規職員の入職時の研修では、公務員倫理・人権などについて指導教育している。会計年度任用職員の採用面接時に保育にあたって留意してほしいことなどを説明している。互いに気づいたことは伝えられるように日々のコミュニケーションを重視している。また、園長や主査が積極的に保育に加わり様子を見守るとともに組織としての意識を高めている。

玄関でのポスター掲示や入園説明会で、苦情の申出先について保護者に周知している

玄関に「保健福祉サービス苦情調整委員制度」についてのポスターを掲示し、保護者に周知している。また、入園説明会でも、保護者に苦情・要望等の相談窓口について周知している。口頭または連絡帳で寄せられた意見や要望に関しては随時、職員間で共有した上で、個別に対応している。利用者からの意見・要望等に対して職員間での共有がなされ、速やかに対応しており、必要に応じて全保護者に配布物や掲示物・メールで知らせている。

子育て支援計画を作成し、地域の方々に開かれた保育園を目指している

子育て支援計画を作成し、地域の方々に開かれた保育園を目指している。地域の子育て親子を対象に、園庭開放・身体計測・ふれあい保育などをおこなっていた。しかし、コロナ禍により、園庭開放・身体計測は訪問調査時点では、中止としていた。コロナウイルス感染状況を見て、再開を検討していくことにしている。児童館で子育ての話をしたり、震災救援所運営連絡会メンバーとなるなど、地域との協働体制を整え、地域貢献の一助としている。

カテゴリ-4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ-1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ-毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	
サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ-毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	
カテゴリ-4の講評		
<p>月1回の避難訓練や年2回の防犯訓練を実施している</p> <p>年間避難訓練計画を策定し、月1回、ねらいを定め、さまざまな場面を想定した訓練を実施している。そのうち、年2回、告知なしの抜き打ちの訓練を実施し、実際の災害時に活かすようにしている。また、散歩中の地震想定での訓練をおこない、散歩先周辺の安全な避難先(公共施設)を確認し避難する訓練もおこなっている。また、怪我の応急処置やAEDの使い方など救急法を学ぶ機会も設けている。また、年2回、防犯訓練も実施している。防犯マニュアルに沿って、役割・状況に応じた避難・通報・伝達訓練などを実施している。</p> <p>危機管理マニュアルなどにより、リスクに対して迅速に対応できるようにしている</p> <p>危機管理マニュアル、保健マニュアル、園の業務マニュアルなどにより、リスクに対して迅速に対応できるようにしている。新型コロナ陽性者発生やその対応などについては、区の災害時子ども安全連絡網などにて速やかに情報提供している。感染対策として、マスク着用、手洗い・うがい、手指消毒の徹底に取り組んでいる。区保育課や医療会(看護師の横の連絡会)などからの新型コロナウイルス感染症に関する情報に基づき、当園の感染対策を検討・実施している。軽微なリスクはヒヤリハットの様式に記載し、昼ミーティングで共有し、危機意識を高めている。</p> <p>文書管理分類表に基づき、記録類を適切に整理・保管している</p> <p>杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理をおこなっている。個人情報の管理において保管場所は多くせず、かつ明確にしている。パソコンを使用しない時は鍵のかかる書棚・机の引き出しに入れ、事務室に誰もいない時は施錠して出かけている。個人情報や鍵の取り扱いは十分に注意し、持ち出しの際は、園長や主査、他職員に声をかけたうえで持ち出し者名の記録をつけ、返却の際も同様に声かけと名簿チェックをおこなっている。文書管理分類表に基づき、記録類を適切に整理・保管している。</p>		

カテゴリ-5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賞金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当



カテゴリー5の講評

**職員個々と「目標申告シート」を使って、仕事目標を定め、能力向上につなげている**

区ホームページや広報紙などを通して、保育士、看護師など職種ごとに採用募集をおこなっている。正規職員は区人事課が募集・採用し、会計年度任用職員は保育課で募集・採用している。「目標申告シート」を使って、園長は、職員個々と面談し、仕事目標を定め、その達成度を振り返り、能力開発を図っている。区全体で人事異動基準を定めており、異動希望調査で個々の希望も確認し、定期的な人事異動を実施している。また、クラス担任を決める際は、職員個々の希望を把握し、希望を尊重しながら、全体のバランスに配慮し、決定している。

**区保育課主催の実務研修などの案内を随時おこない、能力開発への意識づけを図っている**

区人事課主催の職層別研修や区保育課主催の実務研修に加え、外部機関の各種講座や講演会などの案内を随時おこない、能力開発への意識づけと機会の提供をおこなっている。研修受講後は、職員会議などで報告してもらい、職員間で共有している。職員が気づいたことは園長や主査に報告し、さらに職員全体に周知する流れができています。園内でも課題に合ったテーマを決め、研修を企画し学んでいる。他方、新任職員や3年目職員には育成担当者を配置し、育成計画を立て、安心して仕事を段階的に取得・習熟できるような仕組みがある。

**職員が目標に向けて意欲的に仕事に取り組める職場環境づくりに取り組んでいる**

職員が目標に向けて意欲的に仕事に取り組める職場環境づくりに取り組んでいる。職員一人ひとりが意見を出し合うことのできる会議の持ち方について、園長・主査2名・保育向上リーダー2名の5本柱で考察し、工夫して取り組んでいる。固定概念にとらわれない、何でも話せる雰囲気づくりを大切にしている。職員アンケートには、「保育士同士が保育観を共有し、互いに良いところを認め、考えや思いを大切に尊重している」、「問題解決に対して、全体で考えて取り組もうとするチームワーク力がある」などのコメントが寄せられていた。

カテゴリ-7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリ-1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

保育の向上と継承を重点目標とし、その目標達成に向け、職員間で保育の話をする機会を多く持つことや、その充実に取り組んだ。その取り組みの一環として、毎月のカリキュラム検討会で子どもの姿からの気づきを出し合い、保育に活かすための話し合いをおこなった。また、月間カリキュラムの様式を変更し、エピソード記録を記載する形式を取った。前年度の12月からエピソード記録を記載する形式とした。具体的な子どもの姿をもとに話し合うことで、職員が状況イメージしやすく考えや意見が出やすくなった。また、「自分だったらどうするか」を考えることにつながった。しかし、カリキュラムに記載できる事例は1~2例と限られており、事例に挙がらない児がいたり、クラス全体の姿が反映されにくいなどの反省があった。この点については、他クラスから積極的に質問を出すことで補うことや、カリキュラムに挙がってこない児については各個人の振り返り記録につけるなど、園全体で意識して取り組むこととした。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

意欲的に学び合える現場づくりに取り組んだ。そのため、職員の日々のコミュニケーションを密に図り、保育について何でも話し合えるチームワークをつくることや、職員一人ひとりの意見を聴き取り、学びたい意欲をかたちにすることに取り組んだ。その結果、職員個々の視点から、子どものより良い成長とは何かを常に考慮し、クラスや園全体で話し合ったことを毎日の保育や行事に活かして取り組むことができた。若手職員も自分の意見を出し、保育や行事を実際おこない、振り返ることで自身の保育の向上へとつなげていった。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

「子どもが安全で生き生きと生活し、保護者と一緒に成長を喜び合える保育園づくり」を重点目標とし、次の取り組みをおこなった。保護者に子どもの様子を知ってもらい、より良い関係性を築き、深めていく方法として、クラス便り・連絡帳・掲示日誌などの視覚的な情報の充実に取り組んだ。特に掲示日誌ではイラストや写真を取り入れ、わかりやすさを心がけた。その結果、掲示物をきっかけに、保護者と日中の子どもの姿や発言、行動などを話すことができた。しかし、写真が多用されることで保護者の目が写真に向きやすく保育の中で子ども達がどのように変化したかや前後の経緯、その後の展開など、保育者が伝えたいことを共有するまでにはさらなる工夫が必要と考えた。そのため、連絡帳や掲示日誌からの事例を用いて、職員個々が振り返りをしたり、職員会議の中でグループ単位で写真から考察し、クラスだよりなどでより丁寧な説明を添えるなど、保育の質の向上に向けた取り組みを進めている。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</li> </ul>
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</li> <li><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</li> <li><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

子どもが安全で生き生きと生活し、保護者と一緒に成長を喜び合える保育園づくりに向け、前述の取り組みに加え、次のような取り組みも実施した。①全職種で連携し、アレルギー対応の徹底を図った。その結果、無事に1年間事故なく、食事提供ができた。②ヒヤリハットは気づいた職員が報告し、職員間で情報共有し、より良い改善策を考え、迅速に改善をおこない、子どもたちは安全に過ごすことができた。③園庭プロジェクト、室内プロジェクトでは定期的な話し合いの機会を持ち、環境の見直しや環境整備を計画的におこない、改善につなげた。

II サービス提供のプロセス項目 (カテゴリー6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目		
サブカテゴリー1			
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものとしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー1の講評			
<p>区の公式ホームページやアプリなどで情報提供している</p> <p>杉並区の公式ホームページの「保幼(ぼよ)ナビ」や、公式アプリ「すぎぼよ(保幼)」で情報提供している。区のホームページの施設案内には園の住所、電話番号、定員、保育時間、延長保育時間などの園概要、園舎外観写真、地図、主な行事、園の見取り図、運動会や焼き芋会などの様子、給食の写真を掲載している。園の特色として、「保護者、地域と共に子育てを目指す、食育に積極的に取り組んでいる、シンボルツリーのシラカシがある保育園」などと紹介している。</p> <p>区立直営保育園であり行政や関係機関と情報交換し連携している</p> <p>区立直営保育園であり、区役所の保育課にはさまざまな報告をし連携している。園長は月2回区立保育園長会に参加して行政からの情報を得て、課題検討や情報交換をしている。主査は主査会、看護師や栄養士も月1回程度専門職会議に参加している。地域の児童館主催の地域ネットワークに年2～3回参加して、小学校や中学校、保健センター、児童委員、町会関係者などと情報交換している。区の中核園事業で、地域の保育施設長同士の地域懇談会が開かれている。地域の小学校とも連携について話し合い、消防署には総合避難訓練の指導・講評をもらっている。</p> <p>園概要を配付して説明しながら園舎内の見学をしてもらっている</p> <p>見学者受入日を決めているが、希望者と日程が合わない場合には個別対応をしている。9～11月には月2回。午前9時30分と11時からの1回5組とし実施して、これまでに10数件受け入れている。園長や主査が対応し、園の概要を配付して説明しながら園舎内を見学してもらっている。園の特長として、異年齢保育をして子どもたちが育ち合っていることやリズム遊びを取り入れている、園庭では砂遊びやどろんこ遊びをしている、散歩に出かけて自然に触れて遊んでいる、1・2歳児は少人数の担当制で保育をしていることなどを伝え、質問にも応じている。</p>			

サブカテゴリー2		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
<b>評価項目1</b> サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		○非該当
<b>評価項目2</b> サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当
サブカテゴリー2の講評			
<p><b>入園説明会を実施して園の重要事項や基本的なルールなどを説明している</b></p> <p>入園内定者には嘱託の園医による健康診断と園長、保育士、看護師などによる面接を実施して、健康や発育状態、入園までの生活状況等を把握し、保護者の就労や家庭の状況、意向などを聴き、保育時間を決めている。4月入園の場合には3月中旬の土曜日に入園説明会を実施して、「和田保育園のしおり」や「保育園のご利用にあたって【重要なお知らせ】」を配付し、園の概要や園目標、保育理念、保育方針、保育園の紹介、避難訓練、登降園に関するお願い、個人情報取り扱い、防犯対策、災害時の引き渡し、健康管理、給食などを説明している。</p> <p><b>入園開始直後におおよそ1週間程度の慣れ保育を実施している</b></p> <p>入園当初は保護者の就労状況や要望に合わせて個別対応をし、おおよそ1週間程度の慣れ保育を実施している。初日から母子分離で預かり、1・2歳児の場合には食事の時間に合わせて迎えに来てもらい、子どもに食事を食べさせたり、様子を見てもらったりしている。子どもの慣れる状況に合わせて徐々に預かる時間を延ばしている。1・2歳児は担当制で保育しているので、いつも同じ保育士が関わり、子どもや保護者との信頼関係を早めに構築できるようにしている。保護者には園での子どもの様子をできるだけ詳しく伝えて、安心してもらえるようにしている。</p> <p><b>卒園や退園、転園時には子どもや保護者の不安軽減に努めている</b></p> <p>卒園児の就学先へは「保育所児童保育要録」の写しを送付して引き継いでいる。区内の区立園への転園の場合は保護者の了解を得て、園同士で引き継ぎをしている。その他の転園や引っ越しなどでの退園の場合は、保護者にこれからの育児への不安を取り除けるような声かけをし、近くに来た時には顔を見せてくれるように、伝えている。年度途中の退園の園児にはクラスでお別れ会を実施して、手作りのメッセージカードなどを渡している。</p>			

サブカテゴリ-3

3 個別状況の記録と計画策定

サブカテゴリ毎の  
標準項目実施状況

12/12

評価項目1

定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

評価項目2

全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当

評価項目3

子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

サブカテゴリ-3の講評

子どもの心身や生活の状況を見守りや保育日誌などに記録して把握している

入園時には健康診断や面接を実施して、出生歴や生育歴、既往歴、健康上の注意点を把握し、食事、睡眠、排せつ、言語、運動、遊び、入園までの保育状況など、保育をする上で必要な情報を児童票に記録して把握している。毎朝の登園時には連絡帳や保護者との会話のやり取りにより、子どもの様子や健康状態を把握し参考にして保育し、生活や遊びの様子、健康状態などを保育日誌や保健日誌に記録している。保育の経過記録は児童票に、1歳児は1か月ごと、2歳児は2か月ごと、3～5歳児は期ごとに年4回記録している。

指導計画はクラスの状況や子どもの姿を担任同士で振り返り、作成している

全体的な計画を基に年間指導計画を作成し、それらに沿って、クラスの状況や子どもの実態を担任同士で話し合い、目標や子どもが経験する内容、保育者の配慮及び援助の項目で、月間指導計画を作成している。次月の計画を作成する際には子どもの姿のエピソード記録を書いて先月を振り返っている。1・2歳児と特別な配慮が必要な子どもは毎月個別計画を、3～5歳児は必要に応じて個別の配慮を作成し、年間2回は全員の個別配慮を作成している。年間指導計画は前期保護者会で配付説明し、幼児クラスは週の活動予定を掲示している。

月間指導計画検討会議やミーティングなどで子どもに関する情報を共有している

月間指導計画は毎月検討会議を開催して、報告・検討し、職員間でクラスや子どもに関する情報を共有している。その他にも、各種の職員会議を開催して情報共有をしている。月～金曜日の昼間には10～15分程度のミーティングを実施して、午前中の保育や子ども、保護者に関する個別の報告、翌日の職員体制、行事、会議、アレルギーの確認などを行っている。定例職員会議を週1回昼間に、会議報告や研修報告、行事の検討・反省などを行っている。夜会議を月1回、その他、幼児・乳児打ち合わせ会なども実施している。

サブカテゴリ-5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
<b>評価項目1</b> 子どものプライバシー保護を徹底している <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当
<b>評価項目2</b> サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している <span style="float: right;">評点(〇〇〇)</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
サブカテゴリ-5の講評		
<b>子どものプライバシーの保護に努めている</b> 個人情報の取り扱いには「和田保育園のしおり」や「保育園のご利用にあたって【重要なお知らせ】」で説明している。写真、ビデオ撮影のお願いを文書で示し、承諾を得て撮影や写真販売をしている。療育機関へ同行する際には保護者の承諾を得ている。また、子どもの羞恥心への配慮として、プールやシャワー時には遮光ネットやすだれなどを設置して外部から見えないようにし、身体を覆うタオルを使用して、着替え方を知らせている。看護師は幼児対象にプライベートゾーンについて知らせている。おむつ交換やおもらしの着替えなども仕切りを設置している。 <b>一人ひとりの子どもを大切に作る保育を目指して取り組んでいる</b> 園の目指すものとして「一人ひとりのお子さんを大切に保育する」を挙げて、子どもの個性や成長発達に合わせた保育をしている。子どもの誕生日には、写真付きのおめでとうの表示を掲示し、クラスでお祝いをしている。1・2歳児はおめでとうのリボンをつけて一日過ごし、みんなに誕生日おめでとうの声掛けをしてもらっている。3・4歳児は食事の時に特別のランチョンマットで食べている。5歳児は献立は同じであるが盛り付けなどを工夫した誕生日プレートを提供してもらっている。幼児クラスの貼り出し日誌には誕生日会の様子などを掲載している。 <b>子どもの虐待や保護者支援の研修に参加して学んでいる</b> 前年度は、研修「子どもの人権」に参加して学び、研修報告をして、保育者も「男の子だから、女の子だから、の言葉は使わないように、大人が子どもの思いを代弁し、本人が表出しやすいようにすることが大事」などと報告している。子ども家庭支援センターとのつながりがある場合には、子どもや保護者の様子で気になることは記録することになっている。職員は子どもの虐待の早期発見や防止への意識を持って、身体の不審な傷やあざ、衣類の汚れ、言動などに注意を払い、年度末には議題に入れ、職員間で再認識している。本年も研修参加の予定である。		

サブカテゴリ6

6 事業所業務の標準化

サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5

評価項目1  
手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2  
サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直し取り組みをしている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ6の講評

区立保育園共有のマニュアルや園独自のマニュアルを整備している

区立保育園共通の「杉並区立保育園保育実践方針」、「杉並区保育実践の手引き」は職員各自が持っている。「保育園危機管理」、「保健衛生」などの区立園共通マニュアルは事務室の棚に置き、いつでも必要な時に確認できるようにしている。園独自には「園のマニュアル」を作成し、園庭での決まり、防犯対応マニュアル、早番、遅番の仕事(平日・土曜日)、会計年度任用職員(短時間)の仕事、朝保育・夕保育・散歩の危機管理、食物アレルギー対応などを作成して、事務所と各クラスに置き、いつでも見ることができるようにしている。

年度末反省や必要に応じて随時、見直している

年度末には保育を含め、係や園運営全般の年度末反省をしているので、園マニュアルも、年度末までに職員会議で確認し必要に応じて見直し修正している。早番、遅番の仕事や会計年度任用職員(短時間)の仕事は、子どもの成長や人数などにより、変更が必要との職員の意見がある場合には、職員会議で検討し随時見直している。園庭の決まりなども、子どもたちの遊びの状況の変化などから、実際の手順と合わない場合には職員間で検討し、随時見直している。

職員や保護者の意見、子どもの様子などは検討し、必要な見直しをしている

より良いサービスの提供を目指しているので、職員や保護者、子どもの様子などから、必要と判断したことは、検討して見直している。例えば、園庭門の左側でプールの裏側にあたるあたりが子どもが行き来できるようになっていて、保護者の迎えの際などに、いつの間にかプール向こうの栽培エリアに行っていることがあり、危険であると判断し、子どもが入り込まないように、お風呂マットを利用した柵を設置して通れないようにした。そうすることで、死角になっていて困ることが無くなっている。



Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	35 / 35
1	評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている	評点(○○○○○○)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当	
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当	
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当	
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当	
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	○非該当	
評価項目1の講評			
<p>子どもが自分で使いたい遊具や玩具を選んで使って遊べる環境作りをしている</p> <p>保育室内は、子どもの年齢発達や興味関心に合わせた玩具類を子どもが自分で選んで自由に使えるように環境設定をしている。1・2歳児室では玩具棚や衝立などを使って、着替えや食事、遊びの場所を分けて、机上で遊ぶ、床に広げて遊ぶ、体を動かして遊ぶなど遊び毎のコーナーにして、一人ひとりの遊びや少人数での遊びを保障する保育をしている。園庭には、太鼓橋や鉄棒などの固定遊具、砂場、ごっこハウス、タイヤ、マルチパーツ、ゴザ、風呂マットなどの可動遊具類があり、子どもが自分で遊びたい物を使って遊べるようにしている。</p> <p>子ども同士がつながる関係を大事にしているので、感染対策をして異年齢交流をしている</p> <p>園庭は、使用曜日や時間などの約束事は設けずにどのクラスも使用して、戸外で自然な交流をしている。評価者訪問日は運動会の練習中であつたが、幼児クラスのマスゲーム中には1・2歳児がベンチに腰掛けて、演技を見ながら声援を送っていた。当園では異年齢で交流し繋がりが合う関係作りを大切にしているので、コロナ禍であるが、幼児クラスでは4月の子どもの日の集いや6月のどんぐりまつりなどの行事、年間6回程程度の縦割りグループでの活動(なかよしデイ)には、戸外で活動するなどの感染対策をしながら取り組んでいる。</p> <p>子ども同士のトラブルは大切な経験であり、子どもの気持ちを尊重して対応している</p> <p>低年齢児のトラブルは未然に防ぐことを心掛けているが、トラブルになった場合には、保育士が双方の子どもの気持ちを汲み取り、「～したかったんだね」などと代弁し、どうすればよかったかを伝えて言葉を引き出し仲立ちしている。発達の過程で生じるトラブルは、大切な経験であることや園の対策、トラブルの状況や子どもの気持ちを双方の保護者に伝えることを園のしおりに明記し、保護者会でも伝え、迎えの際に状況を説明し、噛みつきなどが防げなかったことを謝罪している。4・5歳児同士の場合はやり取りを見守り、必要に応じて仲介している。</p>			

2 評価項目2

子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当

評価項目2の講評

登園時には子どもの健康を観察し、家庭での様子を聴いて受け入れている

登園時には挨拶を交わし、子どもの顔色や表情、機嫌などの健康を観察し、1・2歳児は連絡帳を手渡してもらい記入内容を確認しながら、3歳児からは口頭で、家庭での子どもの様子を聴き受け入れている。前日に体調を崩して休んでいたり、園で怪我をした時には特に詳細に聴き取りして、視診表に記入している。朝保育の当番保育士が受け入れた場合は、視診表を基に担任に引き継ぎをしている。連絡帳を使用していない幼児クラスでは、必要に応じてメモ用紙を使用して連絡してもらったり、連絡したりもしている。

休息(昼寝を含む)の時間や長さは子どもの状況に応じて配慮している

昼食後にはおむつを交換をしたりトイレを済ませたりして、順次布団に入り昼寝をするリズムにしている。年齢発達に応じて昼食の時間に時差をつけているので、昼寝の時間も低年齢児程、早く布団に入り、5歳児では12時30分頃に布団に入っている。朝早く目覚めたりして早めに眠くなる場合は早めに布団に入るなど、子どもの個々の状況に合わせて対応している。就学前の3月下旬には、5歳児は早く目覚めた子は起きて遊んだり、眠い子どもは布団に横になるなど、その子どもの状況に合わせた休息の方法にしている。

迎いの保護者には一人ひとり子どもの様子を伝えるように努めている

迎いの保護者一人ひとりに子どもの様子を口頭で伝えるよう努めているが、迎えが重なる時間には、連絡事項のみになるなど、十分伝えられないこともある。1・2歳児は連絡帳でも伝えているが、幼児クラスはB4判の貼り出し日誌に可能な限り写真をつけてクラスの活動の様子を読んでもらっている。保護者に報告・説明をする必要がある場合、状況をよく知っている担任が保護者の迎えを待って伝えることもある。怪我などで受診する場合には、保護者に事前連絡の上、了解を得て受診し、必要に応じて園長・主査も担任とともに保護者に伝え、謝罪している。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

子どもが見通しをもって生活し、じっくりと遊べるように予定などを知らせている

1・2歳児は朝のおやつのはじめには園庭に出て、昼食前までじっくりと戸外遊びをしたりして活動時間が細切れにならないようにしている。幼児クラスでも4・5歳児では子どもが見通しをもって生活できるように、明日の予定を午後のおやつ時に伝えたり、朝早めに伝えたりしている。次の活動へ促す際には「長い針が〇〇のところに来たら始まりますよ」などと余裕を持って時間を伝え、子どもが自分で遊びに見通しをつけて活動に入っていけるようにしている。幼児クラスでは週の活動予定を掲示している。

子どもの気持ちを受け止めて、子どもが次の行動につながるように援助している

1・2歳児クラスは担当制にして同じ保育士が関わり、子どもが安心して自分を出せるようにし、保育士は子どもの気持ちをしっかりと受け止めて、次につなげる保育をしている。子どものその日の気分や体調、自信がないなどの理由で、集団活動に入りたくない、やりたくないなどの気持ちがある場合には無理強いをせず、本人がやる気持ちになるのを待つようにしている。リズム遊びなどでは「やりたくない」という気持ちを受け止め、「友達を見てみようか」、「やりたくなったら入っていいよ」と子どもを見守り、いつでも受け入れている。

園庭や散歩先で自然に触れ、季節の移り変わりを感じて遊んでいる

園庭にはシンボルツリーのどんぐりの大木(シラカシ)や松の木があり、秋にはたくさんのどんぐりや松ぼっくりを拾うことができ、ままごとなど遊びや制作などに使っている。ダンゴムシやバッタなどの昆虫もやってくるので虫探しも盛んである。夏には、園庭全体を使って泥んこ遊びや色水遊びなどのさまざまな水遊びをして水や泥などの感触を楽しんでいる。保育室にはドジョウ、金魚、ダンゴムシ、アゲハ蝶などのさまざまな生き物の飼育をしている。戸外遊びに適した日には散歩に出かけて、身体を動かして遊び、自然に触れて遊んでいる。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>どんぐりまつりでは自分たちのイメージしたお神輿を作り上げて、練り歩きをしている</p> <p>これまでの年長組のお神輿の練り歩きに憧れていたため、5歳児がどんぐりまつりではお神輿を作って担ぎたいと、取り組んでいる。各自が「きらきらのお星さま」、「屋根の上に角がある馬みたいなのがある」、「尻尾が虹色」など出した意見を保育者がイメージ図に描いて統一してから制作している。立体的なユニコーンは担任と一緒に作り、たてがみ、尻尾などはアイデアを出し、苦心して作り上げている。当日は揃いのはっぴに豆絞りを着け、ユニコーンお神輿を担いで「わっしょい！」と誇らしげに園庭を練り歩き、他のクラスからの大声援を受けている。</p> <p>自分たちでイメージした水族館作りに取り組み、自信や達成感を味わっている</p> <p>作ることが好きな園児の「たくさん魚作りたいね、水族館みたいこ」の言葉から始まった、5歳児の水族館作り。「クラゲ作りたい」「チンアナゴを作る」などと、図鑑や絵本を見ながら海や水の生き物作りをする仲間が増え、できた魚は保育室や廊下に水族館のように飾っている。素材や道具は子どものリクエストに応じて担任が揃えると、自分たちでアイデアを出し合い、クジラやクラゲの展示コーナーも作っている。水族館は保護者の方に見てもらい、他のクラスの子とも喜んで見てくれるので嬉しくなり、一層張り切って作り、自信や達成感を味わっている。</p> <p>行事に向けて取り組んでいる子どもたちの姿を伝えて、保護者にも協力をお願いしている</p> <p>コロナ禍のため、保護者参加の行事は運動会と卒園式にしている。運動会は4・5歳児対象にして、保護者向けには運動会日よりを数号発行して、プログラムや競技の見どころを伝えている。保護者の参加はなくても、夏のどんぐりまつりには、釣り堀の魚を家庭で制作してもらい、迎え時に親子でヨーヨー釣りを楽しんだ。運動会には会場の園庭の飾り(万国旗風の物)の作成、遠足にはお弁当作りなどの協力をお願いしている。子どもたちが行事に向かって取り組んでいる姿は毎日の貼り出し日誌や月数回発行しているクラスだよりで伝えている。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>朝夕保育は子どもの人数や状況などにより分かれて、異年齢の合同保育にしている</p> <p>朝保育の8時30分まで、1・2歳は1歳児室でエリア別に分れて過ごし、3～5歳児は3歳児室と一緒に過ごしている。夕方保育では1・2歳児は2歳児室でエリア別で過ごしている。3～5歳児は3・4歳児保育室を使用して、縦割りの2グループに分かれて過ごしている。延長保育は3歳児室を使用している。朝夕保育や延長保育は子どもの人数や落ち着いて遊べる環境かどうかで、使用する保育室を決めている。</p> <p>おやつ後には身体を動かしたりして遊んだ後、室内で好きな遊びをしている</p> <p>午後のおやつ後には、3～5歳児は園庭に出て身体を動かして遊び、気分転換をした後、落ち着いて室内で遊んでいる。2歳児クラスも同じ部屋で長時間過ごすことになるため、遊戯室で身体を動かし思いっきり遊んだ後で、夕方保育に入っている。夕方保育では夕方保育用の玩具も用意しているが、使っている保育室の玩具棚にある玩具類で気に入っている物、例えばビーズやビー玉なども使って、好きな遊びをして過ごしている。</p> <p>延長保育利用児が少数で、保育士と一緒に好きな遊びをして過ごしている</p> <p>延長保育の利用児は現在のところ、定期利用とスポット延長保育利用児合わせても、3～4名程度である。少人数であり、補食を摂った後は、当番保育士に絵本を読んでもらったり、一緒におしゃべりしたり、ままごとや絵描きなどの好きな遊びをしたりして、落ち着いて過ごしている。</p>		

6 評価項目6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当

評価項目6の講評

体格に合ったテーブルと椅子を使用して座り、落ち着いて楽しく食事をしている

子どもの体格に合わせた椅子やテーブル、必要に応じて足台や座面シート、背あてなども使用して座り、落ち着いて食事をしている。いつも同じ顔触れの友だちや保育士とテーブルについて、安心して楽しく食べている。コロナ禍であることから、食べる時には大声で話すのはやめ、静かに食事をしている。1歳児クラスでは、一人ひとりの子どもの喫食状況に合わせた形態の食事を提供している。季節の行事、七夕や12月のお楽しみ会、ひな祭りなどには型抜きライスを盛り付けるなどして、ランチプレートで見た目でも喜べる給食を提供している。

栄養バランスのとれた区の統一献立を園の調理室で調理して提供している、

給食は区の栄養士が各園の職員の意見をとり入れて作成した、栄養バランスのとれた区立園統一献立を、園の調理室で調理して提供している。自然のおいしさを味わえるように、昆布やかつお節、煮干で出汁をとり、薄味で、手作りを基本にし、旬の食材を使って季節感を出している。食物アレルギーの子どもには、食物除去申請書を提出してもらい、事前に保護者に確認してもらった献立表を基にアレルギー会議を開いて対応を確認し、安全な除去食や代替え食をトレー配膳で提供している。調理室からの受取時や配膳時にダブルチェックをして誤食を防いでいる。

各クラスで野菜を栽培して生育を観察し、収穫し採れたてを調理してもらい食べている

各クラスが園庭やベランダでゴーヤやなす、ピーマンなどの野菜を栽培している。評価者訪問時には、畑にはさつま芋、プランターにはオクラなどが栽培されていた。土作りや畑耕し、苗植え、水やり、生育の観察をして収穫し、調理してもらい食べている。1歳児の小玉西瓜は給食で西瓜が出る日に収穫し、子どもの目の前で2つに切って見せて喜び合い、給食で提供された西瓜を食べている。さつま芋は収穫して焼き芋会に使用する予定である。現在は食材に触れる調理活動はできないが、給食でおにぎりが出る日には幼児は自らラップおにぎりにして食べている。

7 評価項目7

子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当

評価項目7の講評

看護師や保育士が機会をとらえて、自分の身体の健康や安全に気づかせている

年間保健計画を作成して、子どもたちへの健康指導を実施している。怪我をした時や病気の流行前、健康診断などさまざまな機会をとらえて、子どもたちに自分の身体を大切にすることについて知らせている。看護師は、食後のぶくぶくがいを3歳児に、手洗いを4・5歳児に、水遊びを始める前にプライベートゾーンについての話を4・5歳児にしている。保育士は保育活動の中で、基本的な生活習慣が身に付くように適切に関わり、危険な遊び方や場所などを伝え、散歩時には道路の歩き方などの交通ルール、公園での安全な遊び方などを知らせている。

園医や療育機関などと連携して対応している

医療的ケア児は在籍していない。子どもの健康管理として、毎月身体測定を実施し、園医による定期健診を年2回実施し、専門医による歯科健診や幼児対象の眼科・耳鼻科健診も年1回受けている。当園は障害児指定園であり、対象児は月1回園医による健診を受けている。園医には園児の健康や感染症などに関する相談をし、助言を受けている。療育機関との連携では保護者の依頼を受けて療育機関の専門職が園の子どもの様子を見に来たり、保護者の同意を受けて療育機関通所日に同行させてもらい、療育の様子を見学させてもらうこともある。

保健だよりや掲示などで子どもの健康に関する情報を提供している

毎月発行している保健だよりで子どもの健康に関する情報を提供している。健診などの保健行事や先月に園児が患った病気、怪我、季節や時期に応じた子どもの健康に関する情報などを掲載し、情報提供している。4月には朝の健康チェックポイントや花粉皮膚炎、5月には五月病や子どもの事故・怪我を防ぐ、6月は虫よけスプレーや熱中症対策などである。保健関係の掲示板には、感染症の発生情報や保健関係のポスターなどを掲示している。昼寝時は部屋を暗くせず状況に応じてカーテンを開け、子どもの顔色が分かるようにして午睡チェックを実施している。

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育方向のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>保護者の就労や子育てなどの事情は申し出てもらい可能な支援をしている</p> <p>保護者の子育てや就労などの事情で保育園に関係があることは申し出てもらい、可能な限り対応している。家庭連絡票を毎年度提出してもらい、必要に応じて保育時間の見直しをしている。急な残業などで迎えが遅くなる時には連絡をもらい受けている。土曜日が保育の対象になっていない場合でも、仕事が入り、家庭で子どもをみるできない場合には、受けている。その他、決めた送迎者でなく違う人が迎えに来る、送迎に不慣れな祖父母などが迎えに来るなど、申し出てもらい、必要に応じて手助けをしている。</p> <p>保護者会や保護者参加の行事を交流の機会にしている</p> <p>保護者同士の交流の機会は保護者会と保護者参加の行事(運動会)である。コロナ禍のために、前年保護者会を中止した際にはクラスだよりなどで紙面交流を実施している。本年の前期保護者会は時間を短縮しておおよそ45分間で実施し、園からクラス保育目標や現在の子どもの様子、年齢発達の姿などを伝え、質疑応答をしている。保護者同士の懇談時間が持てなかったため、他の保護者に聞きたいことなどを寄せてもらい、クラスだよりで紙面交流してもらっている。保護者会終了後、子どものおやつ終了を待ってもらった時間を保護者の自主交流時間にしている。</p> <p>個人面談は年1回以上実施し、保護者と子どもの育ちを共有する機会にしている</p> <p>コロナ禍のために、保育参観や参加は中止していたが、感染状況が落ち着いてきたため、秋以降は個人面談の際に保育参観を希望される場合には受けていくことにしている。個人面談は年1回以上実施しており、時間はおおよそ30分である。個人面談は職員が家庭での子どもの状況を把握するだけでなく、保護者に園での様子を伝え、子どもの育ちを共有する機会にしているため、複数担任のクラスでは担任同士で、保護者に伝えたい子どもの姿を話し合った上で、可能な限り複数で対応している。</p>		
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>地域の公園で遊び、近所の方々には日頃から挨拶をして協力してもらっている</p> <p>地域の区立公園に散歩に出掛けて、季節の木々や花などを眺めたり、広場で走り回ったり、虫探しをしたりして遊んでいる。近所の花屋さんにはさつま芋の苗をいただいて、さつま芋は花壇(畑)や土嚢袋などに植えて、収穫した物を焼き芋会で使用し、お礼に焼き芋を届けている。園の周囲のご近所の方々には運動会や焼き芋会には協力をお願い文書を持って挨拶に伺い、焼き芋は出来立てを届けている。また、地域の図書館の貸出絵本を利用しているが、選本には職員が出向いている。</p> <p>地域の小学校と連携して、保護者会で話をしてもらっている</p> <p>コロナ禍前まではボランティアを受け入れたり、5歳児が高齢者施設の利用者の方々との交流やボランティアによるお茶会に参加したり、園の行事の夏祭りや運動会には卒園児を招待していたが、現在はいずれも中止している。地域の小学校の校長先生に、5歳児クラスの保護者会で保護者向けに話をしてもらっている。また、総合避難訓練時には消防署の指導・講評をもらい、子どもたちにも、避難する時の注意点について話してもらっている。</p> <p>地域向けの子育て支援事業は中止し、地域の保育施設の職員同士が交流している</p> <p>地域で子育てをしている方々向けの子育て支援(身長・体重測定、園庭開放、子育て相談)は、現在、コロナ禍のため中止している。区の中核園事業に参加して地域の保育施設の職員同士の交流や学び合いをしている。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている
タイトル①	感染対策をしながら異年齢の交流に取り組み、異年齢の自然な関わりにつながっている	
内容①	<p>コロナ禍ではあるが、異年齢交流を大事にして、幼児クラスの縦割りグループ活動(なかよしデイ)や季節の行事などは、換気や屋外、必要に応じてマスクを着用するなどのコロナ感染対策をしながら取り組んでいる。なかよしデイは年6回の活動を予定しているが、感染者が増えたり、体調を崩している園児が多い時には中止している。園庭が広めで、乳児・幼児と一緒に遊び自然な交流をしており、5歳児は昼寝後の3歳児の布団の片付けを手伝っている。年上の子が年下の子の遊びを手助けするなど、日常的に異年齢の自然なかかわりにつながっている。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	保護者に保育の様子や子どもの姿を具体的にわかりやすく伝えようと工夫している	
内容②	<p>「保護者と協力し共育を推進する」を保育方針に掲げて、保護者に保育をわかりやすく伝えようと取り組んでいる。幼児クラスは連絡帳を使用せず、貼り出し日誌にクラスの活動の様子を書き、保護者に読んでもらう方法にしている。貼り出し日誌をA4版からB4版に拡大して読みやすくし、できるだけ子どもたちの活動の様子の写真も添付している。クラスだよりも月1回などと決めずに、子どもの具体的な活動の様子、成長している姿を伝えたい時に、子どもたちの話し合いの様子や試行錯誤しながら取り組んでいる姿などを掲載している。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる
タイトル③	職員会議などで子どもの姿をとらえて学び、保育者のあり方などについて学んでいる	
内容③	<p>「子どもが生き生きと生活し、たくましく生きる力をつける保育を学び合う」ことを目標に、子どもの姿を捉え、保育者のあり方・関わり方について学んでいる。保育の向上のための保育の振り返りと全体的な計画の見直しに取り組んでいる。保育についての話し合いの場を多く持つことで各自の考えや思いを確認している。また、巡回相談や巡回指導、園内研修などを通して、配慮を必要とする子どもたちへの関わりについて研鑽を深めている。</p>	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもが主体的に遊ぶこと、実体験することを大事にして保育をしている
	内容	「心も体もたくましい子ども」を園目標に、実体験に根ざした保育を目指している。保育室は子どもの年齢や興味・関心、活動に合った玩具類を子どもが自分で手に取って使えるようにし、園庭も固定遊具の他、可動遊具を組み立てているいろいろな物に見立てて遊べるようにしている。夏には園庭で大胆な泥んこ遊びや水遊びをしている。カブトムシやダンゴムシなどのさまざまな生き物を飼育して世話をしたり、観察したりしている。利用者調査の結果、園の活動はお子さんの心身の発達に役立っているかの問いに、95%が「はい」と回答し大変高い評価を得ている。
2	タイトル	子どもがやりたいと思うことを大事にて、やり遂げられるように援助し、友だちも一緒に協力し合って水族館ごっこに取り組んでいる
	内容	子どもの「やりたい」、「やってみたい」、「楽しい」を大事にし、子ども自身が興味や関心を持ったことが十分できるような保育をしている。5歳児では「お魚たくさん作りたい、水族館みたくに」と、水族館作りが始まり、共感した子どもが増えてみんなで取り組んでいる。最初は図鑑や絵本で調べて自分の好きな魚を描いたり、折り紙で作ったりし、次第に魚への興味・関心が広がり、いろいろな魚の名前や生息場所を知る機会になっている。展示も工夫し、保護者の方に見てもらい、年下の子どもたちの喜びの様子を見て自信を付け、達成感を味わっている。
3	タイトル	野菜栽培を通して、食材(野菜)への関心を高める食育活動をしている
	内容	園庭の畑やプランター、土嚢、ベランダのプランターで野菜を栽培している。1歳児はミニ西瓜、2歳児はゴーヤ、3歳児は茄子とピーマン、4歳児はオクラとピーマン、さつま芋、5歳児はとうもろこし、ピーマン、さつま芋である。子どもたちが水やりをして花や実の様子を観察し、収穫して、西瓜は給食に西瓜が出る日に子どもたちの目の前で切って見せてから給食の西瓜を食べ、ゴーヤはゴーヤチップに、ピーマンやナスなどは子どものリクエストで味付けしてもらおうと、野菜が苦手な子どもも喜んで食べている。さつま芋は焼き芋会で使う予定にしている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	これまで以上に、子どもたちが安心して好きな遊びをしてゆったりと過ごせるような、夕保育環境の工夫を期待する
	内容	夕方保育の時間は、3～5歳児は、3・4歳児保育室を使用して合同保育をしている。午後のおやつ後に園庭遊びなどで動的な遊びをした後、室内に入り、子どもが落ち着いて過ごせるように3クラスを縦割りの2グループ分けて静かな遊びをしている。今後は、これまで以上に、保育時間の長い子どもが安心して自分の好きな遊びをしてゆったりと過ごせるような環境の工夫を期待する。
2	タイトル	会計年度任用職員との話し合いの場をより多く持ち、同じ方向性をもって日々の保育にあたることを期待する
	内容	会計年度任用職員(保育補助及び栄養士)は全体の45%であり、園運営で欠かせない存在となっている。そのため、年度初めに園長が当園で働くうえで必要な事項について説明したり、質疑応答の時間も設けている。また、会計年度任用職員対象の研修にも派遣し、保育で必要な知識を取得できるようにしている。今後は、さらに会計年度任用職員との話し合いの場をより多く持ち、同じ方向性をもって日々の保育にあたることを期待する。
3	タイトル	若手職員も含めて、園全体でより良い保育への意見交換を活発におこなっていくことを期待する
	内容	職員集団は、ベテラン、中堅、若手とバランスのとれた構成となっている。職員一人ひとりが子どもや保護者の心に寄り添い保育することを意識し、保育の質の向上を目指して意見や考えを出し合える集団づくりを目指している。そのため、当園では少人数で保育を語る会議方式を設けるなど、若手職員が自由に発言できる機会を工夫している。区立園が大切にしてきた保育の継続とともに、時代に応じた新たな取り組みに挑戦していくためにも、今後も引き続き、若手職員も含めて園全体でより良い保育への意見交換を活発におこなっていくことを期待する。

## 6. 永福北保育園





調査対象	令和4年7月の配布時点で利用している在園児83名の保護者65世帯を対象とし、複数のお子さんを通っている場合は最年少児について、1世帯1回答の回答をいただいた。
調査方法	①調査票、②調査のご協力依頼文書、③返信用封筒を同封した封筒を保育園の職員から直接、保護者の方々に配布してもらい、保護者の方々から返信用封筒に調査票を入れて、直接、評価機関へ返送していただいた。調査にあたっては保育所内に「ご協力のお願ひ」文書を掲示した。
利用者総数	83
利用者家族総数(世帯)	65
共通評価項目による調査対象者数	65
共通評価項目による調査の有効回答者数	41
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	63.1

利用者調査全体のコメント

<ul style="list-style-type: none"> <li>・回答者の属性は次の通りである。調査票記入者:「父」5名(12%)、「母」30名(74%)、「父母一緒に」3名(7%)、無記入3名(7%)。</li> <li>・総合的な感想は「大変満足」19名(46%)、「満足」21名(52%)、「不満」1名(2%)で、「大変満足」、「満足」と回答した方々は回答者の98%で、当園の保育に関して非常に高い満足を得ている。</li> <li>・回答者全員が満足と回答したのは問1「心身の発達に役立つ活動」、問2「興味や関心を持てる活動」であった。回答者の90%以上が「はい」と答えたのは、問3「食事」、問4「戸外遊び」、問9「清潔、整理整頓」、問11「緊急時の対応」、問15「保育内容の説明」であった。</li> <li>・総合的な感想では、「子どもの心に寄り添う保育をしてくれていることにとても感謝しています」、「クラスの担任だけではなく、他クラスの先生なども子どもの名前を覚えており、挨拶もしてくれます」などのコメントが記入されていた。</li> </ul>
---

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	41	0	0	0
回答者全員が「はい」と回答し、心身の発達に役立つ活動に関して非常に高い満足を得ている。「戸外遊びなど自然に触れる機会が多く、子どもは親が知らない虫の名前を知っていることもあります」、「園に通うようになってから、色々とできることが増えていると感じます」などのコメントが寄せられた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	41	0	0	0
回答者全員が「はい」と回答し、興味や関心を持てる活動に関して非常に高い満足を得ている。「いつも工夫を凝らした遊びをしてくれています」などのコメントが寄せられた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	38	1	2	0
「はい」と回答した方々は回答者の93%で、食事に関して高い満足を得ている。「基本的に手づくりの食事なので安心していきます」などのコメントが寄せられた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	39	1	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の96%で、戸外遊びに関して高い満足を得ている。「ダンゴムシや蟻を捕まえたりするなど、子どもに良い経験をさせてくれています」などのコメントが寄せられた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	23	5	1	12
「はい」と返答した方々は回答者の57%、「どちらともいえない」12%、「いいえ」2%、非該当29%であった。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	29	9	3	0
「はい」と返答した方々は回答者の71%で、安全対策に関して概ね満足を得ている。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	23	14	2	2
「はい」と返答した方々は回答者の56%、「どちらともいえない」34%、「いいえ」5%、非該当5%であった。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	34	6	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の83%で、家庭と保育所との信頼関係に関して高い満足を得ている。「降園時に当日の出来事や様子などをいつも教えてくれるので、子どもの成長を日々感じることができています」、「上の子の担任だった先生とすれ違くと気さくに声をかけてくれます」などのコメントが寄せられた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	39	1	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の96%で、施設内の清掃、整理整頓に関して非常に高い満足を得ている。「古いながらも、よく清掃されていると思います」などのコメントが寄せられた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	34	6	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の83%で、職員の接遇・態度に関して高い満足を得ている。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	37	3	0	1
「はい」と回答した方々は回答者の91%で、緊急時の対応に関して非常に高い満足を得ている。「以前怪我をした際、病院に速やかに連れていってくれました」などのコメントが寄せられた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	29	2	2	8
「はい」と回答した方々は回答者の70%で、子ども同士のトラブル対応に関して概ね満足を得ている。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	36	5	0	0
「はい」と回答した方々は回答者の88%で、子どもの気持ちの尊重に関して高い満足を得ている。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	28	5	2	6
「はい」と回答した方々は回答者の68%、「どちらともいえない」12%、「いいえ」5%、非該当15%であった。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	37	3	1	0
「はい」と回答した方々は回答者の91%で、保育内容の説明に関して非常に高い満足を得ている。「毎日とても丁寧に教えてくれています」などのコメントが寄せられた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	28	8	1	4
「はい」と回答した方々は回答者の68%、「どちらともいえない」20%、「いいえ」2%、非該当10%であった。「要望を伝えると、園で対応できることはやってくれています。園で対応できないときには理由を説明してくれました。その際には代替案を提案してくれました」などのコメントが寄せられた。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	12	9	8	12
「はい」と回答した方々は回答者の29%、「どちらともいえない」22%、「いいえ」20%、非該当29%であった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <input type="radio"/> 非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <input type="radio"/> 非該当
	カテゴリ1の講評	
	保育理念・保育方針・保育目標などはしおりなどを使って、保護者と職員に周知している 保育理念・保育方針・保育目標など園の目指すべき方向性は「重要事項」及び「園のしおり」に明記され、保護者と職員に周知している。重要事項は玄関に、保育目標は事務所に掲示され、いつも目に触れるようにしている。年間指導計画の作成時および反省時には、保育理念・保育方針・保育目標に立ち戻り、検討している。入園説明会・クラス保護者会などでも園で大切にしていることを園長から保護者に伝えている。3月末の職員会議や、4月に異動してきた職員や新人職員に対しても、同様の説明をしている。	
	園長・主査それぞれが年間計画を作成し、職員全員に配付・説明している 年度初めに園長・主査それぞれが年間計画を作成し、職員全員に配付し、自分たちの役割と責任、仕事目標などについて説明している。年間計画には、「園運営」、「子どもとの関わり」、「保護者との関わり」、「他機関・地域との関わり」などの項目ごとに取り組むべき事項を記載し、常に年間計画を意識して行動している。また、杉並区では、園長・主査・保育向上リーダー2名を保育の向上促進の4本柱と位置づけ、定期的に保育向上リーダーが参加する会議を開催し、保育の質の向上を図っている。	
	園の重要案件について検討する場を定め、組織ルールに則り運営している 毎月のミーティング(毎日)、定例打ち合わせ(週1回)、職員会議(月1回)で、園の重要案件について検討している。会議欠席者には、同じクラスの職員が議事内容や決定事項を伝えたり、会議録を事務室に置くなどして、情報共有の徹底に努めている。加えて、月2回の指導計画検討、乳児打ち合わせ、幼児打ち合わせなども設け、より良い保育に向けて協議している。保護者には、貼り出し日誌、園だよりやお知らせ、保護者会記録などにより、園の取り組みや決定事項を保護者に周知している。	

2 カテゴリー2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(○○○○○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(○○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリー2の講評		
<p>行事(運動会)実施後に保護者に感想を記入してもらい、保護者のニーズを把握している</p> <p>行事(運動会)実施後に保護者に感想を記入してもらい、保護者のニーズを把握し、次年度の実施に反映している。また、個人面談・保護者会で保護者の要望を聴き取り、各会議・打ち合わせで検討を重ねている。年度末、年1回、父母会アンケートからの要望に書面で回答し、父母会総会にも園長が出席し、各クラスごとの意見要望を聴いている。また、職員へのアンケート調査をおこない、当園の保育を引き継いでいくために考えていることや当園の良い所、大切にしていること、職員同士で話し合いたいことなどについて職員の意見を集約している。</p> <p>地域懇談会に参加し、職員間の交流を促し、情報交換している</p> <p>杉並区では7つの地域に分け、それぞれの地域の各保育所が集まり、地域懇談会を実施している。同懇談会に参加し、職員間の交流を促し、情報交換している。また、地域子育てネットワークなどに参加し、地域ニーズについて情報交換している。園長会や区からの通知文書等で必要な情報を収集し、より良い園運営に活用している。</p> <p>「目標申告シート」は年度末に実行状況をまとめ、次年度の計画に活かしている</p> <p>区では杉並区総合計画(令和4(2022)年度～令和12(2030)年度)を策定している。また、区子ども家庭部保育課の組織目標を踏まえ、年度初めに「係の目標シート」を策定し、園の目標を明確にしている。その目標に向け具体的な取り組みを定め、実行体制を整え、その達成に向けて取り組んでいる。保育の実践に関しては、全体的な計画に基づき年間指導計画・月案・週案などを作成し、日々の保育に反映させている。さらに計画について週ごと・月ごと・年ごとに反省し、必要に応じて見直しをしている。</p>		

カテゴリ-3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー3の講評

全国保育士会倫理綱領などを掲示し、職員への意識向上を図っている

全国保育士会倫理綱領、子どもの権利条約の4つの原則を掲示し、保育士として遵守すべき事項への意識向上を図っている。職員会議で、事例を通して子どもへの声かけや関わりなどについて話し合っている。「永福北保育園年度初め確認事項」を作成し、日々の保育で守るべき事項などを周知している。そこには、「朝、夕の送迎時にはコミュニケーションをとるように心がける(一言運動)」など記載されている。正規職員の入職時の研修では、公務員倫理、人権などについて指導教育している。

苦情解決制度に関するポスターを掲示し、保護者に周知している

保護者に対して、入園説明会などで苦情の申し出先について説明している。苦情解決制度に関するポスターを掲示し、保護者に周知している。また、保護者に対して気軽に意見を言ってもらえるような雰囲気づくりに努めている。連絡帳や日々の保護者とのコミュニケーションを通して、保護者の苦情・意向の把握に努めている。

保育実習生や職場体験(中学生)を受け入れ、園の機能を使って社会貢献している

保育士の資格取得のための実習生を受け入れており、将来の福祉人材の育成に寄与している。また、中学生の職場体験を導入している。今年度は10月から地域懇談会に参加している近隣の私立園の子どもたちに園庭を開放している。さらに、地域懇談会での看護師交流の一環として、当園の看護師が「保育園で子どもの健康を守るために健康教育を通して」との話を、実演を交えておこなっている。園の持つ専門性を地域の保育力向上に寄与している。

カテゴリ-4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ-1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-4の講評		
<p>区や園のマニュアルにより、リスクに対して速やかに対応できるようにしている</p> <p>区作成の危機管理マニュアルや園のマニュアルにより、リスクに対して速やかに対応できるようにしている。怪我などの事故発生時は、その都度振り返りをし、対策を講じ、再発防止に取り組んでいる。軽微なヒヤリハットは昼のミーティングで共有し、職員相互で注意喚起している。年3回、「安全点検チェック表」を使って、園舎内および園庭の安全点検をおこない、結果について集計し、園長へ報告し、解決できることはすぐに改善している。その後、ミーティングや定例打ち合わせなどで職員へ報告している。</p> <p>実施計画を作成し、計画に沿って月1回、自衛消防訓練を実施している</p> <p>自衛消防訓練年間実施計画を作成し、月1回、計画に沿って訓練を実施している。また、不審者が来たことを想定して、年2回、防犯訓練を実施している。毎月、非常持ち出し袋、防災用品を点検している。コロナ対策として、訪問調査時点では食事場面で飛沫防止の衝立を使っていた。幼児クラスは、朝保育・延長保育の時はマスク着用していた。毎日、おもちゃを消毒している。職員は各自自宅で検温している。子どもは朝自宅で検温し、その結果を園に提出している。さらに午睡明けに職員が子どもへの検温をおこない、異常の早期発見に努めている。</p> <p>情報セキュリティ実施手順書に基づいて情報の運営管理をおこなっている</p> <p>杉並区情報セキュリティ基本方針や情報セキュリティ実施手順書に基づいて情報の運営管理をおこなっている。区で定めた文書保管期間に基づき、保存年限を過ぎた文書等の廃棄をおこなうなど、記録類の適切な管理をおこなっている。園の紙媒体の情報やメモリーカードなど個人情報の保管は、鍵のかかる場所で保管している。記録類などの個人情報を棚から持ち出すときは、その都度解錠し、管理簿に記入し、ダブルチェックすることで情報の紛失を防いでいる。</p>		



5 職員と組織の能力向上			12/12
カテゴリー5 サブカテゴリー1(5-1) 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる			サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている			評点(〇〇)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している			評点(〇〇)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる			評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる			評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(5-2) 組織力の向上に取り組んでいる			サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる			3/3 評点(〇〇〇)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー5の講評

**園運営・育成を考慮し、クラス配置を決めている**

杉並区人材育成方針において、人事評価制度や目標申告を人材育成に活かすことを明確に位置づけた上で、「職員自ら成長する意欲向上の支援」、「職員を育てる職場づくりの支援」、「職員を育てる制度環境の整備」の3つの視点から職員の能力と組織のチーム力の向上に取り組んでいる。人事異動基準が定められており、異動に際して保育課とのヒアリングがある。園運営・育成を考慮し、クラス配置を決めている。

**研修受講後、職員個々が会議にて自主的に研修報告をおこなっている**

区の人事課・保育課主催の研修等に該当者や希望者を派遣し、保育に必要な知識や資格の習得・習熟につなげている。研修受講後に研修レポートを提出し、職員個々が会議にて自主的に研修報告をおこなっている。月の指導計画の書式を変更し、職員それぞれが自らの保育を振り返り、その状況を共有しやすいようエピソード型に変更している。また、子どもの姿を通して保育を語り合うことで、新たな気づきにつながっている。また、活発に発言する機会が増え、職員の意欲向上につながっている。

**園長とのヒアリングを通して、モチベーションアップにつなげている**

園長とのヒアリングを通して、職員個々の仕事に対しての意見や要望を聴き取り、モチベーションアップにつなげている。チーム支援を大切にしており、職員アンケートでは、「意見が言いやすい。発言がしやすい」、「職員全体が和やかで、チームワークの良い職場である」などのコメントが寄せられていた。園長・主査を中心に就業状況を把握し、夏休暇5日や有給休暇の取得を促している。区健康診断ではストレスチェックを実施し、高ストレスの職員は産業医と面談できる仕組みがある。

カテゴリー7	
7 事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
<b>評価項目1</b> 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)	
<b>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</b> 「杉並区実践方針や保育士間での保育の継承を大切に、公立保育園としてのあり方に自信を持って、一人ひとりが働いていくこと、また、中核園を中心とした働きに興味関心を持ち、未来を見据えていくこと」を重要課題とし、次の取り組みを実施した。園長、主査、保育向上リーダーを中心に「年間のねらい」を設定し、ねらいをもった職員会議を計画的に実施した。職員間での意識の向上を目指し、園内研修では意見交換がしやすいようグループ討議の形式で実施し、一人ひとりの専門職としての意識や自信を高め合えるようにした。また、中核園を中心に職員の交流会を自園で開催し、近隣園との交流や情報交換の場を設けた。	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<b>評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</b> 職員会議前に課題を投げかけ、会議が有効に進むよう、職員一人ひとりの意識が高められるようにした。話し合いを通して、互いの保育を学び合うことが「永福北保育園」としての保育や、クラスや職種を超えてのチームワークの良さにつながっていると考えている。また、中核園事業については、公立園間でも環境(施設や園庭)についての学びがあった。また、私立園とは互いに現状を知ること、今後の具体的な取り組みや交流に期待が持てると感じた。	

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

「職員全員で日々の保育の振り返りを継続させ、保育の質の向上に努め、保護者と協力した「子育て」となっていられるよう1年を通して取り組んでいく」ことを重点目標とし、次の取り組みを実施した。継続性が持てるよう個々の振り返りを、1年間期日を決めて提出するかたちで取り組んだ。互いに内容を読みあい、事例討議として取り上げた。事例討議の際のグループ編成は意図したものとし、ねらいが達成できるようにしてきた。また、毎月の指導計画の書式をエピソードと振り返りが記入できるかたちに変えたことで、クラス内での振り返り討議は、1年間継続することができた。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない</li> </ul>
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</li> <li><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む)</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</li> <li><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

一人ひとりの振り返りをもとにクラスごとの振り返りをし、全体に発表し、討議していくことを継続しておこなうことができた。他クラスの保育を具体的に知ることができ、園としての保育の継続性についても話すことができた。年齢やクラスとしての特徴を職員皆が確認し、意識して「保育を見る目」につながっていった。クラスだよりや保護者会資料なども互いに読み合うことで、伝えたい内容や表現の仕方などについて研鑽を深めた。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目		
サブカテゴリ1			
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評			
<p><b>区の公式ホームページやアプリなどで情報提供している</b>                      杉並区公式ホームページの「保幼(ぼよ)ナビ」や、区の公式アプリ「すぎぼよ(保幼)」で情報提供している。区のホームページの施設案内には園の住所、電話番号、年齢別定員、保育時間、延長保育時間などの園概要、外観写真、地図、保育目標、主な行事、園の見取り図、保育室内の写真に掲載している。園の特色として、「住宅地の中なので静かな環境の保育園、大きな神社や都立公園、川沿いなど自然が豊かで四季折々の散歩を楽しめ、園庭には大きなログハウス、冬になると大きな実をつける夏ミカンの木がある」、などと紹介している。</p> <p><b>区立直営保育園であり、行政や関係機関などと情報交換し連携している</b>                      区立直営保育園であり、区役所の保育課には延長保育利用児数、インフルエンザや下痢嘔吐など感染症の発生について、施設に関する修繕依頼などさまざまな報告をして連携している。園長は月2回区立保育園長会に参加して行政からの情報提供を受け、課題検討や情報交換などを行っている。主査は主査会、看護師は医療会、栄養士は栄養士会に参加して関係機関と情報交換、課題検討をしている。消防署には総合避難訓練の指導と講評をもらっている。子ども家庭支援センターや保健センターは必要に応じて情報共有し連携している。</p> <p><b>13時頃からの見学を薦め、園概要を配付して案内している</b>                      見学の問い合わせは電話で受け、日程調整をし、コロナ禍のために13時からの時間を薦めて、園長または主査が対応している。園概要を配付し、必要に応じて区の子育て支援リーフレットも渡して、案内しながら説明している。本年度の見学者は9月までに16組受けている。園の特長として、産休明け児から受け入れている保育園であり、月齢毎の配慮をしていることや園庭のブランコにはローブランコなどいろいろなブランコを取りつけて遊んでいる、しゃがめない低年齢児向けの立ち砂場がある。また、子どもは遊びの中で学んでいることなどを伝えている。</p>			

サブカテゴリー2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
<b>評価項目1</b> サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目2</b> サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2の講評		
<p><b>入園前には入園説明会を開催して基本的なルールや重要事項の説明をしている</b></p> <p>4月の入園内定者向けには3月頃に園医による健康診断や園長、保育士、看護師、栄養士による面接を実施している。健康や発育状態、入園までの生活状況などを把握し、保護者の就労や家庭の状況、意向を聴き、保育時間を決めている。持ち物の説明などもしている。3月の土曜日には入園説明会を開催し、「永福北保育園のしおり」や「保育園のご利用にあたって【重要なお知らせ】」を基に、園の概要や保育目標、登園や送迎などのお願事項、延長保育、健康管理、食育、個人情報取り扱い、災害時の対応などを説明している。</p> <p><b>保護者の事情や子どもの様子に配慮して、慣れ保育を実施している</b></p> <p>入園開始直後には1週間程度の慣れ保育を実施している。0歳児の保護者については職場復帰の時期や慣れ保育の意向を確認して、保育の日程を個別に決めている。0～2歳児の場合は、初日は保護者と一緒に食事まで過ごして、0・1歳児は食べさせてもらっている。3歳児からの家庭保育児の場合は食事なしの午前中保育にし、集団保育経験児の場合は食事をしている。子どもの様子により徐々に保育時間を延ばしている。できるだけ同じ保育士が関わり信頼関係を早めに築き、保護者にも子どもの様子を丁寧に伝えて、安心してもらえるようにしている。</p> <p><b>退園、転園、卒園には子どもや保護者の不安軽減に配慮している</b></p> <p>区内の区立園への転園に際しては保護者の了解を得て、園間で児童票の写しを送付している。また、卒園児の就学先には「保育所児童保育要録」の写しを送付して、引き継ぎをしている。年度途中の退園や転園の子どもには、クラス毎に、手作りのメッセージカードなどを渡してお別れ会を開いている。保護者には新しい育児環境への不安を取り除けるような声掛けをしている。卒園した小学校1年生には、コロナ禍前は運動会や夏祭りに招待状を出していたが、現在は中止して、旧担任が子どもたちへ学校に慣れましたかのお便りを出している。</p>		

サブカテゴリ-3

3 個別状況の記録と計画策定

サブカテゴリ毎の  
標準項目実施状況

12/12

評価項目1

定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

評価項目2

全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当

評価項目3

子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

サブカテゴリ-3の講評

子どもの心身や生活の状況を児童票や保育日誌などに記録して把握している

入園時には健康診断や面接を実施して、出生歴や成育歴、発育経過、既往歴、健康上の注意点を把握し、授乳や食事、睡眠、排せつ、言語、運動・遊び、入園までの保育状況など、保育をする上で必要な情報を児童票に記録し把握している。日々の登園時には、連絡帳や口頭により子どもの様子や健康状態を聴き取り、参考にして保育をおこなっている。また、園での生活や活動の様子、健康状態などを保育日誌や保健日誌に記入している。保育の経過記録は児童票に、0・1歳児は1か月ごと、2歳児は2か月ごと、3～5歳児は期ごとに年4回、記載している。

指導計画はクラスの状況や子どもの姿を担任同士で振り返り、作成している

全体的な計画を踏まえて年間指導計画を作成し、それらを基に、クラスの状況や子どもの実態などを担任同士で話し合い、月間指導計画や週案を作成している。次の計画を作成する際には、園児の様子やクラスの状況を学びの物語(エピソード記録)にまとめ、振り返りをした上で、月の目標や養護と教育の各領域の子どもの経験する内容、保育者の配慮すること、環境設定などを作成している。全園児の個別配慮点も毎月作成している。前期保護者会で年間指導計画を配付して説明をしている。月間指導計画と幼児クラスの週の活動予定も掲示している。

職員会議では指導計画の報告や検討をはじめ、子どもに関する情報共有をしている

月間指導計画は全職員に配布し、目を通した上で職員会議で報告や意見交換をして共有している。その他にも、子どもに関する情報共有のためにさまざまな職員会議を開いている。平日の昼間には15分程のミーティングを開き、午前中の保育を含めた子どもや保護者に関する個別の報告や翌日の職員体制、行事、会議、アレルギーなどの確認をしている。定例打合せは週1回、会議の報告や行事検討・反省、研修報告など、夜の職員会議は必要に応じて開催して年間指導計画や半期反省、年間反省などをし、幼児・乳児打ち合わせ会などもおこなっている。

サブカテゴリ-5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-5の講評		
<p><b>子どものプライバシー保護を徹底している</b></p> <p>「保育園のご利用にあたって【重要なお知らせ】」で、個人情報厳重に管理し取り扱う旨を伝えている。園でのビデオや写真撮影のルールを文書で説明し、子どもの撮影の可否、園だよりへの名前の掲載、画像データの貸し出しへの承諾も得て、おこなっている。子どもの情報を療育機関などとやり取りする際には保護者の同意を得ている。また、子どもの羞恥心への配慮として、着替えやシャワーをする際にはカーテンなどを使用し、おむつ替えやおもらしの着替え場所を決めて、外部から見えないようにしている。プライベートゾーンの健康教育をしている。</p> <p><b>一人ひとりの意志を尊重する保育をしている</b></p> <p>「一人ひとりが大切にされ(中略)子どもも大人も自分らしく自己肯定感をもつことができる保育を目指します」を保育方針に掲げて、子どもの権利条約、全国保育士会倫理綱領などに目を通し確認して、低年齢であっても一人ひとりの意志を尊重し受け入れてから、次の行動に結びつけるような保育を心掛けている。子どもの名前呼び捨てはしない、否定的な言動をしないなども気を付けている。なお、誕生会はその子どもの誕生日にクラスでお祝いしている。</p> <p><b>職員は子どもの虐待や保護者支援の研修に参加して学んでいる</b></p> <p>区役所保育課主催の研修、「子どもの権利条約」、「保育現場での子どもの人権」、「発達障害を抱える子どもとその家族の理解」などに参加して学び、研修報告をし、資料を回覧して読んでもらっている。職員は、子どもの虐待の早期発見や防止に努めており、着替えの際やシャワー、身体測定時には体に不審な傷やあざはないかなどに注意を払い、子どもとの会話や保護者の話などにもアンテナを張っておくようにしている。気になることがある場合には、記録を取り、園長に報告し、園長はマニュアルに沿って対応している。</p>		



サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
6 事業所業務の標準化			
<b>評価項目1</b> 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	
<b>評価項目2</b> サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当	
サブカテゴリ-6の講評			
<b>区立園共通のマニュアル類や園独自のマニュアルを整備している</b> 区立園共通の「杉並区立保育園保育実践方針」、「杉並区保育実践の手引き」は職員各自が持っている。「保育園危機管理」、「保健衛生」などの区立園共通マニュアルは事務室の棚に置き、いつでも見ることができるようにしている。園独自には「保育園マニュアル」を作成し、内容は年度初めの確認事項、園運営・保育に関する確認事項、当番の仕事内容、会計年度任用職員の仕事内容などそれぞれ綴り、事務室と各クラスに置き、必要な時にいつでも確認できるようにしている。			
<b>半期反省や年度末反省、必要に応じて随時の見直しもしている</b> 園運営や保育の全般については半期反省や年度末反省をして、必要な見直しをしている。園独自のマニュアルについて、当番の仕事内容や会計年度任用職員の仕事内容などは、子どもの成長や人数の変化、会計年度任用職員の状況などにより見直す必要が生じる。その際には、職員会議で検討して随時見直ししている。			
<b>職員や保護者の意見、子どもの様子などを取り入れて、必要な見直しをしている</b> コロナ禍となり、送迎時の玄関の密状態を避けるために、3～5歳児の出入り口を園庭側ベランダに変更している。そのため、0～2歳児の保護者で幼児クラスのきょうだいがいる場合、雨の日に小さな子どもを連れて園庭側の出入り口に行くことは大変であるため、雨天時のきょうだいの迎えは廊下からでもできることにしたいとの保護者からの要望を受け、見直しをおこなっている。子どもたちの手拭きは、排せつ後や食事前はペーパータオルを使用し、その他は個人が持っているタオルにしていたが、本年春より全てペーパータオルにすることに变更している。			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	35/35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>毎月全園児の個別配慮を作成し、一人ひとりの発達などを把握して保育をしている</p> <p>毎月子ども一人ひとりの様子を担任同士で確認し合い、月間指導計画の個別配慮を作成している。連絡帳や保護者との会話などで得られる子どもの情報も考慮し、一人ひとりの発達に合わせながら保育をしている。また、異年齢児との交流は日常的に園庭などの戸外遊びで自然な交流をしているが、コロナ禍であることから、6月の行事である「こどもまつり」では交流せずにクラス単位で実施し、7月の「木の玩具で遊ぼう」、9月の「お店屋さんごっこ」では、密にならないように工夫をして異年齢で交流している。</p> <p>子ども同士のトラブルは子どもの気持ちをくみ取り、尊重して対応している</p> <p>1・2歳児クラスの前期保護者会で、子どもの年齢発達の姿を伝え、子ども同士のトラブルは友だちへの興味関心が高まって、自分を主張しようとしている姿であることや園の対応を説明している。トラブルになった時にはそれぞれの子どもの思いをくみ取り、「～したかったんだね」などと気持ちを言葉に代えてやりながら、どうすればよかったかを知らせている。ひっかきや噛みつきになった場合には迎えの際に、双方の保護者にトラブルの状況や子どもの思いを伝え、防ぐことができなかったことを謝罪している。繰り返す場合には、園の対策を説明している。</p> <p>地域の小学校の行事を見学させてもらったり、1年生と交流などを行っている</p> <p>5月には5歳児が、地域の小学校の運動会の練習を見学させてもらっている。5歳児クラスの前期保護者会には小学校長が来園して子どもたちの様子を見たり話をしてくれたりし、保護者会では入学までに、家庭ですべきことなどの話をしてもらっている。例年、小学校を訪問して施設見学をしたり、授業の見学や、1年生と一緒に遊ぶなどの交流がおこなわれており、本年度も予定されている。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>朝は子どもの健康観察をして、家庭での体調や様子などを聴き、受け入れている</p> <p>登園時には挨拶をして子どもの顔色や表情・機嫌など、健康の観察をし、0～2歳児は連絡帳を手渡してもらい目を通す。3～5歳児は朝の体温や体調、連絡事項が記入してある健康管理カードを受け取り、家庭での子どもの様子などを確認して受け入れている。前日に病欠していたり、園で怪我をした時などは特に詳しく様子を聴いている。登園時の情報は受託時間、送迎者、検温結果、体調、連絡事項などを受託簿に記入して、朝当番保育士が受けた場合には担任に引き継ぎをしている。</p> <p>休息(昼寝など)の時間や長さは子どもの状況に応じて配慮している</p> <p>0歳児では、子どもの生理的要求に応じて安心して眠れるようにしている。昼寝のリズムができて1・2歳児は食事後にはおむつ替えやトイレを済ませた後布団に入っているが、朝早めに目覚めて昼食時に眠くなるような時には早めに布団に横になるなど、子どもの状況に応じて対応している。幼児になり体力もついてくると、昼食や昼寝の時間に時差をつけて、食後は静かな遊びをした後、3歳児では13時からいまでに布団に入り、就学を控えた5歳児ではクラスの子どもの状況により、3月頃には昼寝の時間短縮や昼寝なしなどの判断をしている。</p> <p>迎いの保護者に一人ひとり子どもの様子を一言でも伝えるように努めている</p> <p>乳児クラスは連絡帳を手渡ししながら、幼児クラスはクラス活動などの様子を、A3版用紙の貼り出し日誌で読んでもらい、迎いの保護者一人ひとりに子どもの様子を一言添えるように努めている。夕保育の当番保育士が対応する時には、担任が受託簿にメモをして当番に引き継ぎ、もれなく連絡事項を伝えている。園で受診が必要な怪我をした時には、事前に保護者に連絡し了解を得てから受診し、怪我の状況説明ができる担任と園長または主査も保護者の迎えを待って、説明したり謝罪したりしている。</p>		
3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>子どもが自分で選んだ玩具を使って、じっくり遊べるような保育環境を設定している</p> <p>保育室は子どもが自分で遊びたい玩具などを選択できるように、発達に応じた子どもの興味や関心がある玩具類を手の届く棚に、用意している。落ち着いたじっくり遊べるように、衝立や棚などでコーナーを設定して、一人ひとりの遊びを保障しつつ、友だちの遊びへの関心も高まるようにしている。乳児クラスでは同じ玩具を複数用意している。ブロックや積み木などの構成遊びは継続して遊べるように、棚やコーナーの中に置いておけるようにしている。園庭と遊戯室は乳児と幼児の午前中に使える曜日を決め、1時間以上遊び込める時間を保障している。</p> <p>1歳児から取り組んでいるリズム遊びやさまざまな素材で制作する遊びが盛んである</p> <p>子どもの年齢発達に応じたリズム遊びが継承されており、1歳児は保育士の口ずさむ歌やリズムに合わせて、2歳児からは遊戯室のピアノのリズムに合わせて、さまざまに身体を動かして遊んでいる。鯉のぼりや七夕飾り、提灯などの季節を感じる飾りを作り、木の葉や花などの自然物、クレヨン、絵の具、色鉛筆などを使って、作ったり描いたりしている。作りたい時に使えるように、制作用具や素材を用意しているため、4・5歳児は空き箱を使った自由制作が盛んである。評価者が訪問した際には、5歳児室には、曼陀羅の塗り絵がたくさん飾ってあった。</p> <p>園庭や散歩先の公園などで体を動かし、自然に触れて遊んでいる</p> <p>園庭には鉄棒、滑り台などの固定遊具や砂場、赤い屋根のごっこハウスがあり、マルチパーツやタイヤ、コンテナなどの可動遊具も用意して、子どもたちが体を動かしたり、砂遊びや虫探しなど、自分のしたい遊びでのびのびと遊べるようにしている。地域は樹木や池などがある都立公園や川べりの道、区立公園などの自然豊かな散歩先に恵まれ、昆虫や鳥などの生き物に出会い、草むら歩き、樹木でかくれんぼをして遊んでいる。3・4・5歳児はカブトムシを飼育して羽化させたり、ダンゴムシの飼育では産卵の様子を観察したりしている。</p>		

4 評価項目4

日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目4の講評

こどもまつりにはみんなで意見を出し合いお神輿を作り、担いで練り歩いている

子どもの日や七夕などの伝統行事には、飾り物を作りながら行事の由来を子どもにわかりやすく伝えている。6月には子どもたちだけの「こどもまつり」を実施し、5歳児はお神輿作り、幼児クラスで提灯作り、盆踊りも練習しみんなで楽しみにしている。お神輿は、各自が意見を出して、アジサイや電車、花、蝶々、金ぴかのカブトムシを作って飾り付けた華やかな物が出来上がり、当日はお揃いのほっぴ姿に豆絞りを着け、誇らしげに元気に担いで練り歩いた。3・4歳児も「わっしょい、わっしょい」と元気な応援の掛け声をしてくれてみんなで楽しんでいる。

お話作りから役決め、衣装・小道具など、自分たちで考え協力して劇ごっこをしている

前年の5歳児は後期保護者会で劇遊び「ひまわり組の十二支のおいわい」を見てもらった。みんなが喜んで読んでいた昔話を基に、自分たちのお話を作り、登場人物に合わせて自分で何の役をやりたいかを決めている。役が決まり張り切って繰り返し練習し、「こっちから出てきた方がいいんじゃない」と子ども同士で他の役に提案したり、何人かで自主練習をしたりし、衣装や小道具も、担任に材料をリクエストして用意してもらって、自分たちで考え助け合って作り上げた。当日も張り切って演じ、大拍手をもらい、協力し作り上げた喜びや達成感を味わっていた。

行事に向けて取り組んでいる子どもの様子を保護者に伝えて、協力をお願いしている

年間行事予定表を年度初めに配付して、周知している。保護者参加の保育行事は幼児対象の運動会と5歳児の卒園を祝う会である。運動会に向けて取り組んでいる子どもの様子を貼り出し日誌やクラスだよりで伝え、保護者に期待してもらい、協力をお願いしている。幼児対象の運動会では、お知らせ・見どころ、プログラムなどの文書を発行している。運動会は園庭(雨天時は小学校体育館)で、各クラス毎の入れ替えで実施予定である。運動会後には例年感想をもらっている。

5 評価項目5

保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当

評価項目5の講評

人数の少ない時間以外は各クラス保育にし、慣れた部屋で落ち着いて過ごしている

朝保育の人数が多くない8時までは、0～2歳児は1歳児室で、3～5歳児は8時30分までは広い遊戯室で、一緒に遊んでいる。その後各クラス保育にしている。そして、夕保育の18時30分まで各クラス保育にしている。子どもたちは慣れた部屋で、良く知っている保育士やいつも同じ会計年度任用職員と一緒に遊ぶので、安心して落ち着いて過ごしている。

おやつ後には園庭やテラス、遊戯室などで遊んだ後、室内で落ち着いて過ごしている

午後のおやつの後には遊戯室でリズム遊び、テラスで三輪車遊び、園庭遊びなどで、身体を動かして遊んだ後、室内遊びにして、夕保育に入っている。また、朝保育や延長保育には日中の玩具とは違う玩具を用意し、時には保育室を変えて、遊戯室などで身体を動かして遊んだりしている。延長保育利用児は異年齢の3～6名程度であり、顔見知り度で良く知っているため、一緒に絵本を読んだり、ままごとをしたりして遊び、自然な異年齢交流の場となっている。

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>身体に合ったテーブルや椅子を利用して安定して座り落ち着いて食事をしている</p> <p>子どもの年齢や体格に合わせたテーブルと椅子に姿勢よく安定して座り、食事をしている。必要に応じて、足台や背あてなども使用している。コロナ禍のため、3歳児からはテーブルに透明のパーテーションを設置している。各保育室には食事コーナーを設定し、それぞれ決めた時間に、保育士の介助や見守りを受け、いつも同じ席で友だちと一緒に楽しく食べている。スープやシチューの日には3・4歳児の各回4人に型抜き人参(幸せ人参)が入り、5歳児の誕生日には同じ献立で盛り付けを工夫した誕生日プレートを提供し、子どもたちは楽しみにしている。</p> <p>栄養バランスのとれた区立園統一献立を園で調理し、提供している</p> <p>給食は区の栄養士が各園からの意見を取り入れながら作成した栄養バランスの良い、区立園統一献立を使用して園で調理し提供している。昆布やかつお節、煮干などで出汁を取り、薄味で自然のおいしさを味わえるようにしている。旬の食材を使って季節感を出したり、七夕などの季節の行事には行事食を提供している。アレルギーのある子どもには、食物除去申請書を提出してもらい、事前に保護者に確認してもらった献立表を基にアレルギー会議を開き、除去食や代替え食などをトレー配膳で提供している。誤食防止のために職員間のダブルチェックもしている。</p> <p>園庭の畑やプランターで野菜を栽培し、生育を観察して収穫し、食べている</p> <p>子どもたちが土作りや植え付け、水やりをしてパプリカやプチトマト、ナス、きゅうり、じゃがいもなどを栽培している。生育を観察し、収穫後は調理してもらい食べている。当園には夏ミカンや杏の木があり大人が収穫して、杏はジャムレシビを一緒に渡して家庭に持ち帰ってもらっている。栄養士は梨とりんごの食べ比べや煮干・昆布などの出汁について子どもたちに話し、調理室前の廊下には、三色食品群の掲示をしている。現在、コロナ禍のため調理体験は中止し、4・5歳児はおやつにおにぎりが出る時には、自分のラップおにぎりを作り食べている。</p>		
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>子どもが自分の身体や健康・安全に関心持てるように健康教育に取り組んでいる</p> <p>子どもたちが安全に健康に過ごせる環境を整備して、自分の身体のことや病気・怪我などに関心をもてるように、保健計画を作成して健康教育に取り組んでいる。看護師は幼児クラスを中心に、視力測定、プライベートゾーン、うがい・手洗い、咳エチケットなどを子どもにわかりやすいイラストや紙芝居などの教材を使って視覚的に伝えている。保育士は生活の場面に応じて、うがいや手洗いを繰り返し指導し、活動の中で危険な遊びや場所を伝え、散歩に出掛けて道路の歩き方などの交通ルールや知らない人について行かないことなどを知らせている。</p> <p>嘱託の園医や療育機関などと連携して対応している</p> <p>園児の健康管理として、毎月の身体測定や嘱託医による定期健康診断を年2回、歯科健診、幼児対象の眼科・耳鼻科健診を各年1回、0歳児健診を月2回実施している。園医には園児の健康に関する相談に応じてもらいアドバイスをもらっている。療育機関に通所している園児は保護者の要望を受けて、療育機関から専門職員が来園して子どもの観察をし、援助についての助言をもらっている。</p> <p>保健だよりや掲示などにより、子どもの健康に関する情報を提供している</p> <p>毎月の身体測定や各種健康診断の結果は健康カードに記入して保護者に伝えている。家庭で予防接種を受けた後には知らせてもらい園と情報を共有している。毎月保健だよりを発行して、健診などの保健行事のお知らせや、季節や時期に応じた子どもの健康に関する情報、例えば、4月は生活リズムや登園前の健康チェック、5月は熱中症や爪切りのお願、6月は水遊び・シャワー、7月は夏の感染症などを掲載している。園における感染症発生情報は掲示して知らせている。また、園での昼寝時には午睡チェックを実施して乳幼児突然死症候群の予防をしている。</p>		

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目8の講評

保護者の子育てや就労などの事情について、可能な対応をして支援している

保護者の子育てや就労、家庭の事情などで保育園に関係があることについては申し出てもらい、園でできることは対応している。住所や勤務先、勤務時間などが変わった場合には変更届を提出してもらい、必要に応じて保育時間を変更している。迎えの時間に間に合わない、迎えの人が代わるなどの場合は連絡してもらい受けている。土曜日に保育の対象になっていない場合でも仕事が入り保育ができない場合には申し出てもらって受けている。保護者からの相談にも応じるが、園で対応できないことは、相談先をアドバイスしている。

年2回の保護者会や運動会を交流の機会にしている

年2回、前期(春)と後期(冬)に保護者会を実施して、保護者同士の交流の機会にしている。しかし、コロナ禍の前期保護者会は、密を避け16時~17時の1時間で実施にしたため、保護者同士の懇談の時間が取れないことから、他の保護者に聞いてみたいことなどを、事前にアンケートとして取った。寄せてもらった質問に回答を呼び掛け、寄せられた回答をクラスだよりに掲載して紙面上で懇談・交流してもらう方式をとっている。その他、幼児対象の運動会は保護者参加にしているため、クラス別開催ではあるが、保護者同士の交流の機会にしている。

保育参加や参観、個人面談を実施し、保育や子どもの様子の共通理解を図っている

送迎時の会話のやり取りで子どもの様子を伝え、保育参加や行事参加への声かけをするなど、保護者との信頼関係を築くよう努めている。保育参観・参加、個人面談は希望があれば随時受けることにしている。本年は7月頃より保育参観・参加を始め、各クラスが期間を決めて個人面談を実施している。そのため、個人面談の機会に参観・参加されるケースが多い状況である。また、個人面談の記録は児童票に記載している。

9 評価項目9

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目9の講評

地域の中の保育園として、住民の方々と挨拶を交わし、昆虫などを頂いている

都立公園や区立公園などに散歩に出掛けて遊んでいるが、園の近くには区内の幹線道路が通っているため、特に、都立公園や大きな神社方面へは、交通安全に十分気を付けている。大きな神社には軍鶏を飼育しているので、見せてもらっている。近所の住民の方々に、職員も子どもたちも挨拶をしており、クワガタ虫を頂いたりしている。七夕の笹竹は竹林のあるお宅から毎年いただいて、子どもたちが運んできています。地域の図書館などが入っている複合施設の催しに、5歳児の描いた作品、テーマ「私の大切な人」を展示してもらっている。

地域の中学校の職場体験を受け入れている

地域の中学生の職場体験を受け入れて、2名が3日間、子どもたちと遊んだり、世話をする体験をしている。警察官による交通安全教室を受けたり、総合避難訓練時には消防署員に、避難するときの約束について子どもたちに話をしてもらっている。コロナ禍のために、夏祭りや運動会などへの地域の方々のお誘いは中止している。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	子どもが自分で遊びを選べる環境作りをし、じっくり遊べる空間と時間を工夫している	
内容①	保育室内は、使いたい玩具や素材などを子どもが自分で選んで遊べる環境にしている。積み木や小型ブロックなどの構成遊びは継続できるように、制作途中の物を棚に置いたり、積み木のコーナーは月～金曜日まで作り続けて、週末には片付ける約束にしている。そして、子どもたちが遊び込める時間と空間を保障するために、園庭と遊戯室の午前中の使用日を乳児・幼児で分け、乳児が園庭使用の日は幼児が遊戯室を使用し、子どもたちが1時間以上じっくり腰を据えて遊べる時間と空間の保障をしている。園庭使用日以外に散歩に出掛けるなど工夫をしている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル②	食育活動の一環として野菜の栽培、収穫体験をして採れたてを調理してもらい食べている	
内容②	園庭やテラスの小さな畑やプランターを使い、パプリカやトマト、なす、じゃがいもなど野菜の栽培をし、子どもたちが畑を掘り起こしたり土作りをし、植え付け、水やりをして生育を観察し、収穫して、調理してもらい食べている。じゃがいもはたくさん収穫して、子どもたちの希望に応じてポテトチップスやフライドポテトにもらい、他のクラスにもお裾分けしている。きゅうりや二十日大根など収穫できなかった野菜もある。栽培活動を通して、野菜への興味関心は高まり、野菜が苦手な子どもも、「自分たちのだからね」と食べてみる姿が見られている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる
タイトル③	日々の振り返りをし、保育の質向上につなげている	
内容③	職員一人ひとりが日々の振り返りの時間を持ち、印象に残った一つの出来事、ある一場面について記録し、保育士の思いや考察を記録している。印象に残った子ども達の行動や姿を記録することで、子どもの気持ちや変化に気づき、子どもがそのような行動を取ったのか、改めて振り返って考える時間を設けている。振り返ることで、新たな気づきや学びにつなげるとともに、子どもへの理解も深めている。それをクラスとしての振り返り、保育計画につなげている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	年齢発達に合った玩具・遊具を用意して、子どもが自主的・自発的にじっくりと遊べるような保育環境作りに努めている
	内容	園庭は固定遊具や砂場、ごっこハウス、マルチパーツなどの可動遊具も用意して自由にじっくり遊べるようにしている。3歳児から自分の縄跳びを使って遊び、4歳児では跳べるようになり、5歳児は大縄跳びなどいろいろな跳び方をしている。保育室内は子どもの発達に合わせた積み木や木製遊具などを揃え、子どもが一人で、あるいは友だちと一緒に、自由に選んで落ち着いて遊べるようにしている。利用者調査の結果、園での活動はお子さんが興味関心をもって行えるものになっているかの問いに、100%が「はい」と回答し、大変高い評価を得ている。
2	タイトル	地域には自然豊かな公園などがあり、散歩に出掛けて身体を動かし、植物や生き物と触れ合い、自然の不思議さ、面白さなどを感じている
	内容	豊富な緑や池があり、川べりを散歩することができる都立公園や電車の見える公園、駆け回れる広い運動公園などが地域にある。戸外遊びに適した季節には散歩に出掛けて、昆虫やザリガニ、亀、水鳥などに会い、自然に触れ、季節の変化を感じて、草むらや茂みを歩き、木立の中でかくれんぼや鬼ごっこ、虫探しなどをして遊んでいる。生き物の飼育が盛んで、カブトムシの羽化やダンゴムシの産卵などを観察し、自然の不思議さや面白さ、生き物の命などを感じている。カナヘビやヤモリには子どもたちがハエやコウロギなどを捕まえて食べさせている。
3	タイトル	園での保育活動や子どもの様子をわかりやすく伝えようと、拡大した用紙で写真イラスト入りにするなどの工夫をしている
	内容	保護者に日々の子どもの様子を伝える取り組みとして、送迎時のやり取り以外に、0～2歳児は連絡帳を使用して子どもの生活や遊びの様子を、3～5歳児は貼り出し日誌でクラスの活動の様子を伝えている。貼り出し日誌は園庭側のベランダに置いていることから、通常使用しているA4版の用紙ではなく、A3版に拡大して、写真やイラストなども用いて、保護者が読みやすいようにしている。毎月発行の園だよりには、各クラスの子どもの様子を掲載している。その他、保育参加・参観を7月より再開しており、個人面談時の参加が多い状況である。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	これまで以上に、保護者が参加しやすい行事の実施についての検討を期待する
	内容	保護者参加の行事は幼児クラスの運動会と5歳児の卒園を祝う会、年2回の保護者会と個人面談、保育参観・参加である。年間行事予定表は年度初めに配付している。利用者調査の行事の日程への配慮についての設問には、「こどもまつりに参加しなかった」、「個人面談や保護者会が平日開催である」、などの意見が寄せられている。今後は保護者のニーズを把握するなど、これまで以上に保護者も参加しやすい行事の実施についての検討を期待する。
2	タイトル	これまで以上に、園における個人情報の取り扱いについて、明確に伝える工夫を望む
	内容	個人情報の取り扱いについては、入園時に「保育園のご利用にあたって【重要なお知らせ】」、「保育園でのビデオ撮影や写真撮影について」の文書で説明し、撮影と園だより等への名前の掲載の可否を調査している。今後は、「永福北保育園のしおり」に園における個人情報の取り扱いの項目を掲載するなど、これまで以上に個人情報の取り扱いを明確に伝えるための工夫を望む。
3	タイトル	業務効率をすすめ、職員がリフレッシュできるような休憩時間や有給休暇のさらなる充実を期待する
	内容	職員アンケートでは、「会議や打ち合わせの時間が長く、回数が多い」、「有給休暇が取りづらい。好きなときに休めず、気を遣って取るのもつらい」、「仕事量が多く、コロナ禍における食事場所の確保の問題もあり、規定の休憩時間を取ることが難しい」などのコメントが寄せられていた。安全でより良い保育をしていくためにも、業務効率をすすめ、職員がリフレッシュできるような休憩時間や有給休暇のさらなる充実を期待する。



## 7. 高円寺東保育園

高円寺東  
保育園

調査対象

令和4年7月の配布時点で利用している在園児113名の保護者96世帯を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答の回答をいただいた。

調査方法

クラスごとに担任などから保護者に調査票を渡していただき、園内の設置した回収ボックスに投函していただくか、返信用封筒にて直接弊評価機関へ投函していただいた。

利用者総数	113
利用者家族総数(世帯)	96
共通評価項目による調査対象者数	96
共通評価項目による調査の有効回答者数	71
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	74.0

利用者調査全体のコメント

・回答者の属性は次の通りである。調査票記入者:「父」7名(10%)、「母」55名(71%)、「父母一緒に」5名(7%)、無記入4名(6%)。  
 ・総合的な感想は「大変満足」48名(68%)、「満足」20名(28%)、「どちらともいえない」2名(3%)で、「大変満足」、「満足」と返答した方々は回答者の96%で、当園の保育に関して非常に高い満足を得ている。  
 ・回答者全員が満足と返答していたのは、設問1「心身の発達に役立つ活動」であった。回答者の90%以上が「満足」と返答し、非常に高い満足を得ていた設問は、問2「興味や関心の持てる活動」、問3「食事」、問10「職員の接遇・態度」、問13「利用者の気持ちの尊重」であった。  
 ・総合的な感想では、「どの先生も子どもに寄り添ってくれているので、毎日楽しく通園できています」、「子どもたちの興味にも耳を傾け、子どもの意見をいつも大切にしてくれています」などのコメントが記入されていた。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	71	0	0	0
回答者全員が「はい」と返答し、心身の発達に役立つ活動に関して非常に高い満足を得ている。「園に通うようになってから成長が早くなり、できることが増えました」、「先生やお友だちとの関わりは、今では必要不可欠なほどに日々の成長に役立っています」、「園での遊び、先生やお友だちとの触れ合いを通して、子どもが成長していると感じます」、「体を使う遊びや手を使う遊びなどをバランス良く取り入れています。子の成長が毎年感じられます」などのコメントが寄せられていた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	66	4	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の93%で、興味や関心を持てる活動に関して非常に高い満足を得ている。「おもちゃや散歩、水遊びなど、季節やイベントに合わせて工夫してくれています」、「泥遊びや公園遊び、室内遊びなどを毎日楽しんでいるようです」、「虫や砂遊びなど家庭ではなかなかさせてあげられない活動を、保育園で体験したことでとても興味を持つようになりました」などのコメントが寄せられていた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	67	3	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の95%で、食事に関して非常に高い満足を得ている。「食材を豊富に使い、バランスが良いと思います。園のメニューを参考にしています」、「食物アレルギーがありますが、細かく対応してくれるので信頼しています」、「誕生日やイベントなどのときは、見た目も楽しんでいるようです」などのコメントが寄せられていた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	55	12	2	2
「はい」と返答した方々は回答者の77%で、戸外遊びに関して概ね満足を得ている。「早い時期から水遊びや虫探し、少し離れている公園に行くなどいろいろとじてくれています」、「虫との触れ合いや野菜の栽培など、とてもありがたいです」、「公園までの散歩だけでなく、泥遊びやザリガニ釣り、植物を育てるなど、家ではなかなかできないことを経験させてくれています」などのコメントが寄せられていた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	55	7	0	9
「はい」と返答した方々は回答者の77%で、保育時間の変更への対応に関して概ね満足を得ている。「急なお願いをしたときも柔軟に対応してくれました」、「嫌な顔一つせず対応してくれています」などのコメントが寄せられていた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	57	10	3	1
「はい」と返答した方々は回答者の81%で、安全対策に関して高い満足を得ている。「門の鍵や遊具の点検などをしっかりとじてくれています」、「地震が起きたとき、家でもサツと机の下に隠れる習慣が身についています」、「子どもたちの安全を常に第一に考え、さまざまな努力をじてくれていると感じます」などのコメントが寄せられていた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	44	18	3	6
「はい」と返答した方々は回答者の63%、「どちらともいえない」25%、「いいえ」14%、非該当7%・無記入1%であった。「平日の開催ですが、1か月以上前に案内してくれるので調整できています」などのコメントが寄せられていた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	58	12	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の82%で、家庭と保育所との信頼関係に関して高い満足を得ている。「毎日の連絡ノートやお迎えのときの会話でコミュニケーションがとれています」、「どの先生も優しいです」、「園長や他クラスの先生も子どもに声をかけてくれるのでとてもうれしく、信頼もしています」、「いつでも面談します、とじてくれます」などの声がか寄せられた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	62	7	1	1
「はい」と返答した方々は回答者の88%で、施設内の清掃、整理整頓に関して高い満足を得ている。「空き時間(朝や午睡中)などにいつも清掃じてくれている人がいます」、「いつも過ごしやすい環境です。また、季節の植物を楽しめるのも、先生や職員の工夫を感じます」、「建物は少し古いですが、園内はとてもきれいに清掃じています。また、おもちゃ一つひとつまで丁寧に清掃じています」などのコメントが寄せられていた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	66	5	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の93%で、職員の接遇・態度に関して非常に高い満足を得ている。「いつも笑顔で接じてくれます」、「職員や先生がとても優しい対応をじてくれます。子どもたちに配慮した服装を身につけています」、「子どもをしっかりと見て、場面に合った声かけをじてくれていると思います。また、服装も安全第一で動きやすさを重視じているのが伝わじてきます」などのコメントが寄せられていた。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	62	8	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の88%で、緊急時の対応に関して高い満足を得ている。「重大なけがや体調不良にはよく対応してくれています」、「看護師がいるので安心です」、「体調が悪いときには別室で休ませてくれるので助かります」などのコメントが寄せられていた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	54	12	0	5
「はい」と返答した方々は回答者の76%で、子ども同士のトラブル対応に関して概ね満足を得ている。「状況の報告などをちゃんとしてくれます」、「対立したときにはどうするかを学べるように対応してくれていると理解しています」、「いさかやいじめもなく仲良く過ごせるよう、先生たちがいつも働きかけてくれています」などのコメントが寄せられていた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	68	2	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の96%で、子どもの気持ちの尊重に関して非常に高い満足を得ている。「子どものことをとてもよく観察し、理解してくれていると感じます。また、親よりも理解してくれているのではないかと思います」、「寄り添ってくれていると思います。子どもも先生のことを信頼しているように思います」などのコメントが寄せられていた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	57	4	1	9
「はい」と返答した方々は回答者の80%で、プライバシー保護に関して高い満足を得ている。「プライバシーはしっかりと守られています。また、保護者会でもプライバシーの部分で協力してくれています」などのコメントが寄せられていた。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	60	9	0	2
「はい」と返答した方々は回答者の84%で、保育内容の説明に関して高い満足を得ている。「その日に何をしたら、口頭でも連絡帳でも毎日とても細かく説明してくれています」、「わからないことが多かった場合にも丁寧に説明してくれました」などのコメントが寄せられていた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	55	8	0	8
「はい」と返答した方々は回答者の78%で、不満や要望への対応に関して概ね満足を得ている。「困ったことなどをすぐに相談した際、迅速に対応してくれました。解決策を見いだしてくれます」、「こちらの要望を、ほかの先生にもしっかり共有し対応してくれていると思います」などのコメントが寄せられていた。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	37	9	5	20
「はい」と返答した方々は回答者の52%、「どちらともいえない」13%、「いいえ」7%、非該当25%・無記入3%であった。「区やさまざまな機関と連携してくれます。資料もわかりやすく見せてくれます」などのコメントが寄せられた。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 <b>7/7</b>
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している <span style="float:right">評点(〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <span style="float:right">評点(〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している <span style="float:right">評点(〇〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	カテゴリ1の講評	
	園目標・保育目標を事務室や玄関に掲示し、これらに沿った実践に取り組んでいる 園目標・保育目標を事務室や玄関に掲示し、目指すべき方向性を職員に伝えるとともに、これらに則った保育の実践に取り組んでいる。また、重要事項について入園説明会や掲示などを通して保護者に周知している。また、「高円寺東保育園のしおり」や4月の園だよりにも園目標や保育目標などの園で大切にしていることを保護者に伝えている。保護者がいつでも年間指導計画を閲覧できるよう、年間指導計画を綴じたファイルを玄関に設置している。	
	園長・主査それぞれの年間計画を立て、目標や取り組み課題を職員へ伝えている 園長・主査それぞれの年間計画を立て、目標や取り組み課題を職員へ伝えている。園長・主査・保育の向上リーダーが当園の保育の質向上を図るための5本柱と位置づけている。保育の向上リーダーは、区内各園の保育の向上リーダーが参集する会議に参加し、園内において横断的に情報交換し、より良い保育に向けて自園での実践の参考にしている。また、園内研修の企画・実施などにリーダーシップを発揮している。園長会や、主査・看護師などの区立保育園の職位職種別の横の連絡会も設け、共通課題について検討している。	
	園の重要案件は職員会議で検討、決定している 園の重要案件は、職員会議で検討、決定している。当日、出席できなかった職員には、議事録を回覧し、情報共有の徹底を図っている。職員会議に加え、毎日、昼のミーティングを実施しており、各クラスからの確認事項、翌日の給食のアレルギーチェック、ヒヤリハットなどについて情報共有している。また、週1回、定例会議を開催し、園長会の報告、避難訓練の反省、各クラスの課題の検討などを実施している。前年度、全体的な計画を見直すにあたって、各クラスの代表によるプロジェクトチームを中心に実施した。	

カテゴリ-2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリ-1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(○○○○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(○○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-2の講評		
<p>保護者の要望や職員の提案などを園運営に活かしている</p> <p>送迎時の会話や連絡帳などを通して、保護者の要望を把握している。「園への要望BOX」を設置し、保護者がいつでも意見や要望を投函できるようにしている。前年度1件の要望が投函されていた。「コロナ感染症対策として、職員は不織布マスクにしてほしい」との意見が寄せられ、その対応についておたよりで保護者にフィードバックしている。職員からは目標申告制度による個別面談を通して、職員個々から改善への意見や提案などを聴取し、研修や行事など園運営に活かすようにしている。</p> <p>「中核園」として、地域の保育園をめぐるニーズ・課題について情報交換している</p> <p>杉並区では7つの地域に分け、各地域に「中核園」を指定し、保育の質の向上に取り組んでいる。当園はその「中核園」に指定されており、中核園だよりを発行するなどして地域の保育所間の連携や情報共有の促進に取り組んでいる。また、地域の児童館・保健所・小中学校・図書館などが集まった地域子育てネットワークや、行政連絡会議に参加し、地域ニーズについて情報交換・情報収集している。園長会・各種研修への参加などからも保育園をめぐる情報を収集し、職員へ伝え、日々の保育に役立てている。</p> <p>年度初めに「係の目標シート」を策定し、園の目標を明確化している</p> <p>区では杉並区総合計画(令和4(2022)年度～令和12(2030)年度)を策定している。また、区子ども家庭部保育課の組織目標を踏まえ、当園では現状の課題を分析し、年度初めに「係の目標シート」を策定し、園の目標を明確化している。係(園)の目標から個人の目標を計画し、職員個々の仕事目標を定めている。計画に対しては、中間反省、後期目標の設定、年度末反省を実施している。また、保育計画に関しては、週ごと・月ごと・半期ごと・年度末に計画の反省をおこない、次年度の計画に活かしている。</p>		

3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	
<input type="radio"/> 非該当		
<input type="radio"/> 非該当		
サブカテゴリ-2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	
<input type="radio"/> 非該当		
<input type="radio"/> 非該当		
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	
<input type="radio"/> 非該当		
<input type="radio"/> 非該当		
サブカテゴリ-3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向け取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	
<input type="radio"/> 非該当		
<input type="radio"/> 非該当		
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一人としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	
<input type="radio"/> 非該当		
<input type="radio"/> 非該当		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	
<input type="radio"/> 非該当		

カテゴリー3の講評

「保育実践方針」と「保育実践の手引き」は、職員がいつでも確認できるようにしている

園内の各会議や研修を含めさまざまな機会を捉え、区立園の保育士・公務員として遵守すべき事項について職員へ伝えている。「保育実践の手引き」を職員個々に配付し、「保育実践方針」とともに、保育の振り返りや子どもの人権・権利について理解を深めるようにし、杉並区立保育園が求める保育のあり方について確認できるようにしている。また、全国保育士会倫理綱領について職員に伝え、保育士として遵守すべきことへの意識向上を図っている。

玄関でのポスター掲示などにより、保護者に苦情相談窓口について周知している

玄関でのポスター掲示や入園説明会などを通して、保護者に苦情・要望等の相談窓口について周知している。また、玄関に「要望BOX」を設置し、いつでも意見や要望を園へ伝える仕組みを整えている。保護者会などでは、心配なことや疑問を感じたときは、すぐに職員に伝えて欲しいことをお知らせしており、登降園時に保護者の意見などを聴取している。また、保護者の思いや苦情は定例会議や職員会議などで共有し、対策についても検討をおこない、園だよりや事務所だより等で回答している。

中核園として、「中核園だより」を発行し、地域全体の保育の質向上に貢献している

中核園として、「中核園だより」を発行し、保育士の交流や研修など企画・開催し、地域全体の保育の質向上に貢献している。児童館に出向き、看護師が感染症について、保育士が年齢別の保育について話し、園の持つ専門性を地域に還元している。児童館を中心としたネットワークとの協働体制を整え、地域との交流をおこなっている。また、地域住民と一緒に震災救援所訓練もおこなっている。さらに、保育士資格取得のための大学生の実習生を受け入れ、将来の福祉人材の育成に寄与している。



カテゴリ4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	
サブカテゴリ2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	
カテゴリ4の講評		
<p>新型コロナウイルス感染症対策には、全職員が協力体制を取り対応にあたっている</p> <p>危機管理マニュアルを用意し、的確かつ迅速にリスク対応できるようにしている。事故報告やヒヤリハット報告はタイムリーに作成し、再発防止に取り組んでいる。感染症等に関するマニュアルを用意し、いつでも確認して対応できるようにしている。新型コロナウイルス感染症対策には、全職員が協力体制を取り、対応にあたるとともに、発生時は「災害時子ども安全連絡網」(すぐメール)ですぐに保護者に周知している。また前年度10月に新人職員および若手職員に対し、感染症対策の研修を実施した。</p> <p>避難訓練計画を作成し、月1回、火災・地震想定訓練をおこなっている</p> <p>避難訓練計画を作成し、月1回、火災・地震想定訓練をおこなっている。朝夕保育や土曜日などの職員体制の少ない中などのさまざまな場面を想定し、実施後は反省会を設け、次への改善につなげている。また、防犯訓練も実施し、子どもがこわくならないように、職員が犯人役となり、対応方法を学んでいる。さらに、安全にプール遊びをおこなうための学びの機会を設け、職員全員で共有した。今年度、消防署職員が来所し、全職員対象に救命救急講習をおこない、緊急時に迅速に対応できるようにした。</p> <p>区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理をおこなっている</p> <p>杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理をおこなっている。パソコンを使用しない時は鍵のかかる書棚・机の引き出しに入れ、事務室に誰もいない時は施錠して出かけている。また、情報セキュリティ対策基準(部外秘)によりアクセス権等の設定をしている。さらに、個人情報や鍵の取り扱いには十分に注意し、書庫などの鍵の取り扱い者を限定している。区で定めた文書保存年限に基づき、文書類の保存、廃棄を適切に管理している。</p>		

カテゴリ5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賞金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー5の講評

職員は仕事目標の達成度を振り返っている

随時、園長は各職員と面談をおこない、仕事目標の達成度を振り返っている。仕事目標の達成に支障がある場合は、共に改善策を考えるようにしている。保育園職員人事異動規約に沿いながら、定期的な人事異動がおこなわれている。クラス担当については、子どもにとって良い環境づくりに留意し、職員の意見も含めた土台案を園長が職員会議に提示し、全職員で最終決定している。

園内研修の充実を図るなど職員一人ひとりの力を発揮できるように育成している

区主催研修・園内研修・外部研修・OJT・自己啓発などで、職員の資質向上に取り組んでいる。また、職員一人ひとりの力を発揮できるように、園内研修の充実を図り、区保育課主催実務研修への積極的な参加を促している。研修案内はホワイトボードに掲示し、職員へ周知している。研修受講後は、会議の中で研修報告をしたり、研修のレジュメ・資料をファイルし、誰もがいつでも閲覧できるようにして職員間で共有している。新任や入職2年目・3年目の職員に育成担当者を設置し、計画的に育成をおこなっている。

園内研修などを通して活発に意見を出し合い、チームワークを高めている

保育の振り返りやテーマに沿って、少人数グループごとに意見交換をおこない、職員の気づきを促し、やる気向上につなげている。各々が日頃からコミュニケーションをとるよう努力している。産休明け園、障害児指定園、中核園としての役割を持つ園であるが、さまざまな子どもたちが安心して生活できるようチームワークを大切に日々の保育に取り組んでいる。また、園内研修などを通して活発に意見を出し合い、チームワークを高めている。園長・主査を中心に就業状況を把握し、ローテーション勤務の中で必要な休暇等の取得に努めている。

7 カテゴリー7	
事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
<b>評価項目1</b> 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)	
<b>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</b> 園目標「あしたも行きたい保育園」を目指し、保護者が安心して就労できるよう、保護者と日々のコミュニケーションを取り、信頼関係を築いていくことを重点目標とした。コロナ禍により、書面による保護者会の開催やクラスだよりの発行などにより保護者参加の機会をつくり、保護者との共育で取り組んだ。集まることはできなかったが、保護者の交流の一助となった。保護者向け行事「カフェガーデン」は、前期は新型コロナウイルス感染症蔓延防止期間であったため中止とし、後期は保護者が密な状態にならないよう配慮し、クラス別に場所を設定し、降園時に遊びの紹介をして交流を図った。	
<b>目標の設定と取り組み</b>	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<b>取り組みの検証</b>	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<b>検証結果の反映</b>	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<b>評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</b> カフェガーデンは、「保育園の様子を知ることができた」など保護者に好評であった。新型コロナウイルス感染症の状況をみながらではあるが、保育参観や保護者向け行事「カフェガーデン」を計画実施していくことに取り組むことを次年度も計画している。保護者との共育を引き続き重点目標とし、保育園の様子を送迎時に伝え、日々のコミュニケーションを大切に信頼関係を築いていくこと、保護者会では、子どもの様子や発達などがわかるように紙面やパワーポイント等を使用して視覚でわかりやすく伝えていくことに取り組むこととしている。	

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

職員間のコミュニケーションを活発におこない、園全体の保育を皆で共有していくこと、互いの保育を知り合い、安心して発信できる職場環境を目指し、会議の活性化につなげていくことを前年度の重点目標とした。その目標達成に向け、共通テーマで少人数のグループ討議を重ね、意見交換のできる職員集団を目指した。その結果、少人数のグループ討議では意見が活発に出ていた。その経験を積み重ねていくうちに、職員会議やプロジェクト会議等で意見が出るようになってきた。遠慮なく発信し合える職場環境づくりを目指し、少人数のグループ討議では、経験年数別、クラス等を考慮したグループ分けなど工夫したり、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、担任交換などを通して、他クラスの保育へ関心を向ける機会を持つことに今後も取り組むこととしている。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</li> </ul>
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</li> <li><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</li> <li><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

職員アンケートでは、前年度の取り組みにより、良くなった点として、「一昨年(令和2年度)より、グループ別で振り返りなどが多くおこなわれるようになり、問題点や良い点に関して共通認識を持つことができた」、「指導計画を共有する場での会議の進め方に、多くの人が発言できるような工夫がなされた」、「保育についての話を職員間で年々できるようになってきたと感じる。これは夜会議で少人数のグループ討議を繰り返してきたことによるものだと思う」、「月の指導計画の中で一つのクラスの課題について全員で話し合い、改善策を討議・検討した。これにより職員全員が課題に気づき、学びを深めることができた」などのコメントが寄せられた。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ-1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-1の講評		
<p>区の公式ホームページやアプリなどで情報提供している</p> <p>杉並区公式ホームページの「保幼(ぼよ)ナビ」や区の公式アプリ「すぎぼよ(保幼)」で情報提供している。区のホームページの施設案内には園の住所、電話番号、年齢別定員、保育時間、延長保育時間などの園概要、外観写真、園目標、保育目標、地図、主な行事、園の見取り図、園庭や保育室で活動している子どもたちの様子の写真を掲載している。園の特色として、「子どもの心に寄り添いかけがえのない命を大事にし、緑豊かな園庭、光あふれる屋上、実のなる木や栽培活動が豊富で成長と収穫の喜びを味わうことができる」、などと紹介している。</p> <p>区立直営保育園であり、行政や関係機関などと情報交換して連携している</p> <p>区立直営保育園であり、区役所の保育課にはさまざまな報告をして連携している。園長は毎月区立保育園長会に参加して、行政からの情報提供を受け、課題検討や情報交換をしている。主査は主査会、看護師や栄養士は専門職の会議に参加して課題検討や情報交換をしている。地域の児童館主催の地域ネットワークに参加して、行政連絡会で当園の子育て支援計画を配付するなど、情報交換をしている。当園は区の中核園事業の中核園であり担当主査が在籍し、高円寺地域の施設長同士の懇談会を年4回開催し、保育士同士の交流や情報交換も企画・開催している。</p> <p>保育園の見学会は年間計画をたて実施している</p> <p>見学希望者の問い合わせは随時応じて見学会の日程を伝え、1回につき5名までの受け入れにして、予約をお願いしている。園長と2名の主査で対応し、園概要を配付して説明している。コロナ禍のために、園児が散歩などでいない場合には園舎内を見学してもらい、雨の日などで園児が保育室にいる場合には、事務室で対応している。保育目標を説明し、園庭には固定遊具や可動遊具があり、子どもが自分で考えて組み立てて遊べる環境にしている、屋上庭園があるなどの園の特長も伝えて、質問に応じている。9月初旬までの見学者は19名受けている。</p>		

サブカテゴリ-2		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
<b>評価項目1</b> サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		○非該当
<b>評価項目2</b> サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当
サブカテゴリ-2の講評			
<p>入園前には入園説明会を実施して重要事項や基本的なルールについて説明している</p> <p>4月の入園内定者向けには2月頃に園医による健康診断や園長、保育士、看護師、栄養士による面接を実施して、健康や発育状態、入園までの生活状況などを把握し、保護者の就労や家庭の状況、意向を聴き、保育時間を決めている。クラスの様子や持ち物の説明などもしている。3月の土曜日には入園説明会を開催し、「高円寺東保育園のしおり」や「保育園のご利用にあたって【重要なお知らせ】」を基にして、園の概要や園目標、保育目標、登園や送迎などのお願事項、個人情報保護、緊急時の対応、健康管理などについて説明している。</p> <p>保護者の状況や意向などに配慮して、慣れ保育を実施している</p> <p>入園開始直後は、徐々に保育時間を延ばしていく慣れ保育を実施している。就労中や職場復帰の時期が迫っている場合は、月初めから登園しているが、ゆっくりと進めたいなどの保護者の意向や希望がある場合は、受け入れの時期や時間をずらしたりして混み合わずに、丁寧な対応ができるようにしている。できるだけ同じ保育士(担当制)が関わり、子どもや保護者と信頼関係を早めに築くようにしている。登園時には保護者と一緒に子どもの健康を確認し、迎えの際には連絡帳を手渡しし、園での子どもの様子を詳細に伝えて、安心してもらえるようにしている。</p> <p>退園、転園、卒園には子どもや保護者の不安軽減に配慮している</p> <p>卒園児の就学先には「保育所児童保育要録」の写しを送付し、小学校や児童館等、他機関と連携し、継続した支援をおこなっている。また、入学時には小学校へ入学おめでとうのお祝いの言葉を送付している。年度途中の退園・転園の場合には、各クラスでメッセージカードや写真などを渡してお別れ会をしている。保護者には、新しい育児環境での不安が取り除けるような声かけをしている。</p>			

サブカテゴリ-3

3 個別状況の記録と計画策定

サブカテゴリ毎の  
標準項目実施状況

12/12

評価項目1

定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直ししている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3

子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-3の講評

子どもの心身や生活の状況を児童票や保育日誌など所定の用紙に記録して把握している

入園に際して、健康診断や面接により、出生歴や発育経過、既往歴、健康上の注意点などを把握し、授乳や食事、睡眠、排せつ、言語、運動・遊び、入園までの保育状況などの保育をする上で必要な情報を児童票に記録し把握している。日々の登園時には、連絡帳や保護者との会話により、子どもの健康状態を把握して保育し、園での様子や健康状態などを保育日誌や保健日誌に記入している。身体測定や健康診断結果は健康台帳や健康カードに記入し、保育の経過記録は児童票に、0・1歳児は1か月ごと、2歳児は2か月ごと、3～5歳児は期ごとに記載している。

指導計画はクラスの状況や子どもの実態を担当同士で話し合い、作成している

全体的な計画を基に年間指導計画を作成し、それらを踏まえて月間指導計画を、担任同士でクラスの状況や子どもの実態を振り返り、作成している。月のねらいを決めて、養護と教育の領域の主な活動、保育者の援助・配慮、環境構成などの内容で作成している。0～3歳児と特別な配慮が必要な子どもについては、個別の姿と配慮、個別計画を作成して、4・5歳児は必要な子どもの姿と配慮を作成している。年間指導計画は前期保護者会でクラスの目標や年齢発達の子どもの姿などを伝えて説明している。また、週の主な活動予定を掲示して保護者に伝えている。

子どもに関する情報を共有するためにさまざまな会議を開催している

月間指導計画は月初めの2日間でカリキュラム検討会議を開き、クラスの状況や子どもの様子について意見交換し共有している。その他、月～金曜日の昼間にミーティングを実施して、午前中の保育や子ども・保護者に関する個別情報の共有、翌日の体制、行事、会議、アレルギー確認などを行っている。週1回居間の定例職員会議では園長会等の会議報告、行事関係の検討反省、研修報告など、夕方からの夜間会議は、保育の振り返りなどの園内研修、その他、年間計画に沿っておこなっている。また、幼児・乳児会議、離乳食の進捗会議などでも情報を共有している。



サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリ-5の講評			
<p>子どものプライバシーの保護を徹底している</p> <p>個人情報の取り扱いは、入園時に「高円寺東保育園のしおり」や「保育園のご利用にあたって【重要なお知らせ】」において、厳重な管理で取り扱いをすることや誕生日ボード、貼り出し日誌への名前、写真の掲載を伝え、写真やビデオの撮影についての同意を得ている。子どもの発達援助に関して他機関と連携をとる際には、保護者に同意を得るなど、子どもの援助に関する情報を共有するようにしている。また、子どもの羞恥心への配慮として、おむつ替えやシャワー時には衝立を使用し、幼児のシャワー後にはタオルを身体に巻いて着替えることを知らせている。</p> <p>一人ひとりの子どもを大切に保育している</p> <p>「杉並区保育実践の手引き」などを活用して、子どもの人権について話し合い、名前を呼び捨てにしない、否定的な言動はしない、子どもの良いところを引き出す、などを考えるようにしている。月間指導計画、個別配慮の作成時に、子ども個々の育ちを確認し合い、その子どもに応じた配慮をしている。子どものその時々のお気持ちに留意し、集団活動への参加の仕方について寄り添うようにし、その時のその子なりの参加の仕方を援助しつつ、次の活動へ向かえるように職員間の連携で対応している。</p> <p>職員は子どもの虐待や保護者支援に関する研修に参加して学んでいる</p> <p>子ども家庭支援センター主催の研修、「子どものSOSとその対応」に職員が参加して、研修報告をおこない、資料を回覧するなどしている。職員は日頃から、子どもの虐待の早期発見や防止に気をつけており、子どもの表情や言葉、服装などに注意を払い、職員間で連携し、情報共有しながら全園児を全職員で見守っている。</p>			

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-6の講評			
<p>区立保育園共通のマニュアルや園独自の保育園マニュアルを整備している</p> <p>区立保育園共通の「杉並区立保育園保育実践方針」、「杉並区保育実践の手引き」は職員各自が持っている。「危機管理」、「保健衛生」などの区立保育園共通マニュアルは事務室の棚に置き、いつでも見ることができるようにしている。園独自の手引書「保育園マニュアル」には、保育に関わる確認事項、保育中の緊急対応マニュアル(怪我、病気・発熱、救急車要請が必要な場合)、防犯マニュアル、園庭遊びの約束事、当番保育士の動きと仕事内容、写真についてなどを綴じて、各クラスに1部ずつ配付し、必要な時に確認できるようにしている。</p> <p>半期反省や年度末反省、あるいは必要に応じて随時、見直している</p> <p>保育や園運営の全般について、半期反省や年度末反省をして、必要なものについて見直しをしている。その他、実際の業務とマニュアルとの食い違いや不足していることがあると気づいた時には、随時見直しをしている。例えば、散歩マニュアルについて、他の中核園と一緒に検討をしたことをきっかけにして、当園の散歩マニュアルも検討し、散歩届の地図を見直し、経路図が書きやすいようにしている。また、散歩時の緊急事態発生時の連絡や、アレルギー児の個々の対応についてのマニュアルも見直しに取り組んでいる。</p> <p>保護者や職員の意見などにより、より良い保育の提供に向け必要な見直しをしている</p> <p>より良い保育の提供に向け、保護者や職員の意見、子どもの様子などから必要と判断したことはすぐに見直し、改善している。例えば、保護者から屋上を案内する時間を設けて欲しいという申し出があり、意見を取り入れて実施している。保護者に保育を伝えたいと思っているが、コロナ禍のために保育参観・参加ができないので、運動会にリズム遊びや日頃から楽しんでいるダンス等を取り入れて見てもらうことにしている。職員から子どもの水遊び時にはもう少し目隠し設置をした方が良いのではないかと意見があり、検討して目隠しを増やして設置している。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリ-4	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	35 / 35
1. 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(○○○○○○)		
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている			○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している			○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している			○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している			○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている			○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している			○非該当
評価項目1の講評				
<p>興味関心や声、季節などにより玩具類を入れ替えて、子どもが遊びたい物を用意している</p> <p>保育室や園庭の環境は、子どもが自分で遊びたい物を選び、じっくりと一人で遊んだり、友だちと関わりながら遊んだりできるようにしている。そして、保育室内には構成遊び、ままごと、制作遊びなどの遊びのコーナーを作っている。玩具や遊具は子どもの発達や興味・関心、子どもの声などにより、入れ替えをして、子どもが遊びたいと思えるような環境作りに努めている。季節や子どもの遊びの変化により、身体を動かす遊びを充実させたり、作りたい意欲が出てきた時には制作コーナーを充実させるなどして、子どもの様子により環境設定を変更している。</p> <p>子ども同士のトラブルは子どもの気持ちを尊重して対応し、事実を保護者に伝えている</p> <p>子ども同士のトラブルは子どもの貴重な経験であると捉え、相手に対して手が出てしまうような場合には、保育士が未然に防ぐようにしているが、防げないこともあることを、園のしおりに記載し伝え、トラブルの事実と園の対応を双方の保護者に伝えている。1～3歳児クラスでは保護者会でも子どもの年齢発達の姿とともに説明している。トラブルが生じた時には、双方の子どもの思いをくみ取り、尊重して対応している。自分の思いを言葉で伝えられる幼児では、子ども同士で解決するように見守り、必要に応じて仲介し、双方の保護者に事情を説明している。</p> <p>地域の小学校の合唱祭に招待してもらい、学校訪問も予定している</p> <p>5歳児は地域の小学校の合唱祭等に招待してもらっている。小学校の夏休み中に小学校教諭が、園の子どもの様子を見に来園している。5歳児の前期保護者会には、校長先生と1年生担当教諭に、入学までに身に付けておけば良いことなどの話をしてもらい、保護者からの質問にも応じて、小学校入学を楽しみにしてもらえるように、身の回りのことができるように、と話をしてくれている。今後、5歳児は小学校訪問も予定している。</p>				

2 評価項目2

子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当

評価項目2の講評

登園時には子どもの健康を観察し、家庭での子どもの様子を聴いて受け入れている

登園時は挨拶を交わして、子どもの機嫌、表情などの健康観察をし、0～2歳児(乳児)クラスは連絡帳を手渡しで受け取り、家庭での子どもの様子を聴いている。3～5歳児(幼児)クラスは口頭により、体調などを確認している。特に、前日に発熱などで休んでいたり、園で怪我をした時には、家庭の様子を詳しく聴いている。朝保育の当番保育士が聴き取ったことや、保護者からの連絡事項は朝夕保育記録に記入して、担任に引き継ぎ、職員間で共有している。

保育士が子どもへの食事指導について学び、家庭へも伝えて共有している

子どもの摂食についての研修を受けて、子どもが口へ取り込む適量、咀嚼力などを良く見てその子どもに合わせた食事の援助をしている。ひとくちの感覚を視覚で教えながら、子どもに合わせた食事の援助をし、保護者に伝えて共有して進めている。箸の使い方については、5歳児に1対1で栄養士が関わりながら、正しい持ち方を知らせ、小さい物も箸でつまめるようになった子どもから使い始めている。箸についての家庭へのお知らせは、4歳児の保護者会で資料を配付して正しい持ち方を伝え、家庭と協力している。

降園時には、迎えの保護者一人ひとりに子どもの様子を伝えるように努めている

降園時には迎えの保護者に子どもの様子を伝えるように努めている。当番保育士が対応する時には、担任から引き継いだ連絡事項の他に、自分が見たり聞いたりした子どもの様子やエピソードを伝えている。乳児クラスは連絡帳でも伝えている。幼児クラスは貼り出し日誌で日中の活動の様子を読んでもらっている。メモ用紙も用意して、保護者からも担任からも必要に応じて使用している。また、園で怪我をして受診する際は保護者に状況を説明し、了解を得て受診し、降園時にあらためて説明し謝罪している。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

子どもが見通しをもって生活し、じっくり遊べるようにしている

子どもがじっくり遊べる場所を保障するために、園庭と遊戯室の主な使用クラスを曜日で決めている。園庭は月水金が乳児クラス、火木が幼児クラスにし、遊戯室はその逆にしている。乳児クラスの使用日でも、園庭を使っていない9時30分までと11時過ぎからは、幼児クラスが遊ぶなど、乳児・幼児で融通をつけ合っている。積み木などの構成遊びは、床に広げて組み立てて遊べるコーナーにして継続して遊べるようにしている。子どもが見通しをもって生活できるように、幼児クラスでは、午後のおやつ時や夕方などに明日の予定活動について伝えている。

自分の思いを伝えて、相手の思いにも気づき、友だちと楽しく活動できるようにしている

0～3歳児クラスでは、少人数で過ごすことを大事にし、グループで遊んだり行動したりしている。一人ひとりの思いを丁寧に受け止めて言葉に代えてもらいながら、好きな遊びがじっくりできるようにしている。4歳児クラスでは自分の気持ちや思いを相手に伝えることを繰り返し、友だち同士で話す経験を多く取り入れている。5歳児クラスでは、グループ名やザリガニの名前決めなど、みんなで自分の思い(意見)を出し合い、一つにまとめる話し合いをしている。難航する時には担任がヒントや提案をし、子どもたち同士の話し合いが進むようにしている。

園庭や屋上庭園、地域の公園などで体を動かして遊び、自然にも触れている

園庭には、八重桜の木があり、花が咲くと眺め、花びらを集めて遊んでいる。園舎屋上庭園にある畑にはさつま芋などを植えている。散歩には園庭使用日ではない日に出かけている。当園は区境にあるため、区立公園や隣接区の公園などで、園の固定遊具とは異なる遊具で遊び、芝の丘や、池の鯉や鴨を見て広場を駆け回り、季節の草花などを眺め、虫探しなどをして遊んでいる。4歳児はトカゲ探し、5歳児は飼育しているザリガニのお嫁さんを求めて、ザリガニ釣りをしていたりしている。散歩の途中にある線路の跨線橋を通る時には、電車を見たりしている。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4の講評		
<p>自分で作り上げた服を着て、客の前で、ファッションショーを楽しんでいる</p> <p>5歳児の女児を中心に、カラーポリ袋などを使ってドレスを制作し、園庭でファッションショーをしている。ベンチやコンテナボックスを並べたランウェイを、恥ずかしがりながらも自作の服を着て手を振り、ポーズを決め、モデルに成りきって楽しんでいる。お客は園庭で遊んでいた子どもたち。それを見た4歳児が「私もやりたい」と加わり、数日後に2回目のショーをしている。新調したドレスを着用したり、1回目とは違う小物を持ったりして、堂々とポーズを決めて歩き、自分たちも満足し、憧れてくれた4歳児の手をとりサポートしながら楽しんでいる。</p> <p>お化け屋敷をやりたいと、みんなに相談し、協力し合って取り組んでいる</p> <p>お化け屋敷をしたいという、5歳児の2人が、クラスのみんなに働きかけてお化け屋敷ごっこをしている。「こんな風なお化け屋敷にしたい」とみんなのイメージを確認して取り組んでいる。自分のなりたいお化けのお面はお化けの本を参考にして、くちくちお化けや提灯お化けなど、個性的なお化けを作り上げている。会場の装飾もみんなで考えて作っている。当日は、張り切ってお化けになり、2・3・4歳児をお客に迎え、「うらめしや〜」などと、怖いお化けになりきって楽しんでいる。自分たちで考えて、協力して取り組み、やり遂げた喜びを味わっている。</p> <p>行事に向けて取り組んでいる子どもの様子を伝えて、保護者に協力してもらっている</p> <p>年間行事予定表を年度初めに配付している。保護者参加行事は4・5歳児が対象の運動会と5歳児の卒園式、全クラスの保護者会2回、個人面談、保育参観・参加である。運動会に向けて取り組んでいる子どもたちの様子を、貼り出し日誌やクラスだよりなどで伝えて、保護者にも楽しみにして、協力してもらっている。クラスだよりは子どもの様子を伝えるために、タイムリーに発行している。その他、4・5歳児の遠足にはお弁当作りを、5歳児は運動会前に揃いの染Tシャツを作るための白色Tシャツの協力をお願いしている。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目5の講評		
<p>朝夕保育は、子どもの人数により、保育の形態を変えている</p> <p>朝保育は7時30分から8時まで、0・1歳児と3～5歳児は合同保育にしているが、子どもたちの人数が増えてくると、各クラス保育にしている。夕保育は18時までクラス保育にして、18時以降4・5歳児は合同保育にしている。18時30分からの延長保育の利用児は、現在月ぎめ延長保育と延長スポット保育を合わせて異年齢の数名であり、一緒に過ごしている。</p> <p>よく慣れた自分の保育室で安心できる大人と一緒に落ち着いて好きな遊びをしている</p> <p>午後のおやつ後には、園庭や遊戯室、ベランダなど遊ぶ場所を変えて、体を動かして遊んだり、気分転換をしてから、夕保育に入っている。夕保育では当番保育士は毎日変わるが、会計年度任用職員(短)はいつも同じ人に入ってもらい、よく慣れた自分の保育室で好きな玩具で落ち着いて遊んでいる。長時間の保育で疲れて横になりたい時のために、遊び用の布団を用意したり、ソフトマットを敷いて、絵本やままごなどのコーナーで腰を下ろして遊んだり、横になったりできるようにしている。</p> <p>少人数の延長保育は自然な異年齢交流の場になっている</p> <p>延長保育は少人数のため、子どもが好きな遊びをしたり、大人との会話を楽しんだりしてゆったりと過ごしている。制作活動が好きな子どもは作ったり描いたりしている。顔見知りになっているので、年上の子どもが年下の子どもに声を掛けて一緒に遊んだり、面倒を見たり、気にかけてくれる姿が見られるなど、自然な交流の機会になっている。</p>		

6 評価項目6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当

評価項目6の講評

身体に合ったテーブルと椅子を使用して安定して座り、友だちと一緒に食べている

子どもの体格に合わせたテーブルと椅子を使用し、必要に応じて、足台や座面シート、脇あてなども使用して、姿勢よく落ち着いて食べている。安心して楽しく食べられるように、座席を決め、同じ友だちと一緒に食べている。座席替えは年数回している。七夕や12月のお楽しみ会などには行事食をランチプレートで提供し、コロナ禍のために会食はしていないが、クラスで手作りのランチョンマットを使って特別感を出して食べている。誕生日には献立は同じであるが、切り方や盛り付けを工夫した誕生日プレートを提供して、子どもたちに喜ばれている。

除去食品がある場合は食物除去連絡票を提出してもらい、対応している

子どもたちの喫食状況や味付けについて、昼に開催しているミーティングで意見を出し合い、献立の反省をしている。給食の献立は各園からの意見を参考にして作成した区立園統一献立を使用し、園の調理室で調理して提供している。食物アレルギーや文化の違いに応じた食事も提供している。除去食品がある場合には、食物除去連絡票を年1回提出してもらい対応している。事前に保護者に献立チェックをしもらった資料を基にアレルギー会議を開いて確認し、除去食や代替え食をトレーで提供している。誤食を避けるためにダブルチェックをして提供している。

幼児クラスでは野菜を栽培して生育を観察し、収穫して調理してもらい食べている

幼児クラスでは、園庭のプランターでオクラやピーマン、きゅうり、里芋を、屋上の畑でとうもろこしやさつま芋、枝豆などを栽培している。子どもたちが野菜の生育を観察して収穫し、調理してもらい給食時に食べている。園庭には夏ミカン、びわなどの実がなる木があり、果物の生長をみて学ぶことができている。コロナ禍のため調理体験はせず、給食でクリームサンドの時には自分でクリームを塗ったり、自分のラップおにぎりを作ったりして食べている。栄養士が給食の喫食状況を見て回り、幼児には食材や栄養の話をしている。

7 評価項目7

子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当

評価項目7の講評

自分の身体の健康や安全に関心を持てるように健康教育を実施している

「子どもが自分の身体に関心を持てるようになる」ことを保健目標に、看護師は手洗いやうがい、鼻のかみ方、プライベートゾーンについての健康教育を実施している。子どもがわかりやすいように手洗いをしている場面で伝えたり、絵や紙芝居などで視覚的に伝えたりしている。その他、自分の気持ちをコントロールする我慢の脳みその話もしている。保育士は保育活動の中で、生活習慣を繰り返しながら身につくようにしたり、危険な遊び方や場所などを知らせて安全に遊べるようにしている。また、散歩に出掛けて道路の歩き方などの交通ルールを知らせている。

医療機関や療育機関などと連携して対応している

区立園として、医療的ケア児が在籍している場合には、マニュアルに沿って対応することになっている。また、園児の健康管理として、毎月身体測定を実施し、囁託の園医による定期健康診断を年2回、歯科健診、3・4・5歳児対象の眼科・耳鼻科健診を年1回実施している。囁託の園医などの医療機関や療育機関と連携しており、園児の健康に関する相談や援助に関する相談などを行っている。

保健日よりや掲示などで子どもの健康に関する情報を提供している

身体測定や健康診断後には結果を、健康カードに記入して保護者に伝えている。保護者会で子どもの健康に関する情報を伝えたり、感染症発生情報などを掲示して注意喚起をしている。毎月保健日よりを発行して、園の保健行事予定を伝えたり、季節や時期に応じた健康に関する情報を掲載している。例えば、4月には、毎朝の健康チェック、集団生活において予防すべき感染症、5月には、爪について、紫外線対策、6月は梅雨時の体調管理などである。また、子どもの爪チェックを毎週木曜日にしており、園における昼寝の際には午睡チェックを実施している。

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目8の講評		
<p>就労や家庭の事情で子どもや保育園に関することは、配慮して支援している          年度初めには家庭連絡票を提出してもらい、就労や家庭の状況を把握している。保護者の就労の事情を踏まえて保育時間を決めている。就労状況や家庭の事情の変化により、保育時間を変更する必要がある場合には申し出てもらい、可能な限り受けている。急に残業になり迎えが遅くなる、迎えの人が変更になる、土曜日は保育の対象ではないが仕事が入り家庭で子どもを見ることができないなど、子どもと保育園に関係することは、事情を申し出てもらい、可能な限り配慮して支援している。</p> <p>保護者同士、保護者と職員が交流する機会としてカフェガーデンを年2回実施している          保護者同士の交流の機会として、年2回の保護者会や4・5歳児対象の行事(運動会)の他、年2回カフェガーデンを開催している。カフェガーデンは16時30分～18時30分で実施し、これまでは迎えに来られた時間に、ホッと一息入れてもらうようにお茶を出していたが、現在はコロナ禍のために、お茶は出していない。前年の11月のカフェガーデンは、子ども達の好きな遊びを展示して見てもらっている。本年は遊戯室で、風船割りやもぐらたたきなどに参加して気分転換してもらう取り組みを実施している。取り組み内容は係が立案し、実施している。</p> <p>後期保護者会では子どもと遊んでもらったり発表を見てもらったりしている          年2回の保護者会では園での子どもの様子を写真や映像などで伝えたり、子どもの発表を見てもらったり、保護者懇談時間を設けたりしている。前年の後期保護者会は、コロナ禍のために2・3・4歳児クラスは開催できなかった。そのため、本年の前期保護者会で、リズム遊びや前年の運動会の遊戯などをみてもらっている。後期保護者会では、コロナの感染状況によるが、保護者に子どもたちの発表を親でもらったり、子どもと一緒に遊んでもらったりしたいと考えている。個人面談は全家庭年1回以上実施し、子どもの育ちを確認し合う機会にしている。</p>		
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目9の講評		
<p>地域の公園に積極的に出掛けている          地域の区立公園などに散歩に出掛けて遊んでいる。また、図書館に団体貸し出しをしてもらい、選本には子どもたちも出向き、公共施設利用のマナーなどを学ぶ機会にしていた。しかし、コロナ禍のために、現在は子どもたちは出向くことなく保育士が選本している。さらに、地域の小学校の運動会の練習日には見学に行かせてもらっている。</p> <p>コロナ禍のため、お話しボランティアの受け入れは中止している          コロナ禍前はボランティアのおはなしの会から月1回2名が来園し、4・5歳児が絵本を読んでもらったり素話を聴かせてもらったりしていたが、現在は中止している。七夕の笹竹は地域の区立公園から頂いており、5歳児がもらいに行き運んできている。また、前年度は保育実習生の受け入れ1名、保育ボランティアの受け入れを1名している。</p> <p>当園は区の中核園事業の中核園であり、地域の保育施設同士の交流などを企画している          当園は区の中核園事業の中核園の1つであり、担当の主査と職員を配置している。地域の園庭の無い保育施設に園庭開放をする予定であるがコロナ禍のため、9月現在は見合わせている。また、地域の保育施設同士の交流を企画・開催し、職員同士の交流は始まっている。しかし、園児同士の交流はまだ始まっていない状況である。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	子どもが主体的に遊べるような園庭や保育室の環境作りに努めている	
内容①	園舎は築40年以上であるが、実のなる木や八重桜がある広めの園庭、畑や庭園がある屋上、水遊びができる中2階屋上があり、恵まれた環境にある。子どもが興味や関心をもち、挑戦してみようと思える園を目指して、園庭には固定遊具やターザンロープ、可動遊具のタイヤ、風呂マット、コンテナ、マルチパーツなどを用意し、子どもが体を動かし、自分のイメージを形に組み立てながら遊んでいる。プランターや畑で野菜を栽培し、カブトムシやザリガニなどの飼育も盛んである。保育室は子どもが自分で好きな玩具を選んで、じっくり遊べる環境を作っている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	保護者に日中の子どもの様子や保育をわかりやすく伝えるクラスだよりを工夫している	
内容②	園での子どもの様子を伝えて、子どもの興味や関心、成長している様子などを園と保護者とで共有できるように、具体的な子どもの姿や心の動きなどが分かるクラスだよりを発行している。子どもの様子は、送迎時の会話のやり取りに加え、0～2歳児は連絡帳で個別の様子を、3～5歳児は貼り出し日誌でクラス活動の様子を伝えている。クラスだよりは月何回などと発行を制限せず、タイムリーに子どもの会話のやり取りや行動、担任の思いなどを、個人名も出しながら発信して、保護者に具体的な日中の保育の様子を伝えている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる
タイトル③	職員間のコミュニケーションを活発におこない、チームワーク力を高めている	
内容③	保育の向上リーダーを中心に園長、主査の5本柱で、保育(業務)の振り返り等の園内研修を実施している。意見を発信しやすいように、少人数のグループ討議を重ねてきた。より良い保育に向け、職員が意見や質問など発信できる会議運営に取り組んでいる。また、保育士、看護師、調理師、栄養士、会計年度任用職員等、職種や勤務形態が異なる職員とコミュニケーションを取り、チームワークの向上に取り組んでいる。	



No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもがやり始めたことが、「楽しく最後までやり遂げられるよう援助する保育」をしている
	内容	一人ひとりの子どもが発する「やってみたい」、「これやろうよ」などの意見や提案、希望などに耳を傾け可能な限り、やり始めたことを楽しんで最後までやり遂げられるように、援助している。手作りの洋服を身に付けてファッションショーをしたり、怖がらせる、驚かせるのを楽しんでお化け屋敷、トカゲを飼いたいからトカゲ探し散歩に行く、ザリガニのお嫁さんを求めてザリガニ釣りをするなどをしている。利用者調査の結果、園での活動はお子さんの心身の発達に役立っていると思うかの問いに、100%が「はい」と回答し、大変高い評価を得ている。
2	タイトル	保護者同士、保護者と職員が交流する機会として、カフェガーデンを開催している
	内容	園の配慮方針として、「保護者と共に子育てを協働する」を挙げて、保護者同士、保護者と職員が交流できる機会として、保護者会の他に、カフェガーデンを年2回開催している。夕方、迎えに来た保護者が子どもと行く前にカフェに寄ってもらい、保護者同士や職員と保護者が交流している。コロナ禍のため、飲み物は出さず、密にならないように配慮して実施し、前年秋には、子どもの好きな遊びを展示して見てもらうようにし、今年の第1回目は、遊戯室で、風船割りやモグラたたきなどを一緒に楽しみ、気分転換できる企画にしている。
3	タイトル	保育や業務の振り返りを少人数グループで討議することで、活発な意見交換ができ、保育の向上につながっている
	内容	職員全員で園全体の保育について考えて、保育の向上につなげようと、園内研修で保育や業務の振り返りをしている。共通のテーマを4～5人の少人数グループで討議を重ねていることで、意見が出しやすくなり、活発な討議ができています。その中でも、保育の振り返りは、子どもと保育士の言葉のやり取りの場面をそのまま書き留め、保育士自身の感想(振り返り)も書き込み提出する方式にしている。その事例を読み合い、意見や感想を出し合うことで、子どもの捉え方、気持ちへの寄り添い方などの共通認識を得ることができ、保育の向上につながっている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	これまで以上に、指導計画を保護者にわかりやすく伝える取り組みの工夫を期待する
	内容	保育の計画については、前期の保護者会でクラスの保育目標をわかりやすく説明し、年齢発達の子どもの姿を伝えている。週の主な活動予定は掲示して知らせている。今後、園の保育を理解してもらい、保護者とともに子育てをしていくうえでも、これまで以上に指導計画を保護者にわかりやすく伝える取り組みの工夫を期待する。
2	タイトル	今後は、保護者も参加しやすい行事や保護者会などの開催についての検討を期待する
	内容	保護者参加の行事は、4・5歳児対象の運動会と5歳児の卒園式、保護者会が年2回、個人面談である。利用者調査では、「行事の日程は参加しやすいように配慮されているか」の問いに対して、回答者の25%が「どちらともいえない」と回答している。寄せられた意見の中には、「コロナ禍で行事が少ないのが残念です」、「ほとんど行事がおこなわれていない」、保護者会や面談が平日の日中に開かれる」などの意見が寄せられている。今後は、保護者の意向を把握するなどして、保護者も参加しやすい行事や保護者会についての検討を期待する。
3	タイトル	園内での交換研修など、職員の学びの機会のさらなる工夫と充実が期待される
	内容	幹部層は、コロナウイルスの感染状況を見ながらではあるが、職員の希望である担任交換をして、他クラスの様子を知る機会を設けることを考えている。前年度より、コミュニケーションを活発に図り、互いの保育を知り合い、安心して意見交換できる職場環境に取り組んできた。そのため、園内研修ではグループ討議を取り入れ、クラスを超えて意見交換をおこなっている。今後は、園内での交換研修をおこない、互いを理解し合い、さらに意見交換を活発におこなうことで、保育の質向上につなげていくことが期待される。

## 8. 下井草保育園

下井草  
保育園

調査対象

令和4年7月の配布時点で利用している在園児100名の保護者85世帯を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答の回答をいただいた。

調査方法

クラスごとに担任などから保護者に調査票を渡していただき、園内の設置した回収ボックスに投函していただくか、返信用封筒にて直接弊評価機関へ投函していただいた。

利用者総数	100
利用者家族総数(世帯)	85
共通評価項目による調査対象者数	85
共通評価項目による調査の有効回答者数	65
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	76.5

利用者調査全体のコメント

・回答者の属性は次の通りである。調査票記入者:「父」7名(11%)、「母」51名(78%)、「父母一緒に」4名(6%)、無記入3名(5%)。  
 ・総合的な感想は「大変満足」31名(47%)、「満足」29名(45%)、「どちらともいえない」4名(6%)、「不満」1名(2%)で、「大変満足」、「満足」と返答した方々は回答者の92%で、当園の保育に関して非常に高い満足を得ている。  
 ・回答者の90%以上が「満足」と返答し、非常に高い満足を得ていた設問は、設問1「心身の発達に役立つ活動」、問2「興味や関心の持てる活動」、問3「食事」、問9「清潔、整理整頓」であった。  
 ・総合的な感想では、「子どもの細かな様子の違いもよく見てくれており、信頼しています。一緒に子どもを育てているという気持ちがあります」、「いつも親身になって話を聞いてくれるので、とても助かっています」などのコメントが記入されていた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	63	1	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の96%で、心身の発達に役立つ活動に関して非常に高い満足を得ている。「子どもの成長に合わせて活動をよく考えてくれていると思います」、「家にはないような絵本やおもちゃがあるので、子どもにできることがいつの間にか増えています」などのコメントが寄せられていた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	61	3	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の93%で、興味や関心を持てる活動に関して非常に高い満足を得ている。「子どもが興味をもちそうなものを工夫してくれています」、「水遊びや技巧台、リズムなどさまざまな取り組みをしてくれています」などのコメントが寄せられていた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	63	2	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の97%で、食事に関して非常に高い満足を得ている。「食事を楽しんでいるようです」、「誕生日や行事に合わせて工夫されているのもありがたいです」、「毎日、迎えるのときに給食のメニューを見てから帰りますが、帰り道でメニューの話を沢山してくれます」などのコメントが寄せられていた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	46	16	3	0
「はい」と返答した方々は回答者の70%で、戸外遊びに関して概ね満足を得ている。「広い園庭や公園へのお散歩など、自然や社会と関わる機会を沢山つくってくれていると感じます」、「天候などにもよりますが、外遊びやお散歩にはよく行けていると思います。虫や花に興味を示している様子を教えてくださいました」などのコメントが寄せられていた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	46	6	1	12
「はい」と返答した方々は回答者の71%で、保育時間の変更への対応に関して概ね満足を得ている。「急な残業や電車遅延などに対応してくれているので、とても助かっています」などのコメントが寄せられていた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	54	9	2	0
「はい」と返答した方々は回答者の83%で、安全対策に関して高い満足を得ている。「指を挟まないようにドアの一部を削ってあったり、出入口の鍵が施錠してあったり、子どもがけがをした際の玩具をすぐに撤去したりしています」、「こまめに避難訓練をおこなっているので安心しています」などのコメントが寄せられていた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	31	25	3	6
「はい」と返答した方々は回答者の41%、「どちらともいえない」38%、「いいえ」5%、非該当8%・無記入2%であった。「保護者会の参加率も高く、次回も参加したいと思える内容です」などのコメントが寄せられていた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	55	9	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の84%で、家庭と保育所との信頼関係に関して高い満足を得ている。「子どもの引き渡しの際、園での子どもの様子を話してくれます」、「以前、こちらから話した内容についての確認があるなど、保護者への気遣いや配慮があると感じます」などのコメントが寄せられていた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	59	5	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の90%で、施設内の清掃、整理整頓に関して非常に高い満足を得ている。「棚や床はいつもきれいで、掃除が行き届いていると思います」、「玩具を拭いている光景をよく見かけるので、清潔感があります」などのコメントが寄せられていた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	58	5	2	0
「はい」と返答した方々は回答者の89%で、職員の接遇・態度に関して高い満足を得ている。「不潔や不快に感じる人はいません」などのコメントが寄せられていた。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	58	6	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の89%で、緊急時の対応に関して高い満足を得ている。「怪我をしたときの状況やどんな手当てをしたかななどを丁寧に話してくれます」、「状況に応じて電話をしてくれるので、安心感があります」などのコメントが寄せられていた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	45	9	1	10
「はい」と返答した方々は回答者の69%、「どちらともいえない」14%、「いいえ」2%、非該当15%であった。「状況を細かく教えてくれるので助かります。きちんと年齢に合わせた対応をしてくれます」などのコメントが寄せられていた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	58	6	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の89%で、子どもの気持ちの尊重に関して高い満足を得ている。「日々の連絡帳のコメント欄一杯に一日の様子を記入してくれています。子どものことをよく見てくれていると感じます」、「活動や遊びに無理強いせず、参加できるように促してくれていると思います」などのコメントが寄せられていた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	52	3	2	8
「はい」と返答した方々は回答者の80%で、プライバシー保護に関して概ね満足を得ている。「ほかの家庭のことを職員から聞いたことがないので、きちんと守ってくれていると感じます」などのコメントが寄せられていた。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	56	7	2	0
「はい」と返答した方々は回答者の86%で、保育内容の説明に関して高い満足を得ている。「保護者会などで、今の年齢に合った保育方針を説明してくれます」、「日々のノートや保護者会での説明は、わかりやすいと思います」などのコメントが寄せられていた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	47	12	2	4
「はい」と返答した方々は回答者の73%で、不満や要望への対応に関して概ね満足を得ている。「相談した後、きちんと対応してくれました」などのコメントが寄せられていた。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	22	12	13	18
「はい」と返答した方々は回答者の34%、「どちらともいえない」18%、「いいえ」20%、非該当28%であった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している <span style="float: right;">評点(〇〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	カテゴリ1の講評	
	月の指導計画検討会議では、園の保育の方向性を確認しながらすすめている 年間指導計画の作成や月の指導計画検討会議では、保育理念・基本方針・保育目標などに立ち戻り、当園の目指すべき方向性や日々の保育で大切にすることなどを確認しながら進めている。保育理念・基本方針・保育目標は「園のしおり」にも明記され、入園時に保護者に配付、周知している。そのほか、「事務所だより」、「保健だより」、「クラスだより」や掲示日誌などを通して、保護者に園の取り組みを伝えている。年度初めの保護者会では園長も参加し、園の保育で大切にしていることを伝えている。	
	職員会議などでは常に子どもが中心にいるかどうか、活発な意見交換をおこなっている 園長、主査、保育向上リーダー2名が当園の4本柱となり、保育の質の向上に向けてリーダーシップを発揮している。保育向上リーダーは、「保育の向上を考えるリーダー会議」に参加し、グループ討議などを通して、自園の取り組みの中で押さえておくべき重要ポイントを確認している。当園では保育にあたっては常に子どもが中心にいるかどうかを振り返り、保育士主体になっていないかを常に検証しながら進めている。より良い保育に向けて職員会議などでは、活発な意見交換がおこなわれている。	
	重要な案件については、職員間で時間をかけて十分な話し合いをしている 定例会議(週1回)、職員会議(月1回)、毎日の昼ミーティングなどで、園運営に関わる情報共有・情報交換をおこなっている。重要案件の検討・決定は、職員会議でおこなっている。重要な案件については、職員間で時間をかけて十分な話し合いをして決定している。決定事項は議事録の回覧や口頭、掲示などにより、全職員への周知徹底を図っている。園の決定事項について保護者に伝えるときは「すぐメール」や園だより、お知らせ、掲示などを活用している。	

2		カテゴリー2	
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行			
サブカテゴリー1(2-1)			
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(○○○○○○)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(2-2)			
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(○○○)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(○○)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評			
<p>保護者や職員の意見・提案などを園運営に活かしている</p> <p>保護者会の前後にアンケートを取り、保護者のニーズに合った保護者会となるよう配慮している。運動会などの行事実施時も感想などを記入してもらい、次年度の開催方法に反映している。日々の連絡帳や口頭などで寄せられる保護者の個別的な意向・要望にも、すぐに対応するよう努めている。また、園長との個別面談などで聴取された職員の意見・提案・疑問などに対しては職員会議などで検討し、園運営に活かしている。</p> <p>園長は、園長会で得た区の保育施策や園運営で必要な情報を職員会議で報告している。</p> <p>園長は、園長会で得た区の保育施策や園運営で必要な情報を職員会議で報告している。杉並区では7つの地域に分け、各地域で地域懇談会を開催しており、当園は井草地域の保育施設が参集する地域懇談会に参加している。そこでは、職員間の交流などを通して、地域の子育て・保育に関わる情報を収集している。また、中核園だよりを掲示し、地域懇談会の検討内容や取り組み状況を職員に周知している。さらに、地域子育てネットワークにも参加し、地域の子育てに関するニーズを把握している。</p> <p>全体的な計画に基づき年間指導計画・月案などを作成し、定期的に振り返りをしている</p> <p>区では杉並区総合計画(令和4(2022)年度～令和12(2030)年度)を策定している。また、区子ども家庭部保育課の組織目標を踏まえ、当園では現状の課題を分析し、年度初めに「係の目標シート」を策定し、園の目標を明確化している。保育の実践に関しては、全体的な計画に基づき年間指導計画・月案・週案などを作成し、これらの計画を職員間で共有し保育に反映させている。さらに、これらの保育計画について自己評価や保育士同士の反省をおこない、保育の質の向上につなげている。</p>			

カテゴリ-3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当



カテゴリ3の講評

園長会報告などを通して、区立園の保育士として遵守すべきことなどを周知している

杉並区の条例・規則等が掲載された例規集や保育所保育指針などを保管し、必要に応じて職員は区立園として守るべき事項を確認している。また、園長会報告や、区主催の各種研修の報告などを通して、杉並区立園の保育士として遵守すべきことなどについて確認している。区主催の新任研修では、公務員倫理、人権・障害者理解、接客ビジネスマナー、個人情報保護、情報セキュリティなどについて学んでいる。さらに、職員会議や指導計画検討会議などでも、子どもや保護者との関わりについて話し合い、より良い対応について互いに注意喚起している。

苦情・要望等の相談窓口に関する「重要なお知らせ」を入園説明会で周知している

「重要なお知らせ」に苦情・要望等の相談窓口について明記され、保護者に周知している。入園説明会では、苦情調整委員制度の説明や掲示について説明し、さまざまな方法で園に対して苦情や要望を表明できることを伝えている。「杉並区保健福祉サービス苦情調整委員制度」については区のホームページでも周知している。また、保護者からの意向は職員会議などでその内容を共有、検討している。個別的な意見や苦情・相談などは担任から主査・園長へ報告し、迅速な対応に努めている。

子ども・子育てプラザ主催の講演会に継続的に職員を派遣している

子ども・子育てプラザ主催の講演会には、継続的に職員を派遣し、園の持つ専門性を地域に還元している。令和2年度から始まった地域懇談会の中核園事業にも公立園として参加し、地域の保育の向上に積極的に取り組んでいる。また、大学生のボランティアや保育士資格取得のための実習生を受け入れ、将来の福祉人材の育成に寄与している。

カテゴリ4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
サブカテゴリ2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ4の講評		
<p>避難訓練実施計画を作成し、毎月1回、避難訓練を実施している</p> <p>避難訓練実施計画を作成し、毎月1回避難訓練を実施している。実施後には振り返りをおこない、次回の改善につなげている。朝夕保育・延長保育、水遊び、午睡中、散歩中などのさまざまな場面を想定し、職員はお互いに声をかけ助け合う訓練や、「防災頭巾をかぶる」、「おんぶ紐の練習」などねらいを定め、災害時に備えている。また、救急法・応急処置の実習の機会も設け、緊急時に迅速に対応できるようにしている。散歩先での不審者対応と避難誘導の方法を知る訓練もおこなっている。</p> <p>「気づいたことメモ」を活用し、子どもの安全安心な環境づくりに活用している</p> <p>ヒヤリハット、事故が発生した際は、報告書を作成し、その後の振り返りをおこない、改善する必要度の洗い出しをしている。「気づいたことメモ」を活用しており、職員が気づいたことをすぐに記録し、毎日のミーティングでも確認している。コロナウイルス感染対策として、職員は自宅での検温、マスク着用・手指消毒の徹底を図っている。玄関・出入り口の消毒、おもちゃの消毒も毎日1回以上実施しており、看護師は医療会から提供される、コロナウイルス感染症対策についての情報に基づき園内の感染対策を講じている。</p> <p>杉並区情報セキュリティ基本方針などに基づいて情報の運営管理を行っている</p> <p>杉並区情報セキュリティ基本方針や情報セキュリティ実施手順書に基づいて情報の運営管理をおこなっている。区で定めた文書保管期間に基づき、保存年限を過ぎた文書等の廃棄をし、記録類の適切な管理をおこなっている。園の紙媒体の情報やメモリーカードなど個人情報の保管は、鍵のかかる場所で保管している。記録類などの個人情報を棚から持ち出すときは、その都度解錠し、管理簿に記入し、ダブルチェックすることで情報の紛失を防いでいる。</p>		

カテゴリ-5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ-1 (5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2 (5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー5の講評

園長は、職員個々と「目標申告シート」を使って能力向上につなげている

杉並区人材育成方針において、人事評価制度や目標申告を人材育成に活かすことを明確に位置づけた上で、「職員自ら成長する意欲向上の支援」、「職員を育てる職場づくりの支援」、「職員を育てる制度環境の整備」の3つの視点から職員の能力と組織のチーム力の向上に取り組んでいる。区の人事異動基準があり、異動に際して園長は保育課とのヒアリングをおこない、ジョブローテーションにより職員個々の能力開発を図っている。職員個々の希望や経験などを考慮し、クラス配置を決めている。

研修受講後は、報告書を作成し、個別に対応をおこない次の研修へとつないでいる

杉並区人材育成方針に、区が目指す職員像・職場像、人材育成の基本方針、人材育成の取り組み内容を明記している。同指針に基づいて区人事課および保育課が研修を実施しており、その研修案内を職員に周知し、希望や指名により研修派遣をしている。研修受講後は、報告書を作成し、園長に提出している。その後は個別に対応し、次の研修へとつないでいる。また、全体的な計画についてグループ討議をおこない、他の人の考え方などを聴くことで新たな気づきを得ている。

より良い園運営に向けて、職員間で活発な意見交換をおこなっている

職員アンケートでは、「日々の小さな気づきなどをミーティングで共有することで、調整や改善がすぐにできている」、「職員間で連携し常に情報共有していることで、担任だけでなく園全体で子どもを見るという考えを持っている」、「コミュニケーションを取りやすい雰囲気がある」などのコメントが寄せられていた。職員同士で活発な意見交換がおこなわれていることがうかがわれる。

カテゴリ7	
7 事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリ1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
<b>評価項目1</b> 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)	
<b>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</b> 大きな目標「つぶやきを活かして、すぐに実行に移し、一步踏み出す!」に沿って、①「全体的な計画の見直しをおこなう」、②「子どもが遊びこめる環境作りをする」を目標に取り組んだ。①「全体的な計画の見直しをおこなう」については、少人数のグループ分けをして項目別に話し合いをおこなった。全体的な計画の見直しをおこなった。日々の保育の中での気づきと、指導計画検討会議の中での課題を話し合い、環境を整えてきた。全体的な計画を作成することで、保育の話が盛んにできる環境となり、職員一人ひとりの学びが大きかった。新年度に向けて、当園の保育の継承につながる作業となり、次年度も引き続きおこなうこととなった。②「子どもが遊びこめる環境作りをする」については、少人数でグループ分けをし、「室内」、「園庭」、「ホール」での子どもの遊びや環境についての話し合いをおこなった。「室内」、「園庭」、「ホール」の3つの環境設定についての有意義な話し合いができ、実践へとつながった。	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<b>評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</b> 全体的な計画は、大まかな完成となったが、次年度も引き続き話し合い、簡潔にまとめ、使いやすいものにしていくことを課題としている。職員の入替わりがあったが、それを前向きにとらえ、新たな発想を取り入れながら進めることとしている。プロジェクトチームでの話し合いをし、環境を整えるとともに、一歩進んで、安心・安全な環境づくりに取り組むことができた。整理して使いやすくなった場(ホールの倉庫や砂場の遊具)と、整えた環境を維持することが難しい場(教材倉庫)があったため、使いやすく、片付けしやすい教材倉庫になるよう再考し、職員にも意識づけできるような取り組みをおこなうことを次年度の課題としている。	

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

「地域の中の保育園を意識し、中核園の取り組みと並行して他園の職員との交流をおこない、共に学び合い保育の向上を目指していく」ことを重要課題とし、次の取り組みを実施した。主査の懇談会・歳児別職員交流会への参加など、中核園事業に積極的に関わり取り組んできた。園内研修に近隣園の職員を招待し、学び合いをおこなった。しかし、コロナ禍で他園との交流や園庭開放等ができずに終わった。コロナ禍でも実行できる方法を検討していきたいと考えている。コロナ禍は続くが、3年目を迎えて「withコロナ」の考え方も必要となっている。何ができるか、どうすればできるかを職員間で話し合いながら進めていくこととしている。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

中核園の活動の中で、歳児別職員交流会に参加し、他園とも保育の向上につながる意見を出し合い、話し合いをしたことで、情報共有できた。交流会で学んだことをクラスに持ち帰り、手作り玩具を制作し、効率よく完成させていくことにした。また、コロナ禍により、他園の子どもとの交流ができなかった。コロナ禍の状況下でも実行できる方法を検討していくことを次年度の課題としている。

II サービス提供のプロセス項目 (カテゴリ6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評		
<p>区の公式ホームページやアプリなどで情報提供している</p> <p>杉並区公式ホームページの「保幼(ぼよ)ナビ」や、区の公式アプリ「すぎぼよ(保幼)」で情報提供している。区のホームページの施設案内には園の住所、電話番号、年齢別定員、保育時間、延長保育時間などの園概要、外観写真、地図、保育目標、主な行事、園の見取り図、保育室や活動の様子の写真を掲載し、園の特色として、「建物の1階部分が保育園で園庭が広く、日当たりが良くどのクラスからも園庭に通じ、散歩先が豊富」と紹介している。コロナ禍のため園庭開放などの地域子育て支援は中止しているため、案内掲示はしていない。</p> <p>区立直営保育園であり、行政や関係機関と情報交換し連携している</p> <p>区立直営保育園であり、毎月延長保育利用児数やインフルエンザなどの感染症に関する報告、園舎管理・修繕の依頼などを区役所保育課等と連携している。園長は月2回、区立保育園長会に参加して行政からの情報提供を受け、課題検討や情報交換をしている。主査は主査会、看護師は医療会に参加している。併設の子ども子育てプラザ(乳幼児親子の広場・相談・支援の場)やゆうゆう館(高齢者活動施設)と総合避難訓練を実施し情報交換している。消防署からは総合避難訓練や救急法の指導、警察署からは不審者対応訓練の指導を受けている。</p> <p>園内見学は日程を調整し、可能な限り希望に沿うように受け、説明をしている</p> <p>見学希望者には希望の日程を聴き、日程調整をして可能な限り希望に沿うように受けている。時間は10時や10時30分頃からを勧め、午後の希望にも応じて、各回1組にしている。園長または主査が対応して、室内見学をしてもらっていたが、コロナウイルス等の感染症発生時には玄関先で園舎内を撮影した写真を見せ、園概要のチラシを渡して説明している。広い園庭で、隣接の公園に行けるので、虫探しをするなど自然を活かした保育、子どもが主体の保育をしていることなどを伝えて、質問にも応じている。電話による問い合わせも受けている。</p>		

サブカテゴリー2			
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2の講評			
<p>入園説明会を実施して基本的なルールや重要事項について説明している</p> <p>4月の入園予定者向けには、3月上旬に園医による健康診断や園長、保育士、看護師、栄養士などによる面接を実施して、健康や発育、食事、入園までの生活状況等を把握し、保護者の就労や家庭の状況、意向などを聴いて保育時間を決めている。クラスの様子や持ち物の説明もしている。3月中旬頃の土曜日には入園説明会を実施し、「下井草保育園のしおり」や「保育園ご利用にあたって[重要なお知らせ]」を基に、園概要や保育目標、送迎などのお願事項、防災や緊急時の対応、個人情報の取り扱い、健康管理などを説明している。</p> <p>入園当初は、子どもの不安やストレス軽減のために慣れ保育を実施している</p> <p>入園当初は保護者の職場復帰時期に合わせて慣れ保育を実施している。初日には保護者にも園の様子を知ってもらえるように食事の時間まで一緒に過ごして離乳食などを食べさせてもらっている。初めて集団生活を経験する幼児の場合も、可能な範囲で初日は保護者も一緒に過ごしてもらっている。2日目からは母子分離で預かり、子どもの慣れる状況をみながら1週間程度を目安に徐々に預かる時間を延ばしている。乳児クラスでは可能な限り職員を固定して関わり、迎えの保護者には子どもの様子を詳細に伝えて、信頼関係を築くように努めている。</p> <p>卒園や退園、転園などの際は子どもや保護者の不安軽減に配慮している</p> <p>卒園児の就学先には「保育所児童保育要録」の写しを送付して、継続した支援ができるようにしている。また、区内の公立保育園への転園の場合も、保護者の了解を得て園間で児童票の写しを送付している。その他の、年度途中の転園や退園の子どもたちにはクラス毎にお別れ会を開き、手作りのメッセージカードなど渡している。保護者には育児の心配事や新しい育児環境への不安はないかと聴いたり相談に応じたりし、「遊びに来てください」などと声がけをしている。</p>			



サブカテゴリ-3		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	12/12
3	個別状況の記録と計画策定		
<b>評価項目1</b> 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目2</b> 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目3</b> 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している		<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目4</b> 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-3の講評			
<b>子どもの心身や生活の状況を児童票や保育日誌などに記録し把握している</b> 入園時には健康診断や面接により、出生歴や成育歴、発育経過、既往歴、健康上の注意点を把握し、授乳や食事、睡眠、排せつ、言語、運動・遊び、入園までの保育状況など、保育をする上で必要な情報を児童票に記録している。日々の受け入れ時には、連絡帳や口頭により子どもの健康状態を把握して保育し、園での生活や活動の様子、健康状態などを保育日誌や保健日誌に記入している。保育の経過記録は児童票に0・1歳児は1か月ごとに、2歳児は2か月ごと、3～5歳児は3か月ごとに記載して把握している。			
<b>子どもの姿やクラスの状況を担任同士で振り返り、次の指導計画を作成している</b> 全体的な計画を踏まえて年間指導計画を作成し、子どもの姿やクラスの実情を考慮しながら担任同士で保育を振り返り、保護者の意見や意向なども取り入れながら、次月の目標や活動内容、配慮点などを書き入れた指導計画を作成している。個別の計画は乳児や配慮が必要な園児は毎月作成し、その他は必要に応じて個別の配慮点を作成している。各クラスの年間指導計画は前期の保護者会で配付して、保育目標や保育で大事にしたいことなどを説明している。月間指導計画は掲示して見てもらっている。			
<b>毎日のミーティングや各種会議を開催して子どもに関する情報を共有している</b> 指導計画は毎月2回、午睡当番以外の職員が参加して指導計画検討会議を開催し、クラスや個別の子どもに関する情報を共有している。子どもや園運営に関する情報共有のためにさまざまな会議を開催している。平日の13時30分頃からミーティングを開催し、午前中の保育や子ども・保護者の個別の状況、翌日の職員体制や行事・会議などの情報を共有している。週1回昼間開催の定例会議、月1回夕方開催の定例職員会議などでは各種会議報告や行事の検討・反省、研修報告など、乳児・幼児打ち合わせでもクラスの状況や行事などの話し合いをしている。			

サブカテゴリー5

5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 サブカテゴリー毎の  
標準項目実施状況 5/5

評価項目1  
子どものプライバシー保護を徹底している 評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2  
サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー5の講評

**子どものプライバシーの保護を徹底している**  
個人情報の保護については、「下井草保育園のしおり」などで伝えている。写真や動画などのデータの取り扱いについてアンケートを取り保護者の意向を確認している。また、子どもの羞恥心への配慮として、プールやシャワーの時には外部から見えないように園庭に目隠しを、玄関ドアのガラスにもカーテンを設置している。子どもたちにラップタオルを使用して着替える方法を知らせている。おむつ替えやおもらしの着替えも配慮し、幼児のトイレにはおもらし時の着替えコーナーを設置している。

**可能な限り一人ひとりの子どもの思いに寄り添う保育をしている**  
子どもが「今日は園庭遊びをしたくない」、「散歩に行きたくない、これで遊びたい」など意思表示する時には、可能な限り子どもの気持ちに寄り添う保育をしているので、他のクラスや事務室など園の職員同士が連携して、子どもの思いを保障している。また、子どもの誕生日には誕生日バッチをつけて、皆でおめでと声掛けをしている。誕生日当日にクラスで誕生会を開き、お祝いしている。3～5歳児は誕生会の日には誕生日プレートとして、献立は同じだが切り方や盛り付け方を工夫した特別な給食を提供しているため、子どもたちは楽しみにしている。

**子どもの虐待や保護者支援などについて学び、意識して虐待防止に努めている**  
区役所保育課主催の研修に参加して、昨年度は「保育園での保護者支援とは」、「子どもの権利条約」、「保育現場での子どもの人権」のテーマで学んでいる。本年度は子ども家庭支援センターの研修で「児童虐待対応基礎研修」を受講している。受講した職員は職員会議で研修報告をし、資料を他の職員にも見てもらっている。職員は日頃から子どもの様子の変化や原因が分からない怪我・傷跡、あざ、言動などに注意を払い、虐待の防止や早期発見に努めている。疑わしいと感じた場合には記録をし、園長に報告することになっている。

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
6	事業所業務の標準化		
<b>評価項目1</b> 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目2</b> サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-6の講評			
<b>区立保育園共通の手引書類や園独自のマニュアルを整備している</b> 区立園共通の「保育園保育実践方針」、「保育実践方針の手引き」を基に保育をしており、職員各自が持っている。区立園共通の「危機管理マニュアル」、「保健マニュアル」、「給食管理の手引き」などが整備され、事務室の棚に置き、いつでも見ることができるようにしている。園独自のマニュアルとして、「衛生確認事項」、「当番の仕事」、「延長スポット保育の確認」、「園庭の約束」、「事故対応マニュアル」、「散歩マニュアル」などを作成している。各クラスファイルに、事務室には仕事の目安ファイルに入れていつでも確認できるようにしている。			
<b>半期反省や年度末反省で、必要に応じて随時、見直している</b> 保育園の業務全般について、半期反省や年度末反省を実施して振り返り、必要に応じて見直しをしている。園独自のマニュアル類は年度末に見直している。当番の仕事や園庭の約束などは子どもの成長や利用児数の変化などで見直しが必要になった場合には、随時検討して見直している。			
<b>保護者や職員から寄せられた意見や提案は検討し、早急に必要な見直しをしている</b> コロナ禍前は全園児が園玄関からの登降園にしていたが、玄関での密を避けるため、2歳児から5歳児は園庭門を利用してテラス側の出入りをするに変更した。保護者から園庭門の鍵が使いにくいとの意見をもらったことで、使いやすいテンキーのカギを取りつけて貰った。また、夏場の水分補給は子どもが自分で喉が渇いた時に水道蛇口に触れずに飲む方法にしていたが、飲んでいる量が不明で熱中症が心配であるとの意見をもらったため、午前の活動中に幼児もみんなで麦茶を飲む時間を設け、その際には紙コップを使用することに変更している。			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリー4	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	35 / 35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)		
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている			○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している			○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している			○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している			○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている			○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している			○非該当
評価項目1の講評				
<p>保育室内は子どもが自分で選んで好きな遊びができるよう、コーナー設定をしている</p> <p>保育室内は子どもが自分で遊びを選べるように、子どもの背丈に応じた玩具棚に年齢発達に応じた絵本や玩具類を用意している。乳児クラスでは保育室を着替えなどの身支度や食事・机上遊び、床に玩具を広げたりして遊ぶ場所、絵本などのスペースとして玩具棚や仕切りなどで分け、子どもが自分の遊びたい玩具などや場所で安心して好きな遊びができる環境にしている。幼児クラスでは積み木などの構成遊びや絵本、ままごとなどのコーナー設定をして、友だちと一緒に好きな遊びができるようにしている。</p> <p>子ども同士のトラブルには子どもの気持ちを尊重して対応し、保護者にも説明している</p> <p>前期の保護者会で、子どもの年齢発達の姿を伝え、物の取り合いなどでトラブルになることがあるが、他の子どもと関わりながら相手の気持ちにも気づくようになる大切な経験であることを説明している。子ども同士のトラブルが生じた時には「～したかったんだね」と双方の気持ちを受け止めて言葉に代えて、どうすれば良かったかも知らせている。保護者に対して、トラブルの状況と園の子どもへの対応を伝えている。4・5歳児の場合は子ども同士で解決できるように見守るが、大人の仲介が必要な場合には仲立ちして、保護者にも伝えている。</p> <p>地域の小学校と連携して、5歳児が小学校見学をさせてもらっている</p> <p>5歳児は小学校の夏休み期間に地域の小学校見学をさせてもらっている。学校施設内を案内してもらい、校長先生と話をし、体育館で玉入れなどをして遊び、教室では着席して勉強の様子を体験させてもらった。5歳児クラスの前期保護者会に、小学校の1年生の担任の先生に来てもらい、保護者向けに入学前の準備について話をしてもらっている。11月には学童クラブの職員にも話をしてもらおう機会を予定している。</p>				

2 評価項目2

子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当

評価項目2の講評

登園時には子どもの健康を観察し、家庭での子どもの様子を聴いて受け入れている

登園時には挨拶を交わし、子どもの顔色や表情、機嫌などの健康観察をして、子どもの家庭での様子を保護者に聴き、受け入れている。前日に体調を崩して休んでいたり、園で怪我をして受診した時には、特に詳しく聴いている。また、乳児クラスは連絡帳を使用しているので手渡しでもらっている。受け入れ時には視診票を使用して、登園時間や送迎者、保護者に聴き取ったことや連絡事項、幼児クラスは体温も記入して、担任へ引き継いでいる。

休息(昼寝)の長さや時間帯は年齢発達や体力など、子どもの状況に配慮している

0~3歳児は昼食の後、おむつ交換やトイレを済ませた後、布団に入るリズムにしている。4・5歳児は食後しばらく絵本をみるなどの静かな遊びをしてお腹を休めた後、布団に入っている。年齢発達や体力などで昼寝の時間の長さや時間帯に時差をつけているので、年齢が高くなるほど昼寝の時間を短くしている。夜寝るのが遅くなったり、朝早く目覚めるなどで早めに眠くなるような場合には、早めに布団に入るなどの配慮をしている。乳児クラスでは昼寝から目覚めた子どもは起きて静かに遊んでいる。

迎えの保護者に対し、一人ひとりに子どもの様子を伝えるように努めている

迎えの保護者には、乳児クラスでは連絡帳を手渡ししながら子どもの様子を伝え、活動の様子を貼り出し日誌でもらっている。また、幼児クラスは連絡票やお便りなどを入れた連絡袋を自分でカバンに入れていく。保護者一人ひとりに子どもの様子を伝えることにしているが、コロナ禍で送迎時の会話を短時間に行っていることや子どもの保育を優先する必要がある場合には十分伝えられないことがある。また、怪我をした場合には保護者に連絡した上で、園で受診しているが、担任とともに園長・主査も保護者の迎えを待って様子を伝え謝罪している。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

子どもが自分で好きな遊びを選び、じっくりと継続して遊べるような環境を設定している

保育室内の玩具や園庭の可動遊具は子どもが自分で選んで、使って遊べるような環境作りをしている。そして、幼児クラスではパズルやブロック類、木製積み木など、じっくり時間をかけて構成して遊ぶ物などは、継続して遊べるように、子ども自身の名前カードを用意して棚などに置いている。保育室内の木製積み木のコーナーの床には作りかけや遊び途中の物が置いてあり、続けて遊んでいるが週末には片付ける約束にしている。

園庭に雑草などの植物を植えて、虫探しをしたりして自然に触れて遊んでいる

園庭は全園児が一緒に遊べる広さはあるが、コロナ禍による密防止のため、朝は幼児クラスが使って遊び、朝のおやつを食べた乳児クラスが出て来ると幼児クラスは室内遊びや散歩、隣接している公園で遊ぶなど、園庭使用を工夫している。乳児クラスが昼食のために室内に戻ると、幼児クラスが再度園庭で遊んでいる。園庭には意図的に雑草などを植えて、虫探しをして遊べるようにしている。昆虫類の飼育も盛んで、アゲハ蝶は何匹も羽化までの様子を観察し、てんとう虫やカマキリなどを見つけては捕まえて飼育箱に入れて図鑑と見比べたりして観察している。

生活や遊びの場面を通して話し合い、ルールを守ることの大切さに気づかせている

5歳児クラスでは生活や遊びの場面を捉えて、ルールを守ることについて話し合っている。使いたい玩具を出して遊び、散らかし放題になっている場面では、子どもたちにどうすればよいかを提起し、みんなで話し合い、使った物は自分で片付ける約束をしている。鬼ごっこでは「タッチしたよ」、「されてないよ」とトラブルになることがあり、その場面を捉えて、「タッチされたのに、逃げるのはどうか」、「タッチに気づかない時は」など、子ども同士で考えさせたり話し合いをして、他人の気持ちがわかったりルールを守る大切さに気づいたりしている。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目4の講評

お化けや驚かせるアイデアを出し合い、皆でお化け屋敷に取り組んでいる

7月、5歳児からお化け屋敷ごっこをしたいとの意見が出て、みんなでどんなお化けになるかを考え、白塗りお化け、傘お化け、河童、死神などいろいろなお化けになり、隠れる場所や驚かせるアイデアも出し合い、お化け屋敷を作り上げた。自分たちで楽しんだ後、翌日には他のクラスも招待しようと、お化け役の他にお客さんのエスコート役を作り、「あまり怖がらせると泣いちゃうよ」などと小さな子どもを気づかい、「怖かったら玉を投げよう」と紙で球を作っている。お化けもエスコート役も自分の役割を果たし、楽しく充実したお化け屋敷になった。

運動会ではみんなで力を合わせて取り組み、やり遂げた喜びを感じている

運動会(わくわくデイ)は幼児クラスの行事であるが、コロナ禍のために、クラスの入れ替わり制で実施している。運動会には保護者が見に来てくれるから頑張ろうと張り切って練習し、4歳児はゲームとバルーンに取り組んだ。バルーンは音楽に合わせて動いたり、上下左右に揺らしたり、形を作ってきれいなバルーンを表現し、子どもたちはみんなで力を合わせてやり遂げた喜びを味わっていた。当日、保護者からは大きな拍手が送られ、我が子の緊張している顔や一生懸命取り組んでいる様子に感動した、などの声が寄せられた。

行事に向かって取り組む子どもの様子を伝えて楽しみにしてもらっている

年度初めに年間行事予定表を配付し、保護者に周知している。保護者参加行事は3・4・5歳児の運動会であり、園庭で実施している。子どもたちが行事に向けて取り組んでいる様子は貼り出し日誌やクラスだよりで伝えて、保護者にも楽しみにしてもらえるようにしている。また、運動会に向けて、日程やお願い事項などのお知らせや見どころ、プログラムなどを配付している。参加しない乳児クラスには、運動会の写真やコメント入りの壁新聞を作成して入場やクラスの競技の様子などを見てもらい、子どもの成長を楽しみにしてもらえるようにしている。

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当

評価項目5の講評

朝夕保育は利用児数により、保育の形態を変えて落ち着いて遊べるようにしている

朝保育は0歳児クラスは0歳児室で、1～5歳児は2歳児室と一緒に過ごしているが、人数が増えるにしたがって3・4歳児は3歳児室に、5歳児は5歳児室に移動し、8時30分にはそれぞれクラス保育にしている。夕方保育はそれぞれクラスで過ごしているが、人数が少なくなっていく18時頃には、2・3歳児が一緒になり、4・5歳児も一緒に遊んでいる。18時30分からの延長保育は利用児全員が一緒に2歳児室で過ごしている。

午後のおやつ後には園庭や遊戯室で体を動かして遊んだ後、夕保育に入っている

夕保育は18時までクラス別保育で、日中と同じ部屋で過ごしている。そのため、午後のおやつ後には戸外遊びができる日には園庭で遊んだり、遊戯室で身体を動かして遊んだり気分転換をするなど静と動の遊びを組み合わせ、室内で落ち着いて好きな遊びができるようにしている。

延長保育は利用児数は少ないが、異年齢交流の場になっている

延長保育利用児は月極め延長保育と延長スポット保育を合わせて5名程度であり、異年齢の子どもが一緒に遊んでいる。年上の子どもはいつも一緒に過ごす年下の子どもに絵本を読んだり、エプロンをつけてあげるなど面倒をみようとする様子があり、年下の子どもも年上の子を慕う姿が見られ、自然な異年齢交流の場になっている。延長保育の当番保育士は毎日代わるが子どもが安心するよういつも同じ会計年度任用職員を配置している。

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>子どもの体格に合わせた椅子とテーブルを使用して安定して座り、楽しく食べている</p> <p>コロナ禍のため食事の時には、テーブルに飛沫防止のための透明の仕切りを置いていたが、現在は仕切りを外して黙食で食べるように声掛けしている。子どもたちの体格に合わせたテーブルや椅子を使って安定して座り、必要に応じて座面シートや脇あて、足台などの補助具を使用して、いつも同じ場所で友だちと一緒に安心して食べている。七夕やひな祭りなどの季節の行事には行事食をランチプレートで提供し、手作りランチョンマットや音楽を流して雰囲気作りをしている。幼児クラスの誕生日にはお祝いの当日に誕生日プレートを提供している。</p> <p>食物アレルギー児には除去食・代替え食で対応し、誤食を防ぐ配慮をしている</p> <p>食物アレルギー児対応はマニュアルに沿っておこない、除去食や代替え食を提供している。月末頃に、該当児の保護者に翌月の献立の食材チェックをしてもらい提出されたものを基に、担任、調理職員、看護師、園長が参加してアレルギー会議を開いている。当日はアレルギー児には名前と除去食品を明記したトレーを使用して配膳し、クラスに複数の除去食品該当児がいる場合には、トレーの色を変えて対応している。調理室から受け取る際には調理職員と、子どもに提供する際には担任同士で、声出し確認している。誤食を防ぐために別テーブルで食事をしている。</p> <p>園庭のプランターなどで野菜を栽培し収穫して調理してもらい、食べている</p> <p>幼児クラスが園庭のプランターでメロンやキュウリ、オクラ、西瓜などを、麻袋でさつま芋を栽培している。土作りや苗植え、水やりをしながら生育を観察し、収穫後に調理してもらい食べている。さつま芋は収穫して焼き芋をする予定である。調理体験として、おにぎりやおやつ時には幼児クラスはラップおにぎりをしている。調理職員は子どもの昼食や午後のおやつ時に巡回して喫食状況を見たり、食べ物の話や食材の説明をし、食事のマナーを知らせている。献立にスープがある日には型抜き人参入りのスープを幾人かに提供し、子どもは楽しみにしている。</p>		
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>自分の健康や安全などに気づき、病気や怪我を予防できるよう健康教育に取り組んでいる</p> <p>年間保健計画を作成して、子どもが自分の健康や安全に関心をもてるよう健康教育をしている。看護師は、実際の手洗いを確認し、見本を見せて手の洗い方が身に付くよう指導している。幼児の視力測定の際には目の働きについて、プール遊びや水遊びの前には、プライベートゾーンや水遊びの約束について、絵など視覚的な教材を使ってわかりやすく知らせている。保育士は日々の保育活動の中で危険な場所や遊び方を知らせ、散歩に出掛けて道路の歩き方などの交通安全のルールや知らない人については行かないことなどを伝えている。</p> <p>園児の健康管理のために、身体測定や定期健康診断・歯科健診などを実施している</p> <p>園児の健康管理のために、嘱託の園医による全園児対象の定期健康診断を年2回、0歳児健診を月2回実施している。専門医による全園児対象の歯科健診、幼児対象の耳鼻科・眼科健診を年1回実施している。園医の来園の際は、園児の健康に関する相談をし、アドバイスをもたらしている。その他、身体測定を月1回実施して、結果を健康カードで保護者に知らせている。また、専門業者による布団乾燥や園舎消毒を定期的におこない、衛生管理に努めている。</p> <p>保健だよりの発行や感染症発生情報の掲示などで、広く情報提供している</p> <p>毎月保健だよりを発行して、季節や時期に応じた子どもの健康に関する情報を提供し、4・5月には園医の紹介や集団生活における予防すべき感染症、春季健診、子どものマスク着用、園での服装、虫よけ、感染症発生件数などを掲載している。感染症発生情報などは0・1歳児は1階の廊下、2～5歳児は各保育室前の掲示板にも掲示して注意を喚起している。園における昼寝時には午睡チェックを実施している。また、子どもの爪は薄く伸びやすい上、思わぬ怪我につながることから、毎週月曜日には爪の点検をし、保護者にも爪切りをお願いしている。</p>		

## 8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	<input type="radio"/> 非該当

## 評価項目8の講評

子育てや就労などの個々の事情は申し出てもらい、園で可能な配慮をしている

入園時に家庭調査票を提出してもらい、面接をして就労状況や通勤時間に応じて保育時間を決定し、年度初めに家庭調査票を提出してもらい、変更がある場合は申し出てもらって受けている。急な残業などで迎えが遅くなる場合は連絡してもらい、18時31分以降になる場合はスポット延長保育の利用をお願いしている。土曜日に仕事が入って保育が必要になった場合、事前に申し出てもらって受けている。その他、子育てや家庭の事情なども申し出てもらい、園で対応できることは可能な限り配慮している。

保護者会を開催し、懇談時間を確保して交流の機会にしている

年間2回の保護者会を実施している。前期保護者会は5～6月に予定していたが、コロナ禍のために、0・1歳児の保護者会は中止となった。しかし、用意していたスライドの画像を廊下に掲示し、クラスだよりで紙面上の交流をおこなった。他のクラスも例年より短時間で実施し、保護者同士の懇談時間は15分間程で、テーマを決めて一言ずつ発言してもらった。クラスからは保育目標や年齢発達の子どもの姿を伝え、園での子どもの様子をスライドでみてもらい、保育の中で大切にしたいことなどを伝えている。0歳児は親子の写真を受け渡し室に掲示している。

保育参観・参加の声掛けをして、個人面談の日などに保育を見てもらっている

例年保育参観・参加は随時受け入れていたが、コロナ禍のため前年度は保育参観のみを実施し、本年度は一日の参加者を少なくして参観か参加どちらかを保護者に選んでもらい、実施している。個人面談の日には保育参観・参加の声掛けをして、子どもの様子を見てもらってから個人面談をしているケースが多い。面談の日には都合が合わなければ別日でも受けている。保護者の保育行事参加は幼児クラスが対象の運動会と5歳児の卒園式であるが、前年度の5歳児は後期保護者会で子どもたちが劇ごっこをして保護者に観てもらっている。

## 9 評価項目9

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当

## 評価項目9の講評

子どもたちは公園へ散歩に出掛けて遊び、地域の方に笹竹や孟宗竹を頂いている

地域の公園などを散歩で利用している。コロナ禍前は図書館の団体貸し出しに5歳児も同行して選本し、絵本を読み、公共施設利用のルールを学ぶ機会としていたが、現在は職員のみで貸し出し選本に行っている。また、併設の子ども子育てプラザの利用者向け講座には園の職員が講師となって、トイレトレーニングのすすめ方や子どもの好きな遊びの紹介などを行っている。併設のゆうゆう館(高齢者活動施設)との交流は現在中止している。例年、地域の方から七夕の笹竹や運動会で使う盛り棒用の孟宗竹をいただいているので、職員が切らせてもらいに行っている。

大学生のボランティアを受け入れて、子ども達と遊んでもらっている

コロナ禍前はお話のボランティアに来てもらっていたが、現在は中止している。大学生のボランティア1名を3日間受け入れて、子どもたちと一緒に遊んでもらっている。今後、清掃事務所の職員による環境エコ教室や警察署による交通安全教室を予定している。

地域への園庭開放は中止しているが、保育施設の職員同士の交流を実施している

コロナ禍のために、地域で子育て中の親子のため園庭開放は中止している。杉並区の中核園事業として地域の保育施設同士の交流を予定しているが、現在は職員同士の交流・学び合いのみを実施している。今後のコロナウイルス感染状況の変化により、子ども同士の交流にも広げる予定にしている。



事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている
タイトル①	一人ひとりの発達や健康状態に応じ、子どもの心に寄り添う保育を心掛けている	
内容①	「一人ひとりを大切に子どもの心に寄り添う」を保育方針の一つにしている。0～2歳児クラスでは一人ひとりの子どもの月齢や発達、生活リズム、健康状態などに合わせた、きめ細やかな保育を心掛けているので、年間指導計画にはクラスとしての目標や配慮、4期のねらいと配慮点を記載し、そして養護と教育の項目の内容については期毎ではなく月齢毎の子どもの姿を作成している。保育士は一人ひとりの子どもとのかかわりを大切にして、できるだけ少人数で過ごす時間を持ち、子どもの思いや主張などを受け止めて、安心して自分が出せるようにしている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル②	草花や虫などの自然に触れる環境作りを目指して、園庭に雑草などを生やしている	
内容②	園庭の一部には子どもたちが森と呼ぶ段差のある緑地帯があり、草花に触れたり虫探しができるが、森の道歩けるのは幼児クラスにしている。森に、百日紅の花が咲き、庭に落ちた花びらをままごとなどに使って遊んでいる。地域には自然豊かな公園が多く、散歩に出掛けて草花摘みや虫探しなど自然に触れて遊び、アゲハ蝶の幼虫やてんとう虫、カマキリ、ダンゴムシなどの生き物を見つけて飼育・観察し、図鑑で調べて自然の不思議さに触れている。より一層身近な自然に触れる環境を作ろうと、園庭・プランターには意図的に雑草を生やしている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる
タイトル③	「気づいたことメモ」を活用し、提案から実行へと迅速に対応している	
内容③	誰もが気づいたときにすぐに「気づいたことメモ」に記入し、毎日のミーティングでその内容を確認している。課題や問題点を皆で共有し、速やかに検討・解決できるようにしている。検討が必要なものは再度時間を設け、課題として挙げられている。この取り組みにより、問題が先延ばしになることがなくなった。「気づいたことメモ」の活用により、職員アンケートでは「自分の声を出しやすい雰囲気になっている」とのコメントが寄せられた。職員個々がより良い保育・園運営に向けてさまざまな提案をできるよう工夫している。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	保育園が1階部分のため、どの保育室からもすぐに園庭に出ることができ、広い園庭でのびのびと遊び、異年齢の自然な交流もできている
	内容	建物の1階部分が保育園で、どこか部屋からもすぐに園庭に出ることができる。園庭は長方形で見通しが良く、コロナ禍で一時的に乳児・幼児に分かれて利用しているが、全園児が出て遊べる広さがあり、遊びを通して自然な異年齢交流の場になっている。0・1歳児がベランダで遊んでいる時には、園庭で遊ぶ幼児クラスが乳児クラスの子ども達に声を掛けている姿が良く見られている。園庭には鉄棒や砂場などの固定遊具、スーパーネット、ターザンロープ、可動遊具のバスマット、マルチパーツなども用意し、子どもたちはのびのびと遊んでいる。
2	タイトル	季節ならではの遊びを大事にし、夏にはいろいろな水遊びをして楽しんでいる
	内容	季節ならではの遊びを取り入れて、子どもの感性を育てているので、夏には、いろいろな水遊びを楽しんでいる。水遊びは園庭の遮光ネットの下で、熱中症注意アラート計で気温、湿度を測り、水分補給をしながら安全に遊んでいる。いろいろな道具を使ってたらいの水を汲んだり、小さなスプーンでスーパーボールすくい、水で濡らしたスポンジ遊び、ペットボトルに穴をあけたシャワーなどで遊び、プールマットに座り、地面から噴き出るシャワーで水の感触を楽しみ、水を入れた2つのペットボトルをホースでつないで傾けながら水を移動を観察したりしている。
3	タイトル	子どもにもわかりやすい、絵やイラスト、教材などを用いて健康教育に取り組んでいる
	内容	看護師が中心となり、子どもにもわかりやすい言葉と絵などを用いて、さまざまな健康教育をしている。目の働きは眼科健診前に知らせている。鼻のかみ方を知らせる時は、鼻水にはたくさんのばい菌が入っているので、出たらかむこと、鼻をかむ時は片方ずつかむと耳を傷めないなどを知らせて実際に練習している。水遊びの前には、着替えの際に意識するよう水着で隠すところはプライベートゾーンと言って自分の大事なところであると伝えている。また、他の人には見せない・触らせない、他の人のプライベートゾーンものぞいたりしてはいけないとも伝えている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	子どもの身近な手作り遊具や用品などの紙の剥がれなどは整えて、これまで以上に心地よく生活できる保育環境作りを期待する
	内容	子どもたちが興味や関心をもって主体的に活動できる環境を整えることを大切に保育をしている。保育室にある子どもたちの遊びに欠かせない手作りの段ボール製大型遊具や飲料用紙パック製遊具類などは愛用してよく使っているため、貼った紙が剥がれたりうす汚れたりしているものがあり、幼児クラスのパズル入れの玩具棚も経年劣化し薄汚れた物が見受けられた。今後は、これまで以上に子どもに身近な遊具や用品などを整え、心地よい保育環境作りを期待する。
2	タイトル	これまで以上に、保護者が参加しやすい行事や保護者会の実施について検討を期待する
	内容	保護者参加の行事は幼児クラスの運動会と5歳児の卒園式、保護者会が年2回と個人面談である。コロナ禍前は夏祭りも保護者に参加してもらっていた。年間行事予定表は年度初めに配付して予定日を知らせている。利用者調査の行事の日程への配慮についての設問には、保護者会の日程をもう少し早く知らせて欲しい、できれば土曜日にして欲しいなどの意見が寄せられている。今後は、予定日だけでなく時間も知らせるなどこれまで以上に保護者が参加しやすい行事の実施について検討を期待する。
3	タイトル	会計年度短時間職員との情報共有に向けてより一層の充実を期待する
	内容	幹部層も、会計年度任用職員への周知が貼り紙になり、コミュニケーションをとる時間がなかなか取れずにいることを課題としている。会計年度任用職員は、全体の約44%となっており、保育の質の向上において欠かせない存在となっている。そのため、区保育課主催の研修を受講し、保育で必要な事項について学ぶことができるようになってきている。今後は、会計年度任用職員との情報共有・情報交換の場をさらに増やし、心配や不安の聴取とともに、これまで以上に同じ方向性を持って日々の保育にあたっていかれることを期待する。

# 卷末 付属資料

付属資料 1 : 利用者調査 調査票

付属資料 2 : 事業プロフィール

付属資料 3 : 経営層合議用シート (組織マネジメント・サービス分析)

付属資料 4 : 職員用シート (組織マネジメント・サービス分析)



**2022年度(令和4年度)**  
**認可保育所**  
**杉並区立〇〇保育園 利用者調査**

**調査のお願い**

このたび、〇〇保育園では、よりよい保育サービスの実施をめざして、東京都の福祉サービス第三者評価を実施することになりました。

この評価は、東京都福祉サービス評価推進機構によって認証されている特定非営利活動法人 NPOサービス評価機構が実施いたします。

第三者評価にあたって、〇〇保育園を利用されている保護者の方が、日常の保育サービスに対して、どのように感じていらっしゃるかを把握するため、アンケート調査を実施することになりました。

調査結果は、〇〇保育園のサービスを評価するために使用し、定められた項目については、インターネット※を通じて公表されることになっています。

また、調査結果は統計的に処理したうえで使用しますので、記入者を特定したり、第三者評価の目的以外に使用したりすることは絶対にいたしません。

お忙しいところたいへん申し訳ありませんが、調査の趣旨をご理解のうえ、ぜひご協力いただきますようお願い申し上げます。

※ 第三者評価結果は「とうきょう福祉ナビゲーション」で公表しています。  
「福ナビ」で検索 <http://www.fukunavi.or.jp>

■ 記入に当たって

- ・この調査は、〇〇保育園を利用されている保護者の方がご回答ください。
  - ・あてはまる番号に○をつけてください(調査票は両面で5ページあります)。
  - ・質問内容が、ご自身にとって「経験がない」「認識がない」など該当しない場合には、「4 非該当」に○をつけてご回答ください。
  - ・質問ごとにご意見などがある場合は、(自由意見)欄にご記入ください。
  - ・この調査票は、別添の返信用封筒をご利用のうえ、**7月15日(金)**までに、〇〇保育園にあります回収箱或いは、郵便ポストに投函していただきますようお願い申し上げます。なお、切手を貼る必要はありません。
- この調査に関してのお問い合わせは、下記にお願いします。

問合せ先  
特定非営利活動法人 NPOサービス評価機構  
第三者評価担当者  
〒166-0004  
東京都杉並区阿佐谷南3-35-15-1104  
☎ 03-5347-0616

現在ご利用の保育園についておたずねします

あなたの気持ちに最も近い番号を1つだけ選び、○印をお付けください。

複数のお子さんがいらっしゃる場合は、一番年齢の低いお子さんの例でご回答ください。

《毎日の保育サービスについてお聞きします》

	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当
問1. 園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問2. 園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問3. 園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問4. 戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問5. 急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問6. 安全対策が十分取られていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問7. 行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問8. お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				

《安心・快適性》

	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当
問9. 園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問10. あなたは、職員の言葉遣いや態度、服装などが適切だと思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問11. お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問12. 子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	1	2	3	4
(自由意見)				

《利用者個人の尊重》

	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当
問13. あなたは、職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問14. あなたやお子さんのプライバシー（他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問15. お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				

《不満・要望への対応》

	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当
問16. あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問17. あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	1	2	3	4
(自由意見)				

《総合的な感想についてお聞きします》

〔1〕現在利用している保育園を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか。

(1つに○)

大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満
1	2	3	4	5

〔2〕日頃お感じになっている保育園に対するご意見・ご要望など、ご自由にお書きください。

〔3〕今回の調査についてお気づきになった点など、ご自由にお書きください。



最後に保護者の方とお子さんについておたずねします

F 1. 調査票記入者 (1つに○)

- |      |      |          |            |
|------|------|----------|------------|
| 1. 父 | 2. 母 | 3. 父母一緒に | 4. その他 ( ) |
|------|------|----------|------------|

F 2. 調査票記入者の年齢 (主に中心になって回答した方) (1つに○)

- |             |             |             |             |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. 20歳未満    | 2. 20～25歳未満 | 3. 25～30歳未満 | 4. 30～35歳未満 |
| 5. 35～40歳未満 | 6. 40～50歳未満 | 7. 50歳以上    |             |

F 3. 保護者の勤務形態 (○は各1つ)

- |                       |              |        |       |            |
|-----------------------|--------------|--------|-------|------------|
| ①父                    |              |        |       |            |
| 1. 常勤 (フルタイム)         | 2. パート、アルバイト | 3. 自営業 | 4. 無職 | 5. その他 ( ) |
| ②母                    |              |        |       |            |
| 1. 常勤 (フルタイム)         | 2. パート、アルバイト | 3. 自営業 | 4. 無職 | 5. その他 ( ) |
| ③その他の保護者(主にお迎えに行かれる方) |              |        |       |            |
| 1. 常勤 (フルタイム)         | 2. パート、アルバイト | 3. 自営業 | 4. 無職 | 5. その他 ( ) |

F 4. お子さんが通うクラス (複数のお子さんがいらっしゃる場合は、該当する全部に○)

- |           |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 0歳児クラス | 2. 1歳児クラス | 3. 2歳児クラス | 4. 3歳児クラス |
| 5. 4歳児クラス | 6. 5歳児クラス |           |           |

ご協力ありがとうございました。

この調査票は、別添の封筒をご利用のうえ、○月○日までに投函してください。

事業プロフィール | (7 定員及び現在の利用者 内訳) 認可保育所 版

7 定員及び現在の利用者 ( 年 月 現在)  
 ※下記の利用者の状況が分かる表を添付するか、下の空白部分に書き込んでください。

(1) 一般保育

	定員 (人)	利用者児 (人)
0歳児		
1歳児		
2歳児		
3歳児		
4歳児		
5歳児		
計		

(2) 多様な保育サービス

	定員 (人)	利用者児 (人)	料金 (円)	備考
産休明け保育				
延長保育事業				( ) 時間延長
病児・病後児保育事業				
休日保育				
一時預かり事業				
障害児保育事業				
分園設置				
アレルギー児対応				
夜間保育				
育児困難家庭への支援				
外国人児童受入れ				
年末年始保育				
子育て広場※1				事業内容番号
在宅子育て支援※2				事業内容番号
その他( )				
計				

※1 子育て広場には、つどいの広場を含む。

※2 「在宅子育て支援」欄は、在宅子育て家庭を対象とした子育て支援事業を実施している場合に、備考欄に下記の事業内容番号を記入すること。

- ①育児相談 ②育児講座 ③保育所体験 ④出産を迎える親の体験学習  
 ⑤子育てサークル支援 ⑥子育て情報誌の発行 ⑦家庭訪問 ⑧出前保育

## 事業プロフィール

1 事業所名（サービス種別）： ( )

2 (1) 運営主体（法人名等）：

(2) 設置主体：

3 事業所所在地：

4 事業所の長の氏名（施設長等）：

5 連絡先

Tel		Fax	
Eメール		ホームページ	

6 同一運営主体が同じ敷地内で連携して実施している主な福祉・医療サービスを利用者数からみて上位5つ以内（例、特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービスなど、評価対象事業を含む。）

- (1)
- (2)
- (3)
- (4)
- (5)

7 定員および現在の利用者  
※内訳は別紙のとおり

8 職員の状況

(1) 職員数

区 分	計	男性	女性
常 勤 職 員 数			
非 常 勤 職 員 数			
計			

(常勤換算 \_\_\_\_\_ 人)

(計算式：非常勤職員のそれぞれの勤務延べ時間数の総数÷当該事業所の常勤職員が勤務すべき時間数)

(2) 専門職員の人数

専門職の名称	人数	専門職の名称	人数	専門職の名称	人数

(3) 非常勤職員の勤務形態と業務内容

\*職員種別は、パート、アルバイト、派遣、契約等、施設で通常使用している呼称でご記入ください。

職員種別	人数	勤務形態 (勤務時間、シフト)	業務内容

(4) 前年度採用・退職の状況

	計	常勤	非常勤
採用			
退職			

(5) 常勤職員の平均年齢 \_\_\_\_\_ 歳

(6) 常勤職員の平均在職年数 \_\_\_\_\_ 年（現在の事業所での在職年数とする）

(7) 直接支援に携わっている職員（非常勤は常勤換算）1人当たりの利用者数 \_\_\_\_\_ 人  
(計算式：定員÷直接支援に携わっている職員数)

9 実習生の受け入れ状況

前年度の実習生受け入れ人数

人

【内訳】

実習の種類	受け入れ人数

10 ボランティアの受け入れ状況

前年度のボランティア受け入れ人数

人

【内訳】

ボランティアの内容	受け入れ人数

11 平面図等施設の状況がわかるものを添付

## 事業プロフィールⅡ

### 1 理念・ビジョン、基本方針など (関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定)

事業者が大切にしている考え(事業者の理念・ビジョン、基本方針など)のうち、特に重要なもの(上位5つ程度)を簡潔に記述(関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定)

1)

2)

3)

4)

5)

※ 理念・ビジョン、基本方針などがわかるものを添付して下さい。

### 2 サービス提供の考え方について記述 (関連 カテゴリー6 サービス提供のプロセス)

日々の業務の考え方、利用者ニーズに合わせた事業者独自の取り組み、利用者や家族との関係、地域との関係を含む

### 3 期待する職員像 (関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上)

(1) 職員に求めている人材像や役割

※ 事業所のキャリアパス(事業所が求める職責または職務内容に応じた人材像)があれば添付して下さい。

(2) 職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)

### 4 現在のサービス提供能力と利用者数(関連 カテゴリー6 サービス提供のプロセス)

(以下のどれかに○をつける)

- 1) サービスを希望しながら待っている人(事業所に登録している待機者)がかなりいる
- 2) ほぼサービス提供能力に見合った利用者数で、待っている人はほとんどいない(ほぼ定員を満たしている)
- 3) サービス提供能力に余力があり、希望者があれば受け入れたい
- 4) その他( )

5 3年後の見通し(関連 カテゴリー2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行)

(以下、〔契約による利用〕、〔措置など契約以外による利用〕のどちらかを選んだうえで、一つに○をつける)

〔契約による利用〕

- 1) 利用者数の増加を見込んでサービス提供能力を拡大する計画がある
- 2) サービス提供能力を拡大する計画はないが、ほぼ現在のサービス提供能力に見合う利用者数は維持できると思う
- 3) 現在の利用者数を維持するのは経営改善・サービス改善をしていかないとかなり難しい情勢になっているのではないかと思う
- 4) その他 ( )

〔措置など契約以外による利用〕

- 1) 施設規模の拡大または新たなサービス提供を行う計画がある
- 2) 現在の施設規模、サービス提供能力を維持する方向で考えている
- 3) 現在のサービス提供能力を維持するのは、経営改善・サービス改善をしていかないとかなり難しい情勢になっているのではないかと思う
- 4) その他 ( )

6 評価対象のサービス事業に関して事業者として力を入れて取り組んでいる点を、人的サービス面と設備面に分けて、重要な順に各3つ以内で記述 (関連 カテゴリー2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行)

〈人的サービス面〉

- 1)
- 2)
- 3)

〈設備・環境面〉

- 1)
- 2)
- 3)

7 当該事業の開始時から現在までの重要な変遷 (制度改正に基づくもの含む)

- 1) 開始時期                      年        月
- 2) 重要な変遷

8 経営に影響を与えていると考えている事業環境の変化を記述 (制度改正を含む) (関連 カテゴリー2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行)



〔令和4年度〕

# 組織マネジメント分析シート 【自己評価用】

## 経営層合議用

作成日 (完成日)	令和	年	月	日
施設・事業所名				
作成関係者		(役職名)	(氏名)	

カテゴリー
1. リスクマネジメントと意思決定
2. 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行
3. 経営における社会的責任
4. リスクマネジメント
5. 職員と組織の能力向上
6. サービス提供のプロセス
7. 事業所の重要課題に対する組織的な活動

網掛け部が組織マネジメント分析シートに該当します

### ■組織マネジメント分析シートを用いた自己評価を実施するにあたっての記入手順

#### 【カテゴリー1～5】

- 評価項目に対する事業所の取り組み状況を確認するために、「標準項目」の実施状況をチェック☑します。「標準項目」にはどんな事象が該当するのか、「評価項目」の〔ねらい〕を確認のうえ「カテゴリー」及び「サブカテゴリー」の趣旨から外れないように合議します。  
また、各「標準項目」に該当するあなたの事業所における実践例を「私たちの実践例」欄に、その取り組みの記録等に当たるものを「その実践の記録等」欄にそれぞれ記入します。記録等と実践例が同じである場合、「その実践の記録等」欄は省略できます。
- 「標準項目」ができていると確認するための要件は、次の1、2、3をすべてを満たした場合です。
  - 事業者が当該事項を実施していること
  - その実施が継続的（必要性を認識し、計画的）であること ⇒ 「私たちの実践例」欄に記入する内容です。
  - その根拠が示せること ⇒ 「その実践の記録等」欄に記入する内容です。
- ひとつのカテゴリー内のすべての標準項目について確認した後に、「カテゴリー」全体を通じて「良いと思う点」「改善する必要があると思う点」を記述します。
  - ⇒ 「良いと思う点」
    - ・力を入れて取り組んでいること ・工夫して取り組んでいること ・独自に取り組んでいること
    - ・自信を持って取り組んでいること ・利用者に知ってもらいたいこと など
  - ⇒ 「改善する必要がある点」
    - ・改善の必要があると認識していること ・改善計画中のこと
    - ・改善に取り組んでいること など

#### 【カテゴリー7】

前年度に行った、事業所の重要課題（サービス提供のプロセスに関するものも含む）に対する組織的な活動を記載します。

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題についての、前年度の目標設定、目標に対する取り組み、取り組みの結果を踏まえた今年度の事業活動への反映事項を記入します。

そして、前年度に事業所の重要課題に対する活動がPDCAサイクルに基づいて行われたかどうか、評価機関が客観的に判断し、①目標の設定と取り組み、②取り組みの検証、③検証結果の反映を評語を用いて評価します。



## カテゴリー1 リーダーシップと意思決定

### サブカテゴリー1 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている

#### 評価項目 1-1-1

事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している

- [ねらい]・理念・ビジョン、基本方針を達成するためにそれを職員や利用者等の関係者がわかるように周知しているか  
 ・それを職員の日頃の行動に結びつけるための取り組みを行っているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="checkbox"/>		
2	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="checkbox"/>		

#### 評価項目 1-1-2

経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている

- [ねらい]・経営層は、理念等を実現するため、自らの役割と責任を職員にわかりやすく伝えているか  
 ・経営層は、理念等を実現するために、方向性を示しリーダーシップを発揮しているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	<input type="checkbox"/>		
2	経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	<input type="checkbox"/>		

#### 評価項目 1-1-3

重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

- [ねらい]・重要な案件については、組織として決定する手順をあらかじめ定めているか  
 ・職員や利用者等に意思決定過程の透明性を図っているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	<input type="checkbox"/>		
2	重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	<input type="checkbox"/>		
3	利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	<input type="checkbox"/>		

### カテゴリー1 について リーダーシップと意思決定

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
---------------	----------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者にとって知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

**カテゴリー2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行**

**サブカテゴリー1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している**

評価項目 2-1-1

事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

[ねらい]・利用者や職員の意向、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向、事業所の経営状況などを、様々な機会をとらえて積極的に把握・検討し、対応すべき課題を抽出しているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="checkbox"/>		
2	事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="checkbox"/>		
3	地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="checkbox"/>		
4	福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="checkbox"/>		
5	事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="checkbox"/>		
6	把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="checkbox"/>		

**サブカテゴリ-2 実践的な計画策定に取り組んでいる**

**評価項目 2-2-1**

事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している

[ねらい]・事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた事業計画や予算が策定されているか  
 ・その計画や予算は現場や利用者の意向、地域福祉のニーズや事業所の課題等を踏まえたものとなっているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="checkbox"/>		
2	中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="checkbox"/>		
3	策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="checkbox"/>		

**評価項目 2-2-2**

**着実な計画の実行に取り組んでいる**

[ねらい]・策定した計画に基づいて、進捗状況に応じ見直しを行いながら、目標達成に向けて取り組んでいるか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="checkbox"/>		
2	計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		

**カテゴリ-2 について 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行**

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
---------------	----------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

### カテゴリ-3 経営における社会的責任

#### サブカテゴリ-1 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

評価項目 3-1-1

社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる

[ねらい]・事業所が社会的な役割を果たすために、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを、職員に対して周知・徹底しているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		
2	全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している	<input type="checkbox"/>		

#### サブカテゴリ-2 利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている

評価項目 3-2-1

利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている

[ねらい]・事業所内外の苦情解決制度や相談窓口を機能させるとともに、様々な機会をとらえて利用者の意向を把握し、組織全体で迅速に対応する体制を整えているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="checkbox"/>		
2	利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="checkbox"/>		

評価項目 3-2-2

虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている

[ねらい]・虐待の防止と早期発見、早期対応を行う体制を、組織として整えているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="checkbox"/>		
2	虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="checkbox"/>		

**サブカテゴリ-3 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている**

**評価項目 3-3-1**

透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる

[ねらい]・地域社会への情報開示などにより透明性を高め、地域社会に開かれた組織となって、地域との関係づくりに取り組んでいるか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		
2	ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="checkbox"/>		

**評価項目 3-3-2**

地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている

[ねらい]・事業所が有している機能や福祉の専門性を活かしながら、関係機関と連携して地域の一員としての役割を果たすための取り組みを行っているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="checkbox"/>		
2	事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="checkbox"/>		
3	地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		

**カテゴリ-3 について 経営における社会的責任**

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
---------------	----------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

## カテゴリ4 リスクマネジメント

### サブカテゴリ1 リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる

評価項目 4-1-1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる [ねらい]・事業所が目指していることの実現を阻害するリスクを洗い出し、必要なリスクマネジメントの対策をとっているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="checkbox"/>		
2 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="checkbox"/>		
3 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="checkbox"/>		
4 リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		
5 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		

### サブカテゴリ2 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

評価項目 4-2-1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている [ねらい]・事業所に必要な情報を適切に収集、整理した上で、組織的に管理・保護し、活用を図っているか ・事業所で扱っている個人情報の取り扱いについて、規程・体制を整備し、必要な対策を講じているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="checkbox"/>		
2 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="checkbox"/>		
3 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="checkbox"/>		
4 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="checkbox"/>		

### カテゴリ4 について リスクマネジメント

良いと思う点	改善する必要があると思う点

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者を知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

## カテゴリー5 職員と組織の能力向上

### サブカテゴリー1 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる

#### 評価項目 5-1-1

事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている

[ねらい]・理念・ビジョン、基本方針の実現に必要な人材確保や配置を行っているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="checkbox"/>		
2	事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		

#### 評価項目 5-1-2

事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している

[ねらい]・事業所として求める人材像を具体的に定め、それに基づくキャリアパスを職員へ周知しているか  
・事業所のキャリアパスと事業所の人材育成計画が整合しており、職員のキャリアアップを支援しているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="checkbox"/>		
2	事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="checkbox"/>		

#### 評価項目 5-1-3

事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる

[ねらい]・事業所が目指していることの実現に適した人材の育成に向けて、個人の意向、理解度、到達状況、就業状況に合わせ、きめ細かい指導を行っているか  
・指導者の支援に取り組んでいるか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="checkbox"/>		
2	職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="checkbox"/>		
3	職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="checkbox"/>		
4	指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 5-1-4

職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる

[ねらい]・職員の定着により組織力を発揮するために、事業所として職員の意識を把握して、意欲向上に向けた働きかけを行っているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="checkbox"/>		
2	就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		
3	職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		
4	職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリ-2 組織力の向上に取り組んでいる

評価項目 5-2-1

組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる

[ねらい]・組織力の向上に向け、職員一人ひとりの学びや気づきの共有化を図るなど、チーム力を発揮できるようどのように取り組んでいるか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="checkbox"/>		
2	職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="checkbox"/>		
3	目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		

カテゴリ-5 について 職員と組織の能力向上

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
---------------	----------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。



**カテゴリ 7 事業所の重要課題に対する組織的な活動**

**サブカテゴリ 1 事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている**

**評価項目 1**

・事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

**【課題・目標】**

事業所の理念・基本方針の実現を図るための重要課題(事業計画に掲げた事項等)、そしてその課題に対して前年度に設定した目標を記載します。(重要課題の中で、前年度中に達成すべきとしていた短期的な目標を記載する。)

○上記の課題を抽出した理由・背景

**【取り組み】**

上記の目標を達成するために、前年度に行った具体的な取り組み(体制・期間・内容等)を記載します。

**【取り組みの結果】**

前年度末までの取り組みの状況や目標達成の度合いを具体的に記載します。

**【振り返り(検証)・今後の方向性】**

【取り組みの結果】について検証した内容と、どのように今年度の目標設定や取り組みに反映したかを記載します。

**評価項目 2**

・事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

**【課題・目標】**

事業所の理念・基本方針の実現を図るための重要課題(事業計画に掲げた事項等)、そしてその課題に対して前年度に設定した目標を記載します。(重要課題の中で、前年度中に達成すべきとしていた短期的な目標を記載する。)

○上記の課題を抽出した理由・背景

**【取り組み】**

上記の目標を達成するために、前年度に行った具体的な取り組み(体制・期間・内容等)を記載します。

**【取り組みの結果】**

前年度末までの取り組みの状況や目標達成の度合いを具体的に記載します。

**【振り返り(検証)・今後の方向性】**

【取り組みの結果】について検証した内容と、どのように今年度の目標設定や取り組みに反映したかを記載します。

事業所の特に良いと思う点 特に改善したいと思う点

特に良いと思う点	特に改善したいと思う点

注)これは「サービス分析シート(カテゴリ6 サービス提供のプロセス)」の評価結果を含めて記述してください。

〔令和4年度〕

認可保育所

サービス分析シート  
(6. サービス提供のプロセス)  
【自己評価用】

経営層合議用

作成日 (完成日)	令和	年	月	日
施設・事業所名				
作成関係者	(役職名)	(氏名)		

カテゴリー
1.リーダーシップと意思決定
2.事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行
3.経営における社会的責任
4.リスクマネジメント
5.職員と組織の能力向上
6.サービス提供のプロセス
7.事業所の重要課題に対する組織的な活動

網掛け部がサービス分析シートに該当します

■サービス分析シートを用いた自己評価を実施するにあたっての記入手順

- 評価項目に対する事業所の取り組み状況を確認するために、「標準項目」の実施状況をチェック☑します。  
「標準項目」にはどんな事象が該当するのか、「評価項目」の〔ねらい〕を確認のうえ「カテゴリー」及び「サブカテゴリー」の趣旨から外れないように合議します。  
また、各「標準項目」に該当するあなたの事業所における実践例を「私たちの実践例」欄に、その取り組みの記録等にあたるものを「その実践の記録等」欄にそれぞれ記入します。記録等と実践例が同じである場合、「その実践の記録等」欄は省略できます。
- 「標準項目」ができていると確認するための要件は、次の1、2、3をすべてを満たした場合です。
  - 事業者が当該事項を実施していること
  - その実施が継続的（必要性を認識し、計画的）であること ⇒ 「私たちの実践例」欄に記入する内容です。
  - その根拠が示せること ⇒ 「その実践の記録等」欄に記入する内容です。
- 標準項目について確認した後に、「良いと思う点」「改善する必要があると思う点」を記述します。
  - サブカテゴリー1～3及び5、6は、サブカテゴリーごとに記述します。
  - サブカテゴリー4「サービスの実施」は、評価項目ごとに記述します。⇒「良いと思う点」
  - 力を入れて取り組んでいること ・工夫して取り組んでいること ・独自に取り組んでいること
  - 自信を持って取り組んでいること ・利用者に知ってもらいたいこと など⇒「改善する必要がある点」
  - 改善の必要があると認識していること ・改善計画中のこと
  - 改善に取り組んでいること など

## カテゴリー6 サービス提供のプロセス

### サブカテゴリー1 サービス情報の提供

評価項目 6-1-1

利用希望者等に対してサービスの情報を提供している

[ねらい] ・サービスを選択するための情報が、利用者に届くように工夫して提供しているか  
 ・パンフレットやホームページ等の存在のみを評価するものではない

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="checkbox"/>		
2	利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="checkbox"/>		
3	事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="checkbox"/>		
4	利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="checkbox"/>		

### サブカテゴリー1 サービス情報の提供 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリー2 サービスの開始・終了時の対応

<p>評価項目 6-2-1                  サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている                  [ねらい] ・サービス開始時に、保護者の状況に応じたサービス内容の説明をしているか                  ・十分な説明をしたうえで、保護者の意向を確認し、納得を得ているか</p>			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="checkbox"/>		
2 サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="checkbox"/>		
3 サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="checkbox"/>		
<p>評価項目 6-2-2                  サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている                  [ねらい] ・サービス開始時の環境変化による影響を緩和する取り組みをしているか                  ・子どもがサービスを終了する場合、子どもや保護者の不安を軽減するための取り組みをしているか</p>			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="checkbox"/>		
2 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="checkbox"/>		
3 サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリー2 サービスの開始・終了時の対応 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
---------------	----------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリー3 個別状況の記録と計画策定

評価項目 6-3-1

定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

- [ねらい] ・保育をするうえで必要な子ども個人の情報をどのように把握しているか
- ・子どもの状況に応じたアセスメントの手順や見直しの基準が確立しているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="checkbox"/>		
2	子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="checkbox"/>		
3	アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-3-2

全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

- [ねらい] ・全体的な計画や子どもの実態、子どもを取り巻く状況(保護者の意向を含む)をどのように取り入れ、指導計画を作成しているか
- ・個別的な計画を作成するしくみがあり、子どもの状況に応じて作成、見直しをしているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="checkbox"/>		
2	指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="checkbox"/>		
3	個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="checkbox"/>		
4	指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="checkbox"/>		
5	指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めうえで、必要に応じて見直しをしている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-3-3

子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

- [ねらい] ・職員が、子どもの状況の変化等をどのように記録しているか
- ・具体的な保育内容や子どもの変化等が適切に記録されているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="checkbox"/>		
2	指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-3-4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

- [ねらい] ・子どもに関する情報を職員間でどのように共有化しているか  
 ・日々の子どもの変化等をどのような方策で共有化しているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="checkbox"/>		
2	申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリー3 個別状況の記録と計画策定 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
---------------	----------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者にとって知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリー4 サービスの実施

評価項目 6-4-1

子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている

- [ねらい] ・一人ひとりの子どもの発達の過程をどのように把握しているか  
 ・集団での生活の中で子ども一人ひとりを尊重した援助をしているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	<input type="checkbox"/>		
2	子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	<input type="checkbox"/>		
3	子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	<input type="checkbox"/>		
4	特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	<input type="checkbox"/>		
5	発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	<input type="checkbox"/>		
6	【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-1 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
---------------	----------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者にとって知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。



評価項目 6-4-2

子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている

- [ねらい] ・子どもの生活の連続性に配慮した保育を行っているか  
 ・子どもの状態を保護者と保育所で共有することができているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	<input type="checkbox"/>		
2	発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	<input type="checkbox"/>		
3	休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	<input type="checkbox"/>		
4	降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-2 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点
--------	---------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者にとって良かったことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

- [ねらい] ・子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう、環境や取り組みにどのような工夫をしているか  
 ・教育の5領域に即した取り組みを、子どもの年齢や発達の状態に応じて行っているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="checkbox"/>		
2	子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="checkbox"/>		
3	子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	<input type="checkbox"/>		
4	子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	<input type="checkbox"/>		
5	戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	<input type="checkbox"/>		
6	生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-3 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点
--------	---------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者にとって良かったことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-4

日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

[ねらい] ・子どもが興味を持ち、協力して進められる行事をどのように実施しているか  
 ・行事の実施に対する保育所の考え・目的は何か

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	<input type="checkbox"/>		
2	みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="checkbox"/>		
3	子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-4 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
---------------	----------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-5

保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

[ねらい] ・保育時間の長い子どもがくつろげるような工夫をしているか  
 ・保育時間が長くなることにより保育形態や担当職員が変わっても、子どもが楽しく過ごせるようにしているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	保育時間の長い子どもが安心して、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="checkbox"/>		
2	保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-5 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
---------------	----------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

- [ねらい] ・年齢等にあった調理方法や食習慣に応じた食事を提供しているか  
 ・食育の推進にむけた取り組みを行っているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="checkbox"/>		
2	メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="checkbox"/>		
3	子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="checkbox"/>		
4	食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-6 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点
--------	---------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-7

子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

- [ねらい] ・子どもを病気や怪我から守る取り組みを行っているか  
 ・専門機関や保護者との連携をどのように行っているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	<input type="checkbox"/>		
2	医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	<input type="checkbox"/>		
3	保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-7 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点
--------	---------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

**評価項目 6-4-8**

**保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている**

- [ねらい] ・保護者の個々の事情に応じた子育て支援を行っているか  
 ・園で実施する保育活動に対し、保護者の理解や参加を促しているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	<input type="checkbox"/>		
2	保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="checkbox"/>		
3	保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="checkbox"/>		
4	子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="checkbox"/>		
5	保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	<input type="checkbox"/>		

**評価項目 6-4-8 について**

<p><b>良いと思う点</b></p>	<p><b>改善する必要があると思う点</b></p>
----------------------	-----------------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

**評価項目 6-4-9**

**地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている**

- [ねらい] ・子どもの生活の幅を広げる視点から、地域とのかかわりをどのように考えているか  
 ・子どもが地域とかがわる機会をどのように設けているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="checkbox"/>		
2	園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="checkbox"/>		

**評価項目 6-4-9 について**

<p><b>良いと思う点</b></p>	<p><b>改善する必要があると思う点</b></p>
----------------------	-----------------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリ5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目 6-5-1  
**子どものプライバシー保護を徹底している**  
 [ねらい] ・日常の中で、どのように子どものプライバシーの保護をしているのか  
 ・組織としての規定やしぐみに則って行動しており、属人的な対応になっていないか

標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="checkbox"/>		
2 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-5-2  
**サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している**  
 [ねらい] ・サービス提供の中で、子どもの権利を擁護し、意思を尊重しているか  
 ・子どもと保護者の価値観等を考慮し、その人らしい生活を尊重しているか

標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="checkbox"/>		
2 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="checkbox"/>		
3 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリ5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
---------------	----------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

**サブカテゴリー6 事業所業務の標準化**

**評価項目 6-6-1**

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

- [ねらい] ・業務の一定水準を確保するための手引書等を整備し、その内容に沿ったサービスを実施しているか  
 ・業務の標準化は、対人援助の単純化や画一化をめざすものではない

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="checkbox"/>		
2	提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="checkbox"/>		
3	職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="checkbox"/>		

**評価項目 6-6-2**

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

- [ねらい] ・業務の標準レベルを見直す仕組みを確立しているか  
 ・よりよいサービスをめざし、職員や保護者等の意見を反映して見直しを行っているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	<input type="checkbox"/>		
2	提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="checkbox"/>		

**サブカテゴリー6 事業所業務の標準化 について**

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
---------------	----------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

# 〔令和4年度〕

## 職員用組織マネジメント分析シート

### 記入の手引き

#### ■組織マネジメント分析シートの構成

この組織マネジメント分析シートは、6つの大きな「カテゴリー（評価の領域）」で構成されています。そして、それぞれのカテゴリーは、さらにサブカテゴリー、評価項目、標準項目（カテゴリー7を除く）と分かれ、より具体的な内容が記述されています。カテゴリー「6. サービス提供のプロセス」は、別紙「職員用サービス分析シート（6. サービス提供のプロセス）」で評価するため、このシートは使用しません。

#### ■評価の進め方

##### 【カテゴリー1～5】

- (1) カテゴリー1～5は、それぞれの標準項目について実施されているかどうか職員自己評価項目により評価を行っていただきます。
- (2) それぞれの質問に対し、「**そう思う**」「**そう思わない**」「**わからない**」のうち、あてはまると思うところに○印をつけてください。  
自分が直接関わっていない仕事についても、周囲の様子などから判断し、「**そう思う**」・「**そう思わない**」のいずれかに○をつけてください。  
見当がつかないという項目については「**わからない**」の欄に○をつけてください。
- (3) 「**事業所（で）は…**」という質問は、事業所の取り組みについて、あてはまると思うところに○をつけてください。  
「**私は…**」という質問は、回答者自身があてはまると思うところに○をつけてください。

##### 【前年度の取り組みにより、良くなったと思う点（カテゴリー7）】

- (1) 回答シートには、事業所全体として前年度の取り組みにより、良くなったと思う点を記入する欄があります。  
これは、評価機関がカテゴリー7の評価を行う際の参考にします。  
カテゴリー7においては、事業所の重要課題に対する前年度の目標設定・取り組み・取り組みの結果を踏まえた振り返り、そして、振り返りの内容を今年度以降の目標設定や取り組みにどう活かしているのかを確認します。  
なお、この評価については、評価機関が評語を用いた評価を行います。

##### 【特に良いと思う点、特に改善したいと思う点】

- (1) 回答シートには事業所全体として①特に良いと思う点、②特に改善したいと思う点（各3つ以内）を記入する欄があります。  
この欄は、「職員用サービス分析シート（6. サービス提供のプロセス）」も終わってから一番最後に記述してください。

#### ■回答シート

- (1) カテゴリー1～5については、この「組織マネジメント分析シート」で、職員自己評価項目の評価を行ったうえで、回答シートに転記し、回答シートのみ提出してください。

※ 回答していただいた内容は、個人の評価や成績をつけるものではなく、事業所の取り組みを評価するために使用します。  
ご提出いただいた回答シートは、評価機関以外の者が見ることはありません。

## カテゴリー1 リーダーシップと意思決定

### サブカテゴリー1 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
1-1-1	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している	1 ① 事業所は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		② 私は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を理解できている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
1-1-2	経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	1 ① 事業所では、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、経営層が自らの役割と責任を職員に伝えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		② 私は、経営層の役割と責任を理解できている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所では、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、経営層が自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
1-1-3	重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	1 事業所では、重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 ① 事業所では、経営層が重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		② 私は、経営層から、重要な意思決定に関して、その内容と決定経緯を知らされている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 事業所では、利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>



## カテゴリー2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

### サブカテゴリー1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
2-1-1	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	1 事業所は、利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所は、事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 事業所は、地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		4 事業所は、福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		5 事業所は、事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		6 事業所は、把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

### サブカテゴリー2 実践的な計画策定に取り組んでいる

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
2-2-1	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している	1 事業所は、課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所は、中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 事業所は、策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2-2-2	着実な計画の実行に取り組んでいる	1 事業所は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所は、計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

### カテゴリ-3 経営における社会的責任

サブカテゴリ-1 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
3-1-1	社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる	① 事業所は、全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		② 私は、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを理解できている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		① 事業所は、全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		② 私は、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを遵守している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

サブカテゴリ-2 利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
3-2-1	利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている	1 事業所は、苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所には、利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3-2-2	虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている	1 事業所は、利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所は、虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

サブカテゴリ-3 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている

評価項目		職員自己評価項目		評価(3段階のうちどれか1つに○)		
				そう思う	そう思わない	わからない
3-3-1	透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる	1	事業所は、透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	事業所は、ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3-3-2	地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている	1	事業所は、地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	事業所は、事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3	事業所は、地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

## カテゴリー4 リスクマネジメント

### サブカテゴリー1 リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
4-1-1	事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる	1 事業所は、事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所は、優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 事業所は、災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		4 ① 事業所は、リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		② 私は、リスクに対する必要な対策や事業継続計画について理解できており、自分の役割に応じて対応できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 事業所は、事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		

### サブカテゴリー2 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
4-2-1	事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている	1 ① 事業所は、情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		② 私は、情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを理解し遵守している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所は、収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 事業所は、情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 事業所は、事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		

## カテゴリ5 職員と組織の能力向上

### サブカテゴリ1 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる

評価項目		職員自己評価項目			評価(3段階のうちどれか1つに○)		
					そう思う	そう思わない	わからない
5-1-1	事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている	1	事業所は、事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		2	事業所は、事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
5-1-2	事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している	1	① 事業所では、事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		2	② 私は、事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)を理解できている 事業所は、事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
5-1-3	事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる	1	① 事業所は、勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		2	② 私には、事業所から様々な研修等の機会が与えられている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		1	① 事業所は、職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		2	② 私の育成(研修)計画は、私の意向や経験等に基づいて策定されている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		3	① 事業所は、職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		4	② 私の育成(研修)計画には、事業所が私の育成の成果を確認した内容が反映されている 事業所では、指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)				
			そう思う	そう思わない	わからない		
5-1-4	職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる	1	事業所は、事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賞金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		2	事業所は、就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		3	①	事業所は、職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			②	私はこの事業所の仕事について、意欲と働きがいを持つことができている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		4	①	事業所は、職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			②	私の職場では、良好な人間関係が構築されている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

サブカテゴリー2 組織力の向上に取り組んでいる

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)				
			そう思う	そう思わない	わからない		
5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる	1	①	事業所は、職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			②	私が学んだ研修内容は、レポートや発表等で報告し、職員間で共有化している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	①	事業所は、職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			②	私の日頃の気づきや工夫について、他の職員と互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす機会がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3	事業所は、目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

**事業所が行った前年度の取り組みにより良くなったと思う点  
(カテゴリー7 事業所の重要課題に対する組織的な活動)**

○カテゴリー7は、カテゴリー1～6と評価方法が異なり、前年度の事業所による組織的な活動を評価します。  
このカテゴリーでの評価は、事業所が行った前年度の取り組みにより、良くなったと思う点を記入して頂き、それに基づいて評価機関が評価を行います。

→ こちらは「職員用 回答シート」にご記入ください。

**貴事業所の特に良いと思う点、特に改善したいと思う点**

○上記について3つ以内でご自由にお答え下さい。

(組織マネジメント分析シート・サービス分析シートの記入を終えてから、事業所全体としてご記入下さい。)

→ こちらは「職員用 回答シート」にご記入ください。

# 職員用:回答シート

○ 組織マネジメント分析シート(カテゴリー1~5) (あてはまるもの一つに"○"をつけてください)

NO.		そう思う	そう思わない	わからない
1-1-1	1-①			
	1-②			
	2			
1-1-2	1-①			
	1-②			
	2			
1-1-3	1			
	2-①			
	2-②			
	3			
2-1-1	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
2-2-1	1			
	2			
	3			
2-2-2	1			
	2			

NO.		そう思う	そう思わない	わからない
3-1-1	1-①			
	1-②			
	2-①			
	2-②			
3-2-1	1			
	2			
3-2-2	1			
	2			
3-3-1	1			
	2			
3-3-2	1			
	2			
	3			
4-1-1	1			
	2			
	3			
	4-①			
	4-②			
4-2-1	1-①			
	1-②			
	2			
	3			
	4			

NO.		そう思う	そう思わない	わからない
5-1-1	1			
	2			
5-1-2	1-①			
	1-②			
	2			
5-1-3	1-①			
	1-②			
	2-①			
	2-②			
	3-①			
	3-②			
5-1-4	4			
	1			
	2			
	3-①			
	3-②			
5-2-1	4-①			
	4-②			
	1-①			
5-2-1	1-②			
	2-①			
	2-②			
	3			



○ 事業所が行った前年度の取り組みにより、良くなったと思う点をご記入ください。

( カテゴリー7 事業所の重要課題に対する組織的な活動 )

--

○ 貴事業所の特に良いと思う点、特に改善したいと思う点を、それぞれ3つ以内でご自由にお答え下さい。

( 組織マネジメント分析シート・サービス分析シートの記入を終えてから、事業所全体についてご記入下さい。 )

特に良いと思う点 ( 組織マネジメント分析シート・サービス分析シートをあわせてご記入下さい。 )	特に改善したいと思う点 ( 組織マネジメント分析シート・サービス分析シートをあわせてご記入下さい。 )

# 〔令和4年度〕

## 認可保育所

### 職員用サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)

#### 記入の手引き

##### ■サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)の構成

- (1) この「サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)」は、  
カテゴリー6「サービス提供のプロセス」を評価するためのものです。
- (2) この「サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)」は、6つのサブカテゴリーに  
分かれています。  
そして各サブカテゴリーはさらに評価項目、標準項目と分かれており、よりサービスの具体的  
な内容が記述されています。

##### ■評価の進め方

- (1) それぞれの標準項目について、実施されているかどうか職員自己評価項目により  
評価を行っていただきます。
- (2) それぞれの質問に対し、「**そう思う**」「**そう思わない**」「**わからない**」のうち、あてはま  
るところに○印をつけてください。  
自分が直接関わっていない仕事についても、周囲の様子などから判断し、「**そう思う**」・  
「**そう思わない**」のいずれかに○をつけてください。  
見当がつかないという項目については「**わからない**」の欄に○をつけてください。

##### ■回答シート

- (1) この「サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)」で評価したうえで、  
回答シートに転記し、回答シートのみ提出してください。
- (2) この「サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)」は、日常の業務点検などに  
活用していただければ幸いです。

※ 回答していただいた内容は、個人の評価や成績をつけるものではなく、事業所の取り組みを  
評価するために使用します。  
ご提出いただいた回答シートは、評価機関以外の者が見ることはありません。

## カテゴリー6 サービス提供のプロセス

### サブカテゴリー1 サービス情報の提供

評価項目		職員自己評価項目		評価(3段階のうちどれか1つに○)		
				そう思う	そう思わない	わからない
6-1-1	利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	1	利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3	事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		4	利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

### サブカテゴリー2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目		職員自己評価項目		評価(3段階のうちどれか1つに○)		
				そう思う	そう思わない	わからない
6-2-1	サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている	1	サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3	サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6-2-2	サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている	1	サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3	サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

サブカテゴリ-3 個別状況の記録と計画策定

評価項目		職員自己評価項目		評価(3段階のうちどれか1つに○)		
				そう思う	そう思わない	わからない
6-3-1	定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している	1	子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3	アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6-3-2	全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している	1	指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3	個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		4	指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		5	指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6-3-3	子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している	1	子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6-3-4	子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している	1	指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

サブカテゴリ-4 サービスの実施

評価項目		職員自己評価項目		評価(3段階のうちどれか1つに○)		
				そう思う	そう思わない	わからない
6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている	1	発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3	子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		4	特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		5	発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		6	【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6-4-2	子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている	1	登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3	休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		4	降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している	1	子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3	子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		4	子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		5	戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		6	生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

令和4年度 認可保育所版 サービス分析シート(職員用)

6-4-4	日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している	1	行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している			
		2	みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している			
		3	子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている			
6-4-5	保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている	1	保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている			
		2	保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている			
6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している	1	子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している			
		2	メニューや味付けなどに工夫を凝らしている			
		3	子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している			
		4	食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている			
6-4-7	子どもが心身の健康を維持できるように援助している	1	子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している			
		2	医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている			
		3	保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている			
6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている	1	保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている			
		2	保護者同士が交流できる機会を設けている			
		3	保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている			
		4	子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている			
		5	保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している			

令和4年度 認可保育所版 サービス分析シート(職員用)

6-4-9	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている	1	地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

**サブカテゴリー5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重**

評価項目	職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)			
		そう思う	そう思わない	わからない	
6-5-1 子どものプライバシー保護を徹底している	1	子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	2	子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6-5-2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している	1	日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	2	子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	3	虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

**サブカテゴリー6 事業所業務の標準化**

評価項目	職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)			
		そう思う	そう思わない	わからない	
6-6-1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	1	手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	2	提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	3	職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6-6-2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	1	提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	2	提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

職員用 : 回答シート

施設・事業所名 : \_\_\_\_\_

○回答者属性 (どちらかに"○"をつけてください)

	リーダー層
	一般職員

○サービス分析シート (あてはまるもの一つに"○"を記入してください)

NO.	そう思う	そう思わない	わからない	NO.	そう思う	そう思わない	わからない	NO.	そう思う	そう思わない	わからない	NO.	そう思う	そう思わない	わからない
6-1-1-1				6-3-3-2				6-4-4-1				6-5-1-1			
6-1-1-2				6-3-4-1				6-4-4-2				6-5-1-2			
6-1-1-3				6-3-4-2				6-4-4-3				6-5-2-1			
6-1-1-4				6-4-1-1				6-4-5-1				6-5-2-2			
6-2-1-1				6-4-1-2				6-4-5-2				6-5-2-3			
6-2-1-2				6-4-1-3				6-4-6-1				6-6-1-1			
6-2-1-3				6-4-1-4				6-4-6-2				6-6-1-2			
6-2-2-1				6-4-1-5				6-4-6-3				6-6-1-3			
6-2-2-2				6-4-1-6				6-4-6-4				6-6-2-1			
6-2-2-3				6-4-2-1				6-4-7-1				6-6-2-2			
6-3-1-1				6-4-2-2				6-4-7-2							
6-3-1-2				6-4-2-3				6-4-7-3							
6-3-1-3				6-4-2-4				6-4-8-1							
6-3-2-1				6-4-3-1				6-4-8-2							
6-3-2-2				6-4-3-2				6-4-8-3							
6-3-2-3				6-4-3-3				6-4-8-4							
6-3-2-4				6-4-3-4				6-4-8-5							
6-3-2-5				6-4-3-5				6-4-9-1							
6-3-3-1				6-4-3-6				6-4-9-2							



令和4年度  
保育園サービス第三者評価事業  
報告書

登録印刷物番号

04-0046

令和5年3月発行

編集・発行

杉並区子ども家庭部保育課

〒166-8570 東京都杉並区阿佐谷南一丁目15番1号

電話 (03) 3312-2111 (代表)

調査・評価機関

特定非営利活動法人 NPO サービス評価機構

(東京都福祉サービス第三者評価機関 認証番号: 02-030)

〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南三丁目35番15号-1104

電話 03-5347-0616

☆杉並区のホームページでご覧になれます。 <https://www.city.suginami.tokyo.jp>

